Canon

PUB. DIJ-296A

はじめに

準備編

撮影編

接続編

カスタマイズ編

再生編

静止画編

メニュー編

その他

HD VIDEO CAMERA RECORDER

XL H1S
XL H1A

使用説明書

もくじ

はじめに

準備編

撮影編

接続編

カスタマイズ編

再生編

静止画編

メニュー編

その他

本書の使いかた

このたびは、キヤノンXL H1S／XL H1Aをお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。ご使用の前にこの「使用説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになった後は、大切に保管してください。

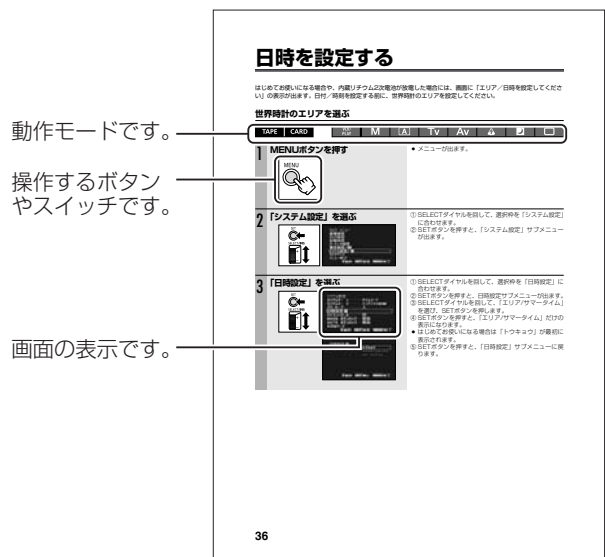
本書の構成は、次のとおりです。

本書の記載について

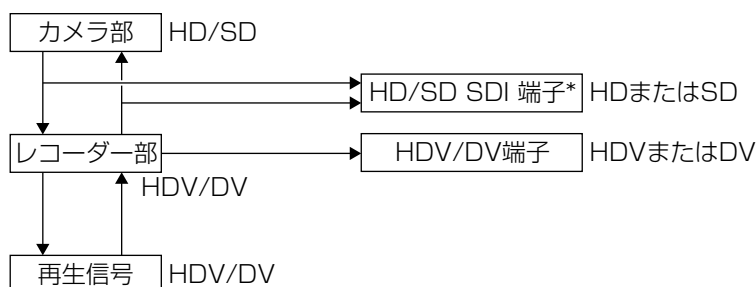
：操作するうえで、守っていただきたいことです。

：基本操作に加えて、知っておいていただきたいことです。

（📖○○）：（　）内の数字は参照ページです。

：表示の点滅を示しています。

- 文中の「画面」は、ファインダーの画面を表しています。
- 文中の「カード」はSD/SDHCメモリーカードまたはマルチメディアカードを表しています。
- 本書では、音声入力端子は「CH1、CH2」と、録音するチャンネルは「チャンネル」と表記しています。
- 本書ではキヤノンHDビデオレンズ20倍ズームXL 5.4-108mm L ISⅢをHD 20X L ISⅢレンズと表記しています。
- 本書では、XL H1SにHD 20X L IS Ⅲレンズを装着したイラストで説明しています。
- 作例写真は、スチルカメラで撮影したものを使用しています。
- 動作モードによっては、使用できない機能があります。本書では、次のように表示しています。

A ：使用できます。　A ：使用できません。

- 本書では、HD/HDV、SD/DVの各信号規格を以下のように定義しています。＊XL H1S

付属品をお確かめください

本機をお使いになる前に、付属品をお確かめください。

XL H1S／XL H1A 使用説明書	コンパクトパワーアダプター CA-920	電源カプラー DC-920	バッテリーパック BP-950G
SDメモリーカード SDC-32M	リモコン （ワイヤレスコントローラー） WL-D5000	リモコン用単3電池 2本	ファインダーユニット
マイク	マウントキャップ （本体装着）	ショルダーストラップ SS-1100	アダプターホルダー ユニット
ステレオケーブル （赤） （白）	D端子コンポーネント ビデオケーブル　DTC-1000	外部モニター接続用 ケーブル	外部マイク固定用シート
三脚ベース	デジタルビデオカセット HDVM-E63PR	キヤノン HDビデオレンズ 20倍ズーム XL 5.4-108mm L IS Ⅲ	レンズキャップ
レンズダストキャップ	レンズフード		

必ずお読みください

ためし撮り

必ず事前にためし撮りをし、正常に録画・録音されていることを確認してください。万が一、ビデオカメラが正常に動作しない場合は、「トラブルシューティング」（🕮 189）をご確認ください。

HDV記録時のテープについて

HDV記録用には、HDV対応テープの使用をおすすめします。

記録内容の補償はできません。

万一、ビデオカメラやテープなどの不具合により記録や再生されなかった場合、記録内容の補償については、ご容赦ください。

著作権について

あなたがビデオで録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示物などの中には、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

MPEG-2使用許諾について

個人使用目的以外で、MPEG-2規格に適合した本機を、パッケージメディア用に映像情報をエンコードするために使用する場合、MPEG-2 PATENT PORTFOLIOの特許使用許諾を取得する必要があります。この特許使用許諾はMPEG LA, L.L.C.,（250 STEELE STREET, SUITE 300, DENVER, COLORADO 80206 USA）から取得可能です。

長時間録画モードについて（DV規格）

長時間録画（LP）モードは、標準（SP）モードの1.5倍の録画ができる機能です。長時間録画モードでの録画／再生は、テープの特性や使用環境に影響されやすく、再生時、画面にモザイク状のノイズが発生したり、音声が途切れたりする場合があります。大切な撮影にはSPモードをお使いください。

- Canonは、キヤノン株式会社の登録商標です。
- Mini DVロゴは商標です。
- HDVおよびHDVロゴはソニー株式会社と日本ビクター株式会社の商標です。
- Windowsは、米国Microsoft社の米国および他の国における登録商標です。
- DCFロゴマークは、（社）電子情報技術産業協会（JEITA）の「Design rule for Camera File system」の規格を表す団体商標です。
- 「LANC」ロゴおよび「LANC」マークは、商標です。
- その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。本書に従って正しい取り扱いをしてください。

安全上のご注意

ご使用の前に必ず「安全上のご注意」をよくお読みください。

⚠警告　火災、感電、破裂などにより、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容
⚠注意　人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容

万が一のとき

⚠警告

プラグをコンセントから抜く

● ・煙が出ている、へんな臭いがするなどの異常が発生したとき
・落としたり、外装を破損したとき
・内部に水、海水などの液体や異物が入ったとき

上記の場合は、電源プラグをコンセントから抜き、バッテリーパックもはずす。
火災、感電の原因。キヤノンサービスセンターまたはご購入になった販売店に修理を依頼してください。

接触禁止

●**雷が鳴り出したら、アンテナ線や電源プラグに触れない。**
感電の原因。

禁止

●**バッテリーパックから液もれしていたら使わない。**
皮膚の障害、失明、発火の原因。
・液が身体や衣服についたときは、水でよく洗い流してください。
・万一目などに入ったときは、きれいな水でよく洗った後、ただちに医師に相談してください。

機器を取り扱うとき

⚠警告

分解禁止

●**分解、改造しない。**
発熱、火災、感電、けがの原因。

禁止

●**強い振動や衝撃を与えない。**
破損により、火災、やけど、けがの原因。特に、液晶画面やレンズは、強い衝撃を与えて、割れるとけがの原因。

強制

●**指定された機器を使用する。**
火災、感電、けがの原因。

禁止

●**機器の内部や端子部に金属類を入れたり、ショートさせない。また、ビデオカセットの挿入口などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込まない。**
火災、感電、けがの原因。

水濡れ禁止

●**ぬらさない。**
火災、感電、やけどの原因。雨天、降雪中、海岸、水辺、湿度の高い場所などでの使用は、特に注意してください。

禁止

●**絶対に、バッテリーパックを、加熱や火中投入しない。**
破裂により、やけど、けがの原因。

禁止

●**電源コードを傷つけない。**
・加工しない。
・無理に曲げたり、引っ張ったり、重いものを載せたりしない。
・熱器具に近づけたり、加熱したりしない。
・電源コードを抜くときは必ずプラグを持って抜く。
電源コードが傷つくと（芯線の露出、断線等）、火災、感電の原因。

安全上のご注意…つづき

⚠警告

強制

●**電源プラグは根元まで確実に差し込む。**
火災、感電の原因。

強制

●**充電中は長時間触れない。**
低温やけどの原因。

禁止

●**海外旅行者用の電子式変圧器や航空機、船舶、DC／ACコンバーターなどの電源に接続しない。また、表示された電源電圧や周波数以外では使用しない。**
火災、感電、けがの原因。

⚠注意

強制

●**飛行機内で使用する場合は、乗務員の指示に従う。**
機器から出る電磁波により、飛行機の計器に影響を与える恐れがあります。

ぬれ手禁止

●**ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししない。**
感電の原因。

強制

●**コード類は、つまづかないように配置する。**
足を引っ掛けて、転倒したり製品が落ちたりして、けがの原因。

強制

●**バッテリーパック、ショルダーストラップ、グリップベルトなどを確実に取り付ける。**
脱落すると、けがの原因。

強制

●**バッテリーパックやワイドコンバーターなどを取りはずすときは、落ちないように手をそえる。**
落ちると、けがの原因。

使用・保管するとき

⚠警告

風呂場、シャワー室での使用禁止

●**風呂場などの湿度の高い所や油煙、ほこり、砂などの多い場所で使用、保管しない。**
内部に水などが入ると、火災、感電、やけどの原因。

禁止

●**直射日光下やストーブ、照明器具のそばなど、60℃以上の高温の場所や炎天下の密閉された車の中に置かない。**
発熱や破裂により、火災、やけど、けがの原因。

禁止

●**不安定な場所に置かない。**
落ちたり、倒れたりして、けがの原因。

強制

●**電源プラグやコンセントのほこりを、定期的に乾いた布で拭き取る。**
火災の原因。

禁止

●**バッテリーパックの端子部に金属製のキーホルダーやヘアピンなどを接触させない。**
「＋」と「－」の端子がショートされ、高熱や液漏れにより、やけど、けがの原因。

⚠注意

●**ふとんやクッションなどをかけたまま使用しない。**
内部に熱がこもり、火災の原因。

●**使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。**
火災の原因。

撮るとき

⚠警告

●**運転中に使用しない。**
交通事故の原因。

●**撮影しているときは、周囲の状況に注意する。**
けが、交通事故の原因。

お子様がそばにいるとき

⚠警告

●**乳幼児の手の届かないところに置く。**
感電、けがの原因。

⚠注意

●**お子様がカセットの挿入口に、指を挟まれないようにする。**
けがの原因。

本機の特長

＊XL H1Sのみ

HD高画質

1. 絞りリングを搭載し、操作性が向上した新20倍　HDビデオレンズ

新たにHDビデオレンズ 20倍ズーム XL 5.4-108mm L IS Ⅲ をXL交換レンズシステムにラインアップ。絞りリング搭載により操作性が向上しました。また、メニューで絞り制限を解除するとCLOSEまでの任意のF値まで絞ることができます。

2. 167万画素、1/3型3CCDシステム採用

総画素数約167万画素、有効1440×1080画素の1/3型CCDシステムを採用し、HDV規格最高レベルの水平解像度800TV本を実現しました。

3. HD高画質を実現するキヤノン映像エンジン「DIGIC DV Ⅱ」搭載

キヤノンの画創りのノウハウと先進のデジタル処理技術を集約した映像エンジン「DIGIC DV Ⅱ」を搭載することで、HDの豊富な情報量に対応し、優れた色再現と豊な階調性を実現しました。

制作意図に応える表現力

4. HDV1080/24p、30pのネイティブ記録に対応（📖 52）

HDV規格に準拠したHDV1080/24p、HDV1080/30pのネイティブ記録に対応した24F、30F撮影モードを搭載。番組、CM、映画、PVなど、さまざまなニーズに対応します。

5. さまざまなプロニーズに応えるカスタムプリセット（画質調整機能）（📖 108）

ガンマやカラーマトリクス調整など23項目の画質調整が可能なカスタムプリセット機能により制作意図に応じた自由な画作りが実現できます。

業務用途に対応する拡張性

6. HD/SD-SDI出力端子*を搭載、エンベデットオーディオ/TC（LTC）対応*（📖 56, 64）

XL H1Sは、カメラスルーの非圧縮出力に対応したHD/SD-SDI出力端子を搭載し、さらにエンベデッドオーディオやTC（LTC）にも対応しました。また、SDI出力に画面表示（OSD）を重畳することもできます。

7. GENLOCK端子*、TC入出力端子*搭載（📖 56）

XL H1Sは、GENLOCK端子、TC-IN/OUT端子を搭載し、マルチカメラの運用が可能。HDモード時にSD信号で同期させることもできます。

8. カスタムファンクション（📖 118）とカスタムディスプレイ（📖 126）

機能や操作感を撮影状況などに応じて設定できるカスタムファンクションを搭載。またファインダー内の表示項目もカスタマイズできます（カスタムディスプレイ）。従来機種より設定の自由度が増しました。

オーディオ

9. ファンタム電源供給（＋48V）に対応したXLR端子（2系統）搭載（📖61）

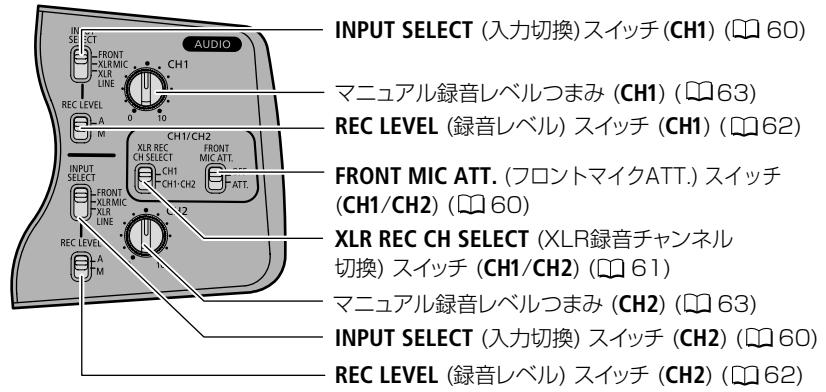
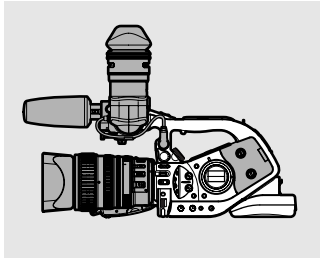
2系統のXLR入力端子はそれぞれ独立して入力レベルを設定可能。また、付属のフロントマイクとXLR入力を同時に使用することもできます。さらに、オーディオリミッターの搭載により、録音レベルのマニュアル調整時に大音量による歪を防止できます。

その他の新機能

・ マニュアルモード撮影時に一時的にAE動作が可能な「プッシュAE」（📖71）。
・ 0.5dB刻みでゲインを調整できる「ゲインファインチューニング」（📖79）。
・ マクロ撮影に対応するフォーカスリミット機能（📖50）。
・ ズーム操作中のマニュアルフォーカスに対応（📖47）。
・ ズームリングのスピードやレスポンスを切り換えて操作性をカスタマイズ可能（📖44）。
・「セレクティブNR」で狙った色領域のノイズを低減し、クロマキー合成の画質向上（📖88）。
・「EVF調整」、「カラーコレクション」、「スキンディテール」の設定値の数値化（📖24、85、87）。
・ MAGNIFYING動画記録に対応（📖48）。
・ コンポジットビデオのRCA端子とBNC端子からの同時出力（📖98）。
・ オーディオライン出力レベルの切り換え（1Vrms、2Vrms）（📖101）。
・ −18dBのオーディオテストトーンに対応（📖93）。

各部の名称

📖 は使いかたが書いてあるページです。　＊はXL H1Sのみです。

■ 本　体

** 三脚は、必ず取り付けネジの長さが5.5mm未満のものをご使用ください。ネジ長が5.5mm以上の三脚を使用すると、本体を破損することがあります。
三脚ネジの径が3/8インチの三脚を使用する場合は、付属の三脚ベースを取り付けてから、三脚を取り付けてください。

***** マークについて**

は、LANC [Local Application Control Bus System （ローカル・アプリケーション・コントロール・バス・システム）]リモート端子のマークです。LANCリモート端子とは、ビデオ機器を接続し、テープ走行などをコントロールできるようにした端子です。

❍ マークが表示されている機器と接続してください。
❍ LANCリモート端子で接続した周辺機器の操作ボタンの中には、動作しないもの、本機の動作と異なるものがあります。
❍ マークが表示されていない機器と接続した場合の動作については保証致しかねます。

各部の名称（つづき）

❚❚(一時停止) ボタン (📖 104、130)
DRIVE MODE（ドライモード）ボタン（📖143)
■(停止) ボタン (📖130)
測光ボタン (📖145)
◀◀(巻き戻し) ボタン (📖130)
カード － ボタン (📖147)
▶(再生) ボタン (📖130)
SLIDE SHOW（スライドショー）ボタン（📖148)
▶▶(早送り) ボタン (📖130)
カード ＋ ボタン (📖147)
● (録画) ボタン (📖104)
ハンドルズームボタン (📖38、44)
ファインダー固定ネジ (📖22)
アダプターホルダーユニット取り付け部 (📖26)
マイク (📖25)
タリーランプ (📖38)
ホットシュー (📖146)
リモコン受光部 (📖31)
START/STOP (スタート／ストップ)ボタン (📖38)
PHOTO（フォト）(📖139)／
MAGN. (拡大)ボタン (📖124)
CUSTOM PRESET SELECT (カスタムプリセット選択) ボタン (📖111)
EVF DISPLAY (画面表示切換) ボタン (📖39)
CUSTOM KEYS (カスタムキー) ボタン (📖90)
CUSTOM PRESET ON/OFF (カスタムプリセット入／切) ボタン (📖111)
EJECT (カセット取り出し) スイッチ (📖32)

■ リモコン　WL-D5000（📖 31）

電源の準備

バッテリーパックは、充電してから使います。

バッテリーパックを充電する

バッテリーパックを使うときは、ショート防止用端子カバーを取りはずします（□ 183）。
バッテリーパックを充電するときは、電源カプラーをコンセントから抜いてください。

「充電」ランプ

❶ コンパクトパワーアダプターに電源コードを差し込む

❷ 電源プラグをコンセントに差し込む

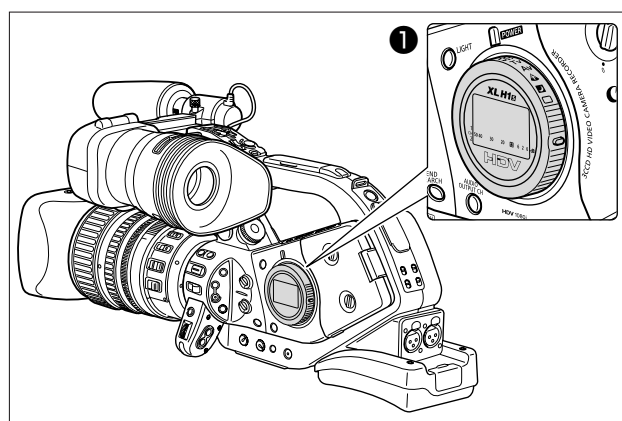
❸ バッテリーパックの先端を▼に合わせて、押し付けながら、カチッと音がするまで、スライドさせる
充電ランプが点滅し、充電が始まります。
充電が終わると、充電ランプが点灯します。

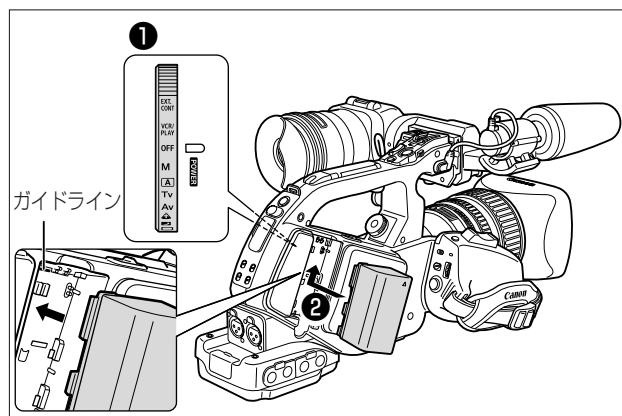
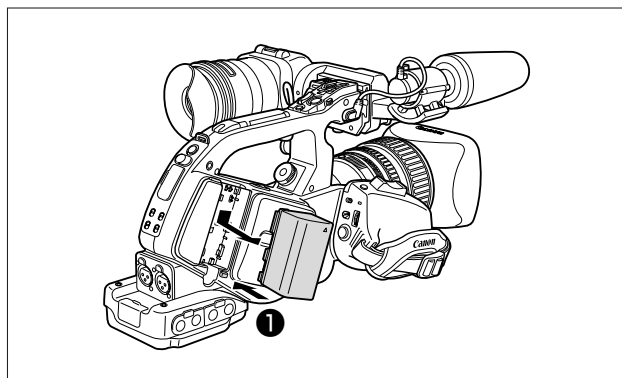
❹ スライドさせてバッテリーパックを取りはずす

❺ 電源プラグをコンセントから抜く

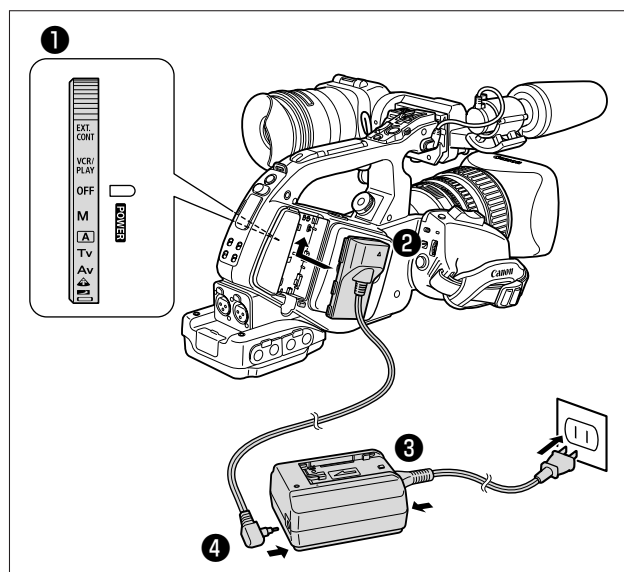
❻ 電源コードをコンパクトパワーアダプターから抜く

バッテリーパックを取り付ける

ガイドライン

❶ メインダイヤルを「OFF」にする

❷ バッテリーパックの先端を電源装着部のガイドに合わせて、押し付けながら、カチッと音のするまで、上にスライドさせる

バッテリーパックを取りはずす

❶ BATT. RELEASEボタンを押しながら、バッテリーパックを下にスライドさせてはずす

家庭用コンセントにつないで使う

本機を家庭用コンセントにつなぐと、バッテリーパックの残量を気にせずに使用できます。

❶ メインダイヤルを「OFF」にする

❷ 電源カプラーの先端を電源装着部のガイドに合わせて、押し付けながら、カチッと音のするまで、上にスライドさせる

電源カプラーをはずすときは、BATT. RELEASEボタンを押しながら、下にスライドさせてはずします。

❸ コンパクトパワーアダプターに電源コードを差し込み、電源プラグをコンセントに差し込む

❹ 電源カプラーをコンパクトパワーアダプターに接続する

内蔵リチウム2次電池について

本機は、リチウム2次電池を内蔵していて、日付などの設定が保持されます。この内蔵のリチウム2次電池は、本機を使っている間に充電されますが、使用時間が短いと少しずつ放電され、本機を使わない期間が3ヶ月くらい過ぎると、完全に放電してしまいます。その場合は、リチウム2次電池を充電してください。充電するときは、本機をコンパクトパワーアダプターに接続し、24時間放置してください（メインダイヤルは「OFF」）。

❍ バッテリーパックを充電するときは、電源カプラーをコンパクトパワーアダプターからはずしてください。
❍ コンパクトパワーアダプターを抜き差しするときは、必ずビデオカメラの電源を切ってください。
❍ テレビの近くでコンパクトパワーアダプターを使用すると、テレビ放送の画面にノイズが出ることがあります。コンパクトパワーアダプターをテレビやアンテナケーブルから離してください。
❍ コンパクトパワーアダプターに指定された製品以外を接続しないでください。

次のページへ

- ❍ コンパクトパワーアダプター、バッテリーパックに異常があるときは、充電ランプが消灯になり、充電を中止します。
- ❍ ランプの点滅／点灯が充電した目安の量（残量）を示します。
  0～50%　　：約1秒間隔で1回ずつ点滅
  50%～75%：約1秒間隔で2回ずつ点滅
  75%以上　：約1秒間隔で3回ずつ点滅
  100%　　　：点灯
- ❍ バッテリーパックの充電時間とフル充電したバッテリーパックの使用時間は、次のとおりです。

バッテリーパック	BP-930	BP-945	BP-950G	BP-970G
コンパクトパワーアダプターCA-920での充電時間	約145分	約220分	約235分	約320分

XL H1S

HDV			BP-930	BP-945	BP-950G	BP-970G
連続撮影時間	HD 20X L ISⅢ	付属のカラーファインダー使用時	約130分	約195分	約275分	約375分
	レンズ装着時	モノクロファインダーFU-1000使用時**	約100分	約155分	約215分	約295分
	HD 20X L ISⅡ	付属のカラーファインダー使用時	約130分	約195分	約275分	約380分
	レンズ装着時	モノクロファインダーFU-1000使用時**	約100分	約155分	約215分	約300分
	HD 6X L	付属のカラーファインダー使用時	約135分	約200分	約285分	約390分
	レンズ装着時	モノクロファインダーFU-1000使用時**	約105分	約160分	約220分	約305分
実撮影時間*	HD 20X L ISⅢ	付属のカラーファインダー使用時	約75分	約115分	約165分	約225分
	レンズ装着時	モノクロファインダーFU-1000使用時**	約60分	約95分	約135分	約185分
	HD 20X L ISⅡ	付属のカラーファインダー使用時	約75分	約115分	約165分	約230分
	レンズ装着時	モノクロファインダーFU-1000使用時**	約65分	約95分	約135分	約185分
	HD 6X L	付属のカラーファインダー使用時	約80分	約120分	約170分	約235分
	レンズ装着時	モノクロファインダーFU-1000使用時**	約65分	約100分	約140分	約190分
再生時間			約155分	約235分	約335分	約455分
DV			**BP-930**	**BP-945**	**BP-950G**	**BP-970G**
連続撮影時間	HD 20X L ISⅢ	付属のカラーファインダー使用時	約145分	約220分	約305分	約420分
	レンズ装着時	モノクロファインダーFU-1000使用時**	約110分	約170分	約240分	約330分
	HD 20X L ISⅡ	付属のカラーファインダー使用時	約145分	約220分	約310分	約425分
	レンズ装着時	モノクロファインダーFU-1000使用時**	約115分	約175分	約240分	約330分
	HD 6X L	付属のカラーファインダー使用時	約150分	約225分	約310分	約435分
	レンズ装着時	モノクロファインダーFU-1000使用時**	約115分	約175分	約240分	約340分
	20X L IS	付属のカラーファインダー使用時	約135分	約205分	約285分	約390分
	レンズ装着時	モノクロファインダーFU-1000使用時**	約105分	約160分	約225分	約310分
	16Xマニュアル	付属のカラーファインダー使用時	約150分	約225分	約310分	約435分
	レンズ装着時	モノクロファインダーFU-1000使用時**	約115分	約175分	約240分	約340分
実撮影時間*	HD 20X L ISⅢ	付属のカラーファインダー使用時	約85分	約125分	約180分	約245分
	レンズ装着時	モノクロファインダーFU-1000使用時**	約65分	約100分	約140分	約190分
	HD 20X L ISⅡ	付属のカラーファインダー使用時	約85分	約130分	約180分	約250分
	レンズ装着時	モノクロファインダーFU-1000使用時**	約65分	約100分	約140分	約195分
	HD 6X L	付属のカラーファインダー使用時	約90分	約135分	約185分	約260分
	レンズ装着時	モノクロファインダーFU-1000使用時**	約70分	約105分	約145分	約205分
	20X L IS	付属のカラーファインダー使用時	約80分	約120分	約165分	約230分
	レンズ装着時	モノクロファインダーFU-1000使用時**	約60分	約95分	約130分	約185分
	16Xマニュアル	付属のカラーファインダー使用時	約90分	約135分	約185分	約260分
	レンズ装着時	モノクロファインダーFU-1000使用時**	約70分	約105分	約145分	約205分
再生時間			約175分	約265分	約370分	約505分

XL H1A

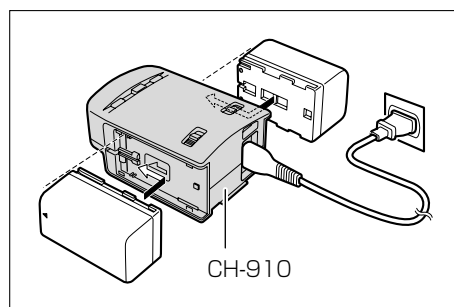
HDV			BP-930	BP-945	BP-950G	BP-970G
連続撮影時間	HD 20X L ISⅢ	付属のカラーファインダー使用時	約140分	約205分	約290分	約400分
	レンズ装着時	モノクロファインダーFU-1000使用時**	約105分	約160分	約230分	約310分
	HD 20X L ISⅡ	付属のカラーファインダー使用時	約140分	約210分	約295分	約405分
	レンズ装着時	モノクロファインダーFU-1000使用時**	約105分	約165分	約230分	約315分
	HD 6X L	付属のカラーファインダー使用時	約145分	約215分	約305分	約420分
	レンズ装着時	モノクロファインダーFU-1000使用時**	約110分	約165分	約240分	約320分
実撮影時間*	HD 20X L ISⅢ	付属のカラーファインダー使用時	約85分	約125分	約180分	約245分
	レンズ装着時	モノクロファインダーFU-1000使用時**	約65分	約100分	約140分	約190分
	HD 20X L ISⅡ	付属のカラーファインダー使用時	約80分	約125分	約175分	約240分
	レンズ装着時	モノクロファインダーFU-1000使用時**	約65分	約100分	約140分	約190分
	HD 6X L	付属のカラーファインダー使用時	約80分	約125分	約180分	約245分
	レンズ装着時	モノクロファインダーFU-1000使用時**	約65分	約100分	約145分	約195分
再生時間			約175分	約265分	約375分	約510分

DV			BP-930	BP-945	BP-950G	BP-970G
連続撮影時間	HD 20X L ISⅢ レンズ装着時	付属のカラーファインダー使用時	約150分	約225分	約325分	約440分
		モノクロファインダーFU-1000使用時**	約115分	約180分	約250分	約340分
	HD 20X L ISⅡ レンズ装着時	付属のカラーファインダー使用時	約155分	約230分	約325分	約450分
		モノクロファインダーFU-1000使用時**	約115分	約180分	約250分	約340分
	HD 6X L レンズ装着時	付属のカラーファインダー使用時	約130分	約205分	約285分	約390分
		モノクロファインダーFU-1000使用時**	約105分	約160分	約225分	約315分
	20X L IS レンズ装着時	付属のカラーファインダー使用時	約140分	約210分	約300分	約410分
		モノクロファインダーFU-1000使用時**	約110分	約165分	約235分	約315分
	16Xマニュアル レンズ装着時	付属のカラーファインダー使用時	約155分	約235分	約335分	約455分
		モノクロファインダーFU-1000使用時**	約120分	約185分	約255分	約350分
実撮影時間*	HD 20X L ISⅢ レンズ装着時	付属のカラーファインダー使用時	約90分	約130分	約190分	約260分
		モノクロファインダーFU-1000使用時**	約65分	約105分	約145分	約195分
	HD 20X L ISⅡ レンズ装着時	付属のカラーファインダー使用時	約90分	約135分	約190分	約260分
		モノクロファインダーFU-1000使用時**	約70分	約105分	約145分	約195分
	HD 6X L レンズ装着時	付属のカラーファインダー使用時	約75分	約115分	約165分	約230分
		モノクロファインダーFU-1000使用時**	約60分	約95分	約130分	約185分
	20X L IS レンズ装着時	付属のカラーファインダー使用時	約85分	約125分	約175分	約240分
		モノクロファインダーFU-1000使用時**	約65分	約100分	約140分	約185分
	16Xマニュアル レンズ装着時	付属のカラーファインダー使用時	約95分	約140分	約195分	約270分
		モノクロファインダーFU-1000使用時**	約70分	約110分	約150分	約205分
再生時間			約195分	約290分	約410分	約560分

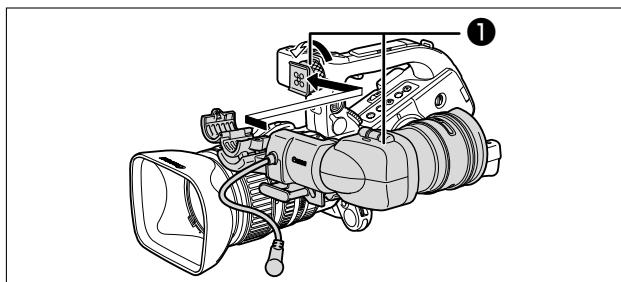
* 実撮影時間は、撮影、撮影一時停止、電源の入／切、ズームなどの操作をくり返したときの撮影時間の目安です。実際には、これよりも短くなることがあります。

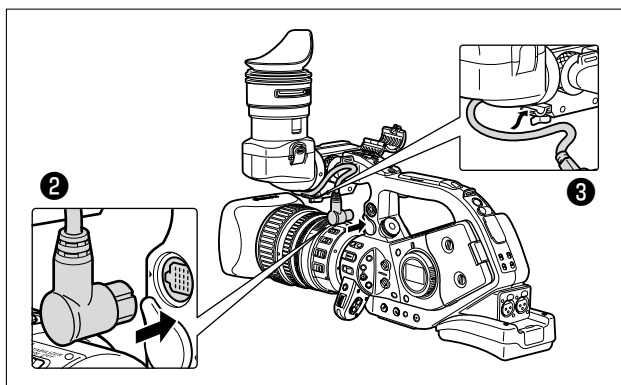
** 別売のモノクロビューファインダーユニットFU-1000使用時。

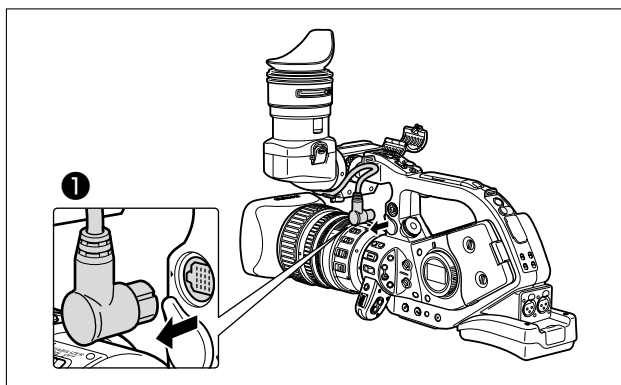
❍ 10℃〜30℃の範囲で充電することをおすすめします。
❍ 充電時間は周囲の温度や充電状態によって異なります。
❍ 低温下で使用したときには、使用時間は短くなります。
❍ 別売のデュアルバッテリーチャージャー/ホルダーCH-910では2個のバッテリーパックを連続充電できます。また、充電したバッテリーパックを装着（2個まで）することにより、本機への給電ができ、しかも本機の電源を入れたままバッテリーパックを交換できます。

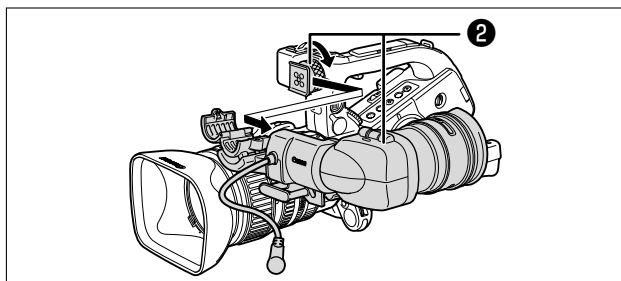
バッテリーパック	充電時間
BP-930	約240分
BP-945	約280分
BP-950G	約280分
BP-970G	約380分

❍ **バッテリーパックは、予定撮影時間の2〜3倍分をご用意ください。**
ビデオカメラの消費電力は、ズームなどの操作によって変化します。そのためバッテリーパックの実際の使用時間は、表記の時間より短くなります。撮影時には、予定撮影時間の2〜3倍のバッテリーパックを用意することをおすすめします。

カメラの準備

ファインダーを取り付ける／取りはずす

取り付ける

❶ ファインダー取り付け部にスライドさせて取り付け、固定ネジを回して固定する

❷ マークを合わせてファインダーケーブルをEVF1（カラーファインダー接続用）端子（🕮 12）に接続する
- ケーブルはEVF1端子にまっすぐ接続します。

❸ ファインダーケーブルをケーブルクランプに固定する

取りはずす

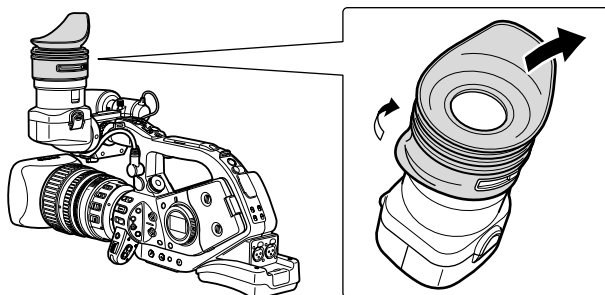
❶ ファインダーケーブルをはずす

❷ 固定ネジを回してゆるめファインダー部をスライドさせてはずす

❍ 外部モニターを使用する場合は、付属の外部モニター接続用ケーブルで本機のEVF2（外部モニター/ファインダー接続用）端子と外部モニターのコンポーネント端子を接続してください。
❍ モノクロビューファインダーユニットFU-1000を使用する場合は、本機のEVF2（外部モニター/ファインダー接続用）端子に接続してください。

アイカップを取りはずす／取り付ける

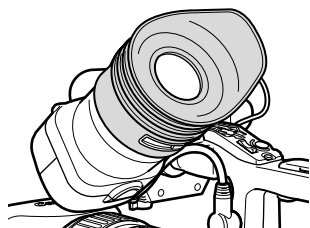
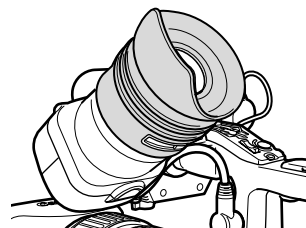
ファインダーは目の位置や使う目（右目、左目）に合わせて、位置を調整できます。
左目を使う場合は、アイカップを逆向きに取り付けることができます。

取りはずす

側面を持って、アイカップをはずす

取り付ける

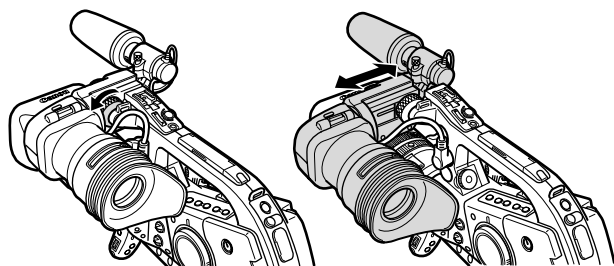
視度調整レバーの位置と切り欠き部を合わせて、奥までアイカップをはめ、固定する

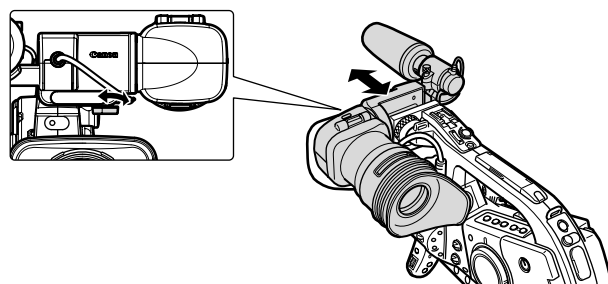
使う目（右目／左目）に合わせて取り付けられます。

右目用

左目用

ファインダーの位置を調整する

ファインダーユニットは、前後左右にスライドできますので、右目／左目の最適なファインダー位置を設定できます。
位置を決めたら、固定ねじ／固定レバーでファインダーユニットを固定します。

左右の調整

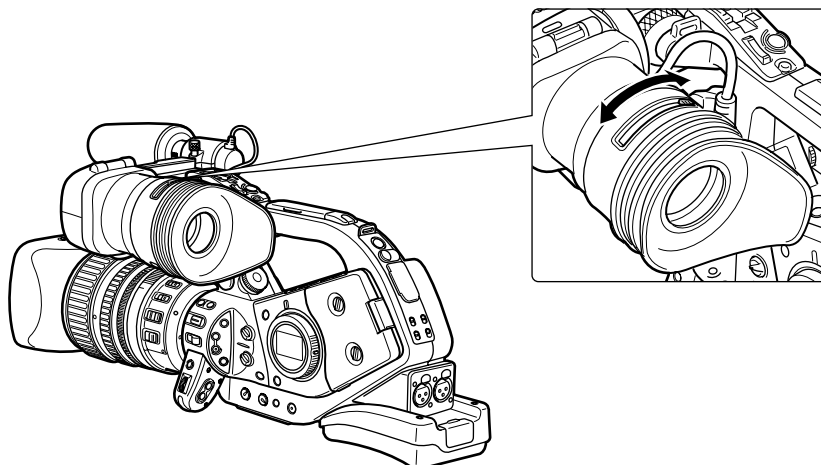
固定ねじをゆるめ、左右にスライドさせる

前後の調整

固定レバーをゆるめ、前後にスライドさせる

※本機を別売のシステムケースHC-3200に収納するときは、ファインダーを右側に寄せてください。

次のページへ

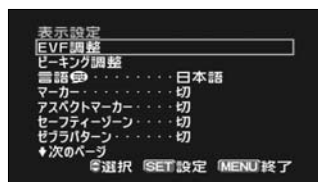
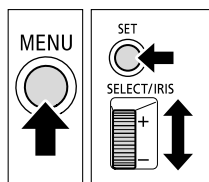
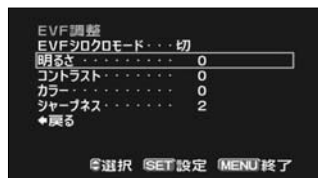
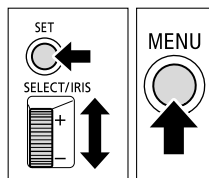
カメラの準備…つづき

ファインダーの視度を調整する

電源を入れ、ファインダーの表示がはっきり見えるように視度調整レバーを動かして調整します。

直射日光がファインダー内に入らないようにしてください。レンズが光を集めるために、ファインダー内の液晶部が損傷することがあります。特にストラップや三脚を使用しているときや持ち運ぶときはご注意ください。このような場合はファインダーの角度を変えて直射日光が入らないようにしてください。

ファインダーを調整する

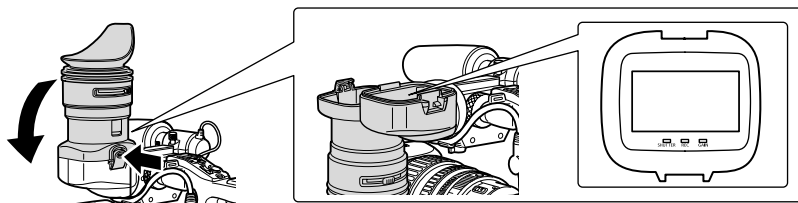
TAPE | CARD　　VCR/PLAY | M | A | Tv | Av

ファインダーの明るさ、コントラスト、カラー、シャープネスは標準に調整されていますが、必要に応じて調整できます。
ファインダーの明るさ、コントラスト、カラー、シャープネスの各調整と撮影する映像とは関係がありません。

❶ MENUボタンを押す
❷「表示設定」➤「EVF調整」を選ぶ
- SELECTダイヤルを回して「EVF調整」を選び、SETボタンを押して設定します。

❸「明るさ」、「コントラスト」、「カラー」、「シャープネス」から調整する項目を選ぶ
- SELECTダイヤルを回して項目を選び、SETボタンを押して設定します。
- 「EVFシロクロモード」については158ページをご覧ください。

❹ SELECTダイヤルを回して調整する
❺ SETボタンを押すと、調整項目を選ぶ画面に戻ります。
❻ MENUボタンを押す

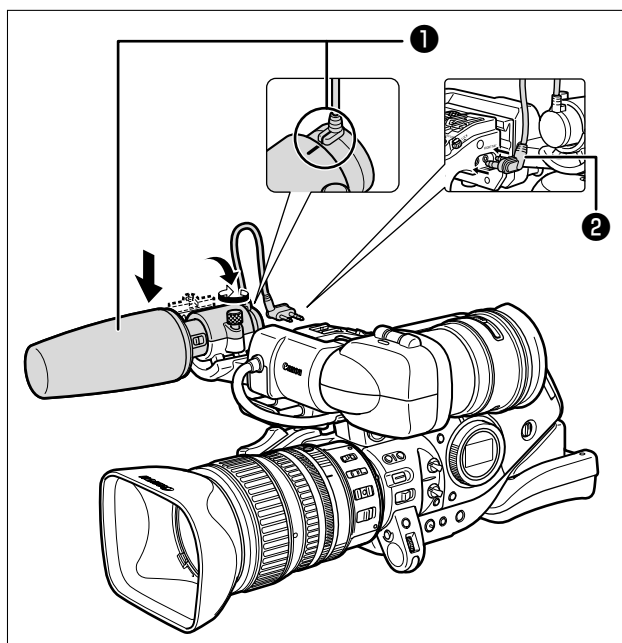
ファインダーを液晶画面として使う

接眼アダプターを跳ね上げると、ファインダーを液晶画面として使用できます。

ロック解除ボタンを押して、接眼アダプターを跳ね上げる。

液晶画面として使用しないときは、液晶画面保護のため、接眼アダプターを閉じておいてください。

接眼アダプターを跳ね上げると、液晶画面は少し明るくなります。

マイクの取り付け

マイク固定ネジをゆるめ、マイク固定部を開いておきます。

❶ 指標を合わせ、固定する

❷ マイクケーブルをFRONT MIC端子に接続する

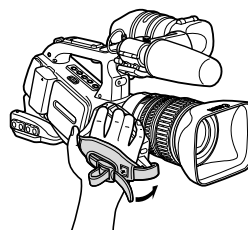
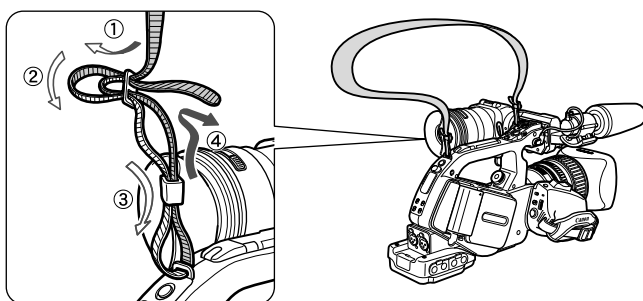
径の細いマイクを取り付けたときに、しっかりと固定できない場合は、付属の外部マイク固定用シートをマイクに巻いてから取り付けてください。

次のページへ

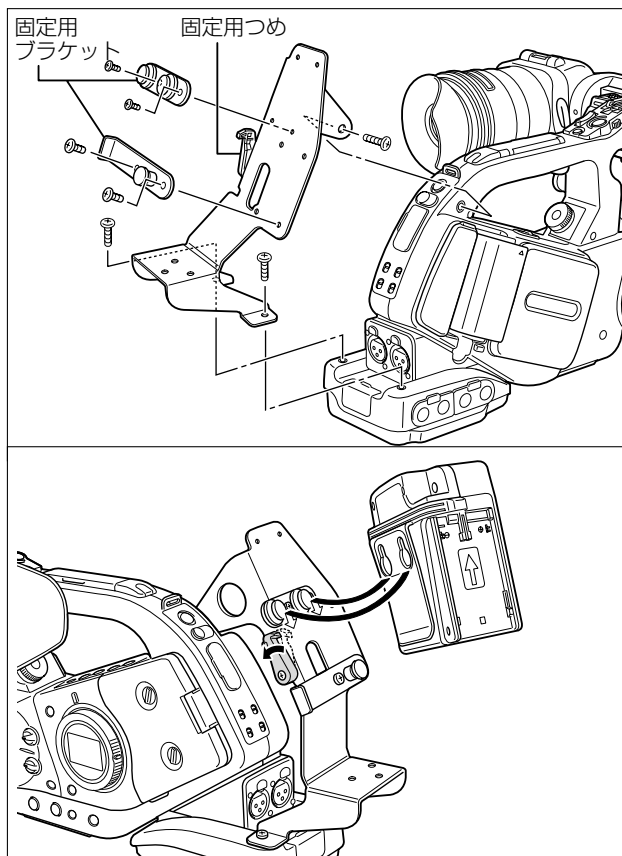
カメラの準備…つづき

グリップベルトの調節

親指がスタート／ストップボタンに、人さし指と中指がズームボタンに、ちょうど合うようにベルトの長さを調節します。

落下したりしないように、机などの安定した所で調節してください。

ストラップの付けかた

落下したりしないように、机などの安定した所で調節してください。

アダプターホルダーユニットを取り付ける

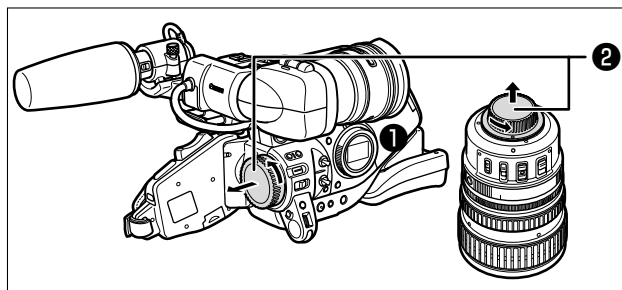
アダプターホルダーユニットを使うと、市販のワイヤレスマイクレシーバー、別売のデュアルバッテリーチャージャー／ホルダーCH-910が取り付けられます。

❶ ホルダーアダプターユニットを3箇所でねじを締めて固定する

❷ 取り付けるレシーバーに合わせて固定用ブラケットを取り付ける

- 固定用ブラケットを利用して、デュアルバッテリーチャージャー／ホルダーCH-910を取り付ける場合は、ブラケットにある固定用のつめでCH-910をしっかり固定してください。CH-910をはずすときは、つめを矢印方向に押し下げてください。

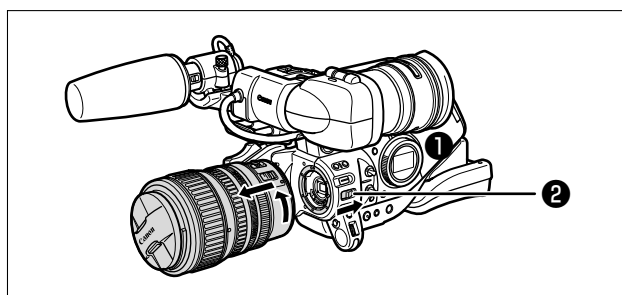
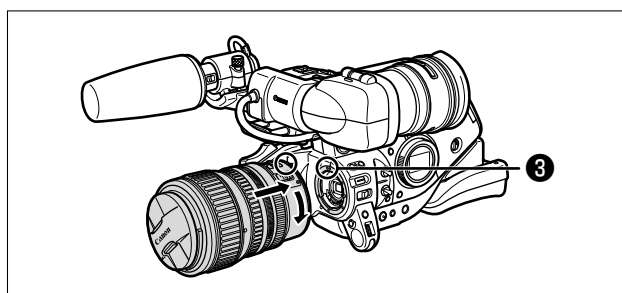
レンズの準備

XLマウントレンズを取り付ける／取りはずす

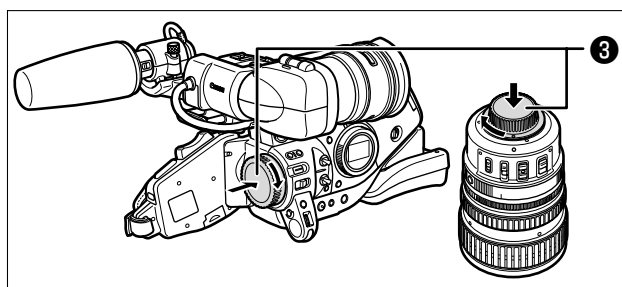
●取り付けるレンズの使用説明書もあわせてご覧ください。

取り付ける

❶ メインダイヤルを「OFF」にする

❷ ビデオカメラ本体のマウントキャップとレンズのダストキャップを取りはずす

❸ ビデオカメラとレンズの赤い指標を合わせ、レンズをはめ込み、時計方向にカチッと音がするまで回して取り付ける

取りはずす

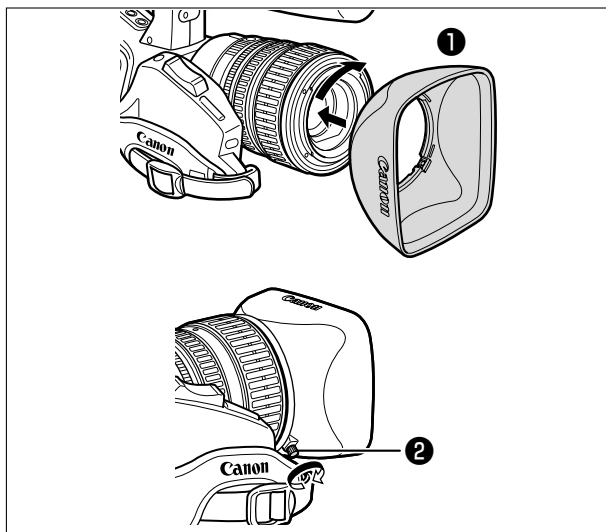
❶ メインダイヤルを「OFF」にする

❷ LENS RELEASEスイッチをスライドさせながらレンズを反時計方向に回し、ビデオカメラとレンズの赤い指標を合わせ取りはずす

❸ ビデオカメラ本体にマウントキャップを、レンズにダストキャップを取り付ける

❍ レンズの取り付け／取りはずしなどは、ビデオカメラやレンズを落とさないようにして行ってください。
❍ レンズの取り付け、交換などは直射日光や強い照明を避けて行ってください。
❍ XLマウントはVLマウントと互換性はありません。
❍ レンズを取り付けずにビデオカメラの電源を入れてカメラモード/カードカメラモードにすると、ファインダーに「LENS」表示が点滅します。
❍ レンズを取りはずしたときに、レンズ、本体のマウント部およびその内部に手で触れたり、汚れたりしないようにしてください。汚れたときなどは、柔らかい乾いた布で乾拭きしてください（クリーニングを行うときは必ずビデオカメラの電源を切ってください）。
❍ HDV記録時、HDV専用レンズ以外は性能保証できません。本機にHDV対応ではないレンズを取り付けると、「静止画対応のレンズではありません」と「HDV対応のレンズではありません」が画面に表示されます。また、HDV対応レンズでも、別売のエクステンダー XL 1.6×使用時はHDVの性能保証できません。「HDV対応のレンズではありません」が表示されます。

次のページへ

レンズの準備…つづき

レンズフードを取り付ける

❶ **レンズ先端部にフードをはめ込み、Canonの文字が上にくるように時計方向に回す**

- フードの先端を軽く持って取り付けてください。強く握ると変形して、取り付け／取りはずしにくくなります。

❷ **固定ネジでフードを固定する**

レンズフードはまっすぐ、斜めにならないように取り付けてください。

撮影時はレンズフードを取り付けてください。ゴーストやフレアなどに効果的です。

フランジバック調整（レンズにフランジバック調整がある場合を除く）

通常は必要ありませんが、テレ、ワイドズーム中のボケを必要に応じて補正できます。自動調整（AF）用、マニュアルフォーカス（MF）調整で設定でき、また、設定値をバックアップもできます。
設定値は10種類のレンズまでバックアップされます。

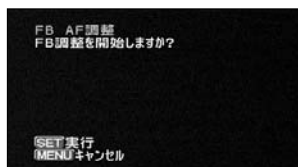
TAPE | CARD　　VCR/PLAY | M | A | Tv | Av

準備

① フレームレートを60iまたは30Fにする
② 本機を被写体に向けて固定する
　・ 被写体との距離を1m以上にする
　・ ワイド端でピントの合わせにくい被写体は避けてください
③ ズームをワイド端にする
④ Avモードを選び、絞りを開放にする
⑤ テレ端、ワイド端で被写体が画面中央にあることを確認する
　（必要に応じてNDフィルターを使用してください）
⑥ 適正露出であることを確認する

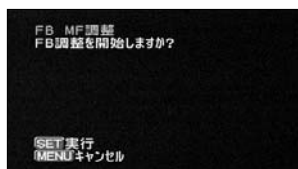
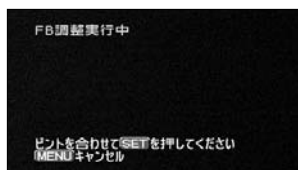
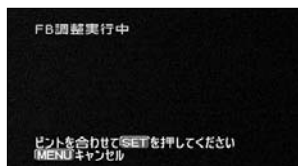
AF調整

① MENUボタンを押す
②「カメラメニュー」➤「カメラ設定」➤「FB」を選ぶ
　・ SELECTダイヤルを回して「FB」を選び、SETボタンを押して設定します。

③「➡AF調整」を選び、SETボタンを押す

④「FB調整を開始しますか？」画面で、SETボタンを押す
⑤「FB調整正常終了」が表示されたら、MENUボタンを押す

MF調整

① MENUボタンを押す
②「カメラメニュー」➤「カメラ設定」➤「FB」を選ぶ
- SELECTダイヤルを回して「FB」を選び、SETボタンを押して設定します。

③「➡MF調整」を選び、SETボタンを押す

④「FB調整を開始しますか？」画面で、SETボタンを押す

⑤ ズーム位置がテレ端になって、「FB調整実行中」画面で「ピントを合わせSETを押してください」が表示されたら、ピントを合わせ、SETボタンを押す

⑥ ズーム位置がワイド端になって、「FB調整実行中」画面で「ピントを合わせSETを押してください」が表示されたら、ピントを合わせ、SETボタンを押す
⑦「FB調整正常終了」が表示されたら、MENUボタンを押す

FB調整がエラーになったときは、一度FBの「調整値初期化」を実行して、再度調整し直してください。

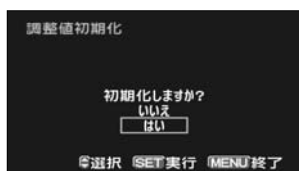
次のページへ

レンズの準備…つづき

フランジバック調整値を初期化する

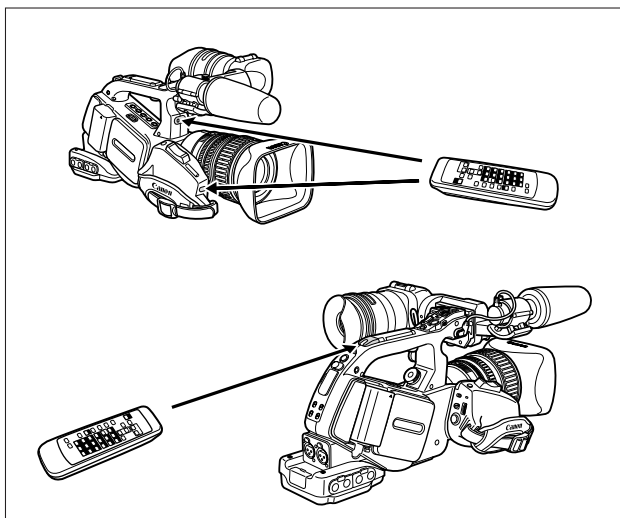
装着しているレンズの設定値を初期化します。

① MENUボタンを押す
②「カメラメニュー」➤「カメラ設定」➤「FB」を選ぶ
・ SELECTダイヤルを回して「FB」を選び、SETボタンを押して設定します。

③「調整値初期化」を選び、SETボタンを押す

④「初期化しますか？」画面で「はい」を選び、SETボタンを押す
⑤ MENUボタンを押す

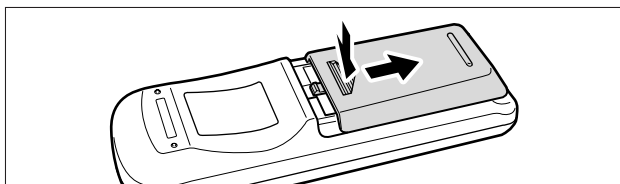
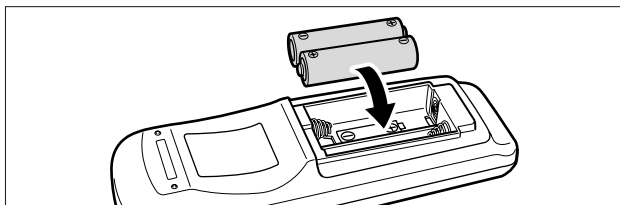
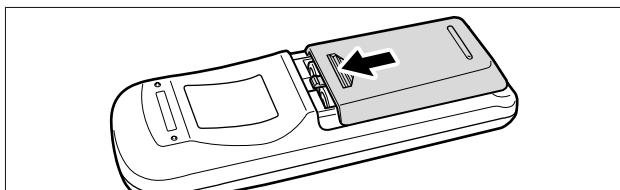
以下の場合は、調整エラーになり、フランジバック選択画面に戻ります。
・AFでピントが合わない
・フランジバック調整中にレンズをはずす

リモコン

リモコンの操作のしかた

リモコン受光部に向けて、リモコンのボタンを押す

本機のリモコン受光部は前後に3箇所あります。

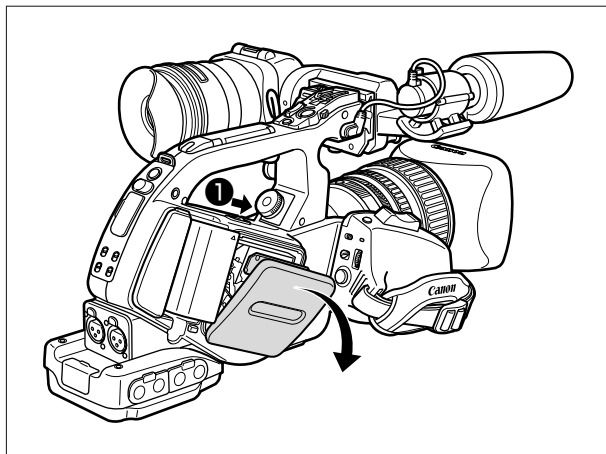
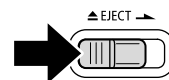
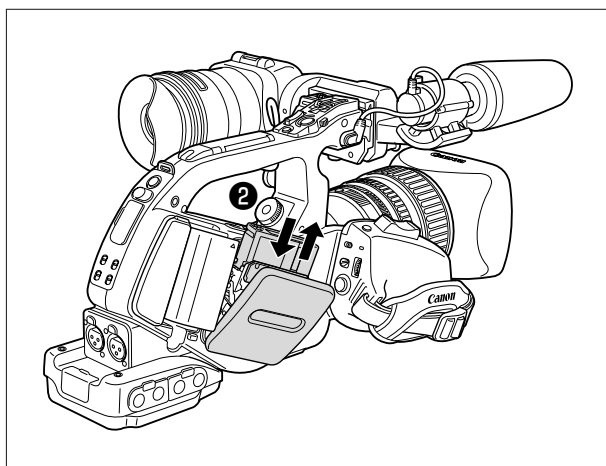
電池の入れかた

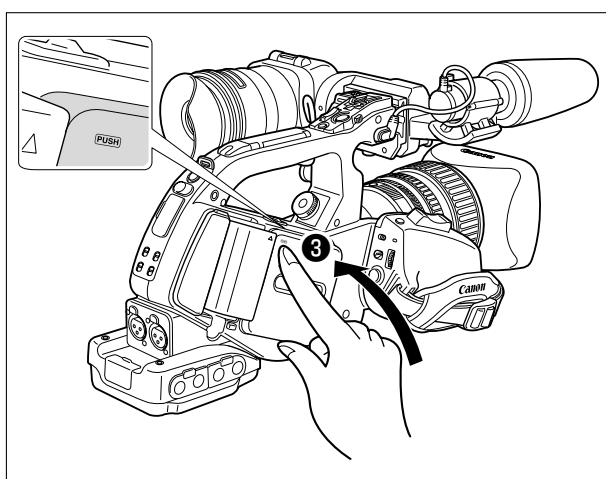
リモコンは、2本の単3乾電池で動作します。

❶ 電池カバーを押しながら取りはずす

❷ ⊕、⊖を表示に合わせて正しく入れる

❸ 電池カバーを取り付ける

❍ 本機には2種類のリモコンコードがあります。リモコンで操作できないときは、必ず本体のリモコンコードを確認してください。電池を交換すると、リモコンコードは「設定1」に戻ります（🕮 136）。
❍ リモコンのボタンを押しても動作しなくなったり、本体に近づかないと動作しなくなったときは、電池を交換してください。**2本とも、新しい電池をお使いください。**
❍ リモコンの受光部に直射日光や照明などの強い光が当たっていると、正常に動作しないことがあります。

カセットを入れる／出す

ビデオカセットはMini DVマークの付いたものをお使いください。
● HDV記録用には、HDV対応テープの使用をおすすめします。

カセットを入れる／出す

❶ カセット取り出しスイッチをスライドさせる

● カセットホルダーカバーが開き、カセットホルダーが自動的に開く。

❷ カセットをまっすぐ奥まで入れる／出す

● カセットの透明な窓を外側に向けて、誤消去防止ツマミのある面を上にして入れる。
● カセットを出すときは、カセットホルダーからまっすぐに引き抜く。

❸ カセットホルダーカバーを閉じる

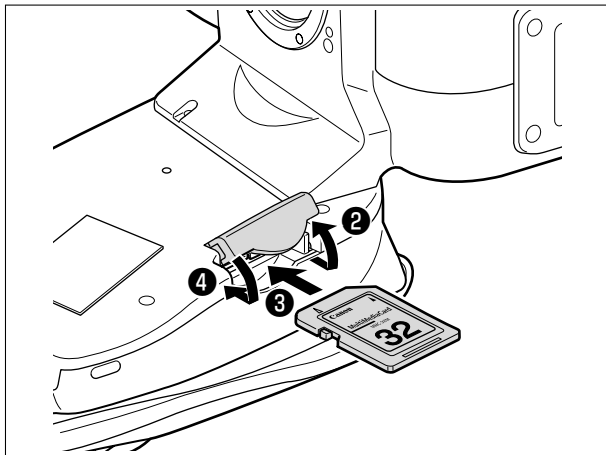
● PUSHマークを押す。

❍ カセットホルダーが自動的に動いている間は、無理に押したり、動きを妨げたりしないでください。故障の原因となります。
❍ カセットホルダーカバーを閉めるときは、指をはさまないようにご注意ください。

バッテリーパックなどの電源を取り付けていると、メインダイヤルが「OFF」でも、カセットの出し入れはできます。操作が終わると自動的に電源が切れます。

カードを入れる／出す

本機は、SDメモリーカード（ SD ）、SDHCメモリーカード（ SDHC ）、とマルチメディアカード専用です。

カードの入れかた

❶ メインダイヤルを「OFF」にする

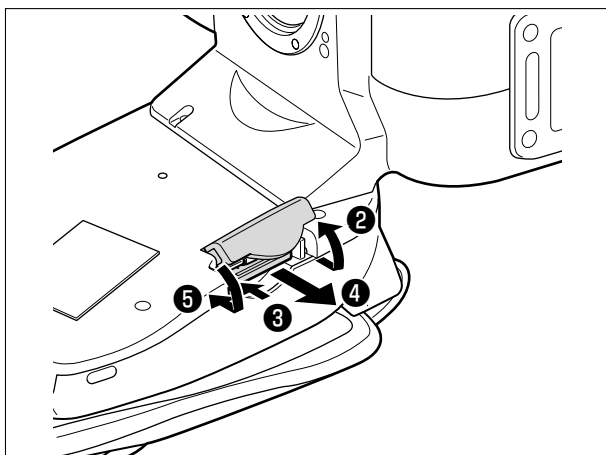
❷ カバーをスライドさせて、開ける

❸ カードを奥までしっかり入れる

❹ カバーを閉じ、スライドさせる

- カードが正しく入っていない状態で、カバーを無理に閉じないでください。

カードの出しかた

カードを抜くときは、無理に引き出さないで、必ず❸の操作を行ってください。

❶ メインダイヤルを「OFF」にする

- CARDアクセスランプが消えていることを確認してください。

❷ カバーをスライドさせて、開ける

❸ カードの端を押す

- カードが少し出てきます。

❹ カードを抜く

❺ カバーを閉じ、スライドさせる

❍ 付属のカード以外のカードを使用する際には、本機で初期化してください（□ 152）。

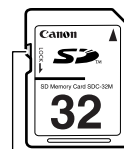
❍ カードの出し入れは、ビデオカメラの電源を切ってから行ってください。電源を切らずにカードを出し入れすると、故障の原因となることがあります。

❍ SDメモリーカード/SDHCメモリーカードには、誤消去防止ツマミが付いています。誤消去防止ツマミがロック状態のときは記録や消去ができません。

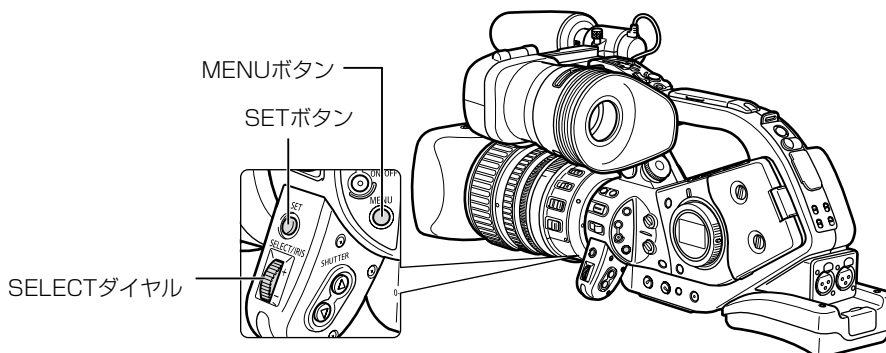
❍ すべてのカードの動作を保証するものではありません。

❍ SDHCについて

容量が2GBを超えるSDメモリーカードをSDHC(SD High Capacity)と呼びます。従来のカードと規格が異なるため、SDHCに対応していない機器では2GBを超えるカードを使用できません。

下位互換はありますので、SDHCに対応している機器は従来のSDメモリーカードも使用できます。

誤消去防止ツマミ

メニューで設定を変える

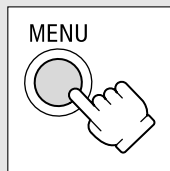
メニュー項目は、メニュー一覧（🕮 155）をご覧ください。

メニュー画面下部の縁どりされている表示は、本体のボタンやダイヤルを表しています。

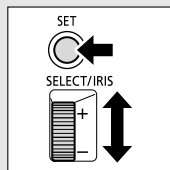
選択	SELECTダイヤルを回して、設定内容を選択します。
SET 設定	SETボタンを押して、設定します。
SET 戻り	SETボタンを押して、前のメニューに戻ります。
SET 次	SETボタンを押して、次の項目に進みます。
MENU 終了	MENUボタンを押して、メニューを終了します。

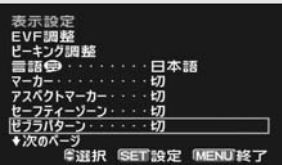
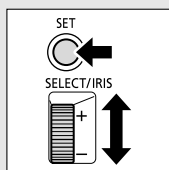
本体でのボタン操作をリモコンで行う場合は、つぎのようにします。

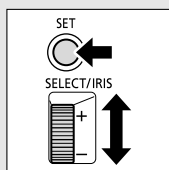
本体	リモコン
SELECTダイヤルを上に回す	▲ボタンを押す
SELECTダイヤルを下に回す	▼ボタンを押す
SETボタンを押す	SETボタンを押す

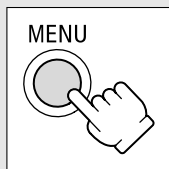
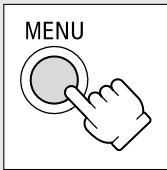
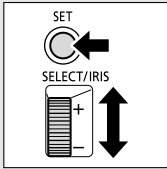
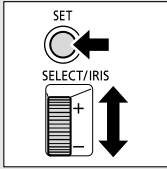
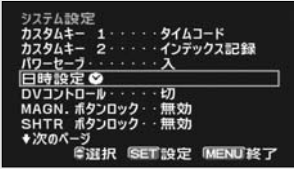
ここでは、カメラモードのときに、本体のボタンやダイヤルで操作する場合で説明しています。
例：「ゼブラパターン」を「入」にする

1 MENUボタンを押す

- メインメニューが出ます。

2 項目を選ぶ

① SELECTダイヤルを回して、設定する項目に選択枠を合わせます。
② SETボタンを押すと、選んだ項目のサブメニューが出ます。

3 機能を選ぶ

① SELECTダイヤルを回して、設定する機能に選択枠を合わせます。
② SETボタンを押すと、選んだ機能だけの表示になります。

4 設定内容を選び、設定する

① SELECTダイヤルを回して、設定する設定内容に選択枠を合わせます。
② SETボタンを押すと、サブメニューに戻ります。

5 MENUボタンを押す

- メニューが消えます。

❍ 他の機能の設定内容などにより設定できない項目は、グレーで表示されます。
❍ MENUボタンを押すと、メニューはいつでも終了します。

日時を設定する

はじめてお使いになる場合や、内蔵リチウム2次電池が放電した場合には、画面に「エリア／日時を設定してください」の表示が出ます。日付／時刻を設定する前に、世界時計のエリアを設定してください。

世界時計のエリアを選ぶ

1 MENUボタンを押す

- メニューが出ます。

2 「システム設定」を選ぶ

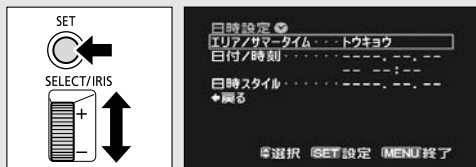
① SELECTダイヤルを回して、選択枠を「システム設定」に合わせます。
② SETボタンを押すと、「システム設定」サブメニューが出ます。

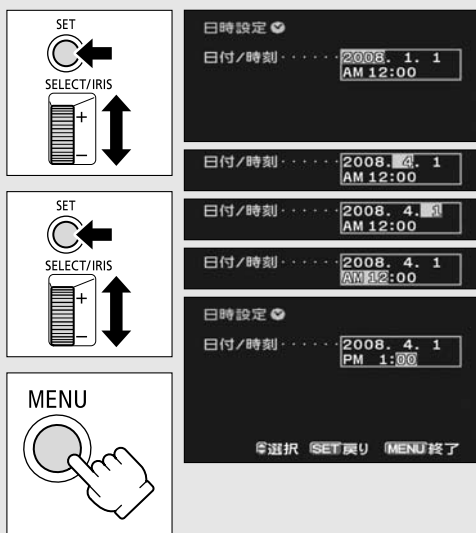
3 「日時設定」を選ぶ

① SELECTダイヤルを回して、選択枠を「日時設定」に合わせます。
② SETボタンを押すと、日時設定サブメニューが出ます。
③ SELECTダイヤルを回して、「エリア/サマータイム」を選び、SETボタンを押します。
④ SETボタンを押すと、「エリア/サマータイム」だけの表示になります。
- はじめてお使いになる場合は「トウキョウ」が最初に表示されます。

⑤ SETボタンを押すと、「日時設定」サブメニューに戻ります。

日付／時刻を設定する

4 「日付／時刻」を選ぶ

① SELECTダイヤルを回して、選択枠を「日付/時刻」に合わせます。
② SETボタンを押すと、「日付/時刻」だけの表示になります。

5 日付と時刻を設定する

例：2008年4月1日午後1時00分に設定する

① SETボタンを押して、項目を選びます。選んだ項目が点滅します。
押すたびに、年→月→日→時→分と項目が変わります。
② SELECTダイヤルを回して、数字を選びます。

①と②の操作をくり返して設定します。

③ 時報に合わせて、MENUボタンを押します。内蔵時計が動き始めます。

撮影時に日時を表示する

本機では、撮影中に現在の日時を画面の左下に表示できます。

① MENUボタンを押す
②「表示設定」➤「ガイド」➤「日時表示」を順に選ぶ
● SELECTダイヤルを回して項目を選び、SETボタンを押して設定します。
③ MENUボタンを押す

本機を3ヶ月近く使わないでおくと、内蔵の充電式リチウム電池が放電して日付／時刻の設定が解除されることがあります。その場合、内蔵のリチウム電池を充電してから設定し直してください（🕮 185）。

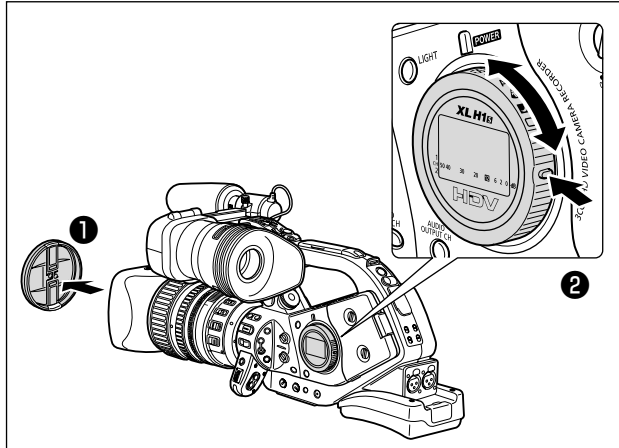
撮影

撮影する前に
必ず事前にためし撮りをし、正常に録画・録音されていることを確認してください。大切な撮影の前には、市販の乾式のクリーニングカセットを使って、ビデオヘッドをきれいにしてください。

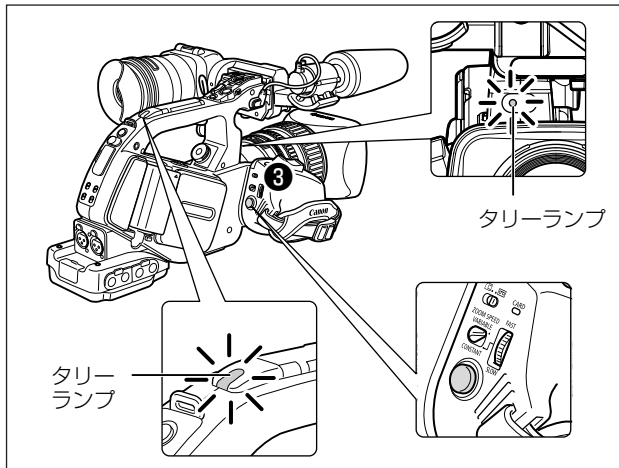
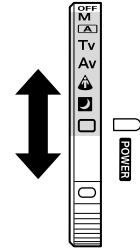
初期設定では、記録規格はHDVになっています。

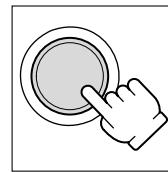
TAPE	CARD

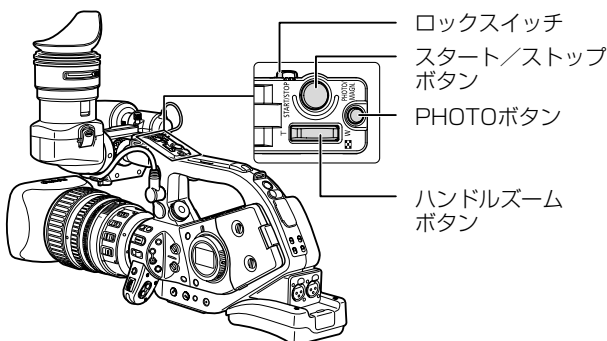
VCR/PLAY	M	A	Tv	Av			

・「音声の記録」については、59ページをご覧ください。

❶ レンズキャップをはずす

❷ ボタンを押しながらメインダイヤルをカメラモードにする

● 電源ランプが点灯する。
● 撮影が一時停止になる。

❸ スタート／ストップボタンを押す

● 撮影が始まる。
● タリーランプとファインダーのRECランプ（🕮 40）が点灯します。

ローアングル撮影

本機にはローアングル撮影用に、ハンドル上部にスタート／ストップボタン、ハンドルズームボタン、PHOTOボタンがあります。
ロックスイッチを LOCK 方向にスライドさせると、これらのボタンは無効になりますので誤操作を防止できます。

撮影一時停止

スタート／ストップボタンを押す

撮影が終わったら

❶ メインダイヤルを「OFF」にする

❷ レンズキャップを取り付ける

❸ カセットを取り出す

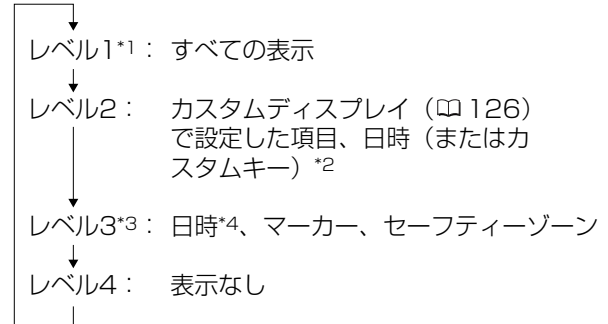
❹（画面が消灯したのを確認して）バッテリーパックを取りはずす

● STANDBY（スタンバイ）ボタン
撮影一時停止またはVCRストップ時に1秒以上押すとパワーセーブモードになり（ファインダーに「パワースタンバイします」の表示が出ます）、電源が切れます。もう一度押すと電源が入ります。
メインダイヤルと異なり、露出ロックの入／切、カラーバーの選択、入／切はそのまま保持されます。

● 5分タイマー
通常、撮影一時停止が約4分30秒間続くと、テープとヘッドの保護のためVCRストップになります。
*さらに本機を操作しない状態が約30秒間続くと、電源が切れます。
この機能を使用しない場合は「システム設定」サブメニューの「パワーセーブ」で設定をしてください（🕮 160）。
「パワーセーブ」が「切」の場合、カメラ部は電源が入っていますので、絞りやシャッタースピードなどカメラ部の設定をそのまま続けて行えます。
この状態から撮影をするときは、スタート/ストップボタンを押してください。撮影一時停止にするときは、カスタムキーの「VCRストップ」ボタンを押してください（🕮 92）。
「パワーセーブ」で「入」を選んでいて電源が切れた場合は、STANDBYボタンを押すか、メインダイヤルを一度「OFF」にしてからカメラモードに戻し、電源を入れなおしてください。
*5分タイマー自体は解除できません。

● VCRストップ
カメラメニューの「システム設定」サブメニューで、「カスタムキー1」または「カスタムキー2」を「VCRストップ」に設定することで、カメラ部に電源を入れたまま、レコーダー部だけを任意に停止させることができます（🕮 92）。
VCRストップを設定したカスタムキーを押すことで5分タイマーに制限されずに、カメラ部の設定などを行えます。
撮影するときは、カスタムキーをもう一度押して、撮影一時停止にしてください。

● EVF DISPLAY ボタン
このボタンを押すたびに撮影時の画面表示が下記のように変わります。

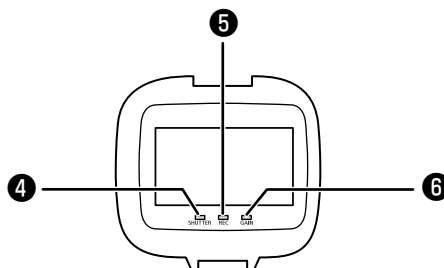
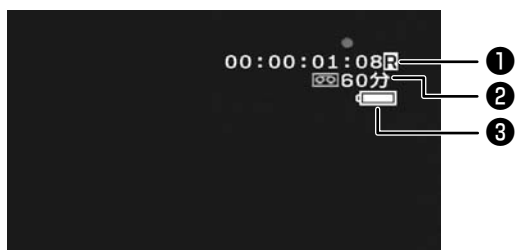
レベル1[*1]：	すべての表示
↓ レベル2：	カスタムディスプレイ（🕮 126）で設定した項目、日時（またはカスタムキー）[*2]
↓ レベル3[*3]：	日時[*4]、マーカー、セーフティーゾーン
↓ レベル4：	表示なし

*1 「システム設定」サブメニューの「ALL DISPLAY」を「無」にすると表示しません。
*2 カメラメニューの「表示設定」サブメニューの「ガイド」を「日時表示」に設定すると日時が表示され、「カスタムキー」にするとカスタムキーに割り当てられている内容が表示されます。
*3 日時、マーカー、セーフティーゾーンのいずれかが表示されているときのみレベル3になります。
*4 「表示設定」サブメニューの「ガイド」を「日時設定」にすると表示されます。
● 接続したモニターTVなどに出る表示も同じになります（オンスクリーン機能）。

同じテープにHDV/DV規格の撮影部分が混在していると、日付サーチ、インデックスサーチ、エンドサーチが正しく動作しないことがあります。できるだけ混在させないことをおすすめします。

❍ カセットを入れた直後は、テープカウンターが完全に止まってから、撮影を始めてください。
❍ 長時間使用しないときは、メインダイヤルを必ず「OFF」にしてください。
❍ カセットを取り出さなければ、電源を切っても、次の場面をきれいにつないで撮影できます。

撮影編

次のページへ

撮影中のファインダー表示

①タイムコード（📖 54）

②テープ残量と"📼END"の点灯

テープ残量を「分」単位で表示します。
撮影中／再生中にテープが終端になると「📼END」が点灯し、停止状態になります。

- 撮影時間が15秒以下のときは残量表示が出ないことがあります。
- テープの種類によっては、正しく表示されないことがありますが、テープに記載された時間分（「85分」など）の撮影ができます。

③バッテリーパックの残量表示

バッテリーパックの残量の目安を表示します。

- バッテリーパックが消耗すると「」が赤く点滅します。充電したバッテリーパックと交換してください。
- 消耗したバッテリーパックを装着すると、電源が入らなかったり、「」が出ずに切れたりすることがあります。
- 実際の残量と表示内容はビデオカメラ、バッテリーパックの状態により必ずしも一致しません。

④SHUTTERランプ

下記のシャッタースピード以外のときに点灯します。

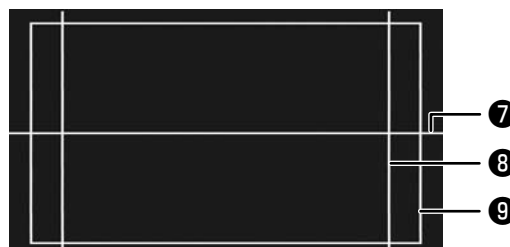
フレームレート	シャッタースピード
60i	1/60秒
30F	1/60秒
24F	1/48秒
カードカメラモード	1/60秒

⑤RECランプ

撮影中に点灯します。テープの録画可能時間が5分以下になると、点滅し、テープ終端になると消灯します。

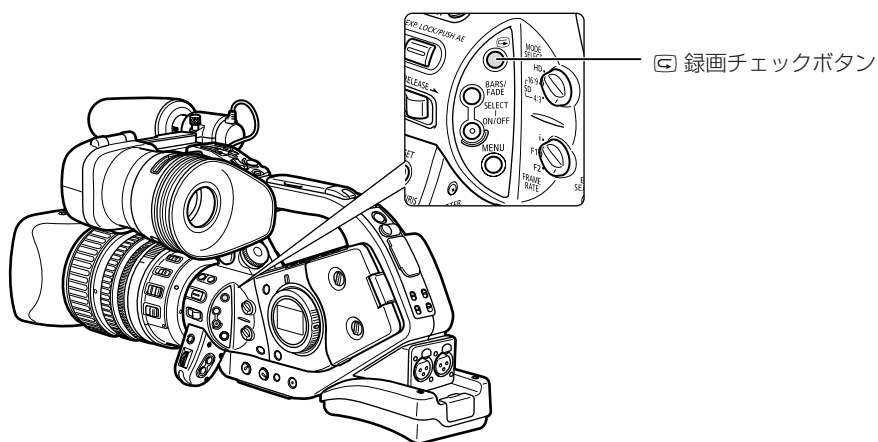
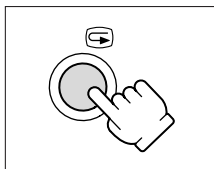
- テープの残量表示が出ないときは、RECランプは点滅しません。

⑥GAINランプ

AGC（オートゲインコントロール）が+3dB以上または−3dBになると点灯します。

⑦⑧⑨ マーカー表示

メニューでマーカー、アスペクトマーカー、セーフティーゾーンの表示を設定できます（📖 159）。

テープに撮影した画像を確認する（録画チェック）

撮影した場面を再生して、撮り直しや続けて撮影したい場面を探せます。

TAPE	CARD

録画チェック

撮影一時停止中

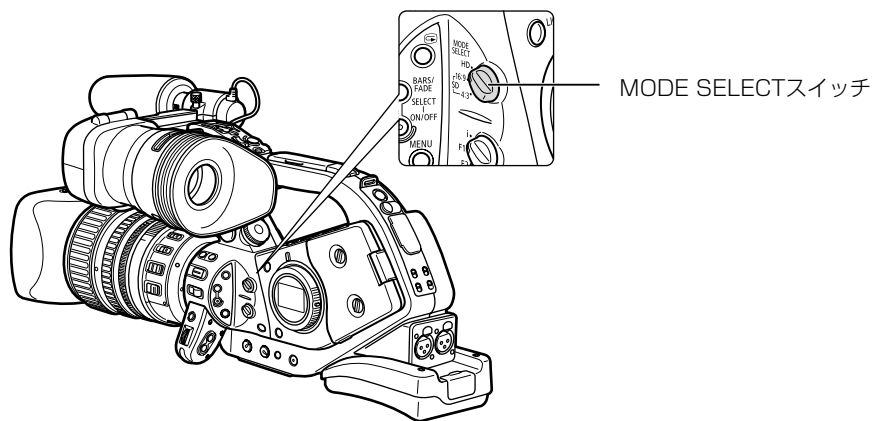
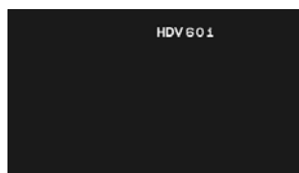
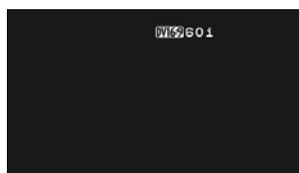
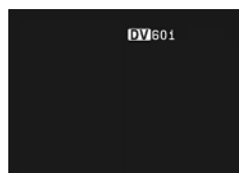
録画チェックボタンをポンと押す

撮影した最後の場面（約3秒間）が再生され、撮影一時停止に戻ります。

現在の信号規格と、テープに記録されている信号規格が異なる場合は、映像が正しく再生されません。

信号規格とアスペクト比を選ぶ

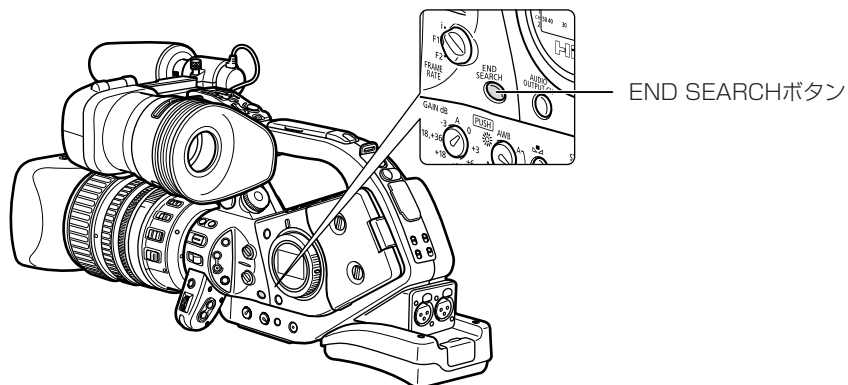
撮影画質と画面比率を選択することができます。
HDV記録するときやHDカメラとして使用するときはMODE SELECTスイッチを「HD」に、DV記録するときやSDカメラとして使用するときはMODE SELECTスイッチを「SD16:9」または「SD4:3」に設定します。画面は16:9対応ですので、「SD4:3」にすると、映像は画面中央に表示され、左右は黒帯になります。

TAPE | CARD | VCR/PLAY | M | A | Tv | Av

❍ 設定した信号規格は画面では以下のように表示されます。

HDのとき　SD16:9のとき　SD4:3のとき

❍ カスタムファンクションで「LED」を「TYPE1」または「TYPE2」に設定していると、MODE SELECTスイッチの回りが青く点灯します。
❍ 撮影中はMODE SELECTスイッチを操作しても、アスペクト比は切り換りません。撮影一時停止になったときに切り換ります。
❍ 16:9で撮影した動画を再生するとき、ビデオID-1方式対応のテレビにつなぐと、自動的にワイド画面に切り換わります。切り換わらない場合は、テレビ側でワイド画面に切り換えてください。接続するテレビが通常のテレビ（4:3）の場合は「レターボックス出力」を「入」に設定してください。（🕮 99）
❍ 4：3撮影時に、別売のレシオコンバーターRC-72を取り付けることで、焦点距離を0.8倍にできます（RC-72に対応したXLレンズ装着時のみ）。

エンドサーチ

最後に撮影した場面から続けて撮影したいときに使います。

TAPE | CARD | VCR/PLAY | M | A | Tv | Av

1 END SEARCHボタンを押す

- 「➜I」の表示が出ます。
- テープが早送り／巻戻しされ、最後に撮影した場面が数秒間再生された後に停止します。
- エンドサーチ中にもう一度ボタンを押すと中止します。

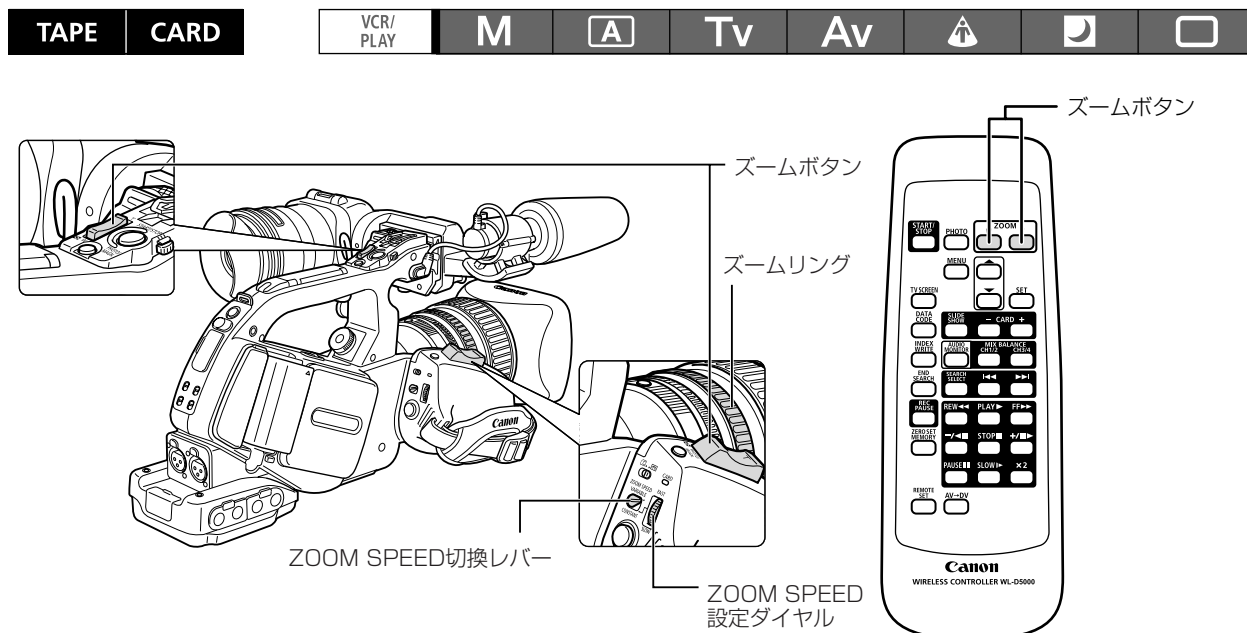
❍ 一度テープを取り出すと、エンドサーチは使用できません。
❍ テープの途中に未記録部分があると、エンドサーチが正しく働かないことがあります。
❍ 同じテープにHDV/DV規格の撮影部分が混在していると、エンドサーチが正しく動作しないことがあります。

ズーム

本機では、グリップ部、ハンドル部の2箇所にズームボタンがあり、さらに、レンズのズームリング、リモコンのズームボタンでも操作できます。

- レンズのズームリングの操作方向、レスポンス（ノーマル/スロー/ファースト）、ズームスピード、ズーム表示をカスタムファンクションで設定できます（📖 123）。

TAPE | CARD　　VCR/PLAY | M | A | Tv | Av

ズームボタン
ズームボタン
ズームリング
ZOOM SPEED切換レバー
ZOOM SPEED
設定ダイヤル

ズームスピードについて

- グリップ部のズームボタンのズームスピードは、ZOOM SPEED切換スイッチがVARIABLEのときは、ズームボタンの押しかたで変化します。軽く押すと低速ズームになり､押し込むと高速ズームになります。CONSTANTでは、ダイヤルをFAST→方向に回すと高速ズーム（ズーム表示の右の数字が大きくなる）に、逆方向に回すと低速ズーム（ズーム表示の右の数字が小さくなる）になります。
  HD 20X L ISⅢレンズの場合のズームスピード（ワイド端～テレ端まで）
  VARIABLE：　約1.2[*2]秒～約5分
  CONSTANT：表示1の場合：約60秒（FAST時[*1]）
  　　　　　　表示16の場合：約1.2[*2]秒（FAST時[*1]）
  [*1] CONSTANTのズームスピードは、カスタムファンクションのZOOM SPEEDで、スロー（5分～4.3秒)、ノーマル（3分から2秒)、ファースト（1分～1.2[*2]秒）を切り換えられます。また、動画の全自動モードのときはNORMALに固定され、静止画モードのときはFASTに固定されます。
  [*2] ズームスピードが2秒未満の場合、ズーム中にオートフォーカスが合いにくくなることがあります。
- レンズのズームリングはゆっくり回すと低速ズームに、早く回すと高速ズームになります。
- ハンドル部のズームスピードは一定ですが、ZOOM SPEED切換スイッチをCONSTANTにし、ZOOM SPEEDで選んだズームスピードになります。
- 付属のリモコンのズームスピードは一定です。

ズームのないレンズ使用時は、画面にズーム表示は出ません。

ズームプリセット（ズームプリセット機能を搭載したレンズ使用時）

プリセットしたズーム位置に戻ります。

ズーム位置をプリセットする

TAPE | CARD　　VCR/PLAY | M | A | Tv | Av

1 POSITION PRESETスイッチを「ZOOM」にする

2 ON/SETスイッチを「SET」にする

- 「SET」にしたときのズーム位置がプリセットされ、ズーム表示のプリセットした位置が黄色で表示されます。

プリセットしたズーム位置に戻る

1 ON/SETスイッチを「ON」にする

- ズームがプリセットした位置に戻ります。

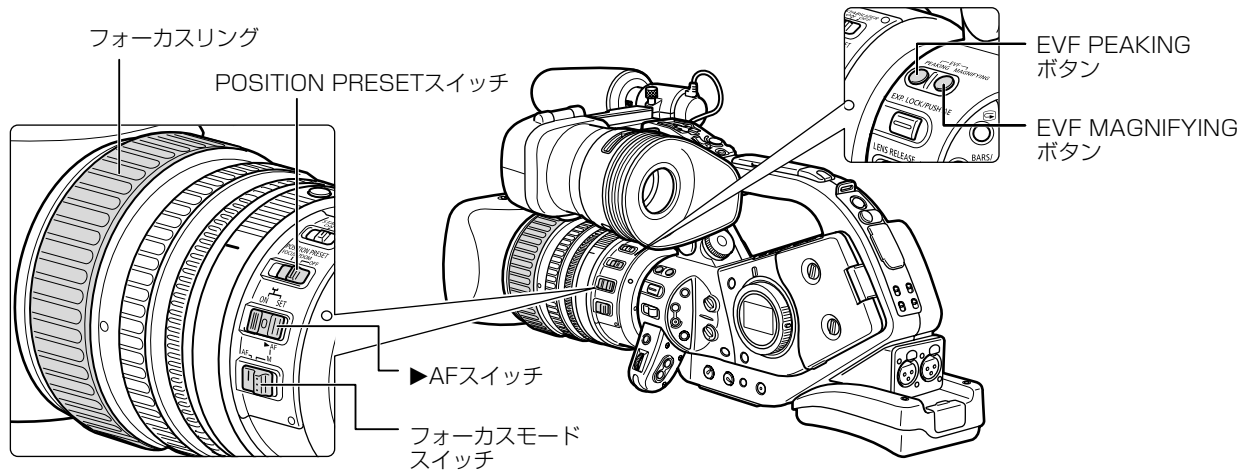
❍ ズームプリセット設定後に、エクステンダーXL 1.6Xを取り付けたり、ズーム倍率の異なるレンズを取り付けると、ズームプリセットはリセットされます。
❍ ZOOM SPEED切換スイッチをCONSTANTにして設定したズームスピードで、プリセットしたズーム位置に戻ります。

フォーカス

本機のピント合わせにはオートフォーカスとマニュアルフォーカスがあり、オートフォーカスには、通常のオートフォーカスとプッシュAFがあります。
マニュアルフォーカス時のレンズのフォーカスリングの操作方向とレスポンス（ノーマル/スロー/ファースト）を、カスタムファンクションで設定できます（□ 123）。
また、マニュアルフォーカス時にピントを合わせやすくするためのピーキング（輪郭強調）表示と拡大表示機能があります。

● その他のレンズについては、お使いになるレンズの使用説明書をご覧ください。

TAPE	CARD

VCR/PLAY	M	A	Tv	Av			

オートフォーカス

本機のオートフォーカスには、通常のオートフォーカスとプッシュAFの2種類があります。

❶ 通常のオートフォーカス

レンズのフォーカスモードスイッチがAFのときに機能します。
TTL方式のオートフォーカスで2cm（ワイドの端、レンズ先端から）～∞（無限遠）までの被写体に自動的にピントを合わせます。
ファインダーの中央部にある被写体にピントが合います。
オートフォーカス中でも、フォーカスリングを回すと、操作している間だけマニュアルフォーカスになります。操作をやめるとオートフォーカスに戻ります。ガラス越しに撮影するときなどに便利です。

❷ プッシュAF（HD 20X L IS Ⅲ レンズ使用時）

マニュアルフォーカスでPOSITION PRESETがOFFの時に、「▶AFスイッチ」を▶AF側に押している間だけ、オートフォーカスが動作します。

晴れた日の屋外など、明るいシーンを撮影するときは、絞りが絞り込み、小絞りによるボケが生じます。このボケは、テレ側よりワイド側の方が被写体が小さく撮影されるため目立ちます。
NDフィルターが内蔵されているレンズを使用するときは、カメラの警告指示に従って、NDフィルターを入／切してください。

- ❍ Avモードで、被写界深度を考慮すると、より効果的に撮影できます。背景を大きくぼかして被写体を引き立たせたいときには絞り値を小さく設定します。
  被写体とその前後、または近くのものから遠くのものまでピントを合わせたいときには、絞り値を大きく（F8〜F9.5など）設定します。
- ❍ フレームレートを30Fまたは24Fに設定していると、60iよりもフォーカスが合うまで若干時間がかかります。
- ❍ 暗い室内などで撮影するときは、絞りが開き、ピントの合う範囲が非常に狭くなります。このため、特に奥行きのある被写体を撮影すると、全体にボケたような画像に見えることがあります。
- ❍ オートフォーカスではピントの合いにくい被写体
  - ・ 輝いたり、強い光が反射している
  - ・ 白い壁など、明暗の差がない
  - ・ 動きが速い
  - ・ 水滴や汚れのついたガラス越し
  - ・ 夜景

撮影編

マニュアルフォーカス

操作のしかた

TAPE CARD | VCR/PLAY | M | A | Tv | Av | | |

1 オートフォーカス機能のあるレンズでは、レンズのフォーカスモードスイッチをMにする

- MF 表示が出る。
- オートフォーカス機能のないレンズ使用時は、MF表示は出ない。

2 ズームを操作してテレ端にする

3 フォーカスリングを回してピントを合わせる

- レンズのフォーカスリングの操作方向は、カスタムファンクションで設定できます（□ 123）。

4 ズームを操作して被写体を撮りたい大きさにする

- テレ端でピントを合わせておくと、そのままズーム全域でピントの合った撮影ができます。
- マニュアルフォーカス時に電源を入れた状態で放置するとピントがぼける場合があります。これはレンズおよびカメラ内部の温度上昇によりピント面がわずかですが移動するためです。
  撮影を開始する前に再度ピントを確認してください。
  または、フランジバックの調整をしてください（□ 28）。

次のページへ

フォーカス…つづき

❍ ▢（全自動）モードでは、マニュアルフォーカスは選択できません。フォーカスモードスイッチを「M」にしても、マニュアルフォーカスは選択できません。オートフォーカスになります。
❍ HDV対応レンズを使用しているときは、マニュアルフォーカス時には被写体とのフォーカス距離情報を表示します（フォーカスプリセット時も表示します）。AFからマニュアルフォーカスに切り換えたときと、フォーカスリングを操作したあと約3秒間表示します（表示のしかたは、カスタムファンクションで設定できます 🕮 124）。表示単位はメートルとフィートから選択できます。
❍ エクステンダーXL1.6×装着時は、フォーカス距離情報は表示しません。
❍ 距離情報は、目安としてお使いください。
∞－：超無限、∞：無限。距離表示の精度が低いズーム域では、グレー表示になります。
❍ ズーム操作中にマニュアルフォーカス操作を行うことができます。AFモードのときは、マニュアルフォーカス後にオートフォーカスに戻ります。

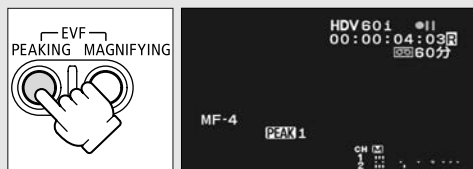
フォーカスアシスト機能（ピーキング/拡大表示）

ピントを合わせやすくするためにピーキング（輪郭強調）表示と拡大表示ができます。この2つを組み合わせることでよりピントを合わせやすくなります。また、フォーカスアシスト機能使用時に、画面を自動的に白黒表示にするように、カスタムファンクションで設定できます（🕮 124）。

- EVF2（外部モニター/ファインダー接続用）端子に接続したモニター/ファインダーには、ファインダーと同じ画面が表示されます。

ピーキング

撮影中、撮影一時停止中

1 EVF PEAKINGボタンを押す

- 画面に PEAK1 または PEAK2 が表示され、輪郭が強調されます。
- ボタンを押すたびに、OFF→PEAK1→PEAK2→OFFが切り換わります。
- ピーキングの周波数とゲインは2種類まで設定できます。

❍ ピーキング表示はテープやカードに記録する動画/静止画に影響しません。
❍ ピーキングの周波数とゲインは、「表示設定」サブメニューの「ピーキング調整」で設定できます。

拡大表示

撮影一時停止中

1 EVF MAGNIFYINGボタンを押す

- 画面の中心部が約2倍に拡大されます。

2 もう一度EVF MAGNIFYINGボタンを押すと解除されます。

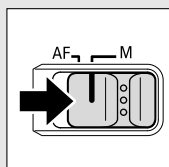
❍ 拡大表示は、HD/SD SDI端子（XL H1S）、HDV/DV端子にそのまま出力されます。また、拡大表示の映像をテープに記録するときは、カスタムファンクションの「CUSTOM REC」で設定します。拡大表示をテープに記録しない設定の場合や静止画をカードに記録する場合は、撮影を開始すると拡大は解除されます。
❍ EVF MAGNIFYINGボタンは、誤操作を防ぐためにカスタムキー（📖 92）やメニュー（📖 160）で無効にできます。また、ボタンの押しかたをカスタムファンクションで設定できます（📖 123）。

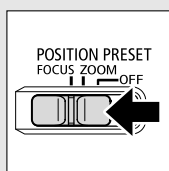
フォーカスプリセット（フォーカスプリセット機能を搭載したレンズ使用時）

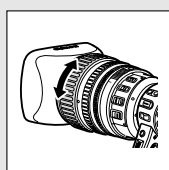
プリセットしたフォーカス位置に、フォーカスを合わせます。フォーカスを合わせるスピードはメニューで選択できます。

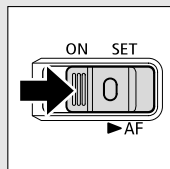
フォーカス位置をプリセットする

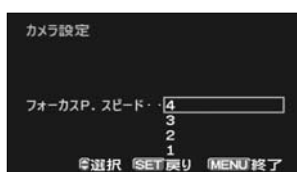
TAPE | CARD　VCR/PLAY | M | A | Tv | Av | ⛺ | ☽ | ▢

1 フォーカスモードスイッチを「M」にする

● MF表示が出る。

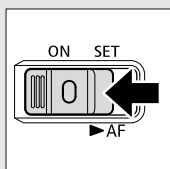
2 POSITION PRESETスイッチを「FOCUS」にする

● 設定しているフォーカスP.スピード表示が出る。

3 フォーカスリングを操作して、フォーカスを合わせる

フォーカス…つづき

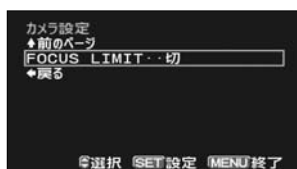
4 ON/SETスイッチを「SET」にする

- 「SET」にしたときのフォーカス位置がプリセットされ、黄色い文字に変わります。

フォーカスプリセットのスピードを選ぶ

① MENUボタンを押す
②「カメラ設定」➤「フォーカスP.スピード」➤ 設定内容を順に選ぶ
　・ SELECTダイヤルを回して「4（最も速い）」から「1（最も遅い）」のいずれかを選び、SETボタンを押して設定します。
③ MENUボタンを押す

プリセットしたフォーカス位置に戻る

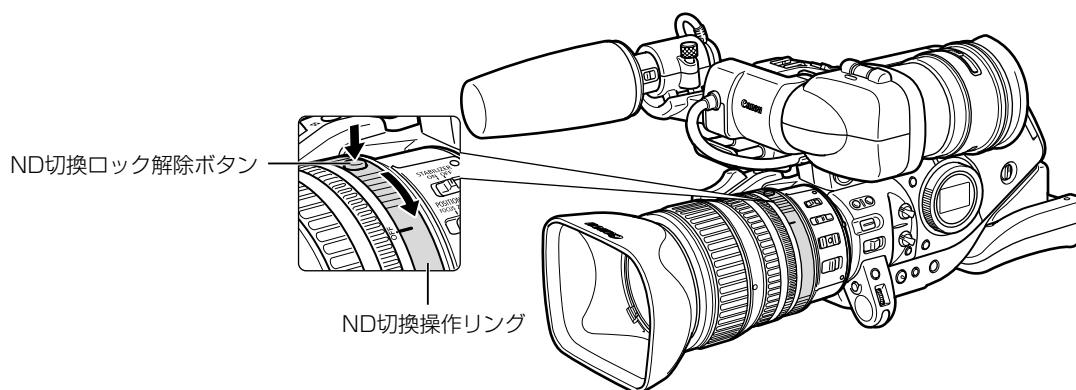
1 ON/SETスイッチを「ON」にする

- フォーカスがプリセットした位置に合って固定されます。

マクロ撮影（フォーカスリミット）

フォーカスリミットを「切」にすると2cm（ワイド側）〜∞の範囲でマクロ領域を含むフォーカス操作ができ、「入」にすると1m〜∞（テレ〜ワイド全域）の範囲でフォーカス操作ができます（HD 20X L ISⅢレンズの場合）。

① MENUボタンを押す
②「カメラ設定」➤「FOCUS LIMIT」➤設定内容を順に選ぶ
　・ SELECTダイヤルを回して「入 F.LMT」または「切」を選び、SETボタンを押して設定します。
③ MENUボタンを押す

次の場合はフォーカスリミットは無効になります。
・装着したレンズにマクロ撮影用の切り換えスイッチがある場合。
・装着したレンズがカメラ本体からのマクロ選択に対応していない場合。
・レンズが装着されていない場合。

NDフィルター（NDフィルター内蔵レンズ使用時）

晴れた日の屋外など、明るいシーンを撮影するときに、絞りが絞り込み、小絞りによるボケ[*1]が生じます。
このようなとき、NDフィルターを使用すると、このボケを防ぐことができます。
NDフィルターが内蔵されているレンズを使用するときは、以下の警告表示に従って、NDフィルターを入／切してください。

HD 20X L ISⅢレンズの場合は、ND切換ロック解除ボタンを押しながら、ND切換操作リングを回します。
撮影モードをマニュアル以外にして、ゲインをAUTO（オート）にしたときに、NDフィルター警告表示が出ます。

表示	表示内容	操作
表示なし	内蔵NDフィルターが入っていない	―――
“ND”点灯[*3]	内蔵NDフィルターが入っている	―――
“ND ON”点滅	内蔵NDフィルターが必要	レンズ内蔵のNDフィルターを使用する
ND“ON”点滅	内蔵NDフィルターが入／切のレンズの場合：外付けのNDフィルターが必要 内蔵NDフィルターの濃度を選択できるレンズの場合：より濃いNDフィルターまたは外付けのNDフィルターが必要	より濃い内蔵フィルターを使うか、 レンズにNDフィルターを装着する[*2]
ND“OFF”点滅	内蔵NDフィルターは不要	レンズ内蔵のNDフィルターを使用しない
“ND”点滅（赤色）	内蔵NDフィルターの位置が適正でない	ND FILTERスイッチを適切な位置にする

*1　小絞りによるボケとは
屋外などの明るい場所で撮影すると、光の量を調整するために絞りが閉じてゆき絞り径が極端に小さくなったときに、ボケが生じることがあり、この現象を小絞り回折、または小絞りによるボケと呼びます（使用するレンズの種類によりボケが発生する絞り径は異なります）。
- NDフィルターを入れたり、シャッターを高速にして光の量を減らすと絞りが開き、ボケを防ぐことができます。

*2　外付けNDフィルターがない場合には Tvモードでシャッタースピードを速めに設定するか、Avモードで絞りを絞ってください。

*3　NDフィルターのないレンズ使用時は表示されません。

シーンによってはNDフィルターを入／切するとわずかに発色が変化する場合があります。このような場合はホワイトバランスをセットして撮影すると効果的です（📖80）。

撮影編

フレームレートを選ぶ

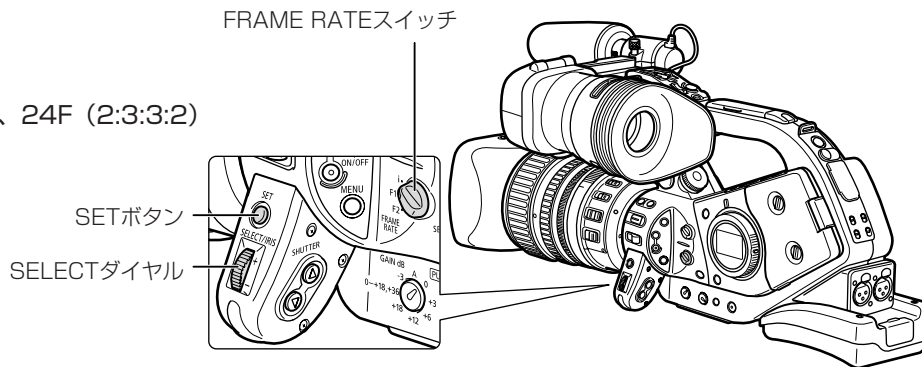
本機ではフレームレートを選択できます。

HD

60i、30F、24F（2:3）

SD

60i、30F、24F（2:3）、24F（2:3:3:2）

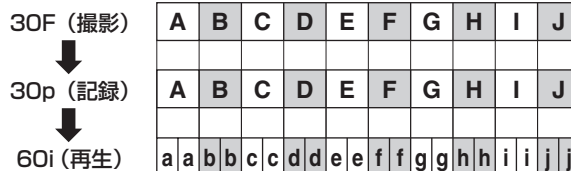
TAPE | CARD | VCR/PLAY | M | A | Tv | Av

60iモード

60フィールドインターレースで記録します。
通常のテレビ信号と同じです。

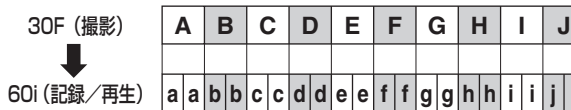
30Fモード

HD

HDV規格に準拠した30コマ/秒のプログレッシブモードで記録します。30コマ/秒の映像を60フィールドインターレース信号に変換し出力します。（HDV/DV端子からは30pの信号で出力されます）

<table>
<tr><td>30F（撮影）</td><td colspan="2">A</td><td colspan="2">B</td><td colspan="2">C</td><td colspan="2">D</td><td colspan="2">E</td><td colspan="2">F</td><td colspan="2">G</td><td colspan="2">H</td><td colspan="2">I</td><td colspan="2">J</td></tr>
<tr><td>30p（記録）</td><td colspan="2">A</td><td colspan="2">B</td><td colspan="2">C</td><td colspan="2">D</td><td colspan="2">E</td><td colspan="2">F</td><td colspan="2">G</td><td colspan="2">H</td><td colspan="2">I</td><td colspan="2">J</td></tr>
<tr><td>60i（再生）</td><td>a</td><td>a</td><td>b</td><td>b</td><td>c</td><td>c</td><td>d</td><td>d</td><td>e</td><td>e</td><td>f</td><td>f</td><td>g</td><td>g</td><td>h</td><td>h</td><td>i</td><td>i</td><td>j</td><td>j</td></tr>
</table>

SD

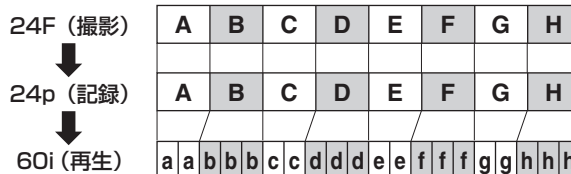
30コマ/秒の映像信号を60フィールドインターレース信号に変換して記録します。

<table>
<tr><td>30F（撮影）</td><td colspan="2">A</td><td colspan="2">B</td><td colspan="2">C</td><td colspan="2">D</td><td colspan="2">E</td><td colspan="2">F</td><td colspan="2">G</td><td colspan="2">H</td><td colspan="2">I</td><td colspan="2">J</td></tr>
<tr><td>60i（記録／再生）</td><td>a</td><td>a</td><td>b</td><td>b</td><td>c</td><td>c</td><td>d</td><td>d</td><td>e</td><td>e</td><td>f</td><td>f</td><td>g</td><td>g</td><td>h</td><td>h</td><td>i</td><td>i</td><td>j</td><td>j</td></tr>
</table>

24Fモード

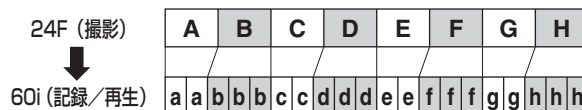
24Fではフィルムカメラと同じ24コマ/秒のプログレッシブモードで記録するため、映画のような映像表現になります。

HD

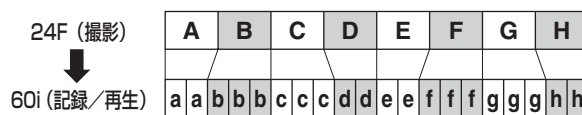
撮影/記録はHDV規格に準拠した24コマ/秒のプログレッシブモードになり、HDV/DV端子からは24pの信号で出力されます。HD/SD SDI 端子（XL H1S）、コンポーネント端子からは2:3プルダウン方式で60iに変換して出力されます。

<table>
<tr><td>24F（撮影）</td><td>A</td><td>B</td><td>C</td><td>D</td><td>E</td><td>F</td><td>G</td><td>H</td></tr>
<tr><td>24p（記録）</td><td>A</td><td>B</td><td>C</td><td>D</td><td>E</td><td>F</td><td>G</td><td>H</td></tr>
<tr><td>60i（再生）</td><td>a a</td><td>b b b</td><td>c c</td><td>d d d</td><td>e e</td><td>f f f</td><td>g g</td><td>h h h</td></tr>
</table>

24F（2:3）モード

24コマ/秒の映像信号を「2:3プルダウン」方式で60フィールドインターレース信号に変換して出力します。
編集する際、フレームの抽出で一部映像の伸張・圧縮が必要になります。
テレビでの再生に適しています。

24F（撮影）	A		B			C		D			E		F			G		H		
60i（記録／再生）	a	a	b	b	b	c	c	d	d	d	e	e	f	f	f	g	g	h	h	h

24F（2:3:3:2）モード

24コマ/秒の映像信号を「2:3:3:2プルダウン」方式で60フィールドインターレース信号に変換して出力します。
3:3で接する部分の映像（右図bc、fg）を捨てるだけで、編集が可能なため、画質劣化のない編集が可能で、編集に適しています。

24F（撮影）	A		B			C			D		E		F			G			H	
60i（記録／再生）	a	a	b	b	b	c	c	c	d	d	e	e	f	f	f	g	g	g	h	h

フレームレート（60i、30F、24F）を選ぶ

FRAME RATEスイッチで選ぶ
i：60iモード
F1：30Fモード
F2：24Fモード

● 選んだフレームレートが表示されます。

撮影中はFRAME RATEスイッチを操作しても、フレームレートは切り換りません。撮影一時停止になったときに切り換ります。

24F（2:3）モードと24F（2:3:3:2）モードを選ぶ SD

① MENUボタンを押す
②「カメラ設定」➤「24Fプルダウン」➤ 設定内容を選ぶ
・ SELECTダイヤルを回して項目を選び、SETボタンを押して設定します。
③ MENUボタンを押す
・ 24F（2:3）を選んだときには、「24F」が白色で、24F（2:3:3:2）を選んだときには、「24F」がオレンジ色で出ます。

❍ 2:3:3:2方式に対応していない編集システムの場合、24F 2:3で撮影してください。
❍ HDV 24p、30pで記録されたテープは、対応機器でのみ再生可能です。
❍ HDV 24p、30pで記録されたテープは、対応編集ソフトのみで編集可能です。 詳細は編集ソフトメーカーにお問い合わせください。

タイムコードを設定する

TAPE | CARD　　VCR/PLAY | M | A | Tv | Av

フレーム設定を選択する

SDの24F以外ではドロップフレームとノンドロップフレームが選択できます。

①MENUボタンを押す
②「信号設定」➤「タイムコード」➤「フレーム設定」➤ 設定内容を順に選ぶ
・SELECTダイヤルを回して項目を選び、SETボタンを押して設定します。
③MENUボタンを押す
・ノンドロップフレームを選んだときやSDで24Fを選んだときは、液晶表示パネルにNDFが出ます。

カウントアップの方式を選択する

SDの24F以外では「レックラン」、「レックランプリセット」と「フリーラン」が選択でき、SDの24Fでは「レックラン」、「レックランプリセット」が選択できます。「レックラン」では、本機のテープに記録している間だけ、タイムコードが歩進します。「フリーラン」では、本機の操作に関係なく、タイムコードが歩進します。「レックランプリセット」および「フリーラン」では、スタート値を任意に設定できます。

1 カウントアップ方式を選ぶ

①MENUボタンを押す
②「信号設定」➤「タイムコード」➤「カウントアップ方式」➤ 設定内容を選ぶ
- SELECTダイヤルを回して項目を選び、SETボタンを押して設定します。
- 「レックラン」を選んだ場合はMENUボタンを押します。
- 「レックランプリセット」、「フリーラン」を選んだ場合はスタート値のセット／リセット選択画面が出ます。

2 「レックランプリセット」または「フリーラン」を選んだ場合：

「セット」を選ぶ

- SELECTダイヤルを回して項目を選び、SETボタンを押して設定します。
- スタート値設定画面が出ます。

3 スタート値を設定する

- SELECTダイヤルを回して数字を選び、SETボタンを押して設定します。
- MENUボタンを押す。

タイムコード表示

レックラン設定時：R
レックランプリセット設定時：P（白）（タイムコード青色表示）
フリーラン設定時：F（タイムコード青色表示）
タイムコード外部入力時：E（タイムコード青色表示）
タイムコードホールド時：H
再生時：なし

❍「フリーラン」を選んでいる場合は、設定の途中でMENUボタンを押したとき、または最後の桁を設定してSETボタンを押したときにタイムコードが歩進します。
❍ タイムコードを「00：00：00：00」にリセットするときは、手順2でリセットを選んでください。
❍ タイムコードのフレームはSDの24Fでは5の倍数の設定になります。60i、30Fでタイムコードを設定していたときに、SDの24Fに変更すると自動的にスタート値が5の倍数になります。
❍ ドロップ、ノンドロップ（SDの24F含む）を混在させて録画すると、撮影開始時のタイムコードが不連続になることがあります。
❍ 重ね撮りする場合：記録開始位置付近にタイムコードの不連続があると、記録開始時のタイムコードが不連続になる場合があります。
❍ 内蔵2次電池が充電されていれば、バッテリーパックなどの電源がなくても、フリーランタイムコードは歩進します。

本機のタイムコードを外部同期させる XL H1s

本機のタイムコードを外部タイムコードジェネレーターに同期できます。また、TC IN端子に入力されるユーザービットをテープに記録することもできます（□58）。

GENLOCK

同期信号（アナログ・ブラックバースト信号または三値信号）をGENLOCK端子に入力すると、自動的に内部のV同期、H同期の位相を合わせます。

タイムコード入力

TC IN端子に入力されるLTC規格の信号を、タイムコードとしてテープに記録します。
TC IN端子にタイムコードと同時に入力されるユーザービットをテープに記録できます。

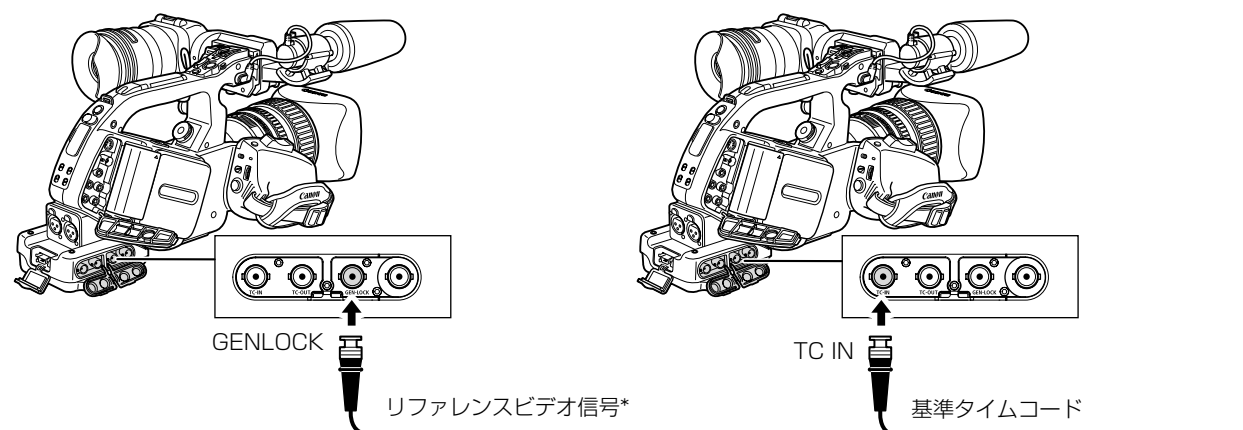
タイムコード出力

本機のタイムコードデータを、LTC規格の信号でTC OUT端子から出力します。
「信号設定」サブメニューの「SDI出力」を「入（OSD)」または「入」にすると、HD/SD SDI端子にタイムコードデータが出力されます。

	カメラモード＊	VCRモード	カードカメラモード	カードVCRモード
GENLOCK	○	×	○	×
タイムコード/ユーザービット入力	○	×	×	×
タイムコード出力	○	○	×	×

＊SDでフレームレートを24Fに設定しているときは、タイムコード入力はできません（液晶表示パネルのTC IN表示が消えます）。

接続のしかた

外部の信号にロックさせる場合

* リファレンスビデオ信号としては、HD-Y信号の他、NTSCコンポジットビデオ信号も入力可能です。

SDI出力を「入（OSD)」にすると画面に SDI が表示され、SDIから出力される映像信号に画面表示が重畳されます。

❍ タイムコードが入力されていると、「タイムコード」の「フレーム設定」と「カウントアップ方式」の設定内容は無視され、外部入力されるタイムコードのdropped frame bitになります。
（入力されるタイムコードがノンドロップフレームの場合は、液晶表示パネルにNDFが表示されます）
❍ GENLOCKが入力されると約10秒後に同期が安定します。GENLOCK端子からケーブルをはずすと、外部ロック状態は保持されません。
❍ タイムコードが入力されると本機のタイムコードが同期します。TC IN端子からケーブルをはずしても、外部ロック状態は保持されます。
・ケーブルを外した状態で以下の操作を行うと、タイムコードの値が遅れます。
- 電源の入/切
- VCR/PLAYモードの切り換え
- テープ/カードの切り換え
- 信号規格の切り換え
- フレームレートの切り換え
ケーブルを再度接続すると、正しいタイムコードに復帰します。
❍ タイムコードが入力されない、または不正な値が入力されているときは、「タイムコード」の「カウントアップ方式」の設定内容の内部タイムコードが記録されます。
❍ GENLOCK入力がない、または不正な入力状態になっているときは、入力されるタイムコードのテープへの記録が乱れることがあります。
❍ カメラモードで、SDの24Fの場合、タイムコードは入力できません。液晶表示パネルのTC IN表示も消えます。
❍ 本機がHDモードの時に、SDのGENLOCK信号が入力されたときはGENLOCKできます。本機がSDモードの時に、HDのGENLOCK信号が入力されたときはGENLOCKできません。
❍ GENLOCKは位相差0を中心として、約±0.4Hの範囲で調整可能です。
❍ MODE SELECTスイッチを「HD」に、「SDI 出力映像」を「SD固定」にしているとGENLOCKできません。
❍ 液晶表示パネルのGENLOCK表示は、位相同期が合うまでは点滅し、位相同期が合うと点灯します。
❍ 液晶表示パネルのTC-（IN OUT）表示は、タイムコードの入力、出力が可能であることを示しています。
❍ 入力されたタイムコードに本機がロックすると、液晶表示パネルにEXT LOCKが出ます。

ユーザービットを設定する

時刻、日付や16進数8桁までのユーザービットを設定してテープに記録します。
ユーザービットは0～9までの数字と、A～Fまでのアルファベットが設定可能です。
ユーザービットは自由に設定できますので、テープIDなどテープの管理に便利です。
また、タイムコードと同時にユーザービットを外部機器から入力している場合は、外部入力ユーザービットも記録できます（XL H1S）。

ユーザービットを設定する

1 項目を選ぶ

① MENUボタンを押す
②「記録設定」➤「UB選択」を選ぶ
- SELECTダイヤルを回して項目を選び、SETボタンを押して設定します。
- ユーザービット選択画面が出ます。
- 「00 00 00 00」を選んだときは、「UB設定」の「セット/リセット」選択画面になります。
「セット」を選ぶとUB設定画面になります。

2 ユーザービットを設定する

- SELECTダイヤルを回して数字、アルファベットを選び、SETボタンを押して設定します。続いて、右隣の桁の設定になります。最後の桁を設定して、SETボタンを押すとメニューに戻ります。

① MENUボタンを押す

❍ ユーザービットを「00 00 00 00」にリセットするときは、手順1- ②で「リセット」を選んでください。
❍ ユーザービットはカメラでの撮影、アナログ入力での録画で記録されます。HDV／DV入力での録画では自機設定のユーザービットは記録されません。

ユーザービットを表示する

TAPE | CARD | VCR/PLAY | M | A | Tv | Av

記録、再生するユーザービットを表示します。

① MENUボタンを押す
②「表示設定」➤「UB表示」➤ 設定内容を順に選ぶ
・ SELECTダイヤルを回して「入」を選び、SETボタンを押して設定します。
③ MENUボタンを押す

外部入力したユーザービットを記録する

TAPE | CARD | VCR/PLAY | M | A | Tv | Av

① MENUボタンを押す
②「記録設定」➤「UB記録」を選ぶ
・ SELECTダイヤルを回して「外部入力」を選び、SETボタンを押して設定します。
③ MENUボタンを押す

音声の記録

録音レベル調整は必ず市販のヘッドフォンでモニターをしながら行ってください。

本機ではHDV、DVともに音声を2チャンネルまで記録できます。
撮影時のHD/SD SDI端子出力信号のサンプリング周波数は、すべて48kHzになります（XL H1S）。

HDV

音声記録の転送レートは384Kbps、サンプリング周波数は48kHzになります。

DV

音声記録は16bit（サンプリング周波数48kHz）と12bit（サンプリング周波数32kHz）が選択できます。
・ チャンネル1、2に記録され、隣のチャンネルは空きになります。
・ 本機ではアフレコできません。
・ 本機での音声記録は、ライン入力とアンロックモードをDV入力したときを除き、ロックモードになります。

撮影編

オーディオモードの選択 DV

TAPE CARD　VCR/PLAY　M　A　Tv　Av

DV

16bit（48kHz 2CH）、12bit（32kHz 2CH）

① MENUボタンを押す
②「オーディオ設定」➤「DVオーディオモード」➤ 設定内容を順に選ぶ
　・ SELECTダイヤルを回して項目を選び、SETボタンを押して設定します。
③ MENUボタンを押す

ウィンドカットを使う

TAPE CARD　VCR/PLAY　M　A　Tv　Av

フロントマイクでは、風の音を低減して収録できます。
● 付属のマイクのみ使用可能です。

① MENUボタンを押す
②「オーディオ設定」➤「ウィンドカット」➤ 設定内容を順に選ぶ
　・ SELECTダイヤルを回して項目を選び、SETボタンを押して設定します。
③ MENUボタンを押す

マイク入力感度の切り換え

TAPE CARD　VCR/PLAY　M　A　Tv　Av

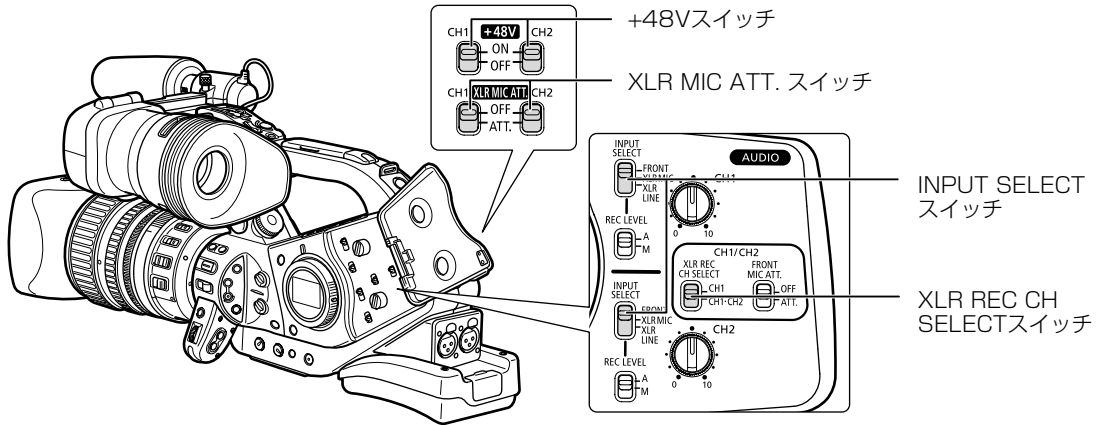
フロントマイクでは、収録する音に合わせて最適な感度で録音できます。
ノーマル　通常のレベルの音を録音するとき
高感度　より大きな音量で録音するとき

① MENUボタンを押す
②「オーディオ設定」➤「マイク感度」➤ 設定内容を順に選ぶ
　・ SELECTダイヤルを回して項目を選び、SETボタンを押して設定します。
③ MENUボタンを押す

次のページへ

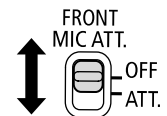
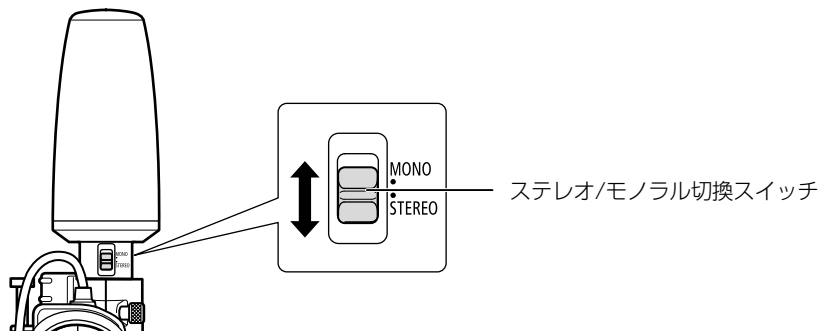
音声を記録する

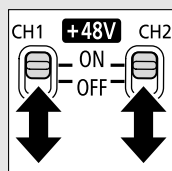
TAPE	CARD		VCR/ PLAY	M	A	Tv	Av			

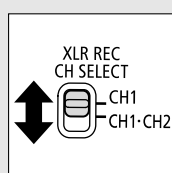
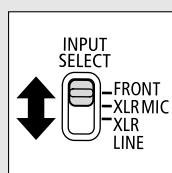
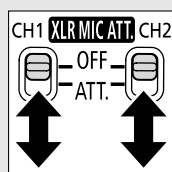
音声入力は、フロントマイク（付属マイク）、XLRマイク（XLR端子）、XLRライン入力（XLR端子）から選択できます。また、チャンネル1／2の音声入力はそれぞれ個別に選択でき、チャンネル1とチャンネル2で異なる入力を選ぶこともできます。

1 INPUT SELECTスイッチを切り換える

フロントマイクの場合

付属のマイクの音声端子/DC端子を本機に接続します。

- 必要に応じてFRONT MIC ATT.（20dB）スイッチをATT（入）/OFFできます。

- STEREO/MONOスイッチを切り換えることで、モノラル収録ができます。同じモノラル信号がチャンネル1、2に記録されます。

XLR入力端子の場合

1 **XLR端子にマイクを接続する**

- ファンタム電源が必要なマイクを使う場合は+48Vスイッチを ONにします。ONにするとオレンジ色が見えます。
  ファンタム電源をONにするときは、マイクを接続してから行います。OFFにするときは、接続したまま行います。

2 **XLR REC CH SELECTスイッチで録音するチャンネルを選ぶ**

3 **入力信号に応じてINPUT SELECTスイッチを「XLR MIC」/「XLR LINE」にする**

4 **必要に応じてXLR MIC ATT.(20dB)スイッチを「ATT.(入)」/「OFF」にする**

- INPUT SELECTスイッチがXLR MICのときに機能します。

5 **必要に応じてXLR MICの入力感度を調整する**

① MENUボタンを押す
②「オーディオ設定」➤「XLR 1 TRIM」または「XLR 2 TRIM」➤ 設定内容を順に選ぶ
- SELECTダイヤルを回して値を選び、SETボタンを押して設定します。

③ MENUボタンを押す
- INPUT SELECTスイッチがXLR MICのときに機能します。

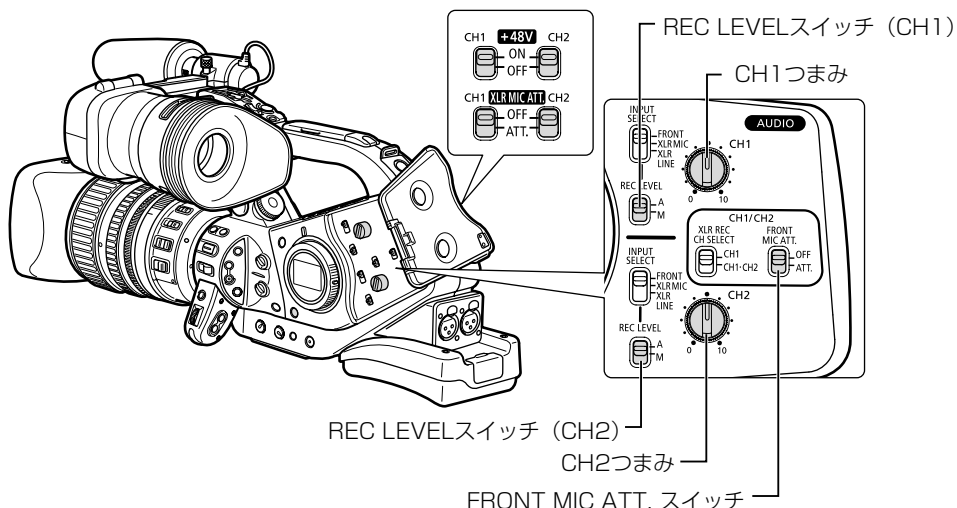
+48V対応のマイク以外の機器を接続するときは、+48Vスイッチを必ずOFFにしてください。ONにしたままで使用すると、接続したマイクなどの機器が故障することがあります。

次のページへ

音声の記録…つづき

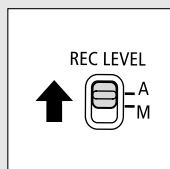
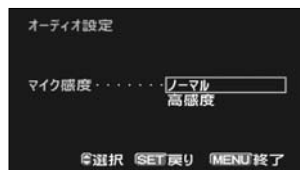
録音レベルの調整

TAPE CARD　VCR/PLAY　M　A　Tv　Av

入力レベルが高すぎて音声が歪むときは、FRONT MIC ATT.（フロントマイク）、XLR MIC ATT.（XLR端子）をATT.（20dB）にしてください。

レベルメーターを表示する

レベルメーター表示を入/切できます。

① MENUボタンを押す
②「表示設定」➤「レベルメーター」➤ 設定内容を順に選ぶ
　・ SELECTダイヤルを回して項目を選び、SETボタンを押して設定します。
③ MENUボタンを押す
　・ レベルメーター表示は、カスタムキーでも入/切できます（📖92）。

レベル調整をオートで行う

❍ フロントマイクの場合、感度をノーマルと高感度（＋6dB）で選択できます。

オーディオ設定
マイク感度・・・・・・ノーマル
高感度
選択 SET戻り MENU終了

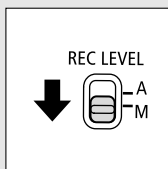
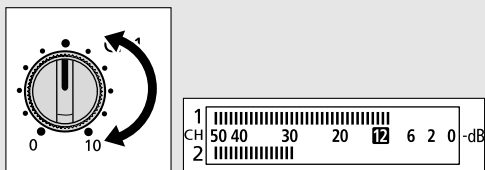
① MENUボタンを押す
②「オーディオ設定」➤「マイク感度」➤ 設定内容を順に選ぶ
　・ SELECTダイヤルを回して項目を選び、SETボタンを押して設定します。
③ MENUボタンを押す

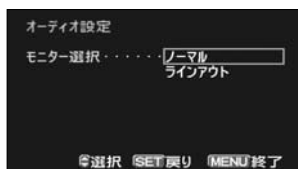
❍ CH１、CH ２共にフロントマイク入力を選択しているときは、CH1のREC LEVELスイッチをA（オート）にすると自動的にCH2もオートに設定されます。

❍ XLR入力端子のCH１とCH2が共に「XLR MIC」または「XLR LINE」で、レベル調整がオートのとき、CH1とCH2のレベル調整を連動させたり、独立させたりすることができます。

① MENUボタンを押す
②「オーディオ設定」➤「XLR ALC LINK」➤設定内容を順に選ぶ
　・SELECTダイヤルを回して「LINK（連動）」または「SEP（SEPARATE：独立）」を選び、SETボタンを押して設定します。
③ MENUボタンを押す

レベル調整をマニュアルで行う

1 REC LEVELスイッチをMにする

2 録音レベルつまみを回して調整する

● 液晶表示パネルに表示されるオーディオレベルメーターの12より右（ファインダーでは●より右）が、時々点灯するように調整する。

❍ 録音レベルを調整するときは、ヘッドホンでモニターしながら行うことをおすすめします。レベルメーターが適切に表示していても、入力レベルが過大な場合、音声が歪むことがあります。
❍ 音声を映像に同期させてモニターするときは、「ラインアウト」を選択してください。
音声をリアルタイムでモニターするときは「ノーマル」を選択してください。この場合は、音声と映像に少しずれが生じます。
「ラインアウト」、「ノーマル」いずれの場合も、テープには映像と音声は同期して記録されます。

① MENUボタンを押す
②「オーディオ設定」➤「モニター選択」➤ 設定内容を順に選ぶ
　・SELECTダイヤルを回して項目を選び、SETボタンを押して設定します。
③ MENUボタンを押す

❍ 大入力の音声による歪を防止するときは、オーディオリミッターを「入」にしてください。マニュアルレベル調整のときに、レベルが−4dBFSを超えると自動的に信号レベルを制限して歪みを防止します。CH１とCH2のどちらかがマニュアルレベル調整のときに設定できます。

① MENUボタンを押す
②「オーディオ設定」➤「オーディオリミッター」➤ 設定内容を順に選ぶ
　・SELECTダイヤルを回して項目を選び、SETボタンを押して設定します。
③ MENUボタンを押す

❍ CH１、CH ２共にフロントマイク入力を選択しているときは、CH1のREC LEVELスイッチと録音レベルつまみの設定が自動的にCH2にも反映されます。

エンベデッドオーディオ XL H1s

エンベデッドオーディオは、映像信号に音声信号を重畳してHD/SD SDI端子から出力する機能です（メニューの「SDI出力」を「入」または「入（OSD)」にしてください)。

① MENUボタンを押す
②「信号設定」➤「SDI出力」➤「入」または「入（OSD)」を順に選ぶ
・ SELECTダイヤルを回して項目を選び、SETボタンを押して設定します。
③ MENUボタンを押す

エンベデッドオーディオ出力は、信号規格、サンプリング周波数の設定により異なります。

カメラモード

記録信号規格	サンプリング周波数	ロック/アンロック	エンベデッドオーディオ出力
SD	32kHz（12bit）	ロック	○*
	48kHz(16bit)	ロック	○
HD	(48kHz)	ロック	○

VCR/PLAYモード

再生信号規格	サンプリング周波数	ロック/アンロック	エンベデッドオーディオ出力
SD	32kHz	アンロック	×
		ロック	○*
	48kHz	アンロック	×
		ロック	○
HD	(48kHz)	ロック	○

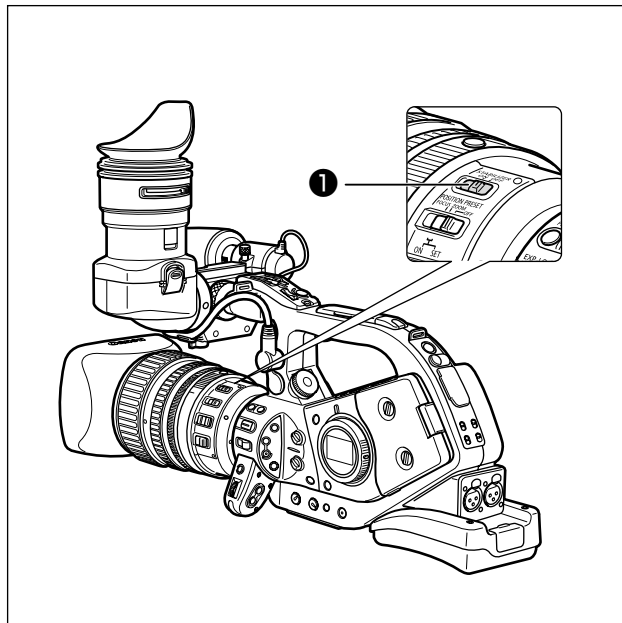
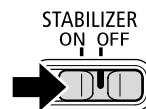
*　サンプリング周波数48kHzに変換して出力します。

- アンロックのテープはエンベデッドオーディオ出力は無効となります。画面に 、 3/4または 1/2が出ます。

SDI出力を「入（OSD)」にすると画面に SDI が表示され、SDIから出力される映像信号に画面表示が重畳されます。

手ぶれ補正機能

手ぶれ補正に対応したレンズを装着すると、手持ちや肩に載せて撮影するときに手ぶれの少ない安定した画面で撮影できます。
通常の撮影では、手ぶれ補正は解除する必要はありませんが、必要に応じて解除できます。

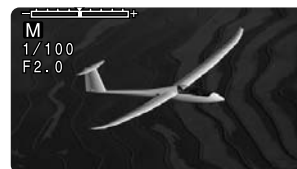
手ぶれ補正の解除のしかた（HD 20X L ISⅢレンズ使用時）

❶ レンズのSTABILIZER ON/OFFボタンをOFFにする

・ □（全自動）モードでは、手ぶれ補正は解除できません。

❍ 三脚などを使用して撮影をするときは手ぶれ補正を切ることをおすすめします。
❍ 手ぶれが大きすぎると、補正されないことがあります。
❍ 別売のエクステンダーを取り付けると、手ぶれ補正がききにくくなります。
❍ カードカメラモードでは、PHOTOボタンを浅く押すと、手ぶれ補正が機能します。

撮影モードを選ぶ

被写体の条件に合わせて最適なモードが選べる7種類の撮影モードを搭載しています。

M　マニュアルモード

絞り、シャッタースピードをマニュアルで設定できます。

A（オート）モード

絞り、シャッタースピードを自動で撮影でき、メニューなどで詳細設定もできます。

Tv（シャッター優先：Time Value）モード

シャッタースピードをマニュアルで設定できます。スポーツや乗り物などの動きの速い被写体をブレのない映像で撮影できます。
Tvモードでは絞りは自動で調節されます。

Av（絞り優先：Aperture Value）モード

絞りをマニュアルで設定し、被写界深度を変化させ、背景や周囲をボカし被写体を引き立てることができます。
Avモードではシャッタースピードは自動で調節されます。

- ズームの望遠側で撮影すると、背景のボケの効果がより大きくなります。

スポットライトモード

スポットライトなど範囲の狭い照明が当たっている被写体や花火などを鮮明に撮影できます。

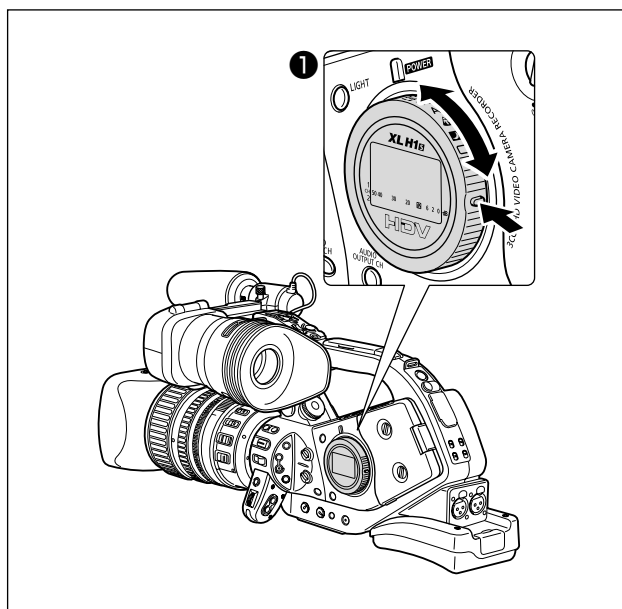
ナイトモード

夜景や暗くても照明が使えない場所で、被写体を明るくカラーで撮影できます。周囲の明るさに応じてシャッタースピードが1/4〜1/500秒（60i、30F)、1/3〜1/500秒（24F）で自動調整されます。

- ❍ 動きのある被写体では、残像が残ります。
- ❍ 明るく撮影できる分、通常の撮影に比べて画質が多少劣化することがあります。
- ❍ 画面に白い点などが現れることがあります。
- ❍ オートフォーカスでピントが合いにくいときは、マニュアルフォーカスでピントを合わせてください。

（全自動）モード

ズーム、スタート/ストップボタンを押すだけで全自動撮影できます。詳細設定はできません。

操作のしかた

❶ ボタンを押しながらメインダイヤルを回す

- 撮影モードを選択する。
- 選んだモード表示が出る。

撮影中はメインダイヤルを切り換えないでください。撮影モードを変えると映像の明るさが一時的に大きく変化する場合があります。

次のページへ

撮影モードを選ぶ…つづき

撮影モードの選択

□（全自動）モード、スポットライトモード、ナイトモードは、撮影場面に合った撮影ができるようにすべてが自動設定されています。[A]（オート）モード、Tvモード、Avモード、マニュアルモードでは撮影の状況に合わせて設定できます。

● 撮影モードによって、使用できる機能が異なります。

<table>
<tr><th>撮影モード</th><th>マニュアル
モード</th><th>[A]（オート）
モード</th><th>Tvモード</th><th>Avモード</th><th>スポットライト
モード</th><th>ナイト
モード</th><th>□（全自動）
モード</th></tr>
<tr><td>露出ロック
(EXP. LOCKボタン)</td><td>×</td><td colspan="3">○</td><td>×</td><td>×</td><td>×</td></tr>
<tr><td>プッシュAE
(PUSH AEボタン)</td><td>○</td><td colspan="3">×</td><td>×</td><td>×</td><td>×</td></tr>
<tr><td>絞りリング*3</td><td>○</td><td>×*1</td><td>×*1</td><td>○</td><td>×</td><td>×</td><td>×</td></tr>
<tr><td>SHUTTERボタン</td><td>○</td><td>×*1</td><td>○</td><td>×*1</td><td>×</td><td>×</td><td>×</td></tr>
<tr><td>AEシフトの設定</td><td>×</td><td colspan="3">○</td><td>×
（0に固定）</td><td>×
（0に固定）</td><td>×
（0に固定）</td></tr>
<tr><td>GAINの調整</td><td>○</td><td colspan="3">○</td><td>×
(0dBに固定)</td><td>×
(AGC ONに固定)</td><td>×
(AGC ONに固定)</td></tr>
<tr><td>WHITE BALANCE
の調整</td><td>○</td><td colspan="5">○</td><td>×
(オートに固定)</td></tr>
<tr><td>カスタムプリセット
の調整</td><td>○</td><td colspan="5">○</td><td>×</td></tr>
<tr><td>CUSTOM PRESET
SELECTボタン</td><td>○</td><td colspan="5">○</td><td>×</td></tr>
<tr><td>CUSTOM PRESET
ON/OFFボタン</td><td>○</td><td colspan="5">○</td><td>×</td></tr>
<tr><td>スキンディテール</td><td>○</td><td colspan="5">○</td><td>×</td></tr>
<tr><td>SELECTIVE NR</td><td>○</td><td colspan="5">○</td><td>×</td></tr>
<tr><td>カラーコレクション</td><td>○</td><td colspan="5">○</td><td>×</td></tr>
<tr><td>クリアスキャン
の実行</td><td>○*2</td><td>×</td><td>○*2</td><td>×</td><td>×</td><td>×</td><td>×</td></tr>
<tr><td>クリアスキャン
の周波数選択</td><td>○</td><td>×</td><td>○</td><td>×</td><td>×</td><td>×</td><td>×</td></tr>
</table>

*1：露出ロックをすると使用できます。
*2：クリアスキャン実行中に周波数が選択できます。
*3：絞りリングがあるレンズ装着時に使用できます。

● 組み合わせるレンズによって、撮影モードで使用できる機能が異なります。

HD 20X L ISⅡ/Ⅲ、HD 6X L、20X L IS、16X ISⅡレンズの場合

<table>
<tr><th></th><th>□（全自動）
モード</th><th>□（全自動）
モード以外</th></tr>
<tr><td>マニュアル
フォーカスリング</td><td colspan="2">○</td></tr>
<tr><td>ズームリング</td><td colspan="2">○</td></tr>
<tr><td>絞りリング</td><td>×</td><td>○*2</td></tr>
<tr><td>手ぶれ補正
（入/切）*1</td><td>×
（ONに固定）</td><td>○</td></tr>
<tr><td>ND切換
ロック解除</td><td colspan="2">○</td></tr>
<tr><td>フォーカスモード
切り換え</td><td>×（オートフォーカス
に固定）</td><td>○</td></tr>
<tr><td>プッシュAF
(▶AFスイッチ)</td><td>×</td><td>○</td></tr>
</table>

*1：HD 6X Lレンズ以外の場合
*2：マニュアルモードとAVモードで使用でき、[A]モード/Tvモードで露出ロックしたときも使用できます。

マニュアルモード

絞りとシャッタースピードを自由に設定できます。
被写界深度を維持しながら明るさを変えたり、場面の転換に明るさを変えたりできます。
絞りは1/16段刻みで設定できます（画面のF値表示は1/4段刻みになります）。

シャッタースピード

カメラモード

60iまたは30F	1/4秒*、1/8秒、1/15秒、1/30秒、1/60秒、1/75秒、1/90秒、1/100秒、1/120秒、1/150秒、1/180秒、1/210秒、1/250秒、1/300秒、1/360秒、1/420秒、1/500秒、1/600秒、1/720秒、1/840秒、1/1000秒、1/1200秒、1/1400秒、1/1700秒、1/2000秒、1/2300秒、1/2600秒、1/3000秒、1/4000秒、1/8000秒、1/15000秒、CS（クリアスキャン）
24F	1/3秒*、1/6秒、1/12秒、1/24秒、1/48秒、1/60秒、1/75秒、1/90秒、1/100秒、1/120秒、1/150秒、1/180秒、1/210秒、1/250秒、1/300秒、1/360秒、1/420秒、1/500秒、1/600秒、1/720秒、1/840秒、1/1000秒、1/1200秒、1/1400秒、1/1700秒、1/2000秒、1/2300秒、1/2600秒、1/3000秒、1/4000秒、1/8000秒、1/15000秒、CS（クリアスキャン）

カードカメラモード

1/4秒*、1/8秒、1/15秒、1/30秒、1/60秒、1/75秒、1/90秒、1/100秒、1/120秒、1/150秒、1/180秒、1/210秒、1/250秒、1/300秒、1/360秒、1/420秒、1/500秒

* HD 20× L IS Ⅱ/Ⅲレンズの場合

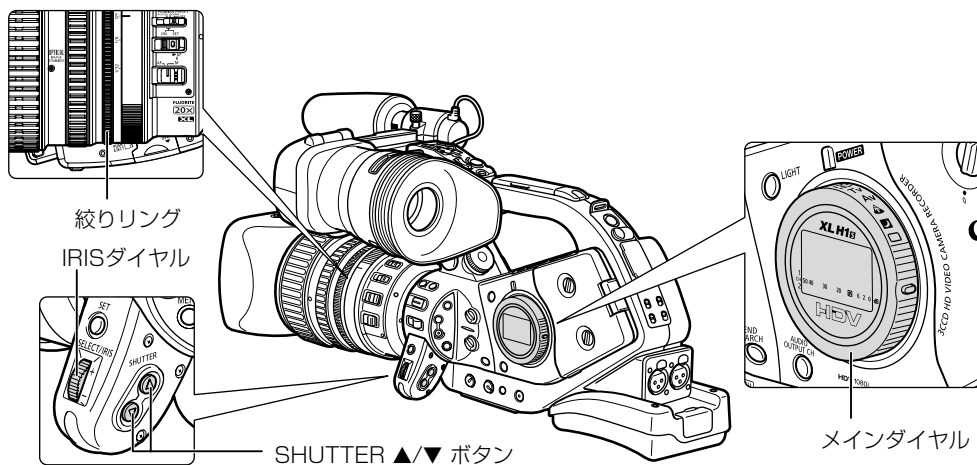
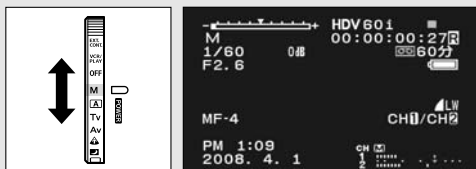
絞り

(HD 20X L IS Ⅱ/Ⅲレンズの場合)	F1.6、F1.8、F2.0、F2.2、F2.4、F2.6、F2.8、F3.2、F3.4、F3.7、F4.0、F4.4、F4.8、F5.2、F5.6、F6.2、F6.7、F7.3、F8.0、F8.7、F9.5、F10、F11、F 12、F 14、F 15、F 16、F 17、F 19、F 21、F 22、CLOSE

F10〜F22とCLOSEは、「IRIS. LIMIT」をOFFにしたときのみ。

操作のしかた

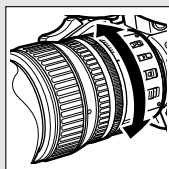
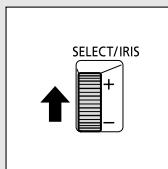
TAPE | CARD

撮影編

1 M（マニュアル）モードを選ぶ

- 画面に露出メーターが表示される。

① 標準露出レベル指標：▼
　標準の露出レベルを表示します。
② 露出レベルの指標：▮
　現在の露出レベルを表示します。（＋）（－）両方向とも、2段まで表示し、2段以上の場合は点滅します。

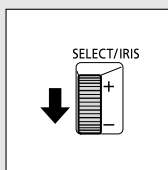
- 露出メーターは目安としてお使いください。

絞りリングで絞りを調節する（HD 20X L IS Ⅲ レンズなど絞りリングのあるレンズ使用時のみ）

2 絞りを調節する 絞りリングを回す

- 選んだ絞り値表示が出る。

IRISダイヤルで絞りを調節する

2 IRISダイヤルを上に回す

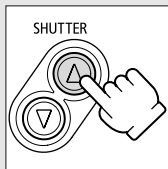
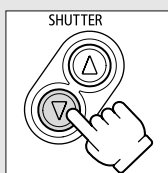
- 絞りが閉じ、被写界深度が深くなる。

IRISダイヤルを下に回す

- 絞りが開き、被写界深度が浅くなる。
- IRISダイヤルの操作方向は、カスタムファンクションで設定できます（🕮 123）。

シャッタースピードを調節する

2 ▲ を押す

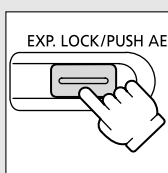
- シャッタースピードが速くなる。
- 選んだシャッタースピード表示が出る。

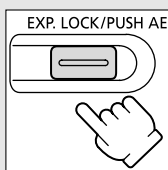
▼ を押す

- シャッタースピードが遅くなる。
- 選んだシャッタースピード表示が出る。

❍ 絞りリング、SHUTTERボタンの操作方向は、カスタムファンクションで設定できます（📖 123）。
❍ カスタムファンクションの「IRIS. LIMIT」で絞り制限をON/OFFできます。絞り制限を「ON」にすると小絞り回折F値*まで絞れ、「OFF」にするとCLOSEまで絞れます。絞り制限を「OFF」にして絞りをマニュアルで設定するとき、絞りF値が小絞り回折下値を超えると、画面のF値は灰色で表示されます。
*小絞り回折F値を超えると小絞りによるボケ（📖 51）が発生します。
❍ 絞りのないレンズ使用時は、画面に絞り値は出ません。
❍ 別売のズームリモートコントローラーZR-2000から絞りを調整するときは、カスタムファンクションで設定します（📖 124）。
❍ SHUTTERボタンは、誤操作を防ぐためにカスタムキー（📖 92）やメニュー（📖 160）で無効にできます。

絞りとゲインを自動調整して適正な露出にする （プッシュAE）

PUSH AEボタンを押している間、絞りとゲイン（AUTOのときのみ）を自動調整して露出を適正にできます。

1 PUSH AEボタンを押し続ける

- 周囲の明るさが変わると、画面上のF値と露出メーターが変化し、自動的に適正露出に調整される。

2 PUSH AEボタンを離す

- そのときのF値/ゲイン（AUTOのときのみ）がマニュアルモードの値となる。

❍ レンズが装着されていないか、またはカメラ本体から絞りを制御できないレンズが装着されているときは、本機能は使用できません。
❍ PUSH AEボタンは、誤操作を防ぐためにカスタムキー（📖 92）やメニュー（📖 160）で無効にできます。

Tvモード

シャッタースピードをマニュアルで設定し、低照度からスポーツや乗り物など動きの速い被写体まで撮影できます。選択できるシャッタースピードはフレームレートによって異なります。

カメラモード

60iまたは30F	1/4秒*、1/8秒、1/15秒、1/30秒、1/60秒、1/100秒、1/250秒、1/500秒、1/1000秒、1/2000秒、1/4000秒、1/8000秒、1/15000秒、CS（クリアスキャン）
24F	1/3秒*、1/6秒、1/12秒、1/24秒、1/48秒、1/60秒、1/100秒、1/250秒、1/500秒、1/1000秒、1/2000秒、1/4000秒、1/8000秒、1/15000秒、CS（クリアスキャン）

カードカメラモード

1/4秒*、1/8秒、1/15秒、1/30秒、1/60秒、1/100秒、1/250秒、1/500秒

* HD 20X L IS Ⅱ/Ⅲレンズの場合
- 1/100秒以上の高速シャッターを使うことで、晴天下などの明るい場所で絞りが自動的に絞られることによる小絞りを防ぐことができます。

蛍光灯、水銀灯、ハロゲンライトなどの人工光源照明下での撮影について

設定したシャッタースピードによっては、原理上フリッカーが出る場合があります。フリッカーが気になる場合は、1/100秒を選んで撮影してください。

スローシャッターによる撮影

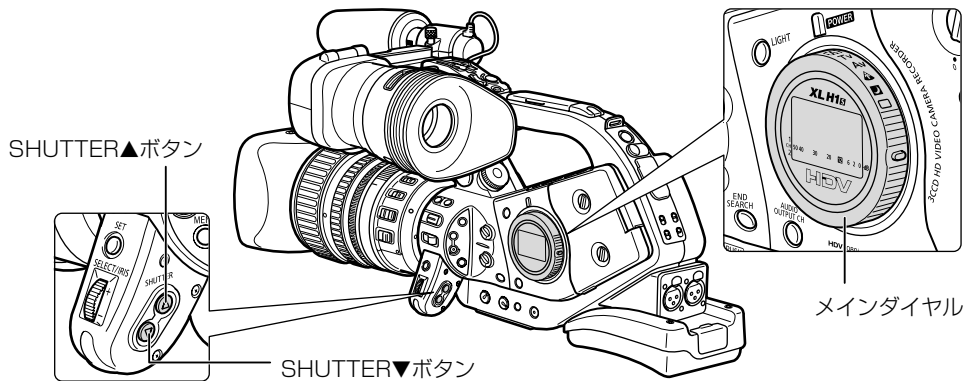
1/30秒以下のスローシャッターでは、明るさが不足する場所で被写体を明るく撮影できます。また、特殊効果としても使用できます。たとえば、動いている被写体をパンするときに背景を流したり、残像効果をズームに加えたりできます。

- スローシャッターを低照度下で使用すると明るく撮影できますが、通常の撮影に比べて画質が多少劣化することがあります。
- オートフォーカスのままではピントが合いにくいことがあります。

操作のしかた

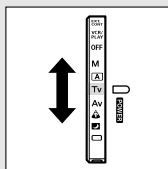
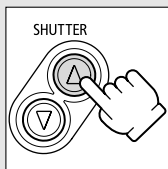
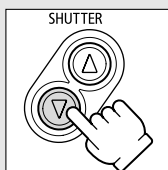
TAPE | CARD

VCR/PLAY	M	A	Tv	Av			

撮影編

1 Tvモードを選ぶ

2 ▲を押す

- シャッタースピードが速くなる。
- 選んだシャッタースピード表示が出る。

▼を押す

- シャッタースピードが遅くなる。
- 選んだシャッタースピード表示が出る。

❍ SHUTTERボタンで調節したシャッタースピード以外（絞り値など）はオートで調節されます。
❍ 露出ロックを操作して露出を変更すると、設定したシャッタースピードはバックアップされません。
❍ ゲインがAUTO（オート）のとき、選択したシャッタースピード表示が点滅することがあります。これは、選んだシャッタースピードが適切でないことを示しています。
このようなときは、表示が点灯になるようにSHUTTERボタンで設定を変えてください。
また、レンズの内蔵NDフィルターを使用している場合は、「切」にしてから再設定してください。
❍ SHUTTERボタンは、誤操作を防ぐためにカスタムキー（🕮 92）やメニュー（🕮 160）で無効にできます。また、操作方向はカスタムファンクションで設定できます（🕮 123）。

Avモード

絞りをマニュアルで設定し、被写界深度を変えて、背景や周囲をボカし被写体を引き立たせることができます。
絞りは1/16段刻みで設定できます（画面のF値表示は1/4段刻みになります）。

選択できる絞り（HD 20X L ISⅡ/Ⅲレンズの場合）

(HD 20X L IS Ⅱ/Ⅲレンズの場合)	F1.6、F1.8、F2.0、F2.2、F2.4、F2.6、F2.8、F3.2、F3.4、F3.7、F4.0、F4.4、F4.8、F5.2、F5.6、F6.2、F6.7、F7.3、F8.0、F8.7、F9.5、F10、F11、F 12、F 14、F 15、F 16、F 17、F 19、F 21、F 22、CLOSE

F10～F22とCLOSEは、「IRIS. LIMIT」をOFFにしたときのみ。

TAPE | CARD

VCR/PLAY | M | A | Tv | Av

1 Avモードを選ぶ

絞りリングで絞りを調節する（HD 20X L IS Ⅲ レンズなど絞りリングのあるレンズ使用時のみ）

2 絞りリングを回す

- 選んだ絞り値表示が出る。

IRISダイヤルで絞りを調節する

2 **IRISダイヤルを上に回す**

● 絞りが閉じ、被写界深度が深くなる。

IRISダイヤルを下に回す

● 絞りが開き、被写界深度が浅くなる。

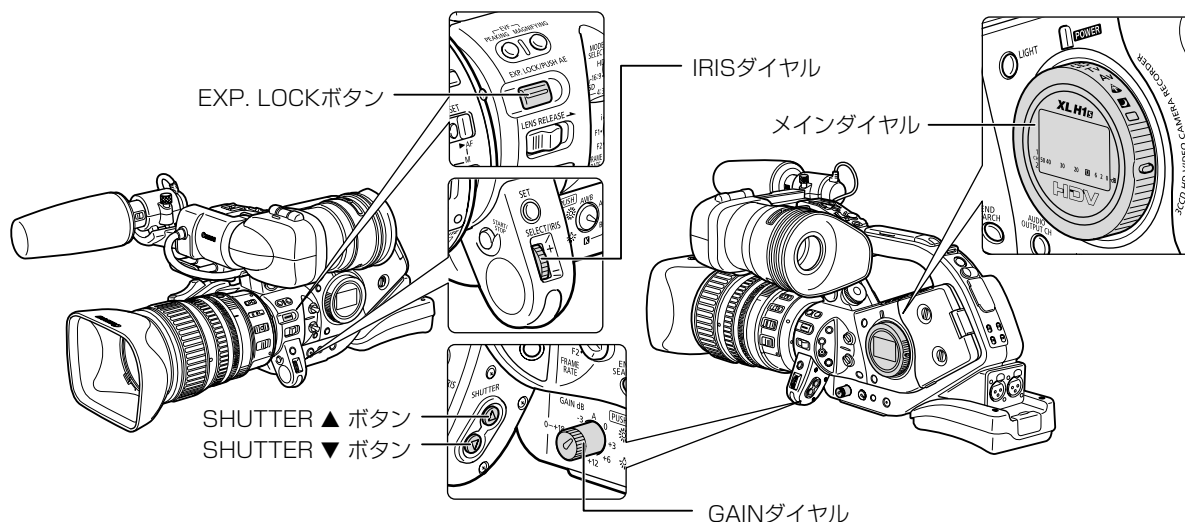
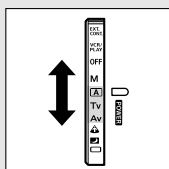
● IRISダイヤルの操作方向は、カスタムファンクションで設定できます（📖 123）。

❍ 絞りリングで調節した絞り値以外（シャッタースピードなど）はオートで調節されます。
❍ 露出ロックを操作して露出を変更すると、設定した絞り値はバックアップされません。
❍ ゲインがAUTO（オート）になっているときに、選択した絞り値表示が点滅することがあります。これは選んだ絞り値が適切でないことを示しています。
このようなときは、表示が点灯になるように絞りリングで絞り値を変えてください。
❍ 絞り値を絞ることにより被写界深度を深く、開くことにより被写界深度を浅くできますので、背景などのピントの合う範囲を変化させることができます。
・レンズの内蔵NDフィルターが ON になっているときに、絞りこんでいくと画面が暗くなることがあります。このようなときは、レンズの内蔵NDフィルターを「切」にして、再設定してください。
・晴れた日の屋外などで撮影中（□（全自動）モード、A（オート）モード）に“ND ON”／ND“OFF”の警告が頻繁に出るような場合には、Avモードで絞りの設定をF5.6〜F8.0などに変えて撮影することも有効です（シャッターは標準より速くなります）。
❍ カスタムファンクションの「IRIS. LIMIT」で絞り制限をON/OFFできます。絞り制限を「ON」にすると小絞り回折F値*まで絞れ、「OFF」にするとCLOSEまで絞れます。絞り制限を「OFF」にして絞りをマニュアルで設定するとき、絞りF値が小絞り回折下値を超えると、画面のF値は灰色で表示されます。
*小絞り回折F値を超えると小絞りによるボケ（📖 51）が発生します。
❍ 絞りリングの操作方向は、カスタムファンクションで設定できます（📖 123）。
❍ 絞りのないレンズ使用時は、画面に絞り値は出ません。
❍ 別売のズームリモートコントローラーZR-2000から絞りを調整するときは、カスタムファンクションで設定します（📖 124）。

露出を変える

EXP. LOCKボタンを押して露出をロックすると、画面はそのときの明るさで固定されます。
また、露出ロックしたあと任意にシャッタースピード、絞り値やゲインを変更できます。

露出をロックする

TAPE	CARD		VCR/PLAY	M	A	Tv	Av			

1 メインダイヤルを A（オート）、Tv、Avのいずれかにする

2 EXP. LOCKボタンを押す

- 露出がその明るさのままロック（固定）される。
- 露出メーターが表示される。

① 標準露出レベル指標：▼
標準の露出レベルを表示します。

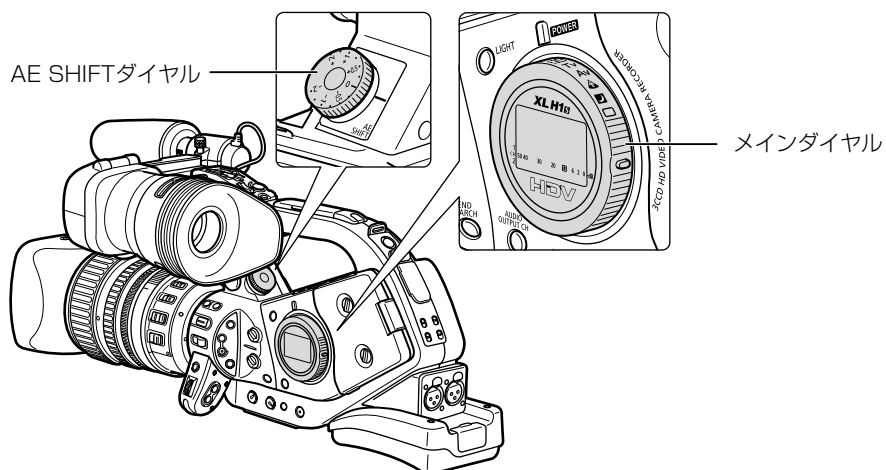
② 露出レベルの指標：▮
現在の露出レベルを表示します。（＋）（－）両方向とも、2段まで表示し、2段以上の場合は点滅します。

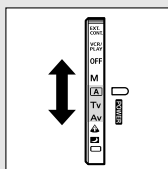
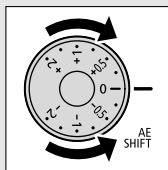
- 露出メーターは目安としてお使いください。

EXP. LOCKボタンは、誤操作を防ぐためにカスタムキー（□ 92）やメニュー（□ 160）で無効にできます。

AEレベル補正

AEレベルを13段階（＋2.0、＋1.5、＋1.0、+0.75、+0.5、+0.25、±0、−0.25、−0.5、−0.75、−1.0、−1.5、−2.0）で調節でき、明るめや暗めに撮影するときに使用します。

操作のしかた

TAPE | CARD

1 メインダイヤルを A（オート）、Tv、Av のいずれかにする

2 AE SHIFTダイヤルを回す

- 明るめに撮影するときは、＋方向に回す。
- 暗めに撮影するときは、－方向に回す。

- ❍ AE SHIFTダイヤルは、誤操作を防ぐためにカスタムキー（□ 92）やメニュー（□ 160）で無効にできます。
- ❍ 別売のズームリモートコントローラーZR-2000からAEレベル補正を行うときは、カスタムファンクションで設定します（□ 124）。

ゲイン調整

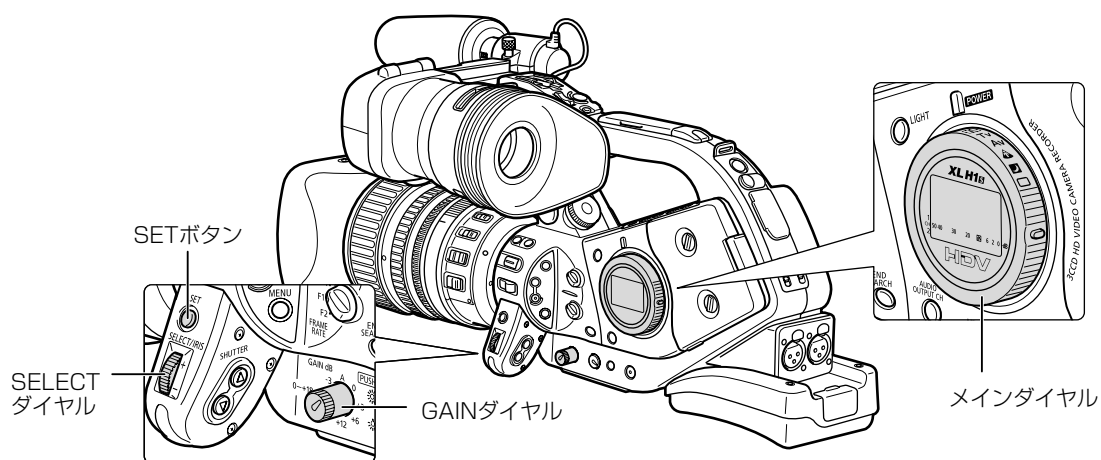
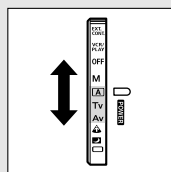
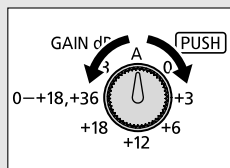
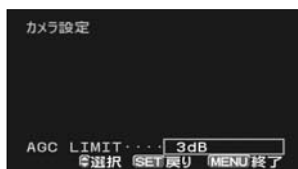
ゲインはGAINダイヤルで設定できます。GAINを自動調整にするときは、GAINダイヤルをA（AUTO）にします。

−3dB	室内、低照度やコントラストの低いシーンでノイズの少ない撮影ができます。
A（AUTO）	ゲインは自動調整になります（AGC：Auto Gain Control）。
±0dB	夜景などの撮影のときに、ノイズが少なく、色のりのよい撮影ができます。
3dB／6dB／ 12dB／18dB 0−18dB，36dB*	暗いとき（絞り解放時）、室内や低照度のシーンで明るく撮影できます。

＊ ゲインファインチューニング時（36dBはカメラモードのみ）

● GAINダイヤルは誤操作をふせぐため、通常は操作できないようになっています。押し込むとダイヤルが出て操作できるようになります。調整が終わったら再度押し込んでください。

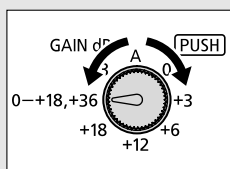
TAPE | CARD

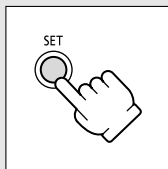
VCR/PLAY | M | A | Tv | Av

1 メインダイヤルを A（オート）、Tv、Av、Mにする

2 GAINダイヤルを回して調整する

❍ ゲインを上げると画面が多少ざらつくことがあります。特に、+36dB選択時は、超高感度になりますが、画面全体にノイズが現れます。また、色むら、白い点、縦線などが画面に現れることがあります。
❍ ゲインがオートのとき、AGC LIMITを設定してゲインの最大値を制限できます。AGC LIMITは、切（18dB)、15dB、12dB、9dB、6dB、3dBから選択できます。

① MENUボタンを押す
②「カメラ設定」➤「AGC LIMIT」➤設定内容を順に選ぶ
・ SELECTダイヤルを回して値を選び、SETボタンを押して設定します。
③ MENUボタンを押す

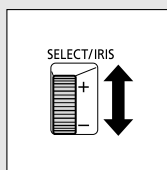
撮影編

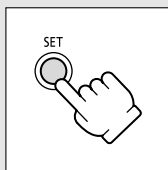
ゲインファインチューニング

ゲインを0.5dB刻みで調整できます。

1 GAINダイヤルを回して「0 − +18, +36」に合わせる

● 画面にゲイン表示が出る。

2 セットボタンを押す

● 画面上のゲイン表示が水色に点滅する。

3 SELECTダイヤルを回す

● 0.0dB～18.0dBまで0.5dB刻みでゲインを調整でき、36dB（カメラモードのみ）も設定できる。

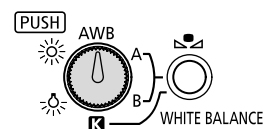
4 セットボタンを押す

● ゲインが設定され、画面上のゲイン表示が点灯に変わる。

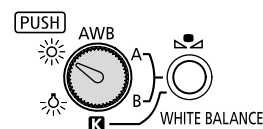
ホワイトバランス

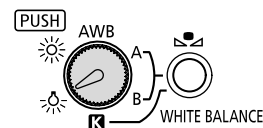
本機では、ホワイトバランスはオートのほかに、☼（5600Kの太陽光）、☼（3200Kのランプ）、色温度設定があり、さらにホワイトバランスセットでは2つまで登録できます。
- 蛍光灯は、オートまたはセットで撮影してください。
- WHITE BALANCEダイヤルは誤操作をふせぐため、通常は操作できないようになっています。押し込むとダイヤルが出て操作できるようになります。調整が終わったら再度押し込んでください。

TAPE | CARD　　VCR/PLAY | M | A | Tv | Av | | |

オートの設定をする

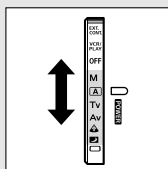
WHITE BALANCEダイヤルをAWBにする。

屋外の設定をする

WHITE BALANCEダイヤルを ☼ にする。
- 夜景や花火などを撮るとき
- 朝日や夕焼けなどを撮るとき

屋内の設定をする

WHITE BALANCEダイヤルを ☼ にする。
- パーティ会場など照明条件が変化する場所で撮るとき
- スタジオなどでビデオライトの照明で撮るとき
- ナトリウムランプの照明で撮るとき

屋外、屋内では設定を微調整できます。を押すと、表示が点滅します。SELECTダイヤルを回して調整します（+9〜−9）。調整が終わったら、を押し、表示を点灯させます。

色温度設定

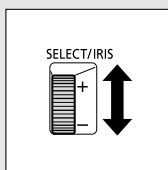
色温度の調整範囲は2000K〜15000Kまでで、100K単位で設定でできます。

1 メインダイヤルを ▭（全自動）以外のカメラモードにする

2 WHITE BALANCEダイヤルを Ⓚ に合わせる

● 現在設定されている色温度が出る。

3 WHITE BALANCE（セット）ボタンを押す

● 色温度表示が点滅する。

4 SELECTダイヤルを回して色温度を選ぶ

5 WHITE BALANCE（セット）ボタンを押す

● 色温度表示が点灯に変わる。

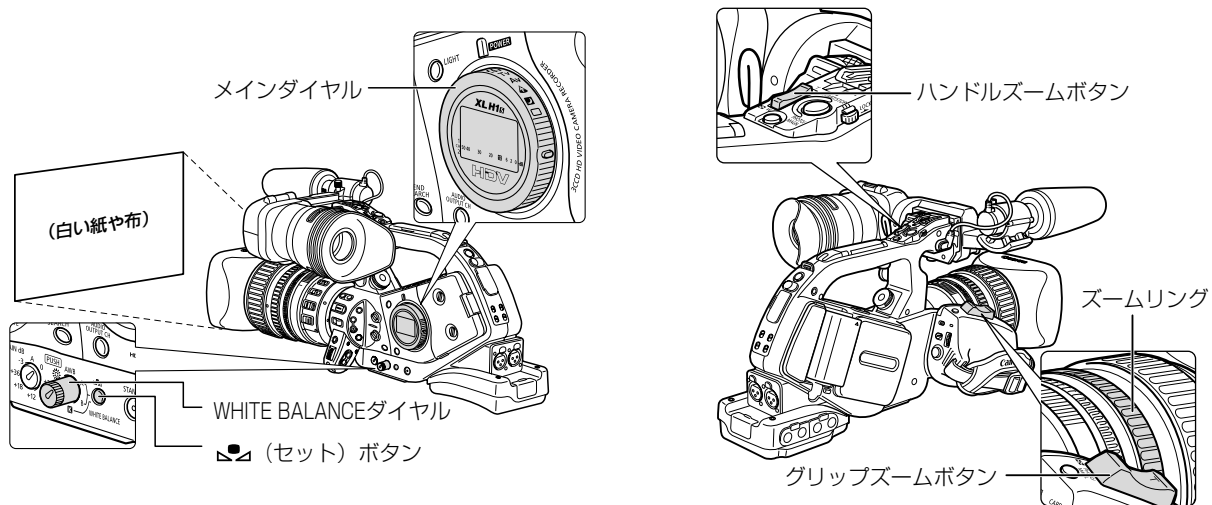
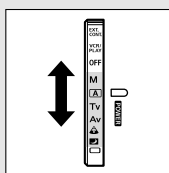
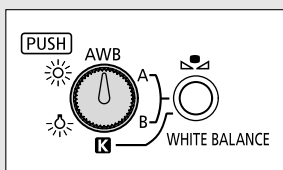
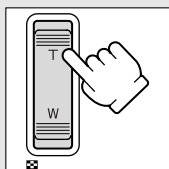
撮影編

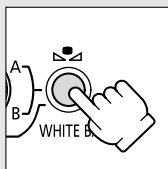
次のページへ

ホワイトバランス…つづき

ホワイトバランスのセット

TAPE	CARD

VCR/PLAY	M	A	Tv	Av			

1 メインダイヤルを （全自動）以外のカメラモードにする

2 WHITE BALANCEダイヤルをAまたはBにする

3 ズームなどを使って白い紙などを画面いっぱいに写す

- セットの作業が終わるまで、写し続けてください。

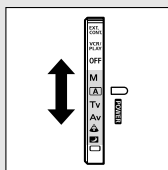
4 WHITE BALANCE （セット）ボタンを押す

- Aまたは Bが速く点滅し、セットが完了すると点灯する。

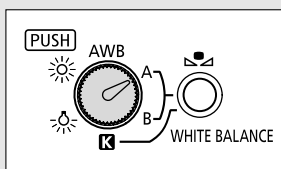
❍ ごくまれに、光源によっては点灯に変わらない（速い点滅から遅い点滅に変わります）ことがありますが、この場合でも、オートよりも適切なホワイトバランスになっていますので、そのまま撮影できます。
❍ ホワイトバランスセットで登録したデータは、内蔵2次電池が充電されていれば、電源の入／切に関係なく保持されます。
❍ カスタムプリセットのRGBゲイン、カラーマトリクス、RGBマトリクスの設定がホワイトバランス設定に優先します。
❍ 次のような場合は自動では色合いを調節できないことがあります。画面で色が不自然に見えるときは、ホワイトバランスのセットなどをしてください。
- 照明条件が急に変わるとき
- クローズアップ撮影をするとき
- 単一色の被写体（空、海、森など）を撮影するとき
- 水銀灯と一部の蛍光灯で撮影するとき

登録したホワイトバランスセットで撮影する

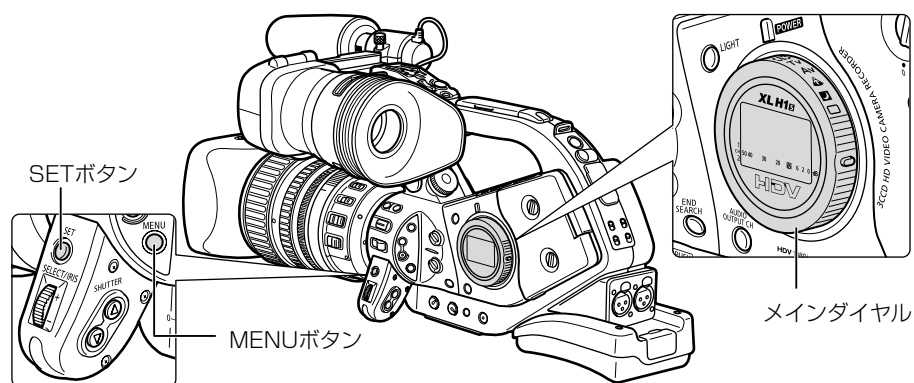
TAPE | CARD

VCR/PLAY | M | A | Tv | Av | | |

1 メインダイヤルを （全自動）以外のカメラモードにする

2 WHITE BALANCEダイヤルを登録したAまたはBにする

- 登録したホワイトバランスになる。

ホワイトバランスセットをするときは
❍ 照明の十分な場所で行ってください。また光源が変わったときはセットし直してください。
❍ レンズ内蔵のNDフィルターを入／切したときも、セットし直してください。

ゼブラパターン

本機ではゼブラパターン表示の輝度レベルを7段階の%（70、75、80、85、90、95、100）から選択できます（ピーキング使用中は表示されません。）。
● ゼブラパターンは画面のみに表示されます。

ゼブラパターンレベルを選ぶ

① MENUボタンを押す
②「表示設定」➤「ゼブラパターンレベル」➤ 設定内容を順に選ぶ
　・ SELECTダイヤルを回して項目を選び、SETボタンを押して設定します。
③ MENUボタンを押す

ゼブラパターンを入/切する

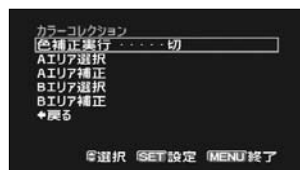
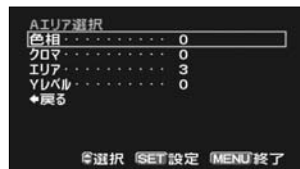
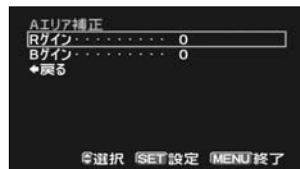
① MENUボタンを押す
②「表示設定」➤「ゼブラパターン」➤ 設定内容を順に選ぶ
　・ SELECTダイヤルを回して項目を選び、SETボタンを押して設定します。
③ MENUボタンを押す

カラーコレクション（色補正）

色相、クロマ、エリア、Yレベルを調整して、設定した任意の色だけを、撮影時に補正して記録できます。2種類の設定が可能です。
検出した任意の色部分は、検出パターンと通常画面が交互に表示されます。検出パターンは、画面ではゼブラパターンで表示され、接続したテレビ、パソコンでは白く表示されます。

設定のしかた

TAPE | CARD　　VCR/PLAY | M | A | Tv | Av

❶ 補正する色を設定する

① MENUボタンを押す
②「カメラ設定」➤「カラーコレクション」➤「Aエリア選択」または「Bエリア選択」を選ぶ
　・ SELECTダイヤルを回して調整する項目を選び、効果を確認しながらSETボタンを押して設定します。
③ 必要な調整を行う
　・ SELECTダイヤルを回して項目を選び、SETボタンを押して設定します。

❷ 色合いを調整する

① MENUボタンを押す
②「カメラ設定」➤「カラーコレクション」➤「Aエリア補正」または「Bエリア補正」➤「Rゲイン」または「Bゲイン」を選ぶ
　・ SELECTダイヤルを回して調整する項目を選び、SETボタンを押して設定します。
③ 必要な調整を行う
　・ SELECTダイヤルを回して項目を選び、画面で効果を確認しながらSETボタンを押して設定します。

④「カメラ設定」➤「カラーコレクション」➤「色補正実行」を選ぶ
　・ SELECTダイヤルを回して「切」以外を選び、SETボタンを押して設定します。
⑤ MENUボタンを押す

色相

検出する色の色相を調整します。色相環を16分割した0〜15から選びます。目安としては0＝紫、3＝赤、6=オレンジ、9＝緑、12＝青になります。

クロマ

検出する色の彩度を−6〜0〜6の13段階で調整します。＋側にするほど、鮮やかで濃い色を検出します。

エリア

検出する色の色彩の幅を4段階で調整します。＋側にすると広い範囲の色彩を検出し、−側にすると狭い範囲の色彩を検出します。

次のページへ

カラーコレクション（色補正）…つづき

Yレベル

検出する色の明るさを−6〜0〜6の13段階で調整します。＋側にすると明るい色を検出し、−側にすると暗い色を検出します。

Rゲイン

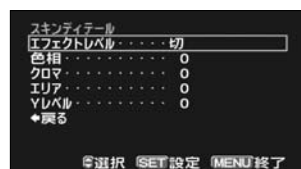
−6〜0〜6の13段階で調整します。＋側にすると、赤みが強くなり、−側にするとシアンの色味が強くなります。

Bゲイン

−6〜0〜6の13段階で調整します。＋側にすると、青みが強くなり、−側にすると黄の色味が強くなります。

スキンディテール

スキンディテールを使うと、色相、クロマ、エリア、Yレベルを設定して、肌色部分を検出し、柔らかく表現できます。
検出した肌色部分は検出パターンと通常画面が交互に表示されます。検出パターンは、ファインダーではゼブラパターンで表示され、接続したテレビ、パソコンでは白く表示されます。
ハイにすると、肌色部分がもっとも柔らかく表現されます。

TAPE CARD

① MENUボタンを押す
②「カメラ設定」➤「スキンディテール」➤ 設定項目を順に選ぶ
　・ SELECTダイヤルを回して調整する項目を選び、SETボタンを押して設定します。
③ 必要な調整を行う
　・ SELECTダイヤルを回して項目を選び、SETボタンを押して設定します。
④「エフェクトレベル」で「ハイ」、「ミドル」または「ロー」を選ぶ
　・ SELECTダイヤルを回して項目を選び、SETボタンを押して設定します。
　・「切」以外にすると画面に「 」が出ます。
⑤ MENUボタンを押す

色相

検出する肌色部分の色相を−6〜0〜6の13段階で調整します。＋側にすると赤みの強い肌色を検出し、−側にすると緑の強い肌色を検出します。

クロマ

検出する肌色部分の彩度を−6〜0〜6の13段階で調整します。＋側にすると鮮やかな色を検出し、−側にすると薄い色を検出します。

エリア

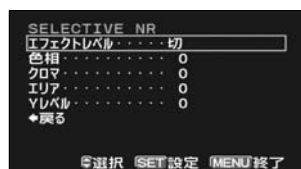
検出する肌色の色彩の幅を−6〜0〜6の13段階で調整します。＋側にすると広い範囲の色彩を検出し、−側にすると狭い範囲の色彩を検出します。

Yレベル

検出する肌色の明るさを−6〜0〜6の13段階で調整します。＋側にすると明るい肌色を検出し、−側にすると暗い肌色を検出します。

S-NR セレクティブNR

セレクティブNRを使うと、色相、クロマ、エリア、Yレベルを設定して、任意の色を検出し、その色のノイズを低減できます。また、クロマキー合成を行う場合、背景にかけると合成の抜けが良くなります。
検出した色部分は検出パターンと通常画面が交互に表示されます。検出パターンはファインダーではゼブラパターンで表示され、接続したテレビやパソコンでは白く表示されます。
「エフェクトレベル」を「ハイ」にすると、ノイズ低減レベルが最大になります。

TAPE | CARD

① MENUボタンを押す
②「カメラ設定」➤「SELECTIVE NR」➤ 設定項目を順に選ぶ
- SELECTダイヤルを回して調整する項目を選び、SETボタンを押して設定します。

③ 必要な調整を行う
- SELECTダイヤルを回して項目を選び、SETボタンを押して設定します。

④「エフェクトレベル」で「ハイ」、「ミドル」または「ロー」を選ぶ
- SELECTダイヤルを回して項目を選び、SETボタンを押して設定します。
- 「切」以外にすると画面に「 S-NR 」が出ます。

⑤ MENUボタンを押す

色相

検出する色の色相を調整します。赤みの強い青（6）～シアン～黄色みの強い緑（－6）の範囲で指定します。
色相の黄⇔赤の領域に対してノイズを低減したいときは、スキンディテールを使います。

クロマ

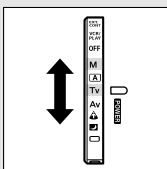
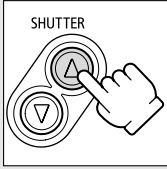
検出する色の彩度を－6～0～6の13段階で調整します。＋側にすると鮮やかな色を検出し、－側にすると薄い色を検出します。

エリア

検出する色の色彩の幅を－6～0～6の13段階で調整します。＋側にすると広い範囲の色彩を検出し、－側にすると狭い範囲の色彩を検出します。

Yレベル

検出する色の明るさを－6～0～6の13段階で調整します。＋側にすると明るい肌色を検出し、－側にすると暗い肌色を検出します。

クリアスキャン

クリアスキャン機能では、パソコンの画面などを撮影するときに出る黒い帯を出ないようにして撮影できます。
● 設定できる周波数は60.1Hz～203.9Hzです。

操作のしかた

TAPE	CARD		VCR/PLAY	M	A	Tv	Av			

1 メインダイヤルをTvまたはMにする

2 SHUTTER▲ボタンを押して「CS」を表示させる

・・・ 1/8000秒 ↔ 1/15000秒 ↔ CS（クリアスキャン）

3 周波数を選ぶ

① MENUボタンを押す
②「カメラ設定」➤「クリアスキャン」➤ 設定項目を順に選ぶ
　・SELECTダイヤルを回して項目を選び、SETボタンを押して設定します。
③ 画面を見ながら、黒い帯が出ないように周波数を選ぶ
④ MENUボタンを押す

カスタムキー

本機ではさまざまな機能の中から使用頻度の高い2つをカスタムキー（専用ボタン）に設定できます。カスタムキーは、カメラモード、VCR/PLAYモード、カードカメラモード、カードVCR/PLAYモードでそれぞれ独立して設定できます。
ご購入時は、下記のように設定されています。

	カメラモード	VCR/PLAYモード	カードカメラモード	カードVCR/PLAYモード
CUSTOM KEYS 1	タイムコード	オンスクリーン	ゼブラパターン	オンスクリーン
CUSTOM KEYS 2	インデックス記録	データコード	オンスクリーン	EVFシロクロモード

カスタムキーの設定は、カメラモード／カードカメラモードでは「表示設定」サブメニューの「ガイド」で「カスタムキー」を選ぶと、VCRモード／カードVCRモードでは「表示設定」サブメニューで「カスタムキー」で「入」を選ぶと画面に表示できます。

以下の機能がカスタムキーに設定可能です。
□の機能はカスタムキーを使った場合のみ操作可能です（インデックス記録のみリモコンでも操作できます）。

カメラモード
- タイムコード
- インデックス記録
- ゼブラパターン
- VCRストップ
- オンスクリーン
- TC HOLD
- レベルメーター
- EVFシロクロモード
- MAGN.ボタンロック
- SHTR ボタンロック
- AE D.ロック
- E.LCK B.ロック
- CPマイナスキー＊
- FB
- EVF反転モード
- SDI出力 XL H1s
- FOCUS LIMIT

＊カスタムキー2のみ

VCR/PLAYモード
- タイムコード
- オンスクリーン
- データコード
- レベルメーター
- TC HOLD
- EVFシロクロモード
- SDI出力 XL H1s

カードカメラモード
- ゼブラパターン
- オンスクリーン
- EVFシロクロモード
- MAGN.ボタンロック
- SHTR ボタンロック
- AE D.ロック
- E.LCK B.ロック
- CPマイナスキー＊
- FB
- EVF反転モード
- SDI出力 XL H1s
- FOCUS LIMIT

＊カスタムキー2のみ

カードVCR/PLAYモード
- オンスクリーン
- EVFシロクロモード
- SDI出力 XL H1s

設定のしかた

TAPE | CARD

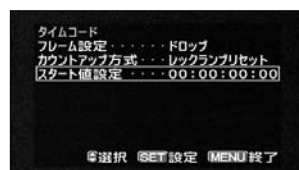
① MENUボタンを押す
②「システム設定」➤「カスタムキー 1」/「カスタムキー 2」➤ 設定項目を順に選ぶ
・ SELECTダイヤルを回して項目を選び、SETボタンを押して設定します。
・ カスタムキーを使わないときは「(未設定)」を選びます。
③ MENUボタンを押す

撮影編

操作のしかた

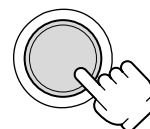
ここでは、カスタムキーに設定した機能で使用するボタンを「　」に入れて<「インデックス」ボタン>のように表記しています。

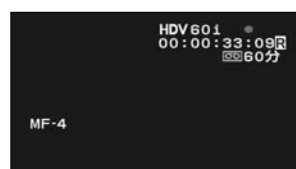
タイムコード

「タイムコード」ボタンを押すと、タイムコードの設定メニュー画面になります。

インデックス記録

撮影場面の任意の位置にインデックス信号を記録できます。再生時に頭出しできますので、編集などに便利です（🕮 133）。
- インデックス信号をあとから記録することはできません。また、消去できません。

撮影一時停止中

❶「インデックス」ボタンを押す
- インデックス表示が出る。

❷ スタート／ストップボタンを押す
- 撮影が始まり、インデックスを約6.5秒記録したのち、インデックス表示が消える。

撮影中

❶「インデックス」ボタンを押す
- インデックス表示が出て、インデックスを約6.5秒記録したのち、インデックス表示が消える。

ゼブラパターン

ゼブラパターン表示の入／切を行います。
「ゼブラパターン」ボタンを押すたびに切り換わります。

次のページへ

カスタムキー…つづき

VCRストップ

撮影一時停止中にVCR部分を停止できます。「システム設定」➤「パワーセーブ」を「切」に設定していると、テープ、ヘッドを気にすることなく、撮影準備を行えます。
もう一度「VCRストップ」ボタンを押すと撮影一時停止に戻ります。
VCRストップ状態でスタート／ストップボタンを押しても、撮影は始まります。
● カスタムキーだけで操作できます。

オンスクリーン

画面の情報を本機と接続したモニターTVにも表示できます。
「オンスクリーン」ボタンを押すたびに切り換わります。

TC HOLD（タイムコードホールド）

「TC HOLD」ボタンを押すと、本機に表示されるタイムコード値を保持できます。保持中でもタイムコードは歩進します。再度「TC HOLD」ボタンを押すと、歩進していたタイムコードが表示されます。
● タイムコード保持中は画面に「H」が表示されます。また、液晶表示パネルにHOLDが表示されます。
● TC OUT端子*、HD/SD SDI端子*、LANC端子、HDV/DV端子に出力されるタイムコードはホールドされません。コンポジット/S-映像端子の映像信号に重畳されるタイムコードはホールドされます。
● 電源の入/切、メインダイヤルのカメラモード/VCRの切り換え、テープ/カードの切り換えを行うことで、タイムコードのホールドは解除されます。
● カスタムキーだけで操作できます。
＊ XL H1Sのみ

レベルメーター

レベルメーター表示の入/切を行います。
「レベルメーター」ボタンを押すたびに切り換わります。

EVF シロクロモード

ファインダーの白黒表示の入/切を行います（「入」にしても、表示文字などはカラーで表示されます）。
「EVFシロクロモード」ボタンを押すたびに切り換わります。

MAGN.ボタンロック

誤操作を防ぐために、EVF MAGNIFYING（拡大）ボタンを無効にできます。押すたびに有効、無効が切り換わります。

SHTR ボタンロック

誤操作を防ぐため、SHUTTER（シャッター）▲/▼ボタンを無効にできます。押すたびに有効、無効が切り換わります。

AE D. ロック

誤操作を防ぐために、AE SHIFTダイヤルを無効にできます。押すたびに有効、無効が切り換わります。

E.LCK B.ロック

誤操作を防ぐために、EXP. LOCK/PUSH AEボタンを無効にできます。押すたびに有効、無効が切り換わります。

CPマイナスキー

CUSTOM PRESET SELECTボタンでは、押すたびにカスタムプリセット番号をプラス方向に選びますが、「CPマイナスキー」ボタンでは、押すたびにマイナス方向に選びます。
● カスタムキーだけで操作できます。

FB（フランジバック調整）

「FB」ボタンを押すと、フランジバック調整のメニュー画面になります。フランジバック調整ができない場合は無効です。

EVF反転モード

「EVF反転モード」ボタンを押すと、画面に表示される映像を上下、左右反転します。撮影される映像、各端子から出力される映像は変わりません。
● XLレンズ（レンズの警告が出ないレンズ）装着時、メニュー表示中は、「EVF反転モード」ボタンは機能しません。
● カスタムキーだけで操作できます。

SDI出力 XL H1s

「SDI出力」ボタンを押すと、SDI出力の設定メニュー画面になります。

FOCUS LIMIT

フォーカスリミットの入/切を行います。
「FOCUS LIMIT」ボタンを押すたびに切り換わります。

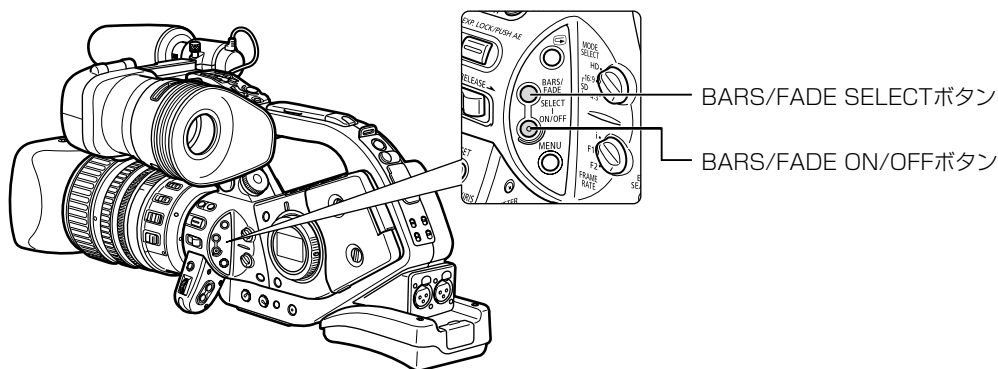
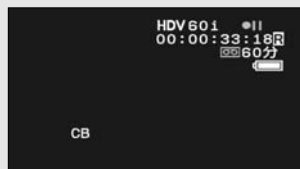
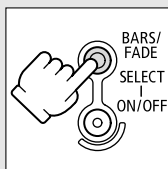
データコード

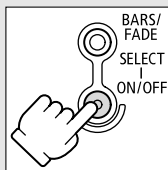
データコード表示の入/切を行います。
「データコード」ボタンを押すたびに切り換わります。

カラーバー／テストトーンを記録する

カラーバーを記録する

本機では、カラーバーを出力、録画できます。
カラーバーは、カスタムファンクションのCOLOR BARSで、SMPTE準拠（タイプ1）、ARIB準拠（タイプ2）から選べます。（□ 124）。

TAPE | CARD　　VCR/PLAY | M | A | Tv | Av | | |

1 BARS/FADE SELECTボタンを押す

- 押すたびに順番にカラーバー、白フェード、黒フェード、表示なしが表示されます。
- 「カラーバー」を選択します。表示が点滅します。

2 BARS/FADE ON/OFFボタンを押す

- 画面にカラーバーが表示され、「カラーバー」表示が点灯します。

テストトーンを記録する

カラーバーと一緒にテストトーン（1kHz、－12dB/－18dB/－20dB）を記録できます。
本機を再生するときに、接続した機器で入力レベルを調整できる場合は、事前に調整できます。
機器に合わせて、レベルを選びます。

TAPE | CARD　　VCR/PLAY | M | A | Tv | Av | | |

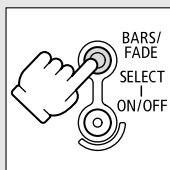
① カスタムファンクションで1kHz TONEを－12dB/－18dB/－20ｄBから選ぶ（□ 124）
　・ 選択したレベルのテストトーンが出力されます。
　・ スタート/ストップボタンを押すことで、テープにカラーバーとテストトーンを記録できます。

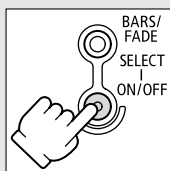
フェーダーを使う（白フェーダー/黒フェーダー）

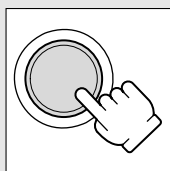
白、黒の2種類のフェーダーが選択できます。

TAPE | CARD　　VCR/PLAY | M | A | Tv | Av

撮影中、撮影一時停止中

1 BARS/FADE SELECTボタンを押す

- 押すたびに順番にカラーバー、白フェード、黒フェード、表示なしが表示されます。
- 「白フェード」または「黒フェード」を選択します。

2 BARS/FADE ON/OFFボタンを押す

- 選んだ表示が点灯します。

3 スタート／ストップボタンを押す

撮影一時停止中

フェードインします。

撮影中

フェードアウトします。

- 表示が点滅に戻ります。再度フェードを使うときは、BARS/FADE ON/OFFボタンを押して、表示を点灯させます。

出力信号形式

HD/SD SDI端子（XL H1S）、コンポーネント端子、HDV/DV端子からの出力信号形式は、記録/再生の映像信号形式やメニューの設定に応じて切り換わります。S-Video端子/Video端子からは480/60iになります。

撮影時の出力信号形式

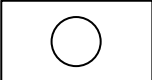
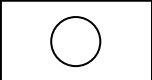
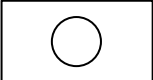
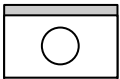
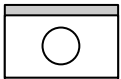
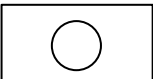
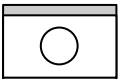
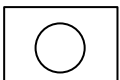
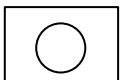
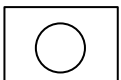
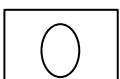
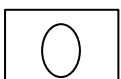
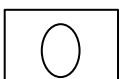
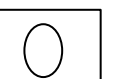
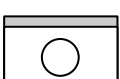
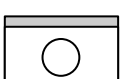
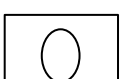
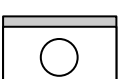
撮影信号形式と各端子から出力される信号形式は次の表のとおりです。
HD撮影時、HD/SD SDI端子からはHD非圧縮YPbPr信号が出力されます。
ダウンコンバートの入/切はメニューで設定できます。

撮影フレームレート	HD/SD SDI端子 XL H1s		コンポーネント端子		HDV/DV端子
		ダウンコンバート*3*5*6		ダウンコンバート*4*5	
HD 60i	1080/60i	480/60i	1080/60i	480/60i	1080/60i
HD 30F	1080/60i*1	480/60i	1080/60i*1	480/60i	1080/30p
HD 24F	1080/60i*2	480/60i	1080/60i*2	480/60i	1080/24p

*1 60iに変換。
*2 2:3プルダウン方式で60iに変換。
*3「信号設定」➤「SDI出力映像」を「SD固定」に設定する。
*4「信号設定」➤「コンポーネント出力」を「480i」に設定する。
*5 16:9の映像を横方向に圧縮（スクイーズ）して4:3に変換。
*6「信号設定」➤「SDI出力」を「入（OSD）」にしても、画面表示は重畳されない。

再生時の出力信号形式

再生信号形式と各端子から出力される信号形式は次の表のとおりです。
HDVで記録されたテープの再生時、HD/SD SDI端子からはHDVから変換した信号が出力されます。
ダウンコンバートの入/切はメニューで設定できます。

再生信号形式	レターボックス	HD/SD SDI端子 XL H1s		コンポーネント端子		HDV/DV端子	
			ダウンコンバート*3*5		ダウンコンバート*4*5		ダウンコンバート*6*7
HDV 1080/60i	切	1080/60i	480/60i	1080/60i	480/60i	1080/60i	480/60i
	入	480/60i		480/60i			
HDV 1080/30p	切	1080/60i*1	480/60i	1080/60i*1	480/60i	1080/30p	480/60i
	入	480/60i*1		480/60i*1			
HDV 1080/24p	切	1080/60i*2	480/60i	1080/60i*2	480/60i	1080/24p	480/60i
	入	480/60i*2		480/60i*2			

*1 60iに変換。
*2 2:3プルダウン方式で60iに変換。
*3「信号設定」➤「SDI出力映像」を「SD固定」に設定する。
*4「信号設定」➤「コンポーネント出力」を「480i」に設定する。
*5 16:9の映像を横方向に圧縮（スクイーズ）して4:3に変換。
*6「信号設定」➤「DV変換」を「入」に設定する。
*7「表示設定」➤「オンスクリーン」を「入」にしても、画面表示は出力されない。

モニターTVとの接続

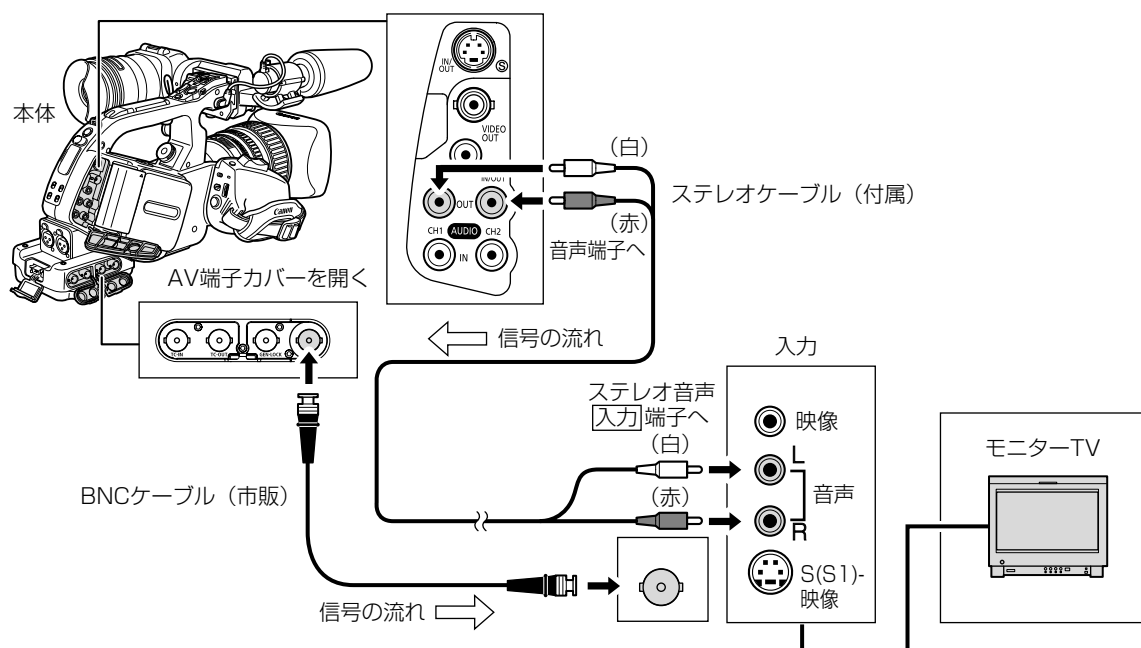
記録規格と各端子の出力は以下になります：

＊XL H1Sのみ

		HD/SD SDI 端子*	コンポーネント端子	HDV/DV端子	S-VIDEO端子
HD規格	レターボックス「切」のとき	1920×1080	D3（1440×1080）	MPEG TS	
	レターボックス「入」のとき	SD SDI	D1（SD）	MPEG TS	
SD規格4：3		640×480	D1（SD）ノーマル	DV（SD）	
SD規格16：9	レターボックス「切」のとき	640×480	D1（SD）	DV（SD）	
	レターボックス「入」のとき	SD SDI	D1	DV（SD）	

ハイビジョンモニターTVとの接続

1 HD/SD SDI 端子で接続する XL H1s

● HD/SD SDI 端子からの出力信号にオーディオ信号とタイムコード信号が重畳されています。

● HD/SD SDI出力を「入」にする

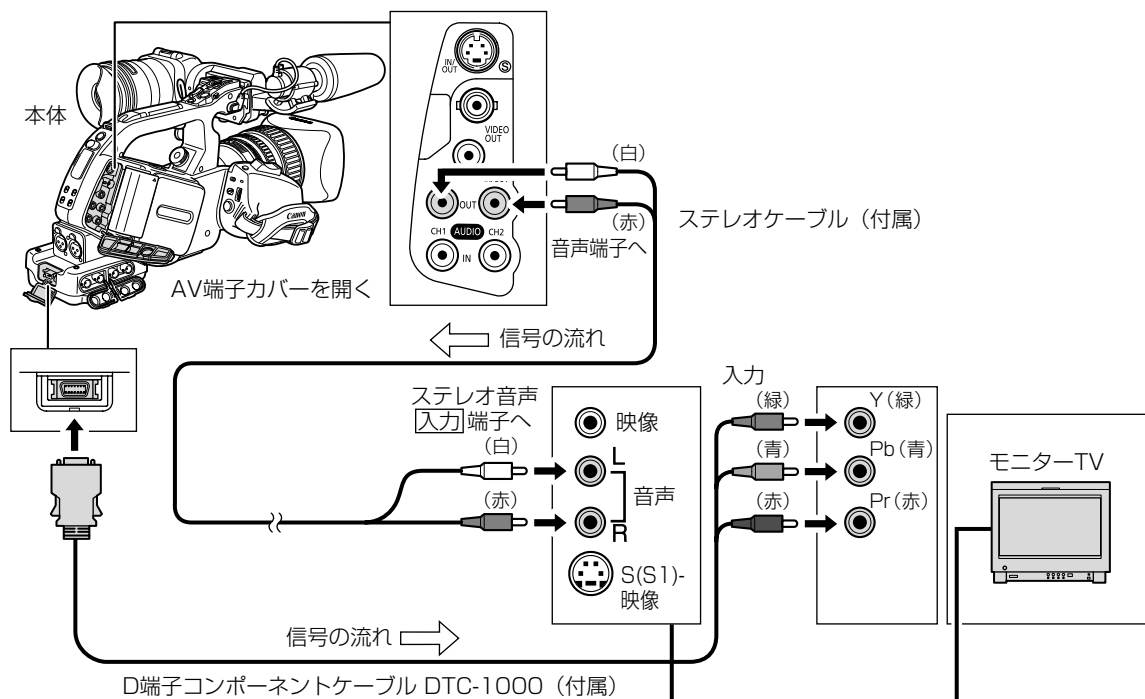
① MENUボタンを押す
②「信号設定」➤「SDI出力」➤ 設定内容を順に選ぶ
　・ SELECTダイヤルを回して「入」または「入(OSD)」を選び、SETボタンを押して設定します。
③ MENUボタンを押す

● HD/SD SDI出力を選択する（HDまたはSD）

① MENUボタンを押す
②「信号設定」➤「SDI出力映像」➤ 設定内容を順に選ぶ
　・ SELECTダイヤルを回して項目を選び、SETボタンを押して設定します。
③ MENUボタンを押す

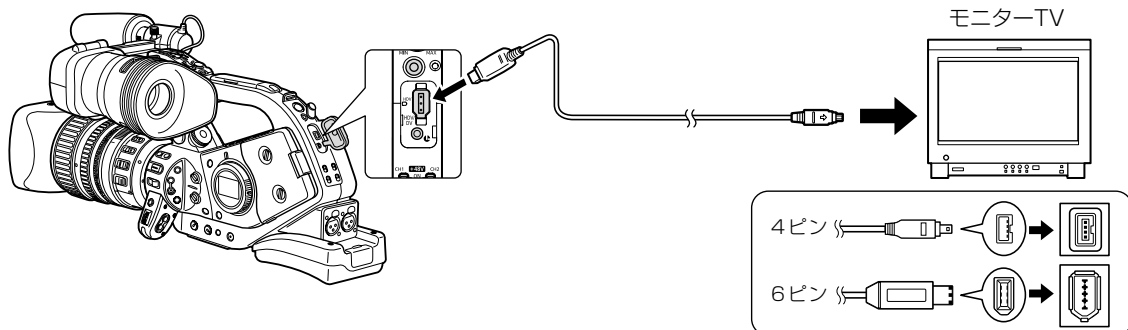
SDI出力を「入（OSD*)」にすると画面に SDI が表示され、SDIから出力される映像信号に画面表示が重畳されます（*OSD：On Screen Display)。

❍ SDIからの映像に重畳される画面表示は、EVF DISPLAYボタンの設定（ 39）に連動します。また、セーフティーエリア、水平マーカー、グリッド、エリアマーカーは表示されません。
❍ SDI出力を「入（OSD)」にすると、「信号設定」サブメニューの「コンポーネント出力」は無効になります。

2 コンポーネント端子で接続する

● 接続するモニターTVに合わせて、コンポーネント出力を切り換える

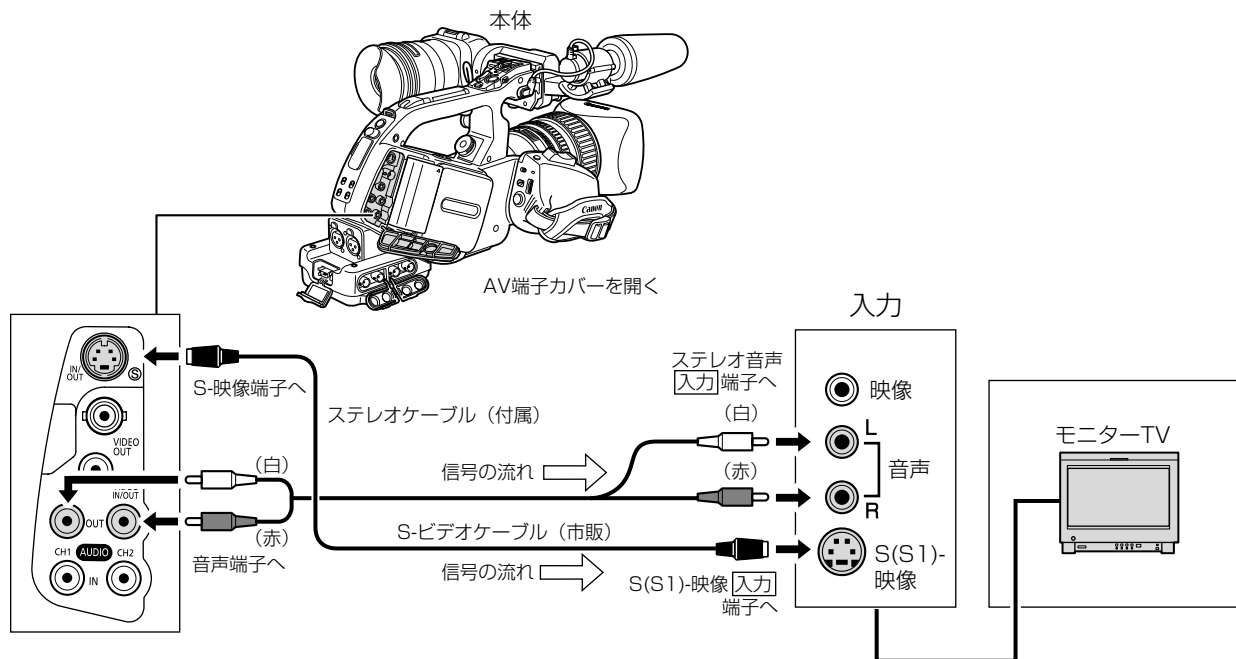
① MENUボタンを押す
②「信号設定」➤「コンポーネント出力」➤ 設定内容を順に選ぶ
　・ SELECTダイヤルを回して項目を選び、SETボタンを押して設定します。
③ MENUボタンを押す

モニターTVとの接続…つづき

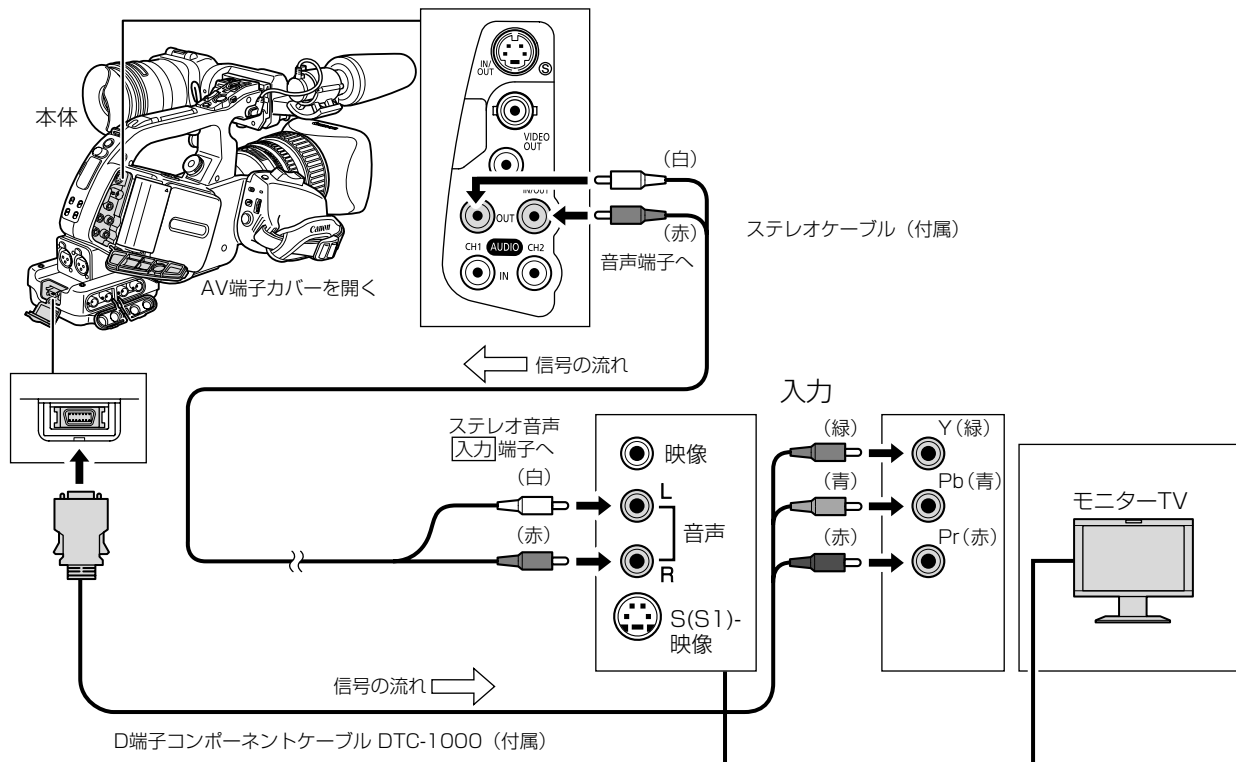
3 HDV/DV端子で接続する

- モニターTVにDVケーブルで接続する場合は、本機を認識させるため、モニターTV側の設定が必要な場合があります。
- 必要に応じてDV変換機能を入/切して、HDV規格で撮影したテープをDV規格に変換するかどうかを選択します。

① MENUボタンを押す
②「信号設定」➤「DV変換」➤ 設定内容を順に選ぶ
　・ SELECTダイヤルを回して項目を選び、SETボタンを押して設定します。
③ MENUボタンを押す

4 S-VIDEO端子/VIDEO端子で接続する

- VIDEO端子を使用する場合は、市販のRCAまたはBNCケーブルを使用してください。

ワイド/4：3モニターTV（ハイビジョン非対応モニター）との接続

接続は、各機器の電源を切って行います。接続する機器の説明書もあわせてご覧ください。

1 コンポーネント端子で接続する

- 接続するモニターTVに合わせて、コンポーネント出力を切り換える

① MENUボタンを押す
②「信号設定」➤「コンポーネント出力」➤ 設定内容を順に選ぶ
　· SELECTダイヤルを回して項目を選び、SETボタンを押して設定します。
③ MENUボタンを押す

- 4：3モニターTVに接続するときは、レターボックスの設定を行う（再生時のみ）

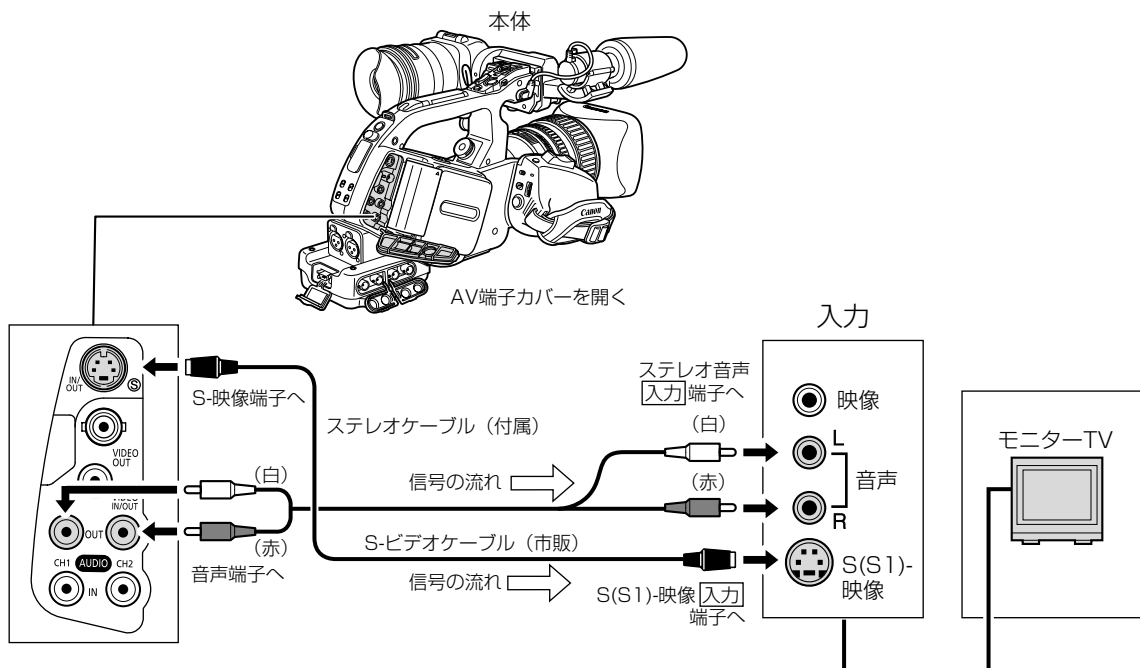
① MENUボタンを押す
②「信号設定」➤「レターボックス」➤「入」を順に選ぶ
　· SELECTダイヤルを回して項目を選び、SETボタンを押して設定します。
③ MENUボタンを押す

接続編

次のページへ

モニターTVとの接続…つづき

2 S-VIDEO端子/VIDEO端子で接続する

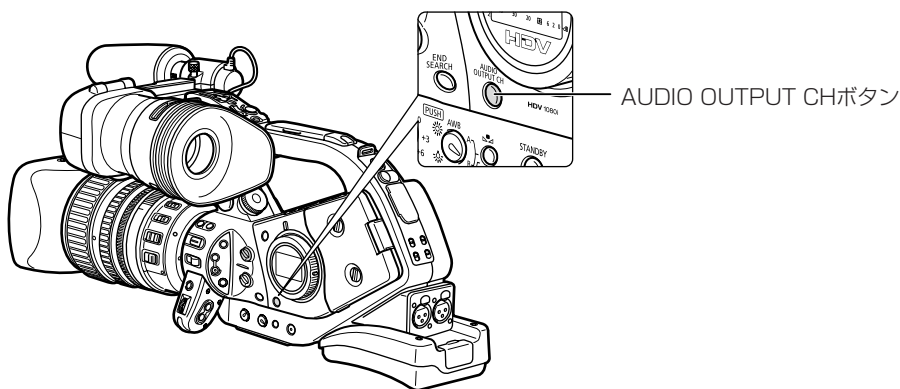
● VIDEO端子を使用する場合は、市販のRCAまたはBNCケーブルを使用してください。

❍ コンパクトパワーアダプターを使って、家庭用のコンセントで使うことをおすすめします。

❍ **S1-映像入力端子付きのテレビの場合**
本機のワイドテレビ用「16：9」機能（□42）で撮影した映像をテレビで見るときに、本機をS1-映像入力端子につないで再生すると、自動的にワイド画面に切り換わります。

❍ **ビデオ方式 IDシステム（ID-1）方式対応のテレビの場合**
本機のワイドテレビ用「16：9」機能（□42）で撮影した映像をテレビで見るときに、Sまたは映像入力端子につないで再生すると、自動的にワイド画面に切り換わります。

音声出力を選択する

音声出力を切り替える

音声出力（AUDIO CH1/CH2、ヘッドホン出力）から出力するチャンネルを切り替えます。

1 AUDIO OUTPUT CHボタンを押す

- 出力チャンネルが切り換わる。
- 押すたびに出力チャンネルが周期的に切り換わります。

モードごとの出力チャンネルの切り換わり方

モード		出力チャンネルの切り換わり方
カメラモード		CH1/CH2 ➤ CH1/CH1 ➤ CH2/CH2 ➤ ALL_CH/ALL_CH ➤ CH1/CH2
VTR/PLAYモード	2CH	CH1/CH2 ➤ CH1/CH1 ➤ CH2/CH2 ➤ ALL_CH/ALL_CH ➤ CH1/CH2
HDV/DV入力時*2	4CH*1	CH1・3/CH2・4 ➤ CH1・3/CH1・3 ➤ CH2・4/CH2・4 ➤ ALL_CH/ALL_CH
アナログ入力時*2		CH1/CH2 ➤ CH1/CH1 ➤ CH2/CH2 ➤ ALL_CH/ALL_CH ➤ CH1/CH2

*1 他機でオーディオ4CH記録したテープを本機で再生する場合など。
*2 入力信号を記録する（🕮 104）。

音声出力レベルを切り替える

音声出力（AUDIO CH1/CH2）の出力レベルを切り替えます。2Vrmsにすると、出力レベルが+6dB上がります。

① MENUボタンを押す
②「オーディオ設定」➤「OUTPUTレベル」➤ 設定内容を順に選ぶ
・ SELECTダイヤルを回して「1Vrms」または「2Vrms」を選び、SETボタンを押して設定します。
③ MENUボタンを押す

次のページへ

音声出力を選択する …つづき

音声モニターを選ぶ

TAPE	CARD

VCR/PLAY	M	A	Tv	Av			

① MENUボタンを押す
②「オーディオ設定」➤「音声モニター」➤ 設定内容を順に選ぶ
- SELECTダイヤルを回して項目を選び（下表参考）、SETボタンを押して設定します。
- 音声モニターの設定は、リモコンのAUDIO MONITORボタン（□ 17）でもできます。
-「ミックス／バリアブル」を選んだときのチャンネル1/2とチャンネル3/4のバランスは、「ミックスバランス」（□ 165）またはリモコンのMIX BALANCEボタン（□ 17）で行います。

③ MENUボタンを押す

音声選択	2ch記録時	音声モニター	4ch記録時
CH1/CH2 CH3/CH4 CH1・3/ CH2・4	L端子：Lまたはch1を出力 R端子：Rまたはch2を出力	CH1/2 CH3/4 ミックス/1:1 ミックス/バリアブル	L端子：ch1を出力　R端子：ch2を出力 L端子：ch3を出力　R端子：ch4を出力 L端子：ch1+ch3を出力 R端子：ch2+ch4を出力 (LとRのバランス固定) L端子：ch1+ch3を出力 R端子：ch2+ch4を出力 (LとRのバランス可変)
CH1/CH1 CH3/CH3 CH1・3/ CH1・3	L端子：Lまたはch1を出力 R端子：Lまたはch1を出力	CH1/2 CH3/4 ミックス/1:1 ミックス/バリアブル	L端子：ch1を出力　R端子：ch1を出力 L端子：ch3を出力　R端子：ch3を出力 L端子：ch1+ch3を出力 R端子：ch1+ch3を出力 (LとRのバランス固定) L端子：ch1+ch3を出力 R端子：ch1+ch3を出力 (LとRのバランス可変)
CH2/CH2 CH4/CH4 CH2・4/ CH2・4	L端子：Rまたはch2を出力 R端子：Rまたはch2を出力	CH1/2 CH3/4 ミックス/1:1 ミックス/バリアブル	L端子：ch2を出力　R端子：ch2を出力 L端子：ch4を出力　R端子：ch4を出力 L端子：ch2+ch4を出力 R端子：ch2+ch4を出力 (LとRのバランス固定) L端子：ch2+ch4を出力 R端子：ch2+ch4を出力 (LとRのバランス可変)
ALL CH/ALL CH	L端子：すべてのchを出力 R端子：すべてのchを出力	CH1/2 CH3/4 ミックス/1:1 ミックス/バリアブル	L/R端子：すべてのchを出力 L/R端子：すべてのchを出力 L/R端子：すべてのchを出力(LとRのバランス固定) L/R端子：すべてのchを出力(LとRのバランス可変)

デジタルビデオ（DV）コントロール機能

本機のHDV／DV端子とDV端子を持つほかのビデオ機器などを接続することで、本機のスタート／ストップボタンで接続した機器の録画、一時停止を操作できます。

TAPE	CARD

VCR/PLAY	M	A	Tv	Av			

IEEE1394端子には、4ピンと6ピンがあり、本機のHDV/DV端子は6ピンです。
端子の形状に合わせて、別売のDVケーブルCV-250F（4ピン-6ピン）または、市販の6ピン－6ピンのケーブルなどを使います。

① MENUボタンを押す
②「システム設定」➤「DVコントロール」➤ 設定内容を順に選ぶ
・ SELECTダイヤルを回して「入 DV」を選び、SETボタンを押して設定します。
③ MENUボタンを押す

① 本機が録画一時停止中
スタート／ストップボタンを押す
本機：録画
接続した機器：録画

② 本機が録画中
スタート／ストップボタンを押す
本機：録画一時停止
接続した機器：録画一時停止

③ カセットが入っていないなど本機が録画できない場合
スタート／ストップボタンを押す
接続した機器：本機のスタート／ストップボタンを押すたびに、録画と録画一時停止を繰り返す

④ 接続した機器が録画中に本機にカセットを入れた場合
スタート／ストップボタンを押す
本機：録画一時停止
接続した機器：録画
➡
本機：録画
接続した機器：録画を継続
本機と接続した機器が録画中にスタート／ストップボタンを押すとともに録画一停止になる（②と同じ）

- 本機と接続した機器が録画中に、本機のスタート／ストップボタン以外で本機の録画が終了した（テープが終わりになるなど）場合は、接続した機器はそのまま録画を続けます。
- 本機の録画が終了したときに、接続した機種によっては、一瞬音声が途切れることがあります。

接続した機器が録画中	DV ●
接続した機器が録画一時停止または停止中	DV ■
接続した機器が録画、録画一時停止、停止以外の場合	DV - - -
DVコントロール機能が「入」でHDV/DV端子にDVコントロール可能な機器が接続されていない場合	DV

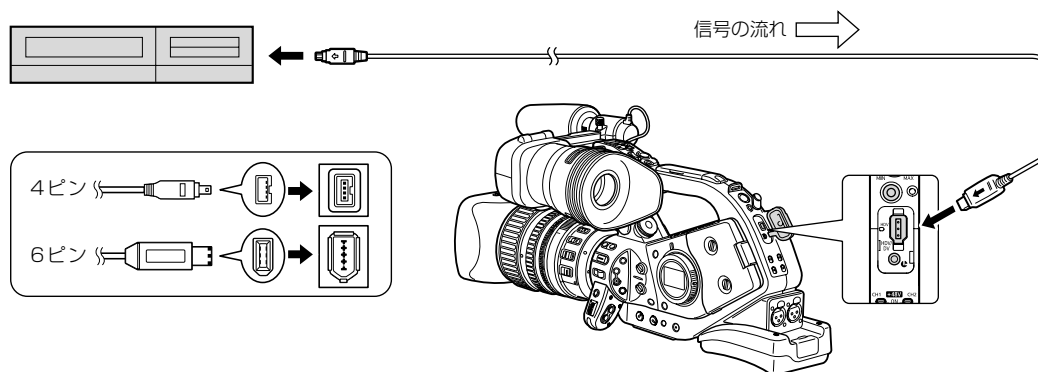
DVコントロール機能では
- DVコントロールの設定は電源を切っても記憶しています（内蔵型リチウム2次電池で記憶）。接続した機器のテープを上書きしてしまうことがありますので、DVコントロールを使用したあとは、設定を確認してください。
- DVコントロール対応のキヤノンビデオカメラを2台接続してDVコントロールするときは、「接続した機器」にあたるビデオカメラはかならずDVコントロールを「切」にしてください。
- DVコントロールする場合、接続可能なビデオ機器は本機を含め3台までです。
- 接続する機器によっては正常に動作しないことがあります。

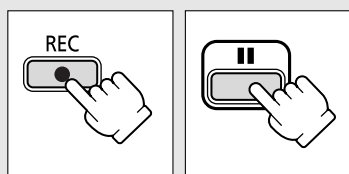
入力信号を記録する（HDV/DV入力、アナログ入力）

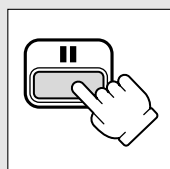
本機はHDV/DV端子入力（SDまたはHD規格）、アナログ入力（SD規格）を記録できます。

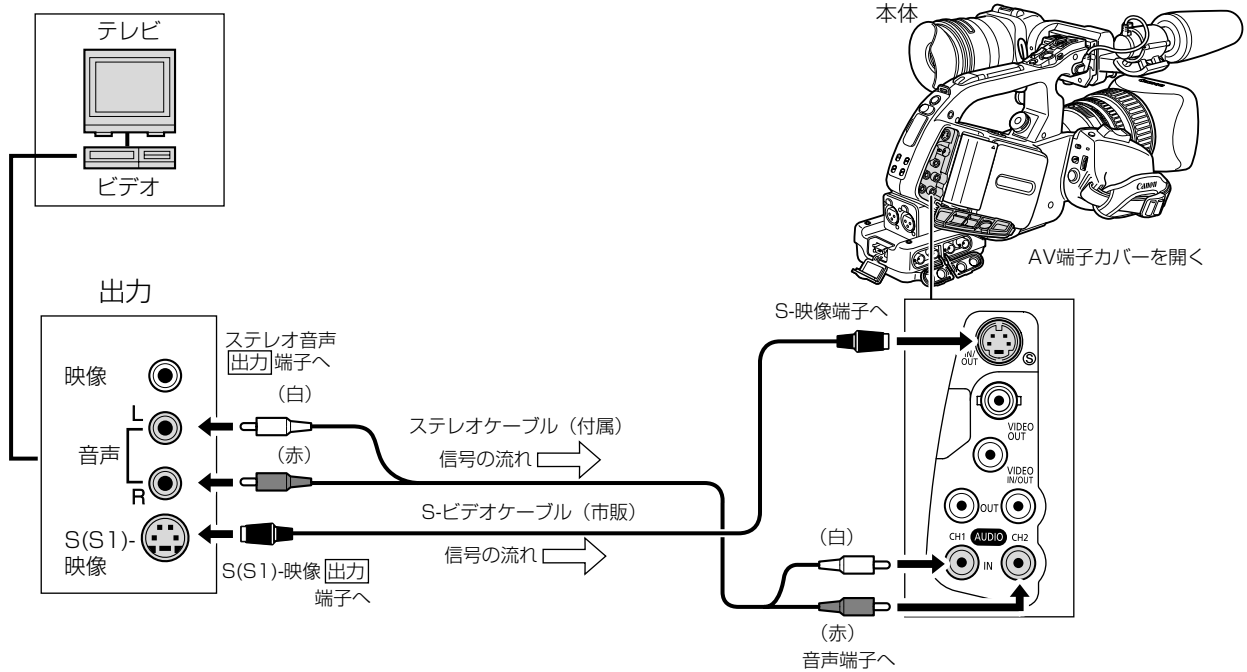
TAPE	CARD		VCR/PLAY	M	A	Tv	Av			

HDV/DV入力

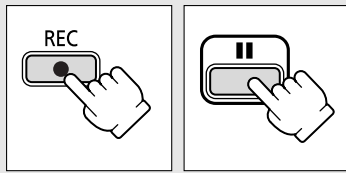
HDV/DV入力時にはコピーするテープのオリジナルのタイムコードを記録することもできます。
リジェネ：本機のタイムコードを記録します。
コピー：オリジナルテープのタイムコードをコピーできます。

① MENUボタンを押す
②「信号設定」➤「タイムコード」➤「HDV/DV入力」➤ 設定内容を順に選ぶ
・ SELECTダイヤルを回して項目を選び、SETボタンを押して設定します。
③ MENUボタンを押す

1 ●ボタンと❚❚ボタン（リモコンではREC PAUSEボタン）を押す

- 録画一時停止になります。
- 録画一時停止中/録画中は、画面で映像を確認できます。
- ●ボタンだけを押すと、すぐに録画を開始します。

2 ❚❚ボタン（リモコンではPAUSE ❚❚ボタンを押す）

- 録画が始まります。
- 録画を終えるときは■ボタンを押します。

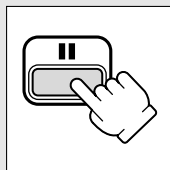
アナログ入力

1 DVオーディオモードを選ぶ

① MENUボタンを押す
②「オーディオ設定」➤「DVオーディオモード」➤ 設定内容を順に選ぶ
・SELECTダイヤルを回して項目を選び、SETボタンを押して設定します。
③ MENUボタンを押す

2 ●ボタンとⅡボタン(リモコンではREC PAUSEボタン)を押す

- 録画一時停止になります。
- 録画一時停止中/録画中は、画面で映像を確認できます。
- ●ボタンだけを押すと、すぐに録画を開始します。

3 Ⅱボタン(リモコンではPAUSE Ⅱボタンを押す)

- 録画が始まります。
- 録画を終えるときは■ボタンを押します。

接続編

アナログ－デジタル変換

アナログ入力信号をSD規格のデジタル信号に変換して、HDV/DV端子から出力できます。

設定のしかた

TAPE	CARD

① MENUボタンを押す
② 「信号設定」➤「AV➡DV」➤ 設定内容を順に選ぶ
　・ SELECTダイヤルを回して項目を選び、SETボタンを押して設定します。
③ MENUボタンを押す
　・「入」を選ぶと、「AV➡DV」の表示が出ます。

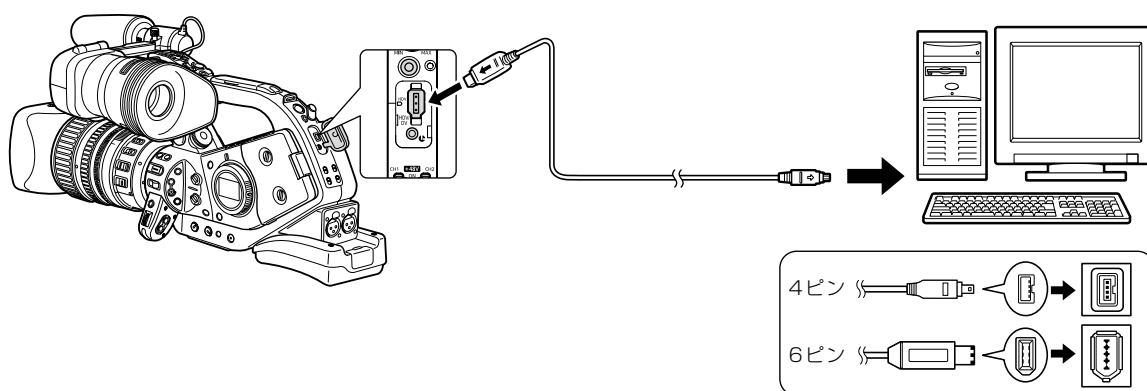
❍ 接続した製品からのアナログ信号によっては、正しくデジタル変換されない場合があります。
　例：著作権保護信号入りのアナログ信号、ゴーストなどを含む乱れたアナログ信号等
❍ 通常は「AV➡DV」を「切」に設定しておいてください。「入」に設定していると、本機のHDV/DV端子からデジタル信号を入力できません。
❍ IEEE1394端子付きのパソコンに接続する場合、使用するソフトウェア、パソコンの設定などによっては、デジタル変換された映像と音声をパソコンで表示したり、取り込めないことがあります。

❍ コンパクトパワーアダプターを使って、家庭用コンセントから電源をとることをおすすめします。
❍ リモコンでも操作できます。リモコンのAV→DVボタンを押します。ボタンを押すたびに、「入」と「切」を切り換えられます。

パソコンとの接続（DVケーブルIEEE1394接続）

本機とパソコンを接続するときは、パソコンがIEEE1394（DV）端子を搭載していて、ビデオ信号を取り込める編集ソフトウェアがインストールされていることが必要です。パソコンの使用環境については、ソフトウェアの説明書をご覧ください。

操作のしかた

パソコンのIEEE1394（DV）端子は、4ピンと6ピンがあり、本機のHDV/DV端子は6ピンです。端子の形状に合わせて、別売のDVケーブルCV-250F（4ピン－6ピン）または、市販の6ピン－6ピンのケーブルを使います。

❍ 使用するソフトウェア、パソコンの仕様／設定などによっては、正しく動作しないことがあります。
❍ 本機とパソコンを接続したときにパソコン上で操作できない場合は、DVケーブルを抜き差ししてください。それでも操作できない場合は、次の操作をしてください。
① 本機とパソコンからDVケーブルを抜いてから、本機とパソコンの電源を切る。
② 本機とパソコンの電源を入れて、本機とパソコンにDVケーブルを接続し直す。
❍ HDV/DV端子のHDVランプの点灯/消灯が示す規格の信号を扱えるパソコンと接続してください。扱えない信号を入出力すると、パソコンが本機を正しく認識しなかったり、正しく動作しないことがあります。

❍ パソコンやソフトウェアの説明書もあわせてご覧ください。
❍ VCRメニューの「再生規格」、「DV変換」は接続したパソコンの環境に合わせて設定してください。
❍ テープの動画をパソコンに取り込むとき

HDV規格で取り込む場合
・VCRメニューの「再生規格」を「HDV」にして、「DV変換」を「切」にしてください。

DV規格で取り込む場合
・VCRメニューの「再生規格」を「DV」にしてください。

HDV規格で記録したテープをDV規格で取り込む場合
・VCRメニューの「再生規格」を「HDV」にして、「DV変換」を「入」にしてください。

❍ パソコンから本機にビデオ信号を取り込むとき

HDV規格で取り込む場合
・VCRメニューの「再生規格」を「HDV」にして、「DV変換」を「切」にしてください。

DV規格で取り込む場合
・VCRメニューの「再生規格」を「DV」にしてください。

カスタムプリセット

本機には撮影時に画作りを行うための23種類のカスタムプリセットが用意されています（動画撮影時は23項目、静止画撮影時は17項目）。設定したカスタムプリセットは本機に9セット（7〜9はシーン設定値）、カードに20セットまで保存でき、本機とカードに保存したカスタムプリセットは相互にコピーできます。また、動画撮影時に、静止画とカスタムプリセット設定を同時にカードに保存できます。
XL H1とXH G1/XH A1のカスタムプリセット設定を本機で使用できます。また、本機のカスタムプリセット設定をXH G1/XH A1で使用することもできます。

1	GAM	ガンマ[*1]	光の階調に関わるグループ
2	KNE	ニー	
3	BLK	ブラック	
4	PED	マスターペデスタル[*1]	
5	SET	セットアップレベル[*1]	
6	SHP	シャープネス	輪郭やノイズに関わるグループ
7	HDF	水平ディテール周波数	
8	DHV	水平/垂直ディテールバランス	
9	COR	コアリング	
10	NR1	ノイズリダクション1[*1]	
11	NR2	ノイズリダクション2[*1]	
12	CMX	カラーマトリクス[*1]	色の方向性や強さに関わるグループ
13	CGN	カラーゲイン	
14	CPH	色相	
15	RGN	Rゲイン	
16	GGN	Gゲイン	
17	BGN	Bゲイン	
18	RGM	R-Gマトリクス	色の変換に関わるグループ
19	RBM	R-Bマトリクス	
20	GRM	G-Rマトリクス	
21	GBM	G-Bマトリクス	
22	BRM	B-Rマトリクス	
23	BGM	B-Gマトリクス	

[*1] 動画撮影時のみ

設定のしかた

TAPE | CARD

❶ カスタムプリセットを選ぶ

① MENUボタンを押す
②「カスタマイズ」➤「カスタムプリセット」を選ぶ
・ SELECTダイヤルを回して項目を選び、SETボタンを押して設定します。
③ カスタムプリセットサブメニューで CP を選ぶ
・ SELECTダイヤルを回して項目を選び、SETボタンを押して設定します。
・ カスタムプリセット設定メニューが出ます。
④ SELECTダイヤルを回して「SELECT CP」を選び、SETボタンを押す

⑤ SELECTダイヤルを回して設定するカスタムプリセットを選び、SETボタンを押して設定する
・ カスタムプリセットサブメニューに戻ります。

❷ カスタムプリセットを設定する

① SELECTダイヤルを回して「TUNE」を選び、SETボタンを押す
・ カスタムプリセット設定項目選択画面が出ます。

② SELECTダイヤルを回して設定する項目を選び、SETボタンを押して設定する
・ 設定する画面が出ますので、画面で効果を確認しながら、SELECTダイヤルを回して項目を選び、SETボタンを押して設定します。

③ カスタムプリセットの設定が終わったら、SELECTダイヤルを回して「⬅ RETURN」を選び、SETボタンを押す
・ カスタムプリセット設定メニューに戻ります。

カスタマイズ編

次のページへ

カスタムプリセット…つづき

❸ カスタムプリセットの名前を変更する

① SELECTダイヤルを回して「RENAME」を選び、SETボタンを押す
・ カスタムプリセットの先頭の文字が点滅します。

② SELECTダイヤルを回してアルファベット、数字、記号を選び、SETボタンを押す
・ 続いて右隣の桁の設定になります。最後の桁を設定して、SETボタンを押すと、カスタムプリセット設定メニューに戻ります。

❹ カスタムプリセット設定をプロテクトする

① SELECTダイヤルを回して「PROTECT」を選び、SETボタンを押す
・ カスタムプリセット名の右に🔑が出ます。
・ プロテクトを解除するときは、プロテクト設定しているカスタムプリセットを選び、「PROTECT」を選び、SETボタンを押します。🔑が消えます。

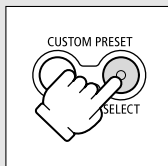
❺ カスタムプリセット設定を初期値に戻す（リセット）

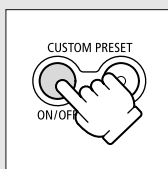
① SELECTダイヤルを回して「RESET」を選び、SETボタンを押す
・ 確認画面が出ます。
② SELECTダイヤルを回して「実行」を選び、SETボタンを押す

❻ カスタムプリセットサブメニューに戻る

① SELECTダイヤルを回して「↶」を選び、SETボタンを押す

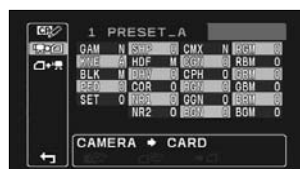
カスタムプリセットを使って撮影する

1 CUSTOM PRESET SELECT ボタンを押す

- プリセット番号を選びます（カスタムキー2を「CPマイナスキー」に設定すると便利です（📖 92）。
- カスタムプリセットを使用しないときはCP OFFを選びます（約4秒後に表示は消えます）。
- 操作後4秒間、カスタムプリセットの名称が出ます。

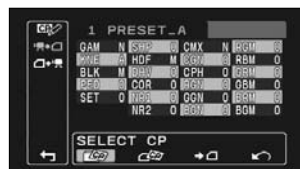
2 CUSTOM PRESET ON/OFF ボタンを押す

- 設定したカスタムプリセット画面になります。
- 操作後4秒間、カスタムプリセットの名称が出ます。OFFにしたときは点滅します。

カスタマイズ編

カスタムプリセット設定をカードにコピーする

カスタムプリセット設定は20までカードに保存できます。21以上の設定を保存/コピーしようすると上書きされます（上書きされるカスタムプリセット設定は、選択できます）。

VCR/PLAY M A Tv Av

❶ コピーするプリセットを選ぶ

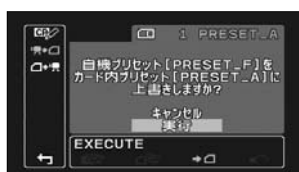
① MENUボタンを押す
②「カスタマイズ」➤「カスタムプリセット」➤「🎥➔□」を選ぶ
　・ SELECTダイヤルを回して項目を選び、SETボタンを押して設定します。
　・ カスタムプリセット🎥➔□コピー設定メニューが出ます。

③ カスタムプリセット🎥➔□コピー設定メニューで、SELECTダイヤルを回して「SELECT CP」を選び、SETボタンを押す

④ SELECTダイヤルを回してコピーするカスタムプリセットを選び、SETボタンを押して設定する

次のページへ

カスタムプリセット…つづき

❷ カード内のカスタムプリセットを選ぶ

① カスタムプリセットコピー設定メニューで、SELECTダイヤルを回して「SAVE POSITION」を選び、SETボタンを押す
② SELECTダイヤルを回して保存先のカスタムプリセットを選び、SETボタンを押して設定する
・ カードにカスタムプリセット設定がない場合は、新規カスタムプリセット（NEW_FILE）になります。

❸ カスタムプリセット設定をカードにコピーする

① カスタムプリセットコピー設定メニューで、SELECTダイヤルを回して「EXECUTE」を選び、SETボタンを押す
・ 確認画面が出ます。
② SELECTダイヤルを回して「実行」を選び、SETボタンを押す

カスタムプリセット設定をカードから本機にコピーする

TAPE	CARD		VCR/PLAY	M	A	Tv	Av			

❶ コピーするプリセットを選ぶ

① MENUボタンを押す
②「カスタマイズ」➤「カスタムプリセット」➤「」を選ぶ
・ SELECTダイヤルを回して項目を選び、SETボタンを押して設定します。
・ カスタムプリセットコピー設定メニューが出ます。

③ カスタムプリセットコピー設定メニューで、SELECTダイヤルを回して「IMPORT」を選び、SETボタンを押す

④ SELECTダイヤルを回してコピーするカスタムプリセットを選び、SETボタンを押して設定する

❷ 本機のカスタムプリセットを選ぶ

① カスタムプリセットコピー設定メニューでSELECTダイヤルを回して「SELECT POSITION」を選び、SETボタンを押す
② SELECTダイヤルを回して保存先のカスタムプリセットを選び、SETボタンを押して設定する

❸ カスタムプリセット設定を本機にコピーする

① カスタムプリセット コピー設定メニューでSELECTダイヤルを回して「EXECUTE」を選び、SETボタンを押す
② SELECTダイヤルを回して「実行」を選び、SETボタンを押す

使用しているカスタムプリセット設定を静止画と一緒にカードに保存する

カメラモードで使用しているカスタムプリセット設定とその場面の静止画をカードに保存できます。場面に合わせてカスタムプリセット設定を再現する時に便利です。
静止画記録を「PHOTO＋CP DATA」にして、静止画と一緒にカスタムプリセットを保存するときは、通常のカスタムプリセットと異なり、カードの容量いっぱいまで静止画/カスタムプリセットを保存できます。

カスタムファンクションの09 PHOTO BUTTON（静止画記録）でPHOTO+CP DATAを選択します（🕮 124）。

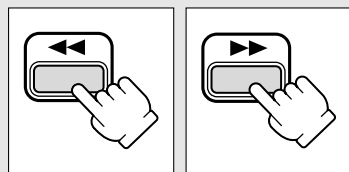
PHOTOボタンを押す
使用しているカスタムプリセット設定と静止画がカードに記録されます。

静止画と同時に記録したカスタムプリセットをコピーする

TAPE | CARD | VCR/PLAY | M | A | Tv | Av

1 コピーするプリセット設定を保存した静止画を画面に出す

● CARD＋、CARD－ボタンで静止画を選びます。

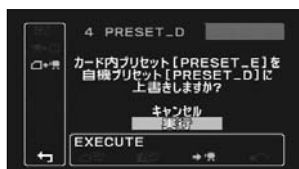
❶ を選ぶ

① MENUボタンを押す
②「カスタマイズ」➤「静止画記録CP」➤「」を選ぶ
・ SELECTダイヤルを回して項目を選び、SETボタンを押して設定します。
・ カスタムプリセット コピー設定メニューが出ます。

カスタムプリセット…つづき

❷ カスタムプリセットの保存先を選ぶ

① SELECTダイヤルを回して「SELECT POSITION」を選び、SETボタンを押す
② SELECTダイヤルを回して保存先のカスタムプリセットを選び、SETボタンを押して設定する
・ 静止画の場合、固定になります。

❸ カードのカスタムプリセット設定を本機にコピーする

① SELECTダイヤルを回して「EXECUTE」を選び、SETボタンを押す
・ 確認画面が出ます。
② SELECTダイヤルを回して「実行」を選び、SETボタンを押す

❍ 本機では、カスタムプリセット7〜9にシーン設定値を用意しています。
・ この3つの設定値はプロテクト設定されており、解除しない限り、上書きされません。プロテクト設定を解除して、設定を変更した場合、メニュー➤システム設定➤設定初期化を行うことで、プロテクト設定された元の設定値に戻すことができます。
・ カスタムプリセットメニューの中で「リセット」を行うと、1〜6の初期値と同じ状態になります。

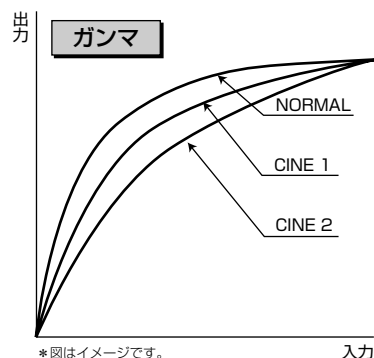
❍ カスタムプリセット7　VIDEO.C
民生用の薄型テレビでの再生に適した設定になります。
BLK（ブラック）：PRESS
SET（セットアップレベル）：-2
PED（マスターペデスタル）：-2

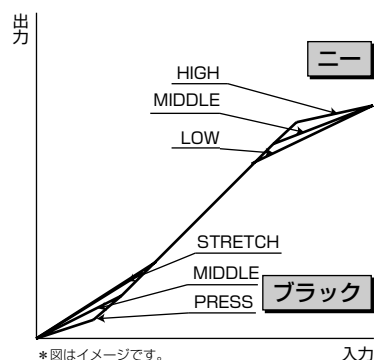
❍ カスタムプリセット8　CINE.V
テレビモニター再生時に、シネマライクな映像にする時に適しています。
GAM（ガンマ）：CINE1
KNE（ニー）：LOW
BLK（ブラック）：STRETCH
SHP（シャープネス）：-4
CMX（カラーマトリクス）：CINE1
CGN（カラーゲイン）：-20
CPH（色相）：5
RGM（RGマトリクス）：10
RBM（RBマトリクス）：-5
GRM（GRマトリクス）：-5
GBM（GBマトリクス）：-5
BRM（BRマトリクス）：5
BGM（BGマトリクス）：12

❍ カスタムプリセット9　CINE.F
撮影した素材をフィルム化（キネコ）して上映する場合に適しています。
GAM（ガンマ）：CINE2
KNE（ニー）：LOW
BLK（ブラック）：STRETCH
SHP（シャープネス）：6
CMX（カラーマトリクス）：CINE2
RGN（Rゲイン）：−8
＊上記の以外の項目はセンター値になります。

GAM（ガンマ） TAPE CARD

画面全体のテイストを決めるガンマカーブを「**NORMAL**」、「CINE1」、「CINE2」から選択します。

ノーマルはビデオガンマになります。
シネマ1はフィルムからテレシネしたガンマに適しています。
シネマ2はキネコなどフィルムレコーディング用に適しています。

KNE（ニー） TAPE CARD

画面内のハイライト部をコントロールするニーポイントを「AUTO」、「HIGH」、「**MIDDLE**」、「LOW」から選択します。

BLK（ブラック） TAPE CARD

画面内のシャドウ部をコントロールするブラックレベルを「STRETCH」、「**MIDDLE**」、「PRESS」から選択します。

PED（マスターペデスタル） TAPE CARD

ビデオの輝度信号のベースとなるペデスタルレベル下限を規定します。−側で黒が沈み、＋側で黒が浮きます。
−9〜**0**〜＋9の範囲で調整します。

SET（セットアップレベル） TAPE CARD

マスターペデスタルで規定した映像信号上で最も暗い黒のレベルを規定します。−側で画面が暗く、＋側で画面が明るくなります。−9〜**0**〜＋9の範囲で調整します。

- マスターペデスタルの設定に応じて、セットアップレベルが0を下回らないように可変範囲が変化します。このため、マスターペデスタルを−側に設定している場合には、セットアップレベルを調整しても変化しない範囲があらわれる場合があります。

SHP（シャープネス） TAPE CARD

撮影される映像の鮮明度合いを調節するシャープネスを−9〜**0**〜＋9の範囲で調整します。シャープネスを上げすぎると発生する特有のノイズ成分はコアリングで低減します。

HDF（H DTL FREQ）（水平ディテール周波数） TAPE CARD

撮影される映像の水平方向の鮮明度合いを調節する水平ディテール周波数を「HIGH」、「**MIDDLE**」、「LOW」から選択します。

DHV（DTL HV BAL）（水平/垂直ディテールバランス） TAPE CARD

撮影される映像の水平、垂直方向の鮮明度バランスを−9〜**0**〜＋9の範囲で調整します。−9では水平だけ、＋9では垂直だけになります。

次のページへ

カスタムプリセット…つづき

COR（コアリング） TAPE CARD

シャープネスを上げたことで発生するノイズ成分を低減するコアリングを−9〜**0**〜+9の範囲で調整します。

NR1（ノイズリダクション1） TAPE CARD

暗い場所の撮影やゲインを上げたときの撮影で発生するざらつきノイズを低減します。**「OFF」**、「LOW」、「MIDDLE」、「HIGH」から選択します。

● ゲインの設定によって、画面のざらつきが少ない場合は効果がわかりにくい場合があります。

「OFF」以外に設定すると、動いている被写体では残像が出ることがあります。

NR2（ノイズリダクション2） TAPE CARD

動きのある被写体を撮影するときにNR1と同様にノイズを低減します。全体にスキンディテールをかけたようなソフトフォーカスの映像になります。**「OFF」**、「LOW」、「MIDDLE」、「HIGH」から選択します。

● NR1と異なり、残像は出ません。

CMX（カラーマトリクス） TAPE CARD

基礎的な色調を設定して画全体のムードを決めます。**「NORMAL」**、「CINE1」、「CINE2」から選択します。

CGN（カラーゲイン） TAPE CARD

色の濃淡をコントロールするカラーゲインを−50〜**0**〜+50の範囲で調整します。

CPH（色相） TAPE CARD

色のバランスを整えるため、赤紫から黄緑への幅で色調を調整します。−9〜**0**〜+9の範囲で調整し、+側で赤紫側へシフトし、−側で黄緑側へシフトします。

RGN（Rゲイン） TAPE CARD

赤色の濃淡をコントロールするRゲインを−50〜**0**〜+50の範囲で調整します。

GGN（Gゲイン） TAPE CARD

緑色の濃淡をコントロールするGゲインを−50〜**0**〜+50の範囲で調整します。

BGN（Bゲイン） TAPE CARD

青色の濃淡をコントロールするBゲインを−50〜**0**〜+50の範囲で調整します。

RGM（R-Gマトリクス） TAPE CARD

シアンからグリーンにわたる色調とレッドからマゼンタにわたる色調が変化し、シアンとレッドが最も影響を受けます。−50〜**0**〜+50の範囲で調整します。

RBM（R-Bマトリクス） TAPE CARD

シアンからブルーにわたる色調とレッドからイエローにわたる色調が変化し、シアンとレッドが最も影響を受けます。−50〜**0**〜+50の範囲で調整します。

GRM（G-Rマトリクス） TAPE CARD

マゼンタからレッドにわたる色調とグリーンからシアンにわたる色調が変化し、マゼンタとグリーンが最も影響を受けます。−50〜**0**〜+50の範囲で調整します。

GBM（G-Bマトリクス） TAPE CARD

マゼンタからブルーにわたる色調とグリーンからイエローにわたる色調が変化し、マゼンタとグリーンが最も影響を受けます。−50〜**0**〜＋50の範囲で調整します。

BRM（B-Rマトリクス） TAPE CARD

イエローからレッドにわたる色調とブルーからシアンにわたる色調が変化し、イエローとブルーが最も影響を受けます。−50〜**0**〜＋50の範囲で調整します。

BGM（B-Gマトリクス） TAPE CARD

イエローからグリーンにわたる色調とブルーからマゼンタにわたる色調が変化し、イエローとブルーが最も影響を受けます。−50〜**0**〜＋50の範囲で調整します。

カスタムファンクション

おもにカメラモードで使用する機能を撮影スタイルに応じて細かく変更できます。
設定した内容は、本機/カードともに1〜3のカスタムファンクションに保存できます。また、カードを使うことで、複数のXL H1S/XL H1Aを簡単に同じ状態に設定できます。

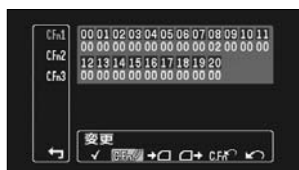
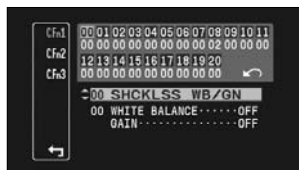
TAPE | CARD　　VCR/PLAY | M | A | Tv | Av

カスタムファンクションを設定する

❶ 設定するカスタムファンクションの番号を選ぶ

① MENUボタンを押す
②「カスタマイズ」➤「カスタムファンクション」を選ぶ
・ SELECTダイヤルを回して項目を選び、SETボタンを押して設定します。

③ カスタムファンクションサブメニューで、カスタムファンクション番号を選ぶ
・ SELECTダイヤルを回して項目を選び、SETボタンを押して設定します。

❷ カスタムファンクションを設定する

① SELECTダイヤルを回して「変更」を選び、SETボタンを押す
・ カスタムファンクション設定項目選択画面が出ます。
② SELECTダイヤルを回して設定する項目を選び、SETボタンを押して設定する
・ 設定する画面が出ますので、SELECTダイヤルを回して項目を選び、SETボタンを押して設定します。
・ 複数の設定項目がある場合は、順番にすべての組み合わせが選択できます。

③ カスタムファンクションの設定が終わったら、SELECTダイヤルを回して「RETURN」を選び、SETボタンを押す
・ カスタムファンクション設定メニューに戻ります。

❸ カスタムファンクション設定を初期値に戻す（リセット）

① SELECTダイヤルを回して「リセット」を選び、SETボタンを押す
・ 確認画面が出ます。

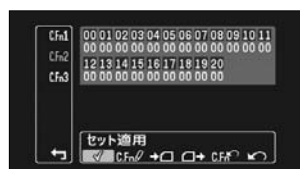
② SELECTダイヤルを回して「実行」を選び、SETボタンを押す

設定したカスタムファンクションを使う

❶ 使用するカスタムファンクションの番号を選ぶ

① MENUボタンを押す
②「カスタマイズ」➤「カスタムファンクション」を選ぶ
・ SELECTダイヤルを回して項目を選び、SETボタンを押して設定します。

③ カスタムファンクションサブメニューで、カスタムファンクション番号を選ぶ
・ SELECTダイヤルを回して項目を選び、SETボタンを押して設定します。

❷ 選択したカスタムファンクションを有効にする

① SELECTダイヤルを回して「セット適用」を選び、SETボタンを押す
・確認画面が出ます。

② SELECTダイヤルを回して「有効」を選び、SETボタンを押す
・ 選択したカスタムファンクションが有効になり、カスタムファンクション番号に「✓」が付きます。
・ カスタムファンクションを設定しても有効にしない場合は、未設定と同じ状態になります。

カスタムファンクション設定をカードにコピーする

❶ コピーするカスタムファンクションを選ぶ

① MENUボタンを押す
②「カスタマイズ」➤「カスタムファンクション」を選ぶ
・ SELECTダイヤルを回して項目を選び、SETボタンを押して設定します。

③ カスタムファンクションサブメニューで、カスタムファンクション番号を選ぶ
・ SELECTダイヤルを回して項目を選び、SETボタンを押して設定します。

次のページへ

カスタムファンクション…つづき

❷ カードにコピーする

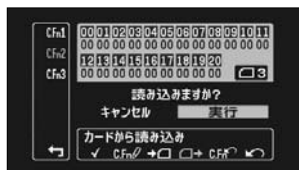
① SELECTダイヤルを回して「カードへ保存」を選び、SETボタンを押す

② SELECTダイヤルを回して保存先のファイル番号を選び、SETボタンを押す
・確認画面が出ます。

③ SELECTダイヤルを回して「実行」を選び、SETボタンを押す
・選択したカスタムファンクションがカードにコピーされ、保存終了を示す画面が出ます。

カスタムファンクション設定をカードから本機にコピーする

① MENUボタンを押す
②「カスタマイズ」➤「カスタムファンクション」を選ぶ
・ SELECTダイヤルを回して項目を選び、SETボタンを押して設定します。
③ カスタムファンクションサブメニューで、カスタムファンクション番号を選ぶ
・ SELECTダイヤルを回して項目を選び、SETボタンを押して設定します。

④ SELECTダイヤルを回して「カードから読み込み」を選び、SETボタンを押す
⑤ SELECTダイヤルを回してカードのファイル番号を選び、SETボタンを押す
・ 確認画面が出ます。

⑥ SELECTダイヤルを回して「実行」を選び、SETボタンを押す
・ カスタムファンクションがカードからコピーされ、保存終了を示す画面が出ます。

XH G1/XH A1のカスタムファンクション設定は本機で使用できません。

カスタムファンクションはメインダイヤルの位置によって使用できる機能が異なります。

テープモード

<table>
<tr><th rowspan="2">No.</th><th rowspan="2" colspan="2">項目</th><th colspan="8">メインダイヤル</th></tr>
<tr><th>M</th><th>A</th><th>Tv</th><th>Av</th><th>スポットライト</th><th>ナイト</th><th>全自動</th><th>VCR/PLAY</th></tr>
<tr><td rowspan="2">00</td><td rowspan="2">SHCKLSS WB/GN</td><td>WHITE BALANCE</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>×
(OFFに固定)</td><td>×</td></tr>
<tr><td>GAIN</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>×
(OFFに固定)</td><td>×
(OFFに固定)</td><td>×
(OFFに固定)</td><td>×</td></tr>
<tr><td>01</td><td colspan="2">ZOOM RING CTRL*1</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>×
(NORMALに固定)</td><td>×</td></tr>
<tr><td>02</td><td colspan="2">ZOOM SPEED*1</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>×
(NORMALに固定)</td><td>×</td></tr>
<tr><td>03</td><td colspan="2">FOCUS RING CTRL*1</td><td>○</td><td colspan="6">○</td><td>×</td></tr>
<tr><td rowspan="2">04</td><td rowspan="2">BUTTONS OPER.1</td><td>MAGN.</td><td>○</td><td colspan="5">○</td><td>×</td><td>×</td></tr>
<tr><td>WB SET</td><td>○</td><td colspan="5">○</td><td>×</td><td>×</td></tr>
<tr><td rowspan="4">05</td><td rowspan="4">BUTTONS OPER.2</td><td>REC REVIEW</td><td>○</td><td colspan="6">○</td><td>×</td></tr>
<tr><td>BARS/FADE</td><td>○</td><td colspan="6">○</td><td>×</td></tr>
<tr><td>END SEARCH</td><td>○</td><td colspan="6">○</td><td>×</td></tr>
<tr><td>GAIN SET</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>×</td><td>×</td><td>×</td><td>×</td></tr>
<tr><td rowspan="3">06</td><td rowspan="3">RINGS DIRECTION</td><td>ZOOM*1</td><td>○</td><td colspan="6">○</td><td>×</td></tr>
<tr><td>FOCUS*1</td><td>○</td><td colspan="6">○</td><td>×</td></tr>
<tr><td>IRIS</td><td>○</td><td>○*2</td><td>○*2</td><td>○</td><td>×</td><td>×</td><td>×</td><td>×</td></tr>
<tr><td rowspan="2">07</td><td rowspan="2">OPER. DIRECTION</td><td>CURSOR</td><td>○</td><td colspan="6">○</td><td>○</td></tr>
<tr><td>SHUTTER</td><td>○</td><td>○*2</td><td>○</td><td>○*2</td><td>×</td><td>×</td><td>×</td><td>×</td></tr>
<tr><td>08</td><td colspan="2">IRIS. LIMIT*1</td><td>○</td><td>○*2</td><td>○*2</td><td>○</td><td>×</td><td>×</td><td>×</td><td>×</td></tr>
<tr><td rowspan="3">09</td><td rowspan="3">PHOTO BUTTON</td><td>PHOTO+ CPDATA</td><td>○</td><td colspan="6">○</td><td>×</td></tr>
<tr><td>PHOTO+</td><td>○</td><td colspan="6">○</td><td>×</td></tr>
<tr><td>MAGNIFYING</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>×</td><td>×</td></tr>
<tr><td rowspan="3">10</td><td rowspan="3">MAKER LEVEL</td><td>MARKER</td><td>○</td><td colspan="6">○</td><td>×</td></tr>
<tr><td>ASPECT</td><td>○</td><td colspan="6">○</td><td>×</td></tr>
<tr><td>SAFETY</td><td>○</td><td colspan="6">○</td><td>×</td></tr>
<tr><td rowspan="2">11</td><td rowspan="2">F.AST BW-MOD</td><td>MAGN.</td><td>○</td><td colspan="5">○</td><td>×</td><td>×</td></tr>
<tr><td>PEAKING</td><td>○</td><td colspan="5">○</td><td>×</td><td>×</td></tr>
<tr><td>12</td><td colspan="2">OBJ DST UNIT*1</td><td>○</td><td colspan="6">○</td><td>×</td></tr>
<tr><td>13</td><td colspan="2">ZOOM INDICATOR*1</td><td>○</td><td colspan="6">○</td><td>×</td></tr>
<tr><td>14</td><td colspan="2">COLOR BARS</td><td>○</td><td colspan="6">○</td><td>×</td></tr>
<tr><td>15</td><td colspan="2">1kHz TONE</td><td>○</td><td colspan="6">○</td><td>×</td></tr>
<tr><td>16</td><td colspan="2">WIRELESS REMOTE</td><td>○</td><td colspan="6">○</td><td>○</td></tr>
<tr><td rowspan="2">17</td><td rowspan="2">LANC AE SHIFT</td><td>AE SHIFT</td><td>×</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>×</td><td>×</td><td>×</td><td>×</td></tr>
<tr><td>IRIS</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>×</td><td>×</td><td>×</td><td>×</td></tr>
<tr><td>18</td><td colspan="2">TALLY LAMP</td><td>○*3</td><td colspan="6">○*3</td><td>○*3</td></tr>
<tr><td>19</td><td colspan="2">LED</td><td>○</td><td colspan="6">○</td><td>○</td></tr>
<tr><td rowspan="2">20</td><td rowspan="2">CUSTOM REC</td><td>CHARACTER REC</td><td>○</td><td colspan="5">○</td><td>○</td><td>×</td></tr>
<tr><td>MAGNIFYING REC</td><td>○</td><td colspan="5">○</td><td>×
(OFFに固定)</td><td>×</td></tr>
</table>

次のページへ

カスタムファンクション…つづき

カードモード

No.	項目		M	A	Tv	Av	スポットライト	ナイト	全自動	VCR/PLAY
			メインダイヤル							
00	SHCKLSS WB/GN	WHITE BALANCE	×（OFFに固定）	×（OFFに固定）						×
		GAIN	×（OFFに固定）	×（OFFに固定）						×
01	ZOOM RING CTRL[*1]		○	○					×（OFFに固定）	×
02	ZOOM SPEED[*1]		×（FASTに固定）	×（FASTに固定）						×
03	FOCUS RING CTRL[*1]		○	○						×
04	BUTTONS OPER.1	MAGN.	○	○					×	×
		WB SET	○	○					×	×
05	BUTTONS OPER.2	REC REVIEW	×	×						×
		BARS/FADE	×	×						×
		END SEARCH	×	×						×
		GAIN SET	○	○	○	○	×	×	×	×
06	RINGS DIRECTION	ZOOM[*1]	○	○						×
		FOCUS[*1]	○	○						×
		IRIS	○	○[*2]	○[*2]	○	×	×	×	×
07	OPER. DIRECTION	CURSOR	○	○						○
		SHUTTER	○	○[*2]	○	○[*2]	×	×	×	×
08	IRIS. LIMIT[*1]		○	○[*2]	○[*2]	○	×	×	×	×
09	PHOTO BUTTON		×	×						×
10	MAKER LEVEL	MARKER	○	○						×
		ASPECT	×	×						×
		SAFETY	×	×						×
11	F.AST BW-MOD	MAGN.	○	○					×	×
		PEAKING	○	○					×	×
12	OBJ DST UNIT[*1]		○	○						×
13	ZOOM INDICATOR[*1]		○	○						×
14	COLOR BARS		×	×						×
15	1kHz TONE		×	×						×
16	WIRELESS REMOTE		○	○						○
17	LANC AE SHIFT	AE SHIFT	×	○	○	○	×	×	×	×
		IRIS	○	○	○	○	×	×	×	×
18	TALLY LAMP		×	×						×
19	LED		○	○						○
20	CUSTOM REC	CHARACTER REC	×	×						×
		MAGNIFYING REC	×	×						×

*1：対応するレンズ装着時のみ
*2：露出ロック時のみ有効
*3：カスタムファンクションの「LED」が「OFF」以外に有効。「OFF」時はOFFに固定

00 SHCKLSS WB/GN（ショックレスホワイトバランス/ゲイン） TAPE CARD

ホワイトバランス、ゲインを切り換えた時に、なめらかに切り換わるように設定できます。
ショックレスゲインは、－3dB/+36dBへの移行時、また－3dB/+36dBからの移行時には機能しません。
WHITE BALANCE：**OFF**、ON
GAIN：**OFF**、ON

01 ZOOM RING CTRL（ズームリングレスポンス） TAPE CARD

ズームリングのレスポンスを設定できます。
NORMAL、SLOW、FAST

02 ZOOM SPEED（ズームスピード） TAPE CARD

カメラモードで、ZOOM SPEED切り換えスイッチをCONSTANTにした場合のズームスピードセットを設定できます。
・ズームスピードが2秒未満の場合、ズーム中にオートフォーカスが合いにくくなることがあります。
NORMAL、SLOW、FAST

03 FOCUS RING CTRL（フォーカスリング レスポンス） TAPE CARD

フォーカスリングのレスポンスを設定できます。
NORMAL、SLOW、FAST

04 BUTTONS OPER.1（ボタン操作時間） TAPE CARD

誤操作を防ぐために、ボタンを押す時間を設定できます。
「LONG PUSH(長押し)」を選択したときは1秒以上押しつづけてください。
MAGN.（拡大フォーカス）：**ONE PUSH**、LONG PUSH
WB SET（ホワイトバランス）：**ONE PUSH**、LONG PUSH

05 BUTTONS OPER.2（ボタン操作時間） TAPE CARD

誤操作を防ぐために、ボタンを押す時間を設定できます。
「LONG PUSH（長押し)」を選択したときは1秒以上押しつづけてください。
REC REVIEW（レックレビュー）：**ONE PUSH**、LONG PUSH
BARS/FADE（カラーバー/フェード）：**ONE PUSH**、LONG PUSH
END SEARCH（エンドサーチ）：**ONE PUSH**、LONG PUSH
GAIN SET（ゲイン設定）：**ONE PUSH**、LONG PUSH

06 RINGS DIRECTION（リング操作方向） TAPE CARD

ズームリング、フォーカスリング、絞りリングの操作方向を設定します。
ZOOM（ズームリング）：**NORMAL**（上方向：W)、REVERSE（下方向：W）
FOCUS（フォーカスリング）：**NORMAL**（上方向：近)、REVERSE（下方向：近）
IRIS（絞りリング）：**NORMAL**（上方向：閉)、REVERSE（下方向：閉）

07 OPER. DIRECTION（操作方向） TAPE CARD

インデックス画面やカスタムプリセットなど、SELECTダイヤルを上下に回して、左右に並んだ項目を選択する場合の移動方向とシャッターボタンの操作方向を設定します。
CURSOR（SELECTダイヤル）：**NORMAL**（上方向：左移動)、REVERSE（下方向：左移動）
SHUTTER（シャッターボタン）：**NORMAL**（上方向：高速)、REVERSE（下方向：高速）

08 IRIS. LIMIT（絞りリミット） TAPE CARD

絞り制限を設定できます。HD 20X L ISⅢレンズの場合、ONにするとF9.5まで絞ることができ、OFFにするとマニュアルモード、Avモード、露出ロック時にCLOSEまで絞ることができます。
OFF、ON

カスタマイズ編

次のページへ

カスタムファンクション…つづき

09 PHOTO BUTTON（フォトボタン） TAPE CARD

テープへの動画記録と同時にカードに静止画を記録するかどうか、またはPHOTOボタンにMAGNIFYINGを割り当てるかを設定します。
PHOTOでは静止画のみを記録し、PHOTO+CP DATAでは静止画とカスタムプリセット設定を記録します。
MAGNIFYINGに設定してPHOTOボタンを押すと画面が2倍に拡大されます（カメラモードのみ）。
PHOTO + CP DATA、PHOTO、MAGNIFYING、OFF

10 MARKER LEVEL（マーカー輝度） TAPE CARD

MARKER（水平/センター/グリッドマーカー）、ASPECT（アスペクトマーカー）、SAFETY（セーフティゾーンマーカー）の輝度を100%（白）、40%（グレー）から設定します。
MARKER（水平/センター/グリッドマーカー）：**100%**、40%
ASPECT（アスペクトマーカー）：**100%**、40%
SAFETY（セーフティゾーンマーカー）：**100%**、40%

11 F.AST BW-MOD（フォーカスアシスト白黒連動モード） TAPE CARD

フォーカスアシスト機能を使う時に液晶画面とファインダーを自動的に白黒にするかどうかを設定します。
MAGN.（拡大フォーカス連動）：**OFF**、ON
PEAKING（ピーキング連動）：**OFF**、ON

12 OBJ DST UNIT（被写体距離単位） TAPE CARD

マニュアルフォーカス時の被写体との距離の表示単位を設定します。
m（meter）、ft（feet）

13 ZOOM INDICATOR（ズーム表示） TAPE CARD

ズーム表示を設定します。
BAR（ズームバー）、NUMBER（数値）

14 COLOR BARS（カラーバー） TAPE CARD

カラーバーをSMPTE（Society of Motion Picture and Television Engineers）準拠、ARIB（Association of Radio Industries and Businesses）準拠から設定します。
TYPE1（SMPTE準拠）、TYPE2（ARIB準拠）

15 1kHz TONE（テストトーン） TAPE CARD

オーディオの1kHzテストトーンを設定します。
OFF、-12dB、-18dB、-20dB

16 WIRELESS REMOTE（リモコンコード） TAPE CARD

コードを「1」または「2」に設定したリモコンを受け付けます。OFFでは、リモコンの信号は受け付けません。
1、2、OFF

17 LANC AE SHIFT（LANC AEシフト） TAPE CARD

ズームリモートコントローラーからAEレベル補正を制御するか、絞りを制御するかを切り換える。
AE SHIFT、IRIS

18 TALLY LAMP（タリーランプ） TAPE CARD

タリーランプの点灯、点滅、消灯を設定します。タリーランプをOFFに設定していても、リモコンを受光すると点灯します。
ON、BLINK（点滅）、OFF

19 LED TAPE CARD

タイプ1ではHDV/DV端子のLEDを含むすべてのLEDが点灯します。タイプ2ではHDV/DV端子を除くすべてのLEDが点灯します。

TYPE1、TYPE2、OFF

20 CUSTOM REC（カスタム記録） TAPE CARD

画面上の文字記録の入/切や拡大フォーカス動画（MAGNIFYINGにより2倍に拡大した動画）記録の入/切を設定します。

・CHARACTER RECをONにすると、メニューの「オンスクリーン」は選択できません。また、コンポーネント出力は「1080i/480i」になり、「480i」は選択できません。

・MAGNIFYING RECがONで拡大フォーカス動画記録中にPHOTOボタンを押しても静止画は記録されません。

CHARACTER REC：**OFF**、ON

MAGNIFYING REC：**OFF**、ON

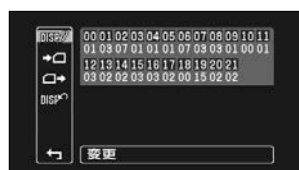
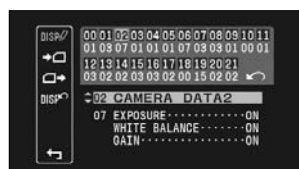
画面上の文字記録（CHARACTER REC）や拡大フォーカス動画（MAGNIFYING REC）をONにして撮影すると、その状態でテープに記録されます。

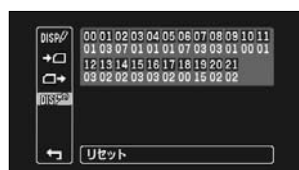
カスタムディスプレイ

画面に表示する機能を選択できます。設定した内容は、本機/カードともに1種類が保存できます。
・カスタムディスプレイで設定した表示内容は、EVF DISPLAYボタンで表示レベルを切り換えて表示します（📖39）。

TAPE　CARD

カスタムディスプレイを設定する

① MENUボタンを押す
②「カスタマイズ」➤「カスタムディスプレイ」を選ぶ
　・ SELECTダイヤルを回して項目を選び、SETボタンを押して設定します。
③ SELECTダイヤルを回して「変更」を選び、SETボタンを押す
　・ カスタムディスプレイ設定項目選択画面が出ます。

④ SELECTダイヤルを回して設定する項目を選び、SETボタンを押して設定する
　・ 設定する画面が出ますので、SELECTダイヤルを回して項目を選び、SETボタンを押して設定します。

⑤ カスタムディスプレイの設定が終わったら、SELECTダイヤルを回して「RETURN」を選び、SETボタンを押す
⑥ MENUボタンを押す
⑦ EVF DISPLAYボタンを押して、表示レベルを切り換えて表示する

カスタムディスプレイ設定を初期値に戻す（リセット）

① SELECTダイヤルを回して「リセット」を選び、SETボタンを押す
　・確認画面が出ます。

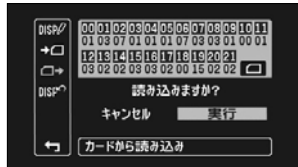
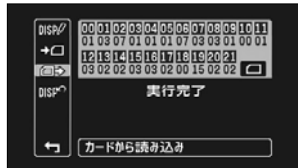
② SELECTダイヤルを回して「実行」を選び、SETボタンを押す

カスタムディスプレイ設定をカードにコピーする

① MENUボタンを押す
②「カスタマイズ」➤「カスタムディスプレイ」を選ぶ
　・ SELECTダイヤルを回して項目を選び、SETボタンを押して設定します。
③ SELECTダイヤルを回して「カードへ保存」を選び、SETボタンを押す
　・ 確認画面が出ます。

④ SELECTダイヤルを回して「実行」を選び、SETボタンを押す
　・ カスタム表示設定がカードにコピーされ、保存終了を示す画面が出ます。

カスタムディスプレイ設定をカードから本機にコピーする

① MENUボタンを押す
②「カスタマイズ」➤「カスタムディスプレイ」を選ぶ
・ SELECTダイヤルを回して項目を選び、SETボタンを押して設定します。
③ SELECTダイヤルを回して「カードから読み込み」を選び、SETボタンを押す
・ 確認画面が出ます。

④ SELECTダイヤルを回して「実行」を選び、SETボタンを押す
・ カスタム表示設定が本機にコピーされ、保存終了を示す画面が出ます。

XH G1/XH A1のカスタムディスプレイ設定は本機で使用できません。

カスタマイズ編

00 REC PROGRAMS（撮影モード） TAPE CARD

OFF、**ON**

01 CAMERA DATA1 （カメラデータ1） TAPE CARD

F NUMBER（F値）：OFF、**ON**
SHUTTER SPEED（シャッタースピード）：OFF、**ON**
・F NUMBERは絞りがあるレンズ使用時のみ有効。

02 CAMERA DATA 2（カメラデータ2） TAPE CARD

EXPOSURE（露出）：OFF、**ON**
WHITE BALANCE（ホワイトバランス）：OFF、**ON**
GAIN（ゲイン）：OFF、**ON**

03 ZOOM（ズーム） TAPE CARD

ズーム位置、ズームスピード
OFF、**ON（NORMAL）**、ON（ALWAYS）（常時表示）
・ZOOMはズームがあるレンズ使用時のみ有効。

04 FOCUS（フォーカス） TAPE CARD

フォーカスモードと焦点距離表示
OFF、**ON（NORMAL）**、ON (ALWAYS)（常時表示）
・FOCUSはオートフォーカスがあるレンズ使用時のみ有効。

05 ND（NDフィルター） TAPE CARD

OFF、**ON**
・NDはNDフィルターがあるレンズ使用時のみ有効。

カスタムディスプレイ…つづき

06 IMAGE EFFECTS（画質効果） TAPE CARD

SKIN DETAIL（スキンディテール）：OFF、**ON**
SELECTIVE NR（セレクティブNR）：OFF、**ON**
COLOR CORRECTION（カラーコレクション）：OFF、**ON**

07 F.ASSIST FUNC.（フォーカスアシスト） TAPE CARD

PEAKING（ピーキング）：OFF、**ON**
MAGN.（拡大フォーカス）：OFF、**ON**

08 CUSTOMIZE（カスタマイズ機能） TAPE CARD

CUSTOM PRESET（カスタムプリセット）：OFF、**ON**
CUSTOM FUNCTION（カスタムファンクション）：OFF、**ON**

09 RECORDING STD（録画規格） TAPE CARD

OFF、**ON**

10 DV REC MODE（DV録画モード） TAPE CARD

OFF、ON

11 FRAME RATE（フレームレート） TAPE CARD

OFF、**ON**

12 TAPE（動画記録） TAPE CARD

TIME CODE（タイムコード）：OFF、**ON**
OPERATION MODE（動作モード）：OFF、**ON**
DV CONTROL（DVコントロール）：**OFF**、ON

13 TAPE REMAINDER（テープ残量） TAPE CARD

OFF、NORMAL、**WARNING**（警告時のみ表示）

14 TAPE/CARD（動画/静止画共通） TAPE CARD

EXT CONTROL：**OFF**、ON
BARS/FADE（カラーバー/フェード）：OFF、**ON**
IMG SIZE/QUALITY（静止画サイズ/画質）：**OFF**、ON

15 LIGHT METERING（測光方式） TAPE CARD

SPOT AE POINT（スポット測光枠）：OFF、**ON**
LIGHT METERING（測光方式）：OFF、**ON**

16 CARD（静止画記録） TAPE CARD

DRIVE MODE（ドライブモード）：OFF、**ON**
FLASH（フラッシュ）：OFF、**ON**

17 CARD REMAINDER（カード残量） TAPE CARD

OFF、NORMAL、**WARNING**（警告時のみ表示）

18 AUDIO（オーディオ） TAPE CARD

WIND SCREEN（ウインドカット）：**OFF**、ON
AUDIO MODE（オーディオモード）：**OFF**、ON
OUTPUT CH（出力CH）：**OFF**、ON

19 WARNING/STATUS（警告） TAPE CARD

LENS（レンズ警告）：OFF、**ON**
CONDENSATION（結露）：OFF、**ON**
CHARACTER：OFF、**ON**
SDI（SDI警告） XL H1s ：OFF、**ON**

20 BATTERY（バッテリー） TAPE CARD

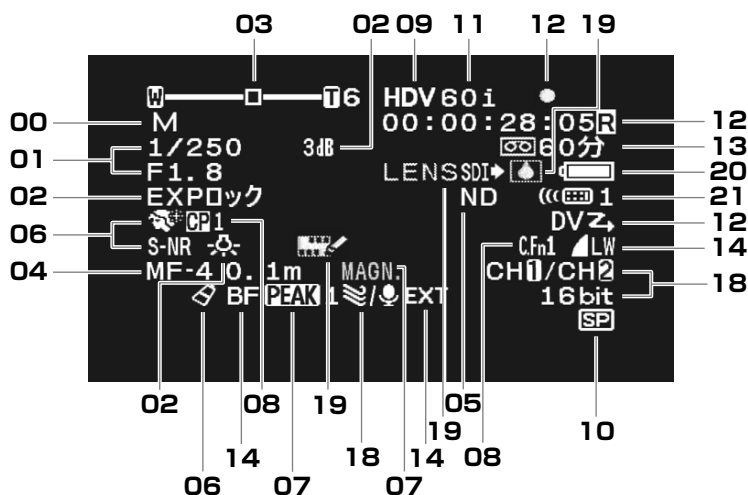
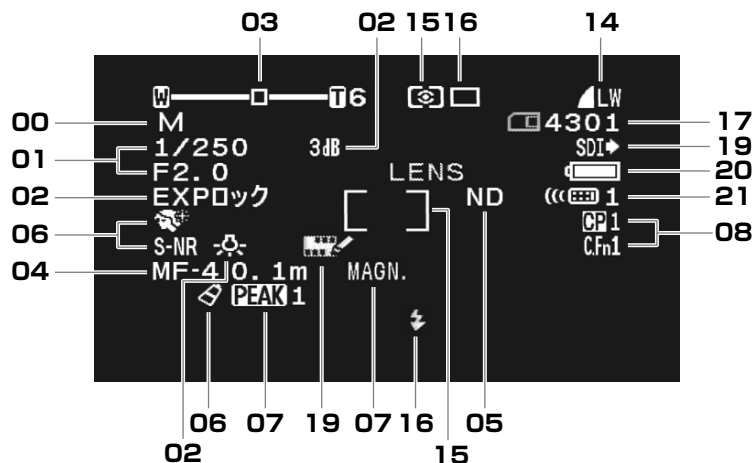
OFF、NORMAL、**WARNING**（警告時のみ表示）

21 WIRELESS REMOTE（リモコン） TAPE CARD

OFF、NORMAL、**WARNING**（警告時のみ表示）

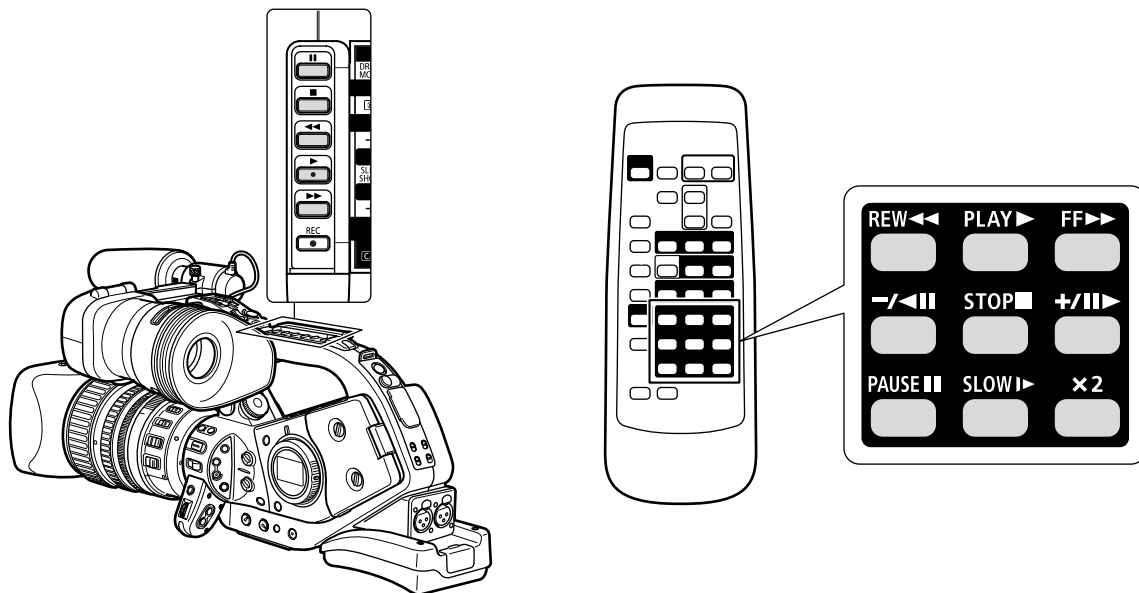
カスタムディスプレイの表示位置

番号はカスタムディスプレイの項目番号です（🕮 127～129)。

カメラモード

カードカメラモード

テープの再生

再生画面がおかしいときは

ビデオヘッドが汚れている場合があります。市販の乾式のヘッドクリーニングカセットを使ってビデオヘッドをきれいにしてください。

TAPE	CARD		VCR/PLAY	M	A	Tv	Av			

再生するテープに合わせて再生規格を選択します。

① MENUボタンを押す
②「信号設定」➤「再生規格」➤ 設定内容を順に選ぶ
　・ SELECTダイヤルを回して項目を選び、SETボタンを押して設定します。
③ MENUボタンを押す

特殊再生

● 早送り再生、巻戻し再生、再生一時停止以外はリモコンのみの操作になります。

HDV

早送り再生 ▶▶	再生/早送り中にFF▶▶（早送り）ボタンを押し続けると、約8倍の早送り再生になります。
巻戻し再生 ◀◀	再生/巻戻し中にREW◀◀（巻戻し）ボタンを押し続けると、約8倍の巻戻し再生になります。
再生一時停止 ▶II	再生中にPAUSE II（一時停止）ボタンを押します。
逆方向再生 ◀×1	再生中にリモコンの−/◀IIボタンを押します。PLAY▶（再生）ボタンを押すと、ふつうの再生に戻ります。
コマ送り II▶	再生一時停止中にリモコンの＋/II▶ボタンを押すと、押すたびに1コマずつ送られます。押し続けると連続コマ送りになります。
スロー再生 I▶	再生中にリモコンのSLOW I▶（スロー）を押すと、通常の約1/3のスロー再生になります。PLAY▶（再生）ボタンを押すと、通常の再生に戻ります。

DV

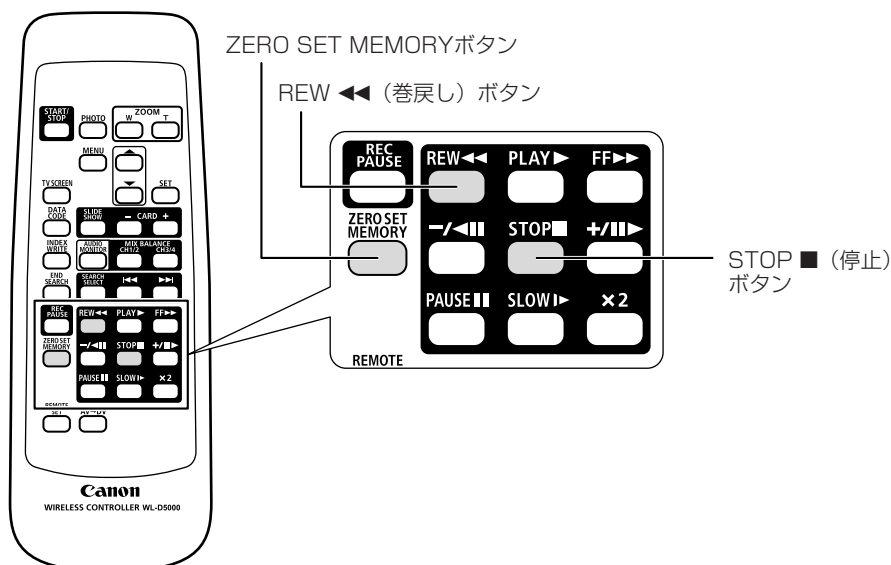
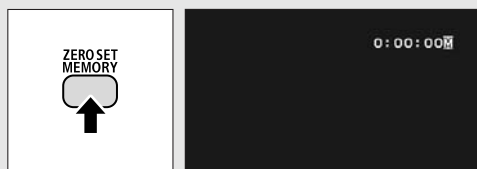
早送り再生 ▶▶	再生／早送り中にFF▶▶（早送り）ボタンを押し続けると、約9.5倍の早送り再生になります。
巻戻し再生 ◀◀	再生／巻戻し中にREW◀◀（巻戻し）ボタンを押し続けると、約9.5倍の巻戻し再生になります。
再生一時停止 ▶II	再生中にPAUSE II（一時停止）ボタンを押します。
逆方向再生 ◀×1	再生中にリモコンの−/◀IIボタンを押します。PLAY▶（再生）ボタンを押すと、ふつうの再生に戻ります。
コマ送り ◀II　II▶	再生一時停止中にリモコンの＋/II▶または−/◀IIボタンを押すと、押すたびに１コマずつ送られます。押し続けると連続コマ送りになります。
スロー再生 ◀I　I▶	再生／逆方向再生中にリモコンのSLOW I▶（スロー）ボタンを押すと、通常の約1/3のスロー再生になります。PLAY▶（再生）ボタンを押すと、ふつうの再生に戻ります。
2倍速再生 ◀×2　×2▶	再生／逆方向再生中にリモコンの×2ボタンを押します。PLAY▶（再生）ボタンを押すと、ふつうの再生に戻ります。

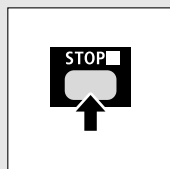
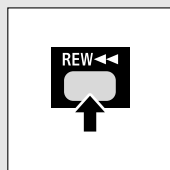
❍ 特殊再生機能を使って再生したときは、音声は聞こえません。
❍ 再生機能によっては、画面が多少乱れることがあります。
❍ 再生一時停止が約4分30秒以上続くと、テープとヘッドの保護のため、自動的に停止状態になります。再生するときは、もう一度再生ボタンを押します。
❍ HDV規格のテープでは、早送り再生/巻戻し再生、逆方向再生では画面が乱れます。
❍ HDV記録、DV記録が切り換わるところでは、画面が乱れます。

ゼロセットメモリー

ゼロセットメモリーを設定しておくと、早送りまたは巻戻しをしたときに、設定した場面で自動的に停止します。
リモコンで操作します。

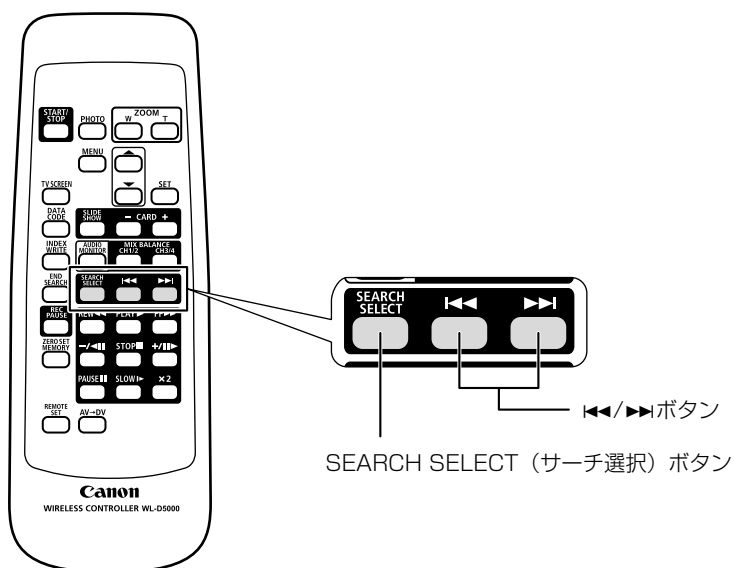
操作のしかた

TAPE	CARD	VCR/PLAY	M	A	Tv	Av			

1 再生中 ZERO SET MEMORYボタンを押す

- ZERO SET MEMORYボタンを押します。
- カウンター表示が「0：00：00」になり、「M」の表示が出ます。
- ZERO SET MEMORYボタンをもう一度押すと、設定が解除されます。

2 再生が終わったら、STOP ■ ボタンを押す

3 REW ◀◀ ボタンを押す

- カウンター表示に「−」がついているときは、早送りボタンを押します。
- カウンター表示が「0：00：00」付近で自動的に停止します。カウンター表示がタイムコードに戻り、「M」が消えます。

❍ タイムコードが連続して記録されていないと、ゼロセットメモリー機能が正しく働かないことがあります。
❍ 同じテープにHDV/DV規格の記録部分が混在していると、ゼロセットメモリーが正しく動作しないことがあります。

インデックスサーチ

インデックス信号を記録（📖91）した場面をサーチします。リモコンで操作します。

操作のしかた

1 SEARCH SELECTボタンを押す

- 「インデックスサーチ」を選びます。
- 「➔ INDEX」の表示が出ます。

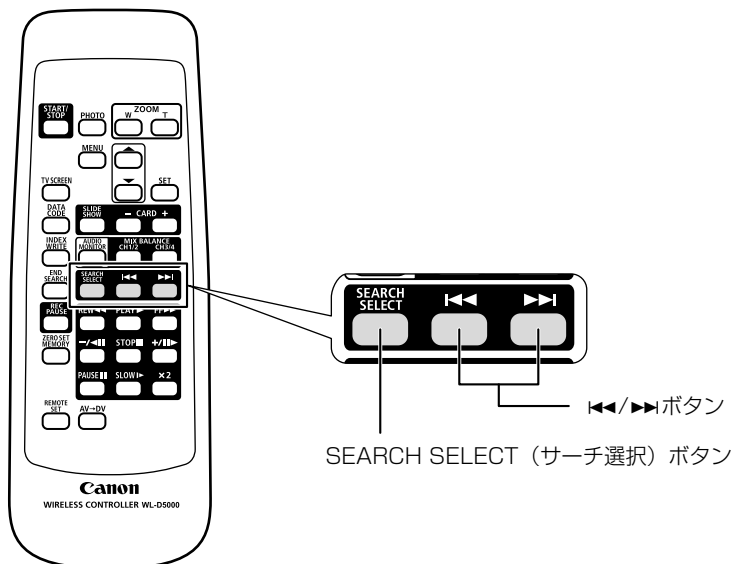
2 ⏮／⏭ボタンを押す

- 押した数だけ前／後ろのインデックス（最多10まで）の頭出しになります。
- サーチを止めるときは、STOP■（停止）ボタンを押します。

❍ 再生を始める位置が多少ずれることがあります。
❍ 同じテープにHDV/DV規格の記録部分が混在していると、インデックスサーチが正しく動作しないことがあります。

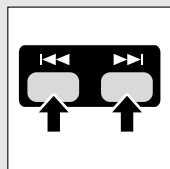
再生編

日付サーチ

撮影時の日付／時刻を自動的に記録するデータコード（ 🕮135）を使って撮影時の日付の変わり目をサーチします。世界時計でエリアを設定したときには、エリアの変わり目もサーチします。リモコンで操作します。

操作のしかた

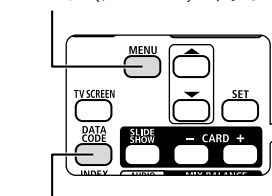
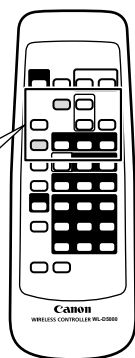
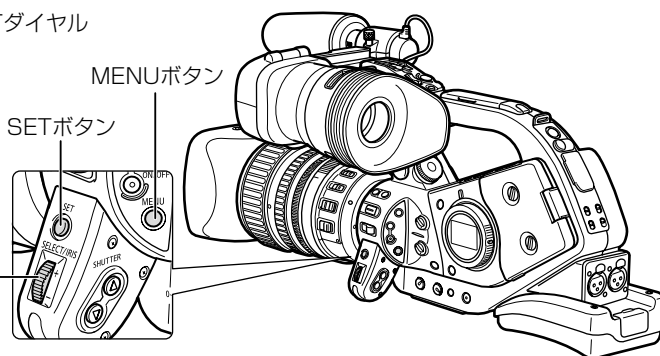
1 SEARCH SELECTボタンを押す

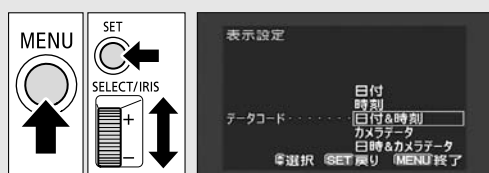
- 「日付サーチ」を選びます。
- 「➜▦」の表示が出ます。

2 ⏮/⏭ボタンを押す

- 押した数だけ前／後ろの日付の変わり目（最多10まで）の頭出しになります。
- サーチを止めるときは、STOP■（停止）ボタンを押します。

❍ 日付サーチを行うときは、1日／1エリア当たり1分以上の記録部分が必要です。
❍ データコードが正しく表示されていないときは、日付サーチは正しく動作しません。
❍ 同じテープにHDV/DV規格の記録部分が混在していると、日付サーチが正しく動作しないことがあります。

再生時に日時、カメラデータを表示する（データコード）

本機では、撮影時の日付／時刻とカメラデータ（シャッタースピード、絞り値（F値）とゲイン）が自動的に記録されます。撮影時の日付／時刻、カメラデータを「データコード」といいます。

データコードの表示内容を選ぶ

1 表示内容を選ぶ

① MENUボタンを押す
②「表示設定」➤「データコード」➤ 設定内容を順に選ぶ
・ SELECTダイヤルを回して項目を選び、SETボタンを押して設定します。
●「表示設定」サブメニューに戻ります。
③ MENUボタンを押す

データコードを表示する

TAPE	CARD		VCR/PLAY	M	A	Tv	Av			

2 データコードを表示する

● テープを再生し、DATA CODEボタンを押します。

データコードは、一度電源を切ると、表示されなくなります。

再生編

リモコンコードを設定する

キヤノン製のほかのビデオカメラもお使いになっているときは、2台のリモコンコードを別にしてお使いください。ご購入時には、リモコンコードは「1」に設定されています。誤動作を防ぐためにはリモコンコードを「2」に変更してください。「切」を選ぶと、リモコンの信号を受け付けません。
本機のリモコンコードの設定（受信コード）を変更したら、必ずリモコンも設定（送信コード）を変更してください。

TAPE | CARD　　VCR/PLAY | M | A | Tv | Av

本機の受信コードを変更する

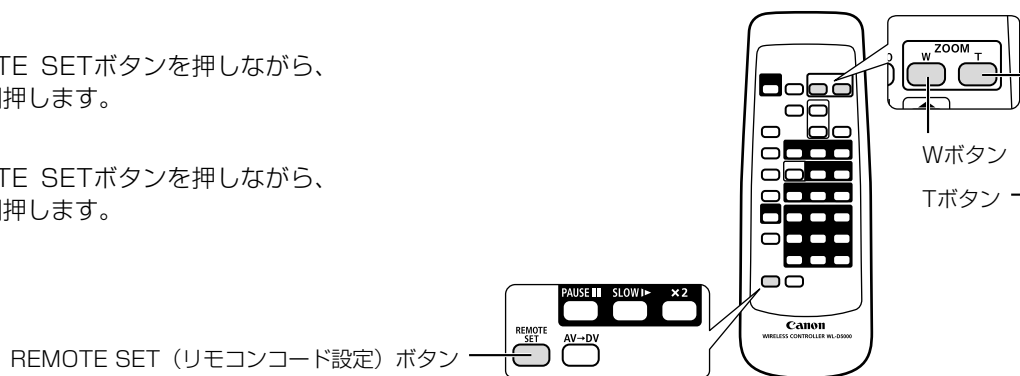
リモコンコードはカスタムファンクションの「16 WIRELESS REMOTE（リモコンコード)」で設定します（🕮 124)。

リモコンの送信コードを変更する

本機とリモコンで設定されているリモコンコードが異なる場合には、リモコンは使用できません。REMOTE SET（リモコンコード設定）ボタン以外のボタンを押すと、画面に本機で設定されているリモコンコードが4秒間、点滅して表示され、確認できます。

設定1にする
リモコンのREMOTE SETボタンを押しながら、
Wボタンを約2秒間押します。

設定2にする
リモコンのREMOTE SETボタンを押しながら、
Tボタンを約2秒間押します。

ZOOM W T
Wボタン
Tボタン
PAUSE SLOW ×2
REMOTE SET AV→DV
Canon WIRELESS CONTROLLER WL-D5000
REMOTE SET（リモコンコード設定）ボタン

❍ リモコンコードの設定を確認しても、リモコンで操作できない場合には、リモコンの電池を交換してください。
❍ 電池を交換すると、リモコンコードは「1」に戻ります。必要に応じて、再度設定し直してください。

静止画の画質／サイズを選ぶ

カードに記録する静止画の画質、サイズを選びます。

画質	スーパーファイン、ファイン、ノーマル
サイズ	LW 1920×1080ピクセル、SW 848×480ピクセル、L 1440×1080ピクセル、S 640×480ピクセル

本機では静止画をJPEG（Joint Photographic Experts Group）圧縮して、記録します。
画質やサイズの設定、撮影条件や被写体により、1枚のカードに記録できる静止画の枚数は異なります。記録できる枚数の目安は、次のとおりです。カスタムプリセット設定を保存したカードの場合は、下記の記録できる枚数よりも少なくなります。

記録できる枚数

サイズ	画質	記録可能枚数			1枚あたりのデータ量
		16MBカード	128MBカード	512MBカード	
LW 1920×1080	スーパーファイン	約9枚	約90枚	約350枚	約1360kB
	ファイン	約14枚	約135枚	約525枚	約910kB
	ノーマル	約28枚	約265枚	約1035枚	約460kB
SW 848×480	スーパーファイン	約50枚	約455枚	約1770枚	約280kB
	ファイン	約70枚	約645枚	約2510枚	約190kB
	ノーマル	約140枚	約1295枚	約5030枚	約100kB
L 1440×1080	スーパーファイン	約12枚	約120枚	約470枚	約1020kB
	ファイン	約19枚	約180枚	約700枚	約690kB
	ノーマル	約38枚	約350枚	約1370枚	約350kB
S 640×480	スーパーファイン	約65枚	約595枚	約2320枚	約215kB
	ファイン	約95枚	約865枚	約3350枚	約149kB
	ノーマル	約170枚	約1555枚	約6035枚	約82kB

画質を選ぶ

TAPE CARD

※テープ時のみ

VCR/PLAY M A Tv Av

① MENUボタンを押す
②「記録設定」➤「静止画像画質」➤ 設定内容を順に選ぶ
・ SELECTダイヤルを回して項目を選び、SETボタンを押して設定します。
③ MENUボタンを押す

サイズを選ぶ

TAPE CARD

※テープ時のみ

VCR/PLAY M A Tv Av

① MENUボタンを押す
②「記録設定」➤「静止画像サイズ*」➤ 設定内容を順に選ぶ
・ SELECTダイヤルを回して項目を選び、SETボタンを押して設定します。
* VCR/PLAY時は「HD時静止画サイズ」
③ MENUボタンを押す

※選択できるサイズは各モードによって異なります。下表を参照してください。

<table>
<tr><th>カードカメラモード</th><th>カメラモード</th><th>VCR/PLAYモード</th></tr>
<tr><td rowspan="3">LW 1920×1080
SW 848×480
L 1440×1080
S 640×480</td><td>「HD」または「SD16：9」のとき
LW 1920×1080
SW 848×480</td><td>「HD」のとき
LW 1920×1080
SW 848×480</td></tr>
<tr><td rowspan="2">「SD4：3」のとき
L 1440×1080
S 640×480</td><td>「SD16：9」のとき
SW 848×480</td></tr>
<tr><td>「SD4：3」のとき
S 640×480</td></tr>
</table>

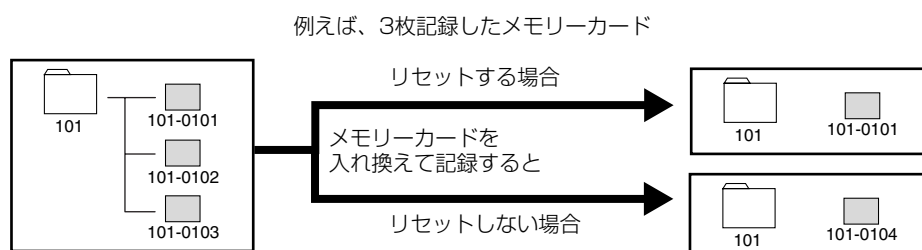
静止画編

画像番号をリセットする

本機では、カードを換えたとき画像番号を連続して付けたり、番号をリセットしたりできます。

番号をオートリセットする	別のカードに入れ換えると、静止画の番号が、101-0101から始まります。すでに静止画が記録されているカードを入れたときは、その続きの画像番号になります。
番号をリセットしない（通し番号）	別のカードに入れ換えても、最後に記録した静止画の続き番号が、次の静止画に付けられます（カード内の画像番号のほうが大きい場合は、その続き番号が付けられます）。画像番号を「通し番号」に設定して記録すると、記録した静止画の画像番号が重複しないため、パソコンでまとめて管理するときなどに便利です。 通常は「通し番号」に設定しておくことをおすすめします。

カードに記録した静止画は、自動的に画像番号が付けられ、ひとつのフォルダーに100枚ずつ保存されます（画像番号0101～9900）。

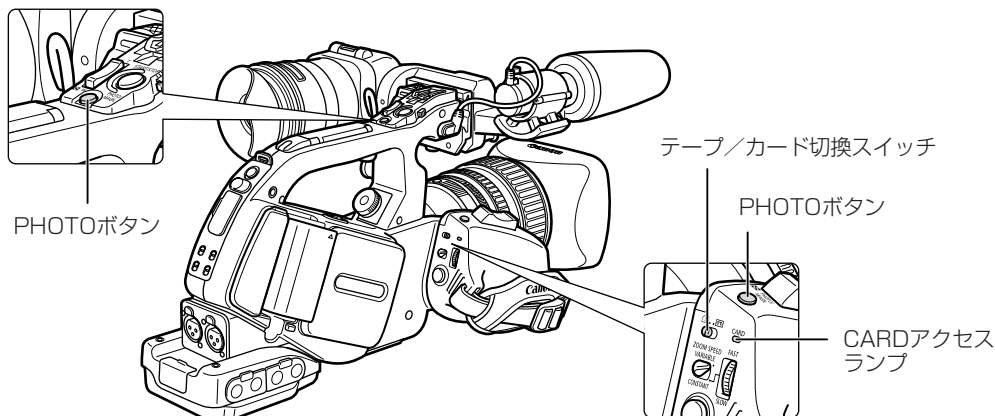
例えば、3枚記録したメモリーカード

※テープ時のみ

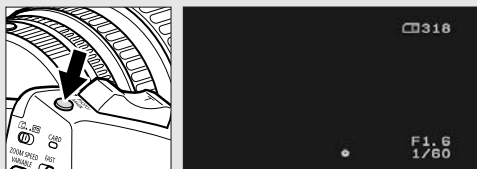
TAPE | CARD

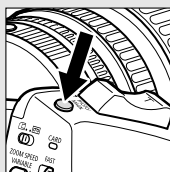
① MENUボタンを押す
②「記録設定」➤「画像番号」➤ 設定内容を順に選ぶ
　・ SELECTダイヤルを回して項目を選び、SETボタンを押して設定します。
③ MENUボタンを押す

カードに静止画を記録する

カードに静止画を記録することができます。また、動画をテープに撮影中、同時に、カードにも静止画を記録したり、テープに記録されている映像を静止画にしてカードに記録することもできます。

TAPE	CARD	VCR/PLAY	M	A	Tv	Av			

1 **メインダイヤルをカメラモードにし、テープ/カード切換スイッチを「 」にする**

2 **PHOTOボタンを浅く押し続ける**

- ピント調整が終わると●が緑色の点灯に変わります。
- 露出がロックされます。
- PHOTOボタンを浅く押したまま、フォーカスリングでピントを調整できます。
- リモコンのPHOTOボタンを押したときは、すぐに静止画記録が始まります。

3 **PHOTOボタンを深く押す**

- ●マークが消えます。
- シャッターを切るように画面が一度途切れます。
- CARDアクセスランプが点滅し、静止画の書き込み表示が出ます。

❍ SD/SDHCメモリーカードには、誤消去防止のつまみがついています。SD/SDHCメモリーカードに静止画を記録するときには、記録できる状態になっていることを確認してください。誤消去防止ツマミがロックの状態のときに記録しようとすると「カードの誤消去防止つまみを確認してください」と表示されます。

❍ 画面右上にカードの動作表示（▶ ）が出ていたり、CARDアクセスランプが点滅している間は、次のことを必ず守ってください。カードのデータを破損する恐れがあります。
　・カードを取り出さない。
　・電源を切らない。メインダイヤルやテープ/カード切換スイッチを切り換えない。
　・バッテリーパックなどの電源を取りはずさない。

次のページへ

❍ 静止画撮影に対応したレンズ*で撮影できます。
　* HD 6X ズームレンズL、HD 20Xズームレンズ L IS Ⅱ／Ⅲ（2008年3月現在）
❍ 2の操作で、より正確にピントを合わせるため、一時的にピントが合わなく見えることがあります。
❍ **メニュー（🕮 168）で「フォーカス優先」を「入」に設定しているとき**
　●が緑色の点灯に変わる前にPHOTOボタンを深く押すと、ピントを合わせるのに約2秒*かかることがあります。
　* ナイトモード時には、4秒までかかることがあります。
　自動ではピントが合いにくい被写体のときは、そのままピントをロックします。PHOTOボタンを浅く押したままフォーカスリングでピントを合わせることをおすすめします。
❍「フォーカス優先」を「切」に設定しているときは、2の操作では、●が緑色に点灯し、ピントと露出がそのままロックされます。
❍ パワーセーブ
　カードカメラモードでは、本機をバッテリーパックで使用しているとき、撮影待機中には、省電のため、操作をしなくなってから約5分で電源が切れます。メニュー（🕮 170）の「パワーセーブ」で、電源を切るか（「入」）、切らない（「切」）が選択できます。「入」を選んでいて電源が切れた場合は、STANDBYボタンを押すか、メインダイヤルを一度「OFF」にしてからカメラモードに戻し、電源を入れなおしてください。

フォーカス優先の設定を変える

PHOTOボタンを押したときにすぐに静止画記録をしたいときは、メニュー（🕮 168）の「フォーカス優先」を「切」に設定します（カメラモード時のみ）。

使用しているカスタムプリセット設定値を静止画と一緒にカードに保存する

カスタムファンクション（🕮 124）の「09 PHOTO BUTTON（フォトボタン）」で「PHOTO+CP DATA」を選ぶと、カメラモードで使用しているカスタムプリセット設定値とその場面の静止画をカードに保存できます。場面に合わせたカスタムプリセット設定を再現するときに便利です（カメラモード時のみ）。

● 画面は動画のまま、静止画がカードに記録されます。

❍ フェード実行中はカードに記録できません。
❍ カスタムファンクションの「09 PHOTO BUTTON（フォトボタン）」を「OFF」に設定していて、PHOTOボタンを押すと「OFF」が出ます。

テープの映像を静止画として記録する

TAPE	CARD

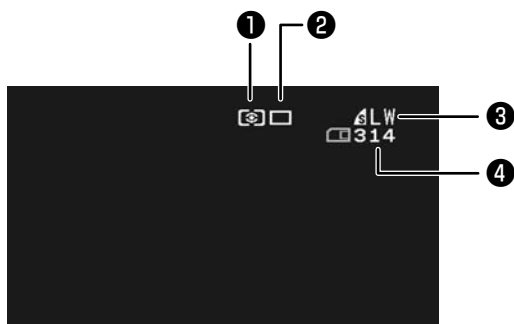
VCR/PLAY	M	A	Tv	Av			

1 再生一時停止中

PHOTOボタンを深く押す

- CARDアクセスランプが点滅します。

VCRメニューの「レターボックス出力」(「信号設定」サブメニュー)を「入」にしていると、操作できません。

静止画記録中の画面表示について

①測光方式(🕮 145)

選んだ測光方式を表示します。

②ドライブモード(🕮 143)

選んだドライブモードを表示します。

③サイズ表示

静止画のサイズを表示します。

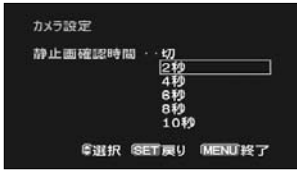
画質表示

静止画の画質を表示します。

④カード静止画の記録可能枚数表示

記録可能枚数6枚以上：　6 緑色表示
記録可能枚数1～5枚：　5 黄色表示*
記録可能枚数0枚：　0 赤色表示*
* カード再生時はすべて緑色表示になります。

- 記録可能枚数表示は、記録時の状況により、一定ではありません。記録しても、枚数表示が減らなかったり、1回の記録で2枚減ることがあります。

「▶」書き込み表示

静止画をカードに書き込んでいるときに表示します。

カードに記録した静止画を確認する
（静止画確認時間）

カードに静止画を記録した直後に、選んだ時間（2、4、6、8、10秒）、静止画を確認できます。

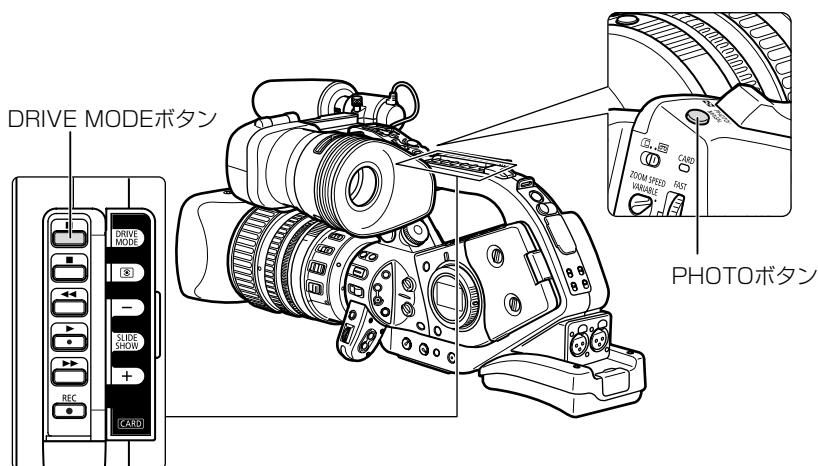
設定のしかた

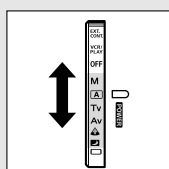
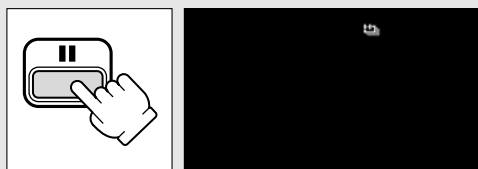
① MENUボタンを押す
②「カメラ設定」➤「静止画確認時間」➤ 設定内容を順に選ぶ
・ SELECTダイヤルを回して項目を選び、SETボタンを押して設定します。
③ MENUボタンを押す

❍ 静止画記録時に、PHOTOボタンを深く押し続けている間も、記録した静止画を確認できます。
❍ 静止画記録時に静止画を確認している間、または静止画記録直後にSETボタンを押すと、「画像設定」メニューが出ます。画像プロテクト（🕮 151）、画像消去（🕮 150）ができます。
❍ ドライブモードで連写、高速連写、AEBを選んでいると、静止画確認時間は設定できません。

ドライブモードを選ぶ（連写／高速連写／AEB）

連写	PHOTOボタンを押し続けている間、連続撮影できます（記録枚数については、次ページをご参照ください）。
高速連写	
AEB	自動的に露出を約1／2段変えて、3枚の静止画を連続撮影します。
単写	PHOTOボタンを押すと、1枚の静止画を撮影します。

TAPE CARD　VCR/PLAY M A Tv Av

設定のしかた

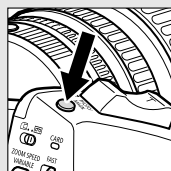
1 （全自動）以外のカメラモードにする

2 DRIVE MODEボタンを押す

- ボタンを押すたびに、表示が変わります。
- 選んだ設定の表示が出ます。

次のページへ

静止画編

ドライブモードを選ぶ（連写／高速連写／AEB）…つづき

連写／高速連写で撮影する

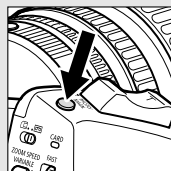
1 PHOTOボタンを深く押し続ける

- PHOTOボタンを押し続けている間、静止画が連続でカードに記録されます。

1回の連写で記録できる最大枚数

1秒あたりの記録枚数		連続記録可能枚数
連写	高速連写	
約3枚	約5枚	60枚

＊ 記録できる枚数や1秒当たりの記録枚数は、目安です。撮影条件や被写体によって変わります。また、上記の枚数が記録できる空き容量が必要です。

自動的に露出を変えて撮影する（AEB）

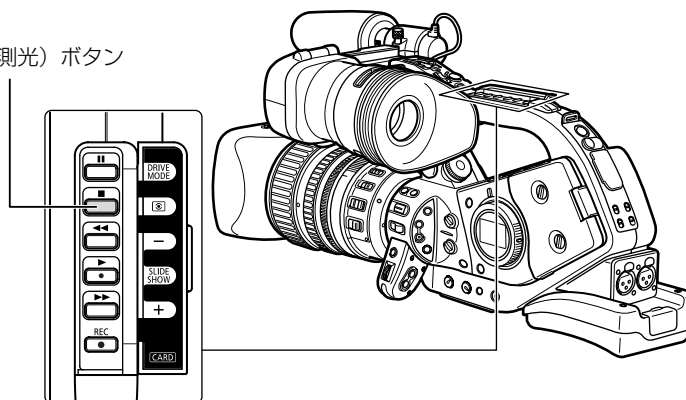
1 PHOTOボタンを深く押す

- 露出を変えた3枚の静止画が、自動的にカードに記録されます。

AEBでは、3枚連続して記録されますので、カードに十分な空き容量があることを確認してください。

測光方式を選ぶ

次の中から測光方式を選んで撮影できます。

評価測光	逆光撮影を含む一般的な撮影に適しています。画面内を分割して測光します。被写体の位置や明るさ、背景、順光、逆光などをカメラが判断し、主な被写体を常に適正な露出にします。
中央部重点平均測光	画面中央部の被写体に重点を置きながら、画面全体を平均的に測光します。
スポット測光	画面中央部のスポット測光枠（[ ]）内を測光します。

TAPE CARD

1 （全自動）、（ナイト）、（スポットライト）以外のカメラモードにする

2 ボタンを押す

- ボタンを押すたびに、表示が変わります。
- 選んだ表示の設定が出ます。
- スポット測光を選んだ場合は、[ ]が出ます。

静止画編

別売のストロボを使う

一眼レフカメラ　キヤノンEOS用のE-TTL（Ⅱ）自動調光システムに対応したスピードライト420EX/430EX/550EX/580EX/580EX Ⅱにより、低照度下でより自然に静止画撮影できます。
- スピードライトの使用説明書もあわせてご覧ください。

スピードライトの取り付け（580EX Ⅱの場合）

※ EOS用オフカメラシュー、コネクティングコードは使用できません。
- ストロボを取り付け/取りはずすときは、ビデオカメラの電源を切ってください。

1 スピードライトの取り付け脚部をホットシューに奥まで差し込む

2 取り付け脚ロックレバーを右方向へスライドさせる

- カチッと音がして固定されます。

取りはずすときは、ロック解除ボタンを押しながら、取り付け脚ロックレバーを左方向にスライドさせて、本機からはずします。

操作のしかた（580EX Ⅱの場合）

TAPE	CARD		VCR/PLAY	M	A	Tv	Av			

1 ビデオカメラのメインダイヤルを「M」を除くカメラモードにし、スピードライトの電源を入れる

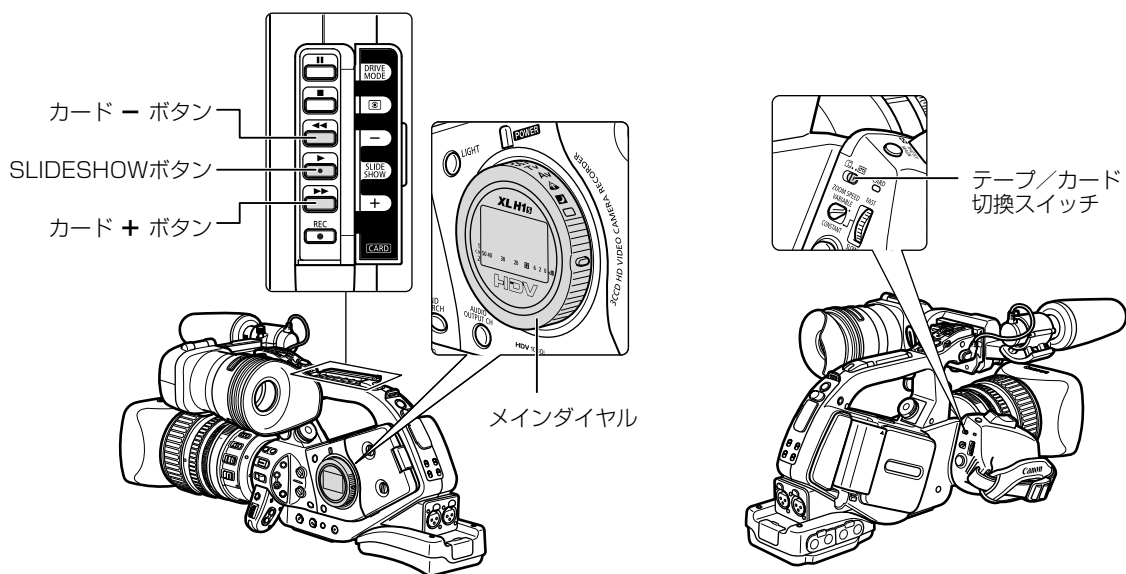
- スピードライト充電中は白色の ⚡ が点滅する。
- 充電が完了すると、⚡ が緑色になり点灯する。
- 白色の ⚡ が長時間点滅し続けているときは、スピードライトの電池を交換してください。

2 PHOTOボタンを押して静止画撮影する

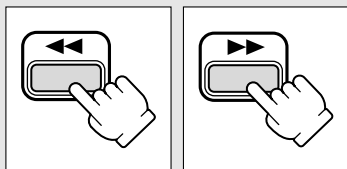
- ❍ 必ず充電が完了したのを確認してから撮影してください。充電中でも撮影はできますが、スピードライトは発光しません。
- ❍ スピードライトを使用しないときは、スピードライトの電源を切ってください。
- ❍ マニュアルモードと露出ロック時はスピードライトは発光しません。
- ❍ Tvモード時で、ストロボ撮影時に設定可能なシャッタースピードは、以下の通りです。
  1/4秒～1/500秒
- ❍ スピードライト420EX/430EX/550EX/580EX/580EX Ⅱのバウンス機能には対応していません。
- ❍ スピードライト420EX/430EX/550EX/580EX/580EX Ⅱのワイヤレス多灯ストロボには対応していません。
- ❍ スピードライトトランスミッターST-E2と420EX/430EX/550EX/580EX/580EX Ⅱのワイヤレス制御には対応していません。
- ❍ 暗い被写体では、本体のPHOTOボタンを浅く押し続けるとスピードライトのフォーカス用の補助光が発光することがあります（AF撮影時で、かつ「フォーカス優先」が「入」のとき）。
- ❍ AEB撮影時はスピードライトは発光しません。

カードに記録した静止画を再生する

静止画を再生する（カード静止画再生モード）

TAPE	CARD	VCR/PLAY	M	A	Tv	Av			

1 メインダイヤルを「VCR/PLAY」にし、テープ/カード切換スイッチを「 」にする

- カード静止画再生モードになります。
- 青い画面の後に、最後に記録した静止画が出ます。

2 カード+ ／－ ボタンを押す

❍ パソコンで作成／加工した静止画をカードに書き込んだり、本機で記録した静止画をパソコンで直接加工したり、ファイル名を変更した場合、本機で再生できなくなる場合があります。
❍ 本機以外のビデオカメラなどで記録した静止画は､正しく再生されないことがあります。
❍ 画面右上にカードの動作表示（▶ ）が出ていたり、CARDアクセスランプが点滅している間は、次のことを必ず守ってください。カードのデータを破損する恐れがあります。
・カードカバーを開けたり、カードを出したりしない。
・電源を切らない。メインダイヤルやテープ/カード切換スイッチを切り換えない。
・バッテリーパックなどの電源を取りはずさない。

静止画編

次のページへ

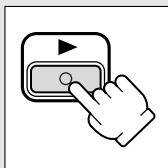
カードに記録した静止画を再生する…つづき

静止画を探す（スライドショー/インデックス画面/カードジャンプ機能）

本機では、静止画を連続して順番に見たり（スライドショー）、6枚を一度に見たり（インデックス画面）できます。さらに、見たい静止画をすばやく探し出せるカードジャンプ機能があります。

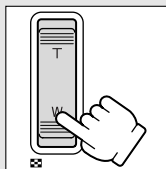
静止画を順番に再生する（スライドショー）

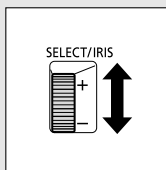
TAPE	CARD	VCR/PLAY	M	A	Tv	Av			

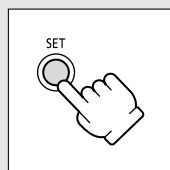
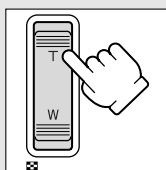
1 SLIDESHOWボタンを押す

- 出ている静止画から順番に再生します。
- ボタンをもう一度押すと、スライドショーを終了します。

インデックス画面で静止画を選ぶ

TAPE	CARD	VCR/PLAY	M	A	Tv	Av			

1 静止画再生中
ズームボタンをW側に押す

- 6枚の静止画が出るインデックス画面になります。

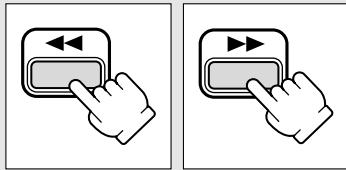
2 SELECTダイヤルを回す

- 「☞」を再生したい静止画に合わせます。
- カード＋／－ボタンでインデックス画面を切り換えられます。

3 ズームボタンをT側に押すか、またはSETボタンを押す

- インデックス画面が終了し、選んだ1枚の静止画が画面に出ます。

静止画をすばやく探し出す（カードジャンプ機能）

1枚ずつ再生せずに、離れた静止画まで一気にジャンプできます。
カード再生モード時の画面の右上に出る数字は、記録した静止画の合計枚数（全枚数）と再生している静止画が何枚目になるか（表示番号）を表しています（ （表示番号）/（全枚数））。

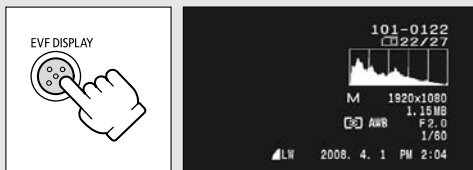
TAPE CARD

1 カード+ ／－ ボタンを押し続ける

- ボタンを押している間、表示番号のみが連続的に変わります。
- ボタンを離すと、表示番号の静止画が画面に出ます。

撮影情報を表示する

EVF DISPLAYボタンを押して、撮影した静止画のヒストグラムや撮影情報を表示することができます。

1 EVF DISPLAYボタンを選ぶ

静止画編

静止画を消去する（画像消去）

不要になった静止画を1枚消去したり、すべての静止画を一度に消去したりできます。
全消去を行うと、すべての静止画が消去されます。
カスタムファンクションの「09 PHOTO BUTTON（フォトボタン）」を「PHOTO＋CP DATA」にして記録した静止画（🕮 124）を消去すると、カスタムプリセットも消去されます。

一度消去した静止画はもとに戻せません。消去する前に静止画を確認してください。

プロテクト設定している静止画（🕮 151）は消去できません。

①静止画を見ながら1枚消去する

TAPE	CARD	VCR/PLAY	M	A	Tv	Av			

1 SETボタンを押す

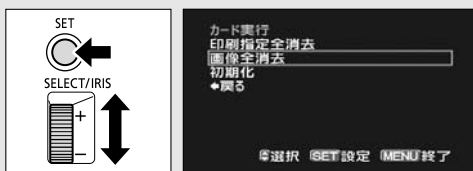
- 「画像設定」メニューが出ます。
- カードカメラモードの場合、静止画を確認している間、または静止画記録直後にSETボタンを押すと、メニューが出ます。

2 「画像消去」を選ぶ

- SELECTダイヤルを回して「画像消去」を選び、SETボタンを押します。
- 「消去」を選んで、SETボタンを押すと、静止画が消去されます。
- 消去した静止画の1つ後の画像が出ます。

②静止画を全消去する

TAPE	CARD	VCR/PLAY	M	A	Tv	Av			

1 「画像全消去」を選ぶ

① MENUボタンを押す
②「カード実行」➤「画像全消去」➤ 設定内容を順に選ぶ
・ SELECTダイヤルを回して項目を選び、SETボタンを押して設定します。

2 「はい」を選び、消去する

- SETボタンを押すと、（プロテクトした）静止画を除いたすべての静止画が消去されます。
消去が終了すると、「カード実行」サブメニューに戻ります。

静止画をプロテクトする（画像プロテクト）

TAPE	CARD		VCR/PLAY	M	A	Tv	Av			

プロテクト設定をしても、カードを初期化するとすべての静止画は消去されます。

①静止画を見ながらプロテクトする

1 SETボタンを押す

● 「画像設定」メニューが出ます。

2 静止画をプロテクトする

● SELECTダイヤルを回して「画像プロテクト」を選び、SETボタンを押します。SELECTダイヤルで「入」を選んでSETボタンを押します。「O┳」が出ます。「切」を選ぶと解除します。

②インデックス画面で静止画をプロテクトする

1 ズームボタンをW側に押す

● インデックス画面になります。
● プロテクトする静止画を選びます（「インデックス画面で静止画を選ぶ」操作2（📖148））。

2 「➡O┳画像プロテクト」を選ぶ

① MENUボタンを押す
②「カード実行」➤「➡O┳画像プロテクト」を順に選ぶ
・ SELECTダイヤルを回して項目を選び、SETボタンを押して設定します。

3 静止画をプロテクトする

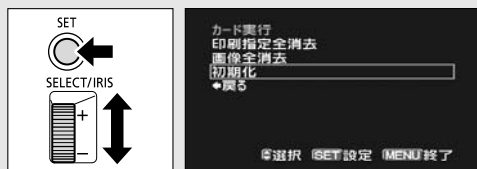
● SETボタンを押すと「O┳」が出て、プロテクトされます。もう一度押すと、解除します。
● SELECTダイヤルを上／下に回すと、他の静止画を選べます。
● MENUボタンを押すと、通常のインデックス画面に戻ります。

静止画編

カードを初期化する

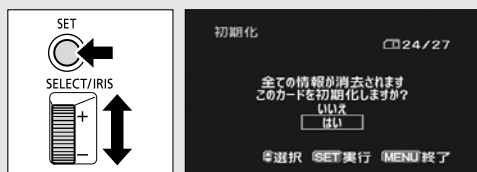
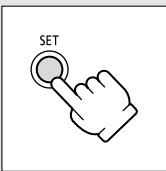
初期化は、新しいカードを使うときや、「カードエラーです」という表示が出たときに行います。また、カードに記録した静止画などの情報すべてを消去するときにも行います。初期化には「初期化」と「完全初期化」があります。「初期化」はデータそのものが格納された場所まで初期化しませんので、データを完全に抹消する必要があるときは「完全初期化」を選択してください。

❍ 初期化を行うと、プロテクト設定した静止画やカスタムプリセットまで、すべての情報が消えます。
❍ 初期化して一度消去した静止画やカスタムプリセットなどはもとに戻せません。初期化する前に確認してください。
❍ カードへの記録/読み出しに時間がかかるようになったと思われるときは、「完全初期化」を選択することをおすすめします。
❍「完全初期化」はカードによっては数分かかることがあります。
❍ 付属のSDメモリーカード以外のカードを使用する際には、はじめに本機で初期化してください。

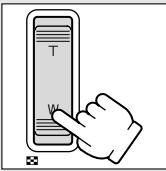
1 「初期化」を選ぶ

① MENUボタンを押す
②「カード実行」➤「初期化」を順に選ぶ
・ SELECTダイヤルを回して項目を選び、SETボタンを押して設定します。

2 初期化の方法を選ぶ

● SELECTダイヤルを回して初期化の方法を選び、SETボタンを押します。

3 「はい」を選び、初期化する

● SELECTダイヤルを回して「はい」を選び、SETボタンを押すと、カードは初期化され、すべての情報が消去されます。
●「完全初期化」の場合は初期化に時間がかかることを示すメッセージが表示されますので、SELECTダイヤルを回して「はい」を選びます。
● 完全初期化は途中で中止することができます。初期化中にSETボタンを押してください。この場合、カードは問題なく使用できますが、データはすべて消去されます。

静止画を🖨印刷指定する

カードに記録した静止画の中から、印刷したい静止画とその枚数を指定できます。本機は印刷フォーマットのDPOF（ディーポフ）（Digital Print Order Format）に対応しています。🖨印刷指定は、最大998枚の静止画まで設定できます。

①-1 静止画を見ながら🖨印刷指定をする

1 SETボタンを押す

- 画像設定メニューが出ます。

2 「🖨印刷指定」を選ぶ

- SELECTダイヤルを回して、「🖨印刷指定」を選び、SETボタンを押します。

3 🖨印刷指定をする

- SELECTダイヤルを回して、枚数を選びます。
- SETボタンを押すと、🖨印刷指定されます。
- 「↵」を選ぶと、メニューが消えます。

①-2 インデックス画面で🖨印刷指定をする

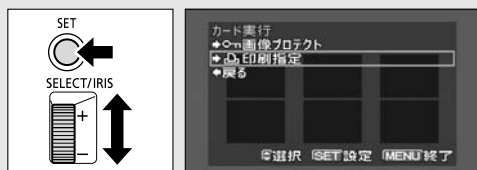
1 ズームボタンをW側に押す

- インデックス画面になります。
- 印刷指定する静止画を選びます（「インデックス画面で静止画を選ぶ」操作2（📖148））。

静止画編

次のページへ

静止画を印刷指定する…つづき

2 「➡印刷指定」を選ぶ

① MENUボタンを押す
②「カード実行」➤「➡印刷指定」を順に選ぶ
・ SELECTダイヤルを回して項目を選び、SETボタンを押して設定します。

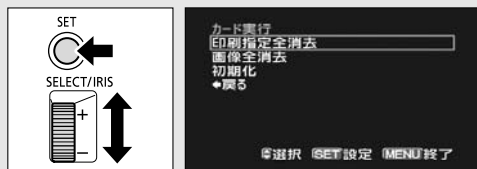
3 印刷指定をする

- SETボタンを押すと「0〜99」が付きます。SELECTダイヤルを回して、枚数を選びます。
- SETボタンを押すと、印刷指定されて次の静止画を選べます。
- MENUボタンを押すと、通常のインデックス画面に戻ります。

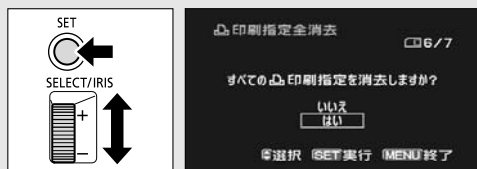
印刷指定を消去するとき

印刷指定をしている静止画を選びます。①-1または2の操作で枚数「0」を選び、SETボタンを押すと「」が消えます。

①-3 すべての印刷指定を消去する

1 「印刷指定全消去」を選ぶ

静止画1枚再生中

① MENUボタンを押す
②「カード実行」➤「印刷指定全消去」を順に選ぶ
・ SELECTダイヤルを回して項目を選び、SETボタンを押して設定します。

2 「はい」を選び、印刷指定を消去する

- SETボタンを押すと、すべての印刷指定が消去されます。

メニュー一覧

本機では、画面に表示されるメニューで、撮影や再生に必要なさまざまな設定を行います。

メニューの階層

本機のメニューは、動画/静止画の撮影/再生の各モードによってそれぞれ次のように切り換わります。
「カメラ メニュー」・・・・・・動画撮影時
「VCR メニュー」・・・・・・・動画再生時
「カード/カメラ メニュー」・・・静止画撮影時
「カード再生 メニュー」・・・・静止画再生時

[*1] 「カメラ メニュー」、「VCR メニュー」のみ。
[*2] 「カメラ メニュー」、「カード/カメラ メニュー」のみ。
[*3] 「VCR メニュー」のみ。
[*4] SDモード時の「カメラ メニュー」のみ。
[*5] 「カード/カメラ メニュー」のみ。
[*6] 「カメラ メニュー」のみ。
[*7] 「カメラ メニュー」、「VCR メニュー」、「カード/カメラ メニュー」のみ。
[*8] 「VCR メニュー」、「カード再生 メニュー」のみ。
[*9] 「カード再生 メニュー」のみ。
[*10] 「カード再生 メニュー」ではサブメニューで表示される。

次のページへ

メニュー編

メニュー一覧…つづき

カメラメニュー　＊SDのみ　＊＊XL H1Sのみ　※太字はご購入時の設定です。

サブメニュー項目	設定内容		意味		📖
信号設定					
タイムコード	フレーム設定		**ドロップ**	ドロップ方式でタイムコードを記録する。	54
			ノンドロップ	ノンドロップ方式でタイムコードを記録する。	
	カウントアップ方式		**レックラン**	本機のテープに記録している間だけ、タイムコードが歩進する。	
			レックランプリセット	スタート値設定画面へ。	
			フリーラン	本機の操作に関係なく、タイムコードが歩進する。スタート値設定画面へ。	
	スタート値設定		**セット**	タイムコードを設定する。スタート値設定画面へ。	
			リセット	タイムコードを00:00:00:00にリセットする。	
GENLOCK調整＊＊	−1023～1023		GENLOCKを位相差0を中心として約±0.4H（−1023～＋1023）の範囲で調整する。		56
コンポーネント出力	480i		480i対応のモニターTV（D1相当）に接続するときに選択する。		97
	1080i/480i		1080i対応のモニターTV（D3相当）に接続するときに選択する。		
SDI出力＊＊	入（OSD） 入 **切**		HD/SD SDI端子の出力を入/切する。 「入」にすると映像に音声とタイムコードが重畳され、「入（OSD）」にすると画面表示も重畳される。		64、97
SDI出力映像＊＊	**オート** SD固定		HD/SD SDI端子の出力を選択する。 オートでは信号に合わせて自動切り換えになります。		97
カメラ設定					
24Fプルダウン＊	**2：3**		2：3プルダウン方式で24pを記録する。		53
	2：3：3：2		2：3：3：2プルダウン方式で24pを記録する。		
AGC LIMIT	**切 (18dB)** 15dB 12dB 9dB 6dB 3dB		ゲインがオートのとき、ゲインリミッターを設定してゲインの最大値を制限できる。		79
スキンディテール	エフェクトレベル	**切** ロー ミドル ハイ	スキンディテールの補正度合いを設定する。		87
	色相 クロマ エリア Yレベル		色相を調整する。 クロマを調整する。 エリアを調整する。 Yレベルを調整する。		
SELECTIVE NR	エフェクトレベル	**切** ロー S-NR ミドル S-NR ハイ S-NR	SELECTIVE NRの補正度合いを設定する。		88
	色相 クロマ エリア Yレベル		色相を調整する。 クロマを調整する。 エリアを調整する。 Yレベルを調整する。		

カメラメニュー

サブメニュー項目	設定内容		意味	📖
カラーコレクション	色補正実行	**切**	カラーコレクション機能を使わない。	85
		A	Aエリアにカラーコレクションをかける。	
		B	Bエリアにカラーコレクションをかける。	
		A&B	AとBの両方のエリアにカラーコレクションをかける。	
	Aエリア選択	色相	Aエリアの色相を調整する。	
		クロマ	Aエリアのクロマを調整する。	
		エリア	Aエリアのエリアを調整する。	
		Yレベル	AエリアのYレベルを調整する。	
	Aエリア補正	Rゲイン	AエリアのRゲインを調整する。	
		Bゲイン	AエリアのBゲインを調整する。	
	Bエリア選択	色相	Bエリアの色相を調整する。	
		クロマ	Bエリアのクロマを調整する。	
		エリア	Bエリアのエリアを調整する。	
		Yレベル	BエリアのYレベルを調整する。	
	Bエリア補正	Rゲイン	BエリアのRゲインを調整する。	
		Bゲイン	BエリアのBゲインを調整する。	
フォーカスP.スピード	**4**		レンズのフォーカスプリセットのスピードを4（高速）～1（低速）の4段階から選択する。	50
	3			
	2			
	1			
クリアスキャン			パソコンなどの画面を撮影するときに選択する（選択範囲60.1～203.9Hz）。	89
FB	⇒AF調整		AFによるフランジバック調整。	28
	⇒MF調整		MFによるフランジバック調整。	
	調整値初期化		調整値の初期化。	
FOCUS LIMIT	入 F.LMT		マクロ領域のフォーカス制限を入／切します。	50
	切			
記録設定				
DV録画モード＊	**SP**		SP（標準）モードで録画する。	–
	LP		LP（標準の1.5倍の録画時間）モードで録画する。 LPモードについて： ・LPモードでの録画／再生は、テープの特性や使用環境に影響されやすく、再生時、画面にモザイク状のノイズが発生したり、音声が途切れたりする場合があります。大切な撮影にはSPモードをお使いください。 ・本機でLPモードで録画したテープを他のデジタルビデオ機器で再生したり、ほかのデジタルビデオ機器でLPモードで録画したテープを本機で再生すると、画像が乱れたり、音声が途切れたりすることがあります。 ・テープの途中でSPとLPを切り換えて録画すると、切り換え部分で再生画像が乱れます。また、タイムコードが正しく更新されないことがあります。	
UB記録	**内部記録**		本機の内部設定のユーザービットを記録する。	58
	外部入力		TC IN端子＊＊、HDV/DV端子から入力されたユーザービットを記録する。	
UB選択	**00 00 00 00**		UB（ユーザービット）のセット/リセット選択画面 ➤ セットを選ぶと、ユーザービット設定画面へ。	58
	時刻		ユーザービットに時刻を適用する。	
	日付		ユーザービットに日付を適用する。	
静止画像画質	スーパーファイン		カードに記録する静止画の画質を設定する。	137
	ファイン			
	ノーマル			

メニュー編

メニュー一覧…つづき

カメラメニュー

サブメニュー項目	設定内容	意味	📖
静止画像サイズ	HDVまたはDV16：9のとき **LW 1920×1080** SW 848×480	カードに記録する静止画のサイズを設定する。	137
	DV4：3のとき **L 1440×1080** S 640×480		
画像番号	オートリセット	カードを入れ替えると番号はリセットされる。	138
	通し番号	画像番号は、最後の番号の続きになる。	
オーディオ設定			
DVオーディオモード＊	**16bit**	音声を16bitで記録する。	59
	12bit	音声を12bitで記録する。	
モニター選択	**ノーマル**	撮影時の音声をそのまま出力する（画面とわずかなずれがでます。テープへの記録ではずれません）。	63
	ラインアウト	撮影時の音声を画面に同期させて出力する。	
ウインドカット	入	付属のマイク用ウインドカットを入／切する。	59
	切		
マイク感度	**ノーマル**	マイクの感度を選択する。	59、62
	高感度		
XLR 1 TRIM	+12dB	XLR 1のゲイン調整。	61
	+6dB		
	0dB		
	-6dB		
	-12dB		
XLR 2 TRIM	+12dB	XLR 2のゲイン調整。	61
	+6dB		
	0dB		
	-6dB		
	-12dB		
OUTPUTレベル	**1Vrms**	音声出力レベル切り換え。	101
	2Vrms		
XLR ALC LINK	LINK	CH1/CH2のレベル調整の連動／独立を切り換える。	63
	SEP		
オーディオリミッター	入	大入力の音声による歪防止を入／切する。	63
	切		
表示設定			
EVF調整	EVFシロクロモード	入 / **切**：EVFを白黒にする/しないを切り換える。	24
	明るさ	ファインダーの明るさを調整する。 ・画面の明るさ調整は再生または撮影している画像の明るさとは関係ありません。	
	コントラスト	ファインダーのコントラストを調整する。 ・画面のコントラスト調整は再生または撮影している画像のコントラストとは関係ありません。	
	カラー	ファインダーの色の濃さを調整する。 ・画面の色の濃さ調整は再生または撮影している画像の色の濃さとは関係ありません。	
	シャープネス	ファインダーのシャープネスを調整する。 ・画面のシャープネス調整は再生または撮影している画像のシャープネスとは関係ありません。	
ピーキング調整	ピーキング1	ゲイン（切、1～15） 周波数（1～4） ピーキング1/2のゲインと周波数設定。	48
	ピーキング2	ゲイン（切、1～15） 周波数（1～4）	

カメラメニュー

サブメニュー項目	設定内容	意味	📖
言語 💬		画面に表示する言語を選ぶ。 ドイツ語、英語、スペイン語、フランス語、イタリア語、ポーランド語、ロシア語、簡体中国語、**日本語** ・画面下の SET と MENU は切り換わらない。	34
マーカー	**切**	水平/センターマーカー/グリッドを表示しない。	40
	水平マーカー	水平マーカーを表示する。	
	センターマーカー	センターマーカーを表示する。	
	グリッドマーカー	グリッドマーカーを表示する。	
アスペクトマーカー	**切**	アスペクトマーカー表示を選択する。	40
	4：3		
	13：9		
	14：9		
	1.66：1		
	1.75：1		
	1.85：1		
	2.35：1		
セーフティーゾーン	**切**	セーフティゾーン表示を切、80%、90%で選択する。	40
	80%		
	90%		
ゼブラパターン	入	ゼブラパターン表示を入/切する。	84
	切		
ゼブラパターンレベル	70	ゼブラパターンの表示レベルを選択する。	84
	75		
	80		
	85		
	90		
	95		
	100		
オンスクリーン	**入**	接続したモニターTVでの画面情報表示を入/切する。	92
	切		
レベルメーター	**入**	画面のオーディオレベル表示を入/切する。	62
	切		
ガイド	**切**	ガイド情報を画面に表示しない。	–
	カスタムキー	カスタムキーの設定情報を画面に表示する。	
	日時表示	日時を画面に表示する。	
UB表示	入	ユーザービットの画面表示を入/切する。	58
	切		
システム設定			
カスタムキー1	**タイムコード**	カスタムキー1で使用する機能を選択する。 カスタムキー1を使用しないときは「未設定」を選択する。	90
	インデックス記録		
	ゼブラパターン		
	VCRストップ		
	オンスクリーン		
	TC HOLD		
	レベルメーター		
	EVFシロクロモード		
	MAGN.ボタンロック		
	SHTR ボタンロック		
	AE D.ロック		
	E.LCK B.ロック		
	FB		
	EVF反転モード		
	SDI出力＊＊		
	FOCUS LIMIT		
	（未設定）		

メニュー編

メニュー一覧…つづき

カメラメニュー

サブメニュー項目	設定内容	意味	
カスタムキー2	タイムコード	カスタムキー2で使用する機能を選択する。 カスタムキー2を使用しないときは「未設定」を選択する。	90
	インデックス記録		
	ゼブラパターン		
	VCRストップ		
	オンスクリーン		
	TC HOLD		
	レベルメーター		
	EVFシロクロモード		
	MAGN.ボタンロック		
	SHTR ボタンロック		
	AE D.ロック		
	E.LCK B.ロック		
	CPマイナスキー		
	FB		
	EVF反転モード		
	SDI出力＊＊		
	FOCUS LIMIT		
	(未設定)		
パワーセーブ	**入**	「入」の場合、バッテリーパック使用時に本機を5分間操作しないと電源が切れる。	39
	切		
日時設定	エリア/サマータイム	世界時計のエリアを設定する。	36
	日付/時刻	日時を設定する。	
	日時スタイル	日時の表示のしかたを選択する。 **Y.M.D. : 2008.1.1 AM12:00** M.D,Y : JAN. 1, 2008 12:00AM D.M.Y : 1. JAN. 2008 12:00AM	
DVコントロール	入 DV	DVコントロール機能を入/切する。	103
	切		
MAGN.ボタンロック	**無効**	EVF MAGNIFYINGボタンのロックの有効/無効を切り換える。	48、92
	有効		
SHTR ボタンロック	**無効**	SHUTTERボタンのロックの有効/無効を切り換える。	71、92
	有効		
AE D.ロック	**無効**	AEシフトダイヤルの有効／無効を切り換える。	77、92
	有効		
E.LCK B.ロック	**無効**	EXP.LOCK/PUSH AEボタンのロックの有効/無効を切り換える。	71、76、92
	有効		
ALL DISPLAY	**有**	すべての画面表示をする／しないを切り換える。	39
	無		
設定初期化	**いいえ**	すべての設定を工場出荷時に戻す。	－
	はい		

カスタマイズ

カスタムプリセット	EDIT	SELECT CP	1 PRESET_A	設定するプリセットを選択する。	108～110
			2 PRESET_B		
			3 PRESET_C		
			4 PRESET_D		
			5 PRESET_E		
			6 PRESET_F		
			7 VIDEO.C	民生用の薄型テレビ再生用	
			8 CINE.V	フィルムトーン映像再生	
			9 CINE.F	キネコを目的とした録画	
		TUNE	選択したカスタムプリセットの設定を編集する。		
		RENAME	選択したカスタムプリセットの名前を変える。		
		PROTECT	選択したカスタムプリセットの設定をプロテクトする。		
		RESET	選択したカスタムプリセットの設定と名前を初期値に戻す。		
		RETURN	カスタムプリセットメイン画面に戻る。		

カメラメニュー

サブメニュー項目		設定内容		意味	📖
カスタムプリセット	EDIT	GAM（ガンマ）	**NORMAL**	ガンマを設定する。	115～117
			CINE1		
			CINE2		
		KNE（ニー）	AUTO	ニーを設定する。	
			HIGH		
			MIDDLE		
			LOW		
		BLK（ブラック）	STRETCH	ブラックを設定する。	
			MIDDLE		
			PRESS		
		PED（マスターペデスタル）	－9～9	マスターペデスタルを調整する。	
		SET（セットアップレベル）	－9～9	セットアップレベルを調整する。	
		SHP（シャープネス）	－9～9	シャープネスを調整する。	
		HDF（H DTL FREQ）	HIGH	水平ディテール周波数を設定する。	
			MIDDLE		
			LOW		
		DHV（DTL HV BAL）	－9～9	ディテール周波数の水平と垂直を調整する。－9では水平だけ、＋9では垂直だけになる。	
		COR（コアリング）	－9～9	コアリングを調整する。	
		NR1	**OFF**	ノイズリダクション1を設定する。	
			HIGH		
			MIDDLE		
			LOW		
		NR2	**OFF**	全体にスキンディテールをかけたように設定する。	
			HIGH		
			MIDDLE		
			LOW		
		CMX（カラーマトリクス）	**NORMAL**	カラーマトリクスを設定する。	
			CINE1		
			CINE2		
		CGN（カラーゲイン）	－50～50	カラーゲインを調整する。	
		CPH（色相）	－9～9	色相を調整する。	
		RGN（Rゲイン）	－50～50	Rゲインを調整する。	
		GGN（Gゲイン）	－50～50	Gゲインを調整する。	
		BGN（Bゲイン）	－50～50	Bゲインを調整する。	
		RGM（RGマトリクス）	－50～50	R-Gマトリクスを調整する。	
		RBM（RBマトリクス）	－50～50	R-Bマトリクスを調整する。	
		GRM（GRマトリクス）	－50～50	G-Rマトリクスを調整する。	
		GBM（GBマトリクス）	－50～50	G-Bマトリクスを調整する。	
		BRM（BRマトリクス）	－50～50	B-Rマトリクスを調整する。	
		BGM（BGマトリクス）	－50～50	B-Gマトリクスを調整する。	
		SELECT CP	コピーするカスタムプリセットを選択する。		111～114
		SAVE POSITION	保存するカスタムプリセットを選択する。		
		EXECUTE	実行する。		
		RETURN	カスタムプリセットメイン画面に戻る。		
		IMPORT	コピーするカスタムプリセットを選択する。		
		SELECT POSITION	保存するカスタムプリセットを選択する。		
		EXECUTE	実行する。		
		RETURN	カスタムプリセットメイン画面に戻る。		

メニュー一覧…つづき

カメラメニュー

サブメニュー項目	設定内容	意味	📖
カスタムファンクション	00 SHCKLSS WB/GN (ショックレスホワイトバランス/ゲイン)	WHITE BALANCE：**OFF**、ON GAIN：**OFF**、ON	123
	01 ZOOM RING CTRL (ズームリングレスポンス)	**NORMAL**、FAST、SLOW	
	02 ZOOM SPEED (ズームスピード)	**NORMAL**、FAST、SLOW	
	03 FOCUS RING CTRL (フォーカスリング レスポンス)	**NORMAL**、FAST、SLOW	
	04 BUTTONS OPER.1 (ボタン操作1)	MAGN.(拡大フォーカス)：**ONE PUSH**、LONG PUSH WB SET（ホワイトバランス）：**ONE PUSH**、LONG PUSH	
	05 BUTTONS OPER.2 (ボタン操作2)	REC REVIEW（レックレビュー）：**ONE PUSH**、LONG PUSH BARS/FADE（カラーバー/フェード）：**ONE PUSH**、LONG PUSH END SEARCH（エンドサーチ）：**ONE PUSH**、LONG PUSH GAIN SET（ゲイン設定）：**ONE PUSH**、LONG PUSH	
	06 RINGS DIRECTION (リング操作方向)	ZOOM（ズームリング）：**NORMAL**（上方向：W）、REVERSE（下方向：W） FOCUS（フォーカスリング）：**NORMAL**（上方向：近）、REVERSE（下方向：近） IRIS（絞りリング）：**NORMAL**（上方向：閉）、REVERSE（下方向：閉）	
	07 OPER. DIRECTION (操作方向)	CURSOR（SELECTダイヤル）：**NORMAL**（上方向：左移動）、REVERSE（下方向：左移動） SHUTTER（シャッターボタン）：**NORMAL**（上方向：高速）、REVERSE（下方向：高速）	
	08 IRIS. LIMIT (絞りリミット)	**OFF**、ON	
	09 PHOTO BUTTON	**PHOTO+CPDATA**、PHOTO、MAGNIFYING、OFF	124
	10 MARKER LEVEL (マーカー輝度)	MARKER(水平/センター/グリッドマーカー)：**100%**、40% ASPECT（アスペクトマーカー）：**100%**、40% SAFETY（セーフティゾーンマーカー）：**100%**、40%	
	11 F.AST BW-MOD (フォーカスアシスト白黒連動モード)	MAGN.（拡大フォーカス連動）：**OFF**、ON PEAKING（ピーキング連動）：**OFF**、ON	
	12 OBJ DST UNIT (被写体距離単位)	**m（meter）**、ft（feet）	
	13 ZOOM INDICATOR (ズーム表示)	**BAR（ズームバー）**、NUMBER（数値）	
	14 COLOR BARS (カラーバー)	**TYPE1（SMPTE準拠）**、TYPE2（ARIB準拠）	
	15 1kHz TONE（テストトーン）	**OFF**、-12dB、-18dB、-20dB	
	16 WIRELESS REMOTE (リモコンコード)	**1**、2、OFF	
	17 LANC AE SHIFT (LANC AEシフト)	**AE SHIFT**、IRIS	
	18 TALLY LAMP(タリーランプ)	**ON**、BLINK（点滅）、OFF	
	19 LED	**TYPE1**、TYPE2、OFF	125
	20 CUSTOM REC (カスタム記録)	CHARACTER REC（表示文字記録）：**OFF**、ON MAGNIFYING REC（拡大フォーカス動画記録）：**OFF**、ON	

カメラメニュー

サブメニュー項目	設定内容	意味	📖
カスタムディスプレイ	00 REC PROGRAMS （撮影モード）	OFF、**ON**	127
	01 CAMERA DATA1 （カメラデータ1）	F NUMBER（F値）：ON、**OFF** SHUTTER SPEED（シャッタースピード）：OFF、**ON**	
	02 CAMERA DATA 2 （カメラデータ2）	EXPOSURE（露出）：OFF、**ON** WHITE BALANCE（ホワイトバランス）：OFF、**ON** GAIN（ゲイン）：OFF、**ON**	
	03 ZOOM（ズーム）	ズーム位置、ズームスピード OFF、**ON（NORMAL）**（操作時のみ表示）、 ON（ALWAYS）（常時表示）	
	04 FOCUS（フォーカス）	OFF、**ON（NORMAL）**、ON（ALWAYS）	
	05 ND（NDフィルター）	OFF、**ON**	
	06 IMAGE EFFECTS （画質効果）	SKIN DETAIL（スキンディテール）：OFF、**ON** SELECTIVE NR（セレクティブNR）：OFF、**ON** COLOR CORRECTION（カラーコレクション）：OFF、**ON**	128
	07 F.ASSIST FUNC. （フォーカスアシスト）	PEAKING（ピーキング）：OFF、**ON** MAGN.（拡大フォーカス）：OFF、**ON**	
	08 CUSTOMIZE （カスタム機能）	CUSTOM PRESET（カスタムプリセット）：OFF、**ON** CUSTOM FUNCITON（カスタムファンクション）： OFF、**ON**	
	09 RECORDING STD （録画規格）	OFF、**ON**	
	10 DV REC MODE （録画モード）	**OFF**、ON	
	11 FRAME RATE （フレームレート）	OFF、**ON**	
	12 TAPE（動画記録）	TIME CODE（タイムコード）：OFF、**ON** OPERATION MODE（動作モード）：OFF、**ON** DV CONTROL（DVコントロール）：**OFF**、ON	
	13 TAPE REMAINDER （テープ残量）	OFF、NORMAL、**WARNING（警告時のみ表示）**	
	14 TAPE/CARD （動画/静止画共通）	EXT CONTROL（外部コントロール）：**OFF**、ON BARS/FADE（カラーバー/フェード）：OFF、**ON** IMG SIZE/QUALITY（静止画サイズ/画質）：**OFF**、ON	
	15 LIGHT METERING （測光方式）	SPOT AE POINT（スポット測光枠）：OFF、**ON** LIGHT METERING（測光方式）：OFF、**ON**	
	16 CARD（静止画記録）	DRIVE MODE：OFF、**ON** FLASH（フラッシュ）：OFF、**ON**	
	17 CARD REMAINDER （カード残量）	OFF、NORMAL、**WARNING（警告時のみ表示）**	
	18 AUDIO（オーディオ）	WIND SCREEN（ウインドカット）：**OFF**、ON AUDIO MODE（オーディオモード）：**OFF**、ON OUTPUT CH（出力CH）：**OFF**、ON	
	19 WARNING/STATUS （警告）	LENS（レンズ警告）：OFF、**ON** CONDENSATION：OFF、**ON** CHARACTER：OFF、**ON** SDI（SDI警告）＊＊：OFF、**ON**	129
	20 BATTERY（バッテリー）	OFF、NORMAL、**WARNING（警告時のみ表示）**	
	21 WIRELESS REMOTE （リモコン）	OFF、NORMAL、**WARNING（警告時のみ表示）**	

メニュー編

メニュー一覧…つづき

VCRメニュー

<table>
<tr><th>サブメニュー項目</th><th>設定内容</th><th colspan="2">意味</th><th>📖</th></tr>
<tr><td colspan="5">信号設定</td></tr>
<tr><td rowspan="9">タイムコード</td><td rowspan="2">フレーム設定</td><td>ドロップ</td><td>ドロップ方式でタイムコードを記録する。</td><td rowspan="7">54</td></tr>
<tr><td>ノンドロップ</td><td>ノンドロップ方式でタイムコードを記録する。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">カウントアップ方式</td><td>レックラン</td><td>本機のテープに記録している間だけ、タイムコードが歩進する。</td></tr>
<tr><td>レックランプリセット</td><td>スタート値設定画面へ。</td></tr>
<tr><td>フリーラン</td><td>本機の操作に関係なく、タイムコードが歩進する。
スタート値設定画面へ。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">スタート値設定</td><td>セット</td><td>タイムコードを設定する。
スタート値設定画面へ。</td></tr>
<tr><td>リセット</td><td>タイムコードを00:00:00:00にリセットする。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">HDV/DV入力</td><td>リジェネ</td><td>タイムコードを生成する。</td><td rowspan="2">104</td></tr>
<tr><td>コピー</td><td>タイムコードをコピーする。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">再生規格</td><td>オート</td><td colspan="2">テープ再生時は、自動でHDV/DV規格の信号を切り換えて再生する。HDV/DV端子に接続している場合は、自動でHDV/DV規格の信号を切り換えて、HDV/DV端子から入出力して、記録/再生します。</td><td rowspan="3">107､130</td></tr>
<tr><td>HDV</td><td colspan="2">テープ再生時は、HDV規格で記録された部分だけを再生する。HDV/DV端子に接続している場合は、HDV規格の信号だけを、HDV/DV端子から入出力して、記録/再生します。</td></tr>
<tr><td>DV</td><td colspan="2">テープ再生時は、DV規格で記録された部分だけを再生する。HDV/DV端子に接続している場合は、DV規格の信号だけを、HDV/DV端子から入出力して、記録/再生します。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">コンポーネント出力</td><td>480i</td><td colspan="2">480i対応のモニターTV（D1相当）に接続するときに選択する。</td><td rowspan="2">97</td></tr>
<tr><td>1080i/480i</td><td colspan="2">1080i対応のモニターTV（D3相当）に接続するときに選択する。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">SDI出力＊＊</td><td>入（OSD）</td><td colspan="2" rowspan="3">HD/SD SDI端子の出力を入/切する。
「入」にすると映像に音声とタイムコードが重畳され、「入（OSD）」にすると画面表示も重畳される。</td><td rowspan="3">64､97</td></tr>
<tr><td>入</td></tr>
<tr><td>切</td></tr>
<tr><td rowspan="2">SDI出力映像＊＊</td><td>オート</td><td colspan="2" rowspan="2">HD/SD SDI端子の出力を選択する。
オートでは信号に合わせて自動切り換えになります。</td><td rowspan="2">97</td></tr>
<tr><td>SD固定</td></tr>
<tr><td rowspan="2">AV→DV</td><td>入</td><td colspan="2" rowspan="2">アナログ入力した映像/音声信号をデジタル変換し、HDV/DV端子から出力することを入/切する。</td><td rowspan="2">106</td></tr>
<tr><td>切</td></tr>
<tr><td rowspan="2">DV変換</td><td>入</td><td colspan="2" rowspan="2">HDV記録したテープを再生するときに、HDV/DV端子から出力する信号をDV規格に変換することを入/切する。
<table>
<tr><td rowspan="2">「DV変換」</td><td rowspan="2">再生信号</td><td colspan="3">「再生規格選択」</td></tr>
<tr><td>オート</td><td>HDV</td><td>DV</td></tr>
<tr><td rowspan="2">入</td><td>HDV</td><td>DV</td><td>DV</td><td>出力せず</td></tr>
<tr><td>DV</td><td>DV</td><td>出力せず</td><td>DV</td></tr>
<tr><td rowspan="2">切</td><td>HDV</td><td>HDV</td><td>HDV</td><td>出力せず</td></tr>
<tr><td>DV</td><td>DV</td><td>出力せず</td><td>DV</td></tr>
</table>
・DV変換の出力映像は、元のフレームレートに関係なく、すべて60iになります。
・他機によってオーディオが4チャンネルで記録されているときは、チャンネル1、2のみ出力されます。</td><td rowspan="2">98､107</td></tr>
<tr><td>切</td></tr>
<tr><td rowspan="2">レターボックス出力</td><td>入</td><td colspan="2" rowspan="2">レターボックス信号の出力を入/切する。</td><td rowspan="2">99</td></tr>
<tr><td>切</td></tr>
</table>

VCRメニュー

サブメニュー項目	設定内容	意味	📖
記録設定			
DV録画モード＊	**SP**	SP（標準）モードで録画する。	–
	LP	LP（標準の1.5倍の録画時間）モードで録画する。 LPモードについて： ・LPモードでの録画／再生は、テープの特性や使用環境に影響されやすく、再生時、画面にモザイク状のノイズが発生したり、音声が途切れたりする場合があります。大切な撮影にはSPモードをお使いください。 ・本機でLPモードで録画したテープを他のデジタルビデオ機器で再生したり、ほかのデジタルビデオ機器でLPモードで録画したテープを本機で再生すると、画像が乱れたり、音声が途切れたりすることがあります。 ・テープの途中でSPとLPを切り換えて録画すると、切り換え部分で再生画像が乱れます。また、タイムコードが正しく更新されないことがあります。	
UB選択	**00 00 00 00**	UB（ユーザービット）のセット/リセット選択画面 ➤ セットを選ぶと、ユーザービット設定画面へ。	58
	時刻	ユーザービットに時刻を適用する。	
	日付	ユーザービットに日付を適用する。	
静止画像画質	スーパーファイン	カードに記録する静止画の画質を設定する。	137
	ファイン		
	ノーマル		
HD時静止画サイズ	**LW 1920×1080**	HD記録時の16：9静止画をサイズを設定する。	137
	SW 848×480		
画像番号	オートリセット	カードを入れ替えると番号はリセットされる。	138
	通し番号	画像番号は、最後の番号の続きになる。	
オーディオ設定			
音声モニター	**CH1/2**	CH1/2の音声を出力する。	102
	CH3/4	CH3/4の音声を出力する。	
	ミックス/1：1	CH1/2とCH3/4の音声ミックスを出力する。	
	ミックス/バリアブル	CH1/2とCH3/4の音声ミックス（可変）を出力する。	
ミックスバランス	1/2 ―――■――― 3/4	音声モニターを「ミックス/バリアブル」にした時の出力バランスを調整する。	
DVオーディオモード＊	**16bit**	音声を48kHz、16bit　2チャンネルで記録する。	59
	12bit	音声を32kHz、12bit　2チャンネルで記録する（3、4チャンネルは記録しない）。	
OUTPUTレベル	**1Vrms**	音声出力レベル切り換え。	101
	2Vrms		
表示設定			
EVF調整	EVFシロクロモード：入 / **切**	EVFを白黒にする/しないを切り換える。	24
	明るさ	ファインダーの明るさを調整する。 ・画面の明るさ調整は再生または撮影している画像の明るさとは関係ありません。	
	コントラスト	ファインダーのコントラストを調整する。 ・画面のコントラスト調整は再生または撮影している画像のコントラストとは関係ありません。	
	カラー	ファインダーの色の濃さを調整する。 ・画面の色の濃さ調整は再生または撮影している画像の色の濃さとは関係ありません。	
	シャープネス	ファインダーのシャープネスを調整する。 ・画面のシャープネス調整は再生または撮影している画像のシャープネスとは関係ありません。	

メニュー一覧…つづき

VCRメニュー

サブメニュー項目	設定内容	意味	📖
オンスクリーン	入	接続したモニターTVでの画面情報表示を入/切する。	92
	切		
レベルメーター	**入**	画面のオーディオレベル表示を入/切する。	62
	切		
言語		画面に表示する言語を選ぶ。 ドイツ語、英語、スペイン語、フランス語、イタリア語、ポーランド語、ロシア語、簡体中国語、**日本語** ・画面下のSETとMENUは切り換わらない。	34
カスタムキー	入	設定したカスタムキーの表示を入/切する。	–
	切		
データコード	日付	日付のみ表示する。	135
	時刻	時刻のみ表示する。	
	日付＆時刻	日付と時刻を表示する。	
	カメラデータ	カメラデータを表示する。	
	日時＆カメラデータ	日時とカメラデータを表示する。	
日付オート表示	入	再生を始めたとき、または再生中に日付/エリアが変わったときに約6秒間日付を表示する。 ・「再生時文字表示」が「切」になっていても表示する。	–
	切	日付の自動表示をしない。	
UB表示	入	ユーザービットの画面表示を入/切する。	58
	切		
システム設定			
カスタムキー1	タイムコード	カスタムキー1で使用する機能を選択する。 カスタムキー1を使用しないときは「未設定」を選択する。	90
	オンスクリーン		
	データコード		
	レベルメーター		
	TC HOLD		
	EVFシロクロモード		
	SDI出力＊＊		
	（未設定）		
カスタムキー2	タイムコード	カスタムキー2で使用する機能を選択する。 カスタムキー2を使用しないときは「未設定」を選択する。	90
	オンスクリーン		
	データコード		
	レベルメーター		
	TC HOLD		
	EVFシロクロモード		
	SDI出力＊＊		
	（未設定）		
日時設定	エリア/サマータイム	世界時計のエリアを設定する。	36
	日付/時刻	日時を設定する。	
	日時スタイル	日時の表示のしかたを選択する。 **Y.M.D. : 2008.1.1 AM12:00** M.D,Y : JAN. 1, 2008 12:00AM D.M.Y : 1. JAN. 2008 12:00AM	
設定初期化	**いいえ**	すべての設定を工場出荷時に戻す。	–
	はい		
カスタムファンクション			
	詳細はカメラメニューのカスタムファンクションを参照してください（📖 162）。		

カードカメラメニュー

サブメニュー項目	設定内容		意味	📖
信号設定				
GENLOCK調整＊＊	−1023〜1023		GENLOCKを位相差0を中心として約±0.4H（−1023〜＋1023）の範囲で調整する。	56
コンポーネント出力	480i		480i対応のモニターTV（D1相当）に接続するときに選択する。	97
	1080i/480i		1080i対応のモニターTV（D3相当）に接続するときに選択する。	
SDI出力＊＊	入（OSD）		HD/SD SDI端子の出力を入/切する。 「入（OSD)」にすると画面表示も出力される。	97
	入			
	切			
SDI出力映像＊＊	**オート**		HD/SD SDI端子の出力を選択する。	97
	SD固定			
カメラ設定				
AGC LIMIT	**切（18db)** 15dB 12dB 9dB 6dB 3dB		ゲインがオートのとき、ゲインリミッターを設定してゲインの最大値を制限できる。	79
スキンディテール	エフェクトレベル	**切** ロー ミドル ハイ	スキンディテールの補正度合いを設定する。	87
	色相 クロマ エリア Yレベル		色相を調整する。 クロマを調整する。 エリアを調整する。 Yレベルを調整する。	
SELECTIVE NR	エフェクトレベル	**切** ロー S-NR ミドル S-NR ハイ S-NR	SELECTIVE NRの補正度合いを設定する。	88
	色相 クロマ エリア Yレベル		色相を調整する。 クロマを調整する。 エリアを調整する。 Yレベルを調整する。	
カラーコレクション	色補正実行	**切** A B A&B	カラーコレクション機能を使わない。 Aエリアにカラーコレクションをかける。 Bエリアにカラーコレクションをかける。 AとBの両方のエリアにカラーコレクションをかける。	85
	Aエリア選択	色相 クロマ エリア Yレベル	Aエリアの色相を調整する。 Aエリアのクロマを調整する。 Aエリアのエリアを調整する。 AエリアのYレベルを調整する。	
	Aエリア補正	Rゲイン Bゲイン	AエリアのRゲインを調整する。 AエリアのBゲインを調整する。	
	Bエリア選択	色相 クロマ エリア Yレベル	Bエリアの色相を調整する。 Bエリアのクロマを調整する。 Bエリアのエリアを調整する。 BエリアのYレベルを調整する。	
	Bエリア補正	Rゲイン Bゲイン	BエリアのRゲインを調整する。 BエリアのBゲインを調整する。	
フォーカスP.スピード	**4**		レンズのフォーカスプリセットのスピードを4（高速）〜1（低速）の4段階から選択する。	50
	3			
	2			
	1			

メニュー一覧…つづき

カードカメラメニュー

サブメニュー項目	設定内容	意味	📖
FB	⇒AF調整	AFによるフランジバック調整。	28
	⇒MF調整	MFによるフランジバック調整。	
	調整値初期化	調整値の初期化。	
フォーカス優先	**入**	PHOTOボタンを押したときに、ピントが合ってから静止画記録になる。	140
	切	PHOTOボタンを押してすぐ静止画記録する。	
静止画確認時間	切	カードに静止画を記録した直後に、画像を確認する時間を設定する。 ・ドライブモードで単写以外を選んでいると設定できない。	142
	2秒		
	4秒		
	6秒		
	8秒		
	10秒		
FOCUS LIMIT	入	マクロ領域のフォーカス制限を入／切します。	50
	切		
記録設定			
静止画像画質	スーパーファイン	カードに記録する静止画の画質を設定する。	137
	ファイン		
	ノーマル		
静止画像サイズ	**LW1920×1080**	カードに記録する静止画のサイズを設定する。	137
	SW 848×480		
	L 1440×1080		
	S 640×480		
画像番号	オートリセット	カードを入れ替えると番号はリセットされる。	138
	通し番号	画像番号は、最後の番号の続きになる。	
オーディオ設定			
ウインドカット	入	付属のマイク用ウインドカットを入／切する。	59
	切		
マイク感度	**ノーマル**	マイクの感度を選択する。	59、62
	高感度		
XLR 1 TRIM	+12dB	XLR 1のゲイン調整。	61
	+6dB		
	0dB		
	-6dB		
	-12dB		
XLR 2 TRIM	+12dB	XLR 2のゲイン調整。	61
	+6dB		
	0dB		
	-6dB		
	-12dB		
OUTPUTレベル	**1Vrms**	音声出力レベル切り換え。	101
	2Vrms		
XLR ALC LINK	LINK	CH1/CH2のレベル調整の連動／独立を切り換える。	63
	SEP		
オーディオリミッター	入	大入力の音声による歪防止を入／切する。	63
	切		

カードカメラメニュー

サブメニュー項目	設定内容		意味	📖
表示設定				
EVF調整	EVFシロクロモード	入	EVFを白黒にする/しないを切り換える。	24
		切		
	明るさ	ファインダーの明るさを調整する。 ・画面の明るさ調整は再生または撮影している画像の明るさとは関係ありません。		
	コントラスト	ファインダーのコントラストを調整する。 ・画面のコントラスト調整は再生または撮影している画像のコントラストとは関係ありません。		
	カラー	ファインダーの色の濃さを調整する。 ・画面の色の濃さ調整は再生または撮影している画像の色の濃さとは関係ありません。		
	シャープネス	ファインダーのシャープネスを調整する。 ・画面のシャープネス調整は再生または撮影している画像のシャープネスとは関係ありません。		
ピーキング調整	ピーキング1	ゲイン（切、1～15）	ピーキング1/2のゲインと周波数設定。	48
		周波数（1～4）		
	ピーキング2	ゲイン（切、1～15）		
		周波数（1～4）		
言語		画面に表示する言語を選ぶ。 ドイツ語、英語、スペイン語、フランス語、イタリア語、ポーランド語、ロシア語、簡体中国語、**日本語** ・画面下の SET と MENU は切り換わらない。		34
マーカー	**切**	水平/センターマーカー/グリッドを表示しない。		40
	水平マーカー	水平マーカーを表示する。		
	センターマーカー	センターマーカーを表示する。		
	グリッドマーカー	グリッドマーカーを表示する。		
ゼブラパターン	入	ゼブラパターン表示を入/切する。		84
	切			
ゼブラパターンレベル	70	ゼブラパターンの表示レベルを選択する。		84
	75			
	80			
	85			
	90			
	95			
	100			
オンスクリーン	**入**	接続したモニターTVでの画面情報表示を入/切する。		92
	切			
ガイド	**切**	ガイド情報を画面に表示しない。		–
	カスタムキー	カスタムキーの設定情報を画面に表示する。		
	日時表示	日時を画面に表示する。		
システム設定				
カスタムキー1	**ゼブラパターン**	カスタムキー1で使用する機能を選択する。 カスタムキー1を使用しないときは「未設定」を選択する。		90
	オンスクリーン			
	EVFシロクロモード			
	MAGN.ボタンロック			
	SHTR ボタンロック			
	AE D.ロック			
	E.LCK B.ロック			
	FB			
	EVF反転モード			
	SDI出力＊＊			
	FOCUS LIMIT			
	（未設定）			

メニュー編

メニュー一覧…つづき

カードカメラメニュー

サブメニュー項目	設定内容	意味		
システム設定				
カスタムキー2	ゼブラパターン	カスタムキー2で使用する機能を選択する。 カスタムキー2を使用しないときは「未設定」を選択する。		90
	オンスクリーン			
	EVFシロクロモード			
	MAGN.ボタンロック			
	SHTR ボタンロック			
	AE D.ロック			
	E.LCK B.ロック			
	CPマイナスキー			
	FB			
	EVF反転モード			
	SDI出力＊＊			
	FOCUS LIMIT			
	(未設定)			
パワーセーブ	**入**	「入」の場合、バッテリーパック使用時に本機を5分間操作しないと電源が切れる。		39
	切			
日時設定 ⊙	エリア/サマータイム	世界時計のエリアを設定する。		36
	日付/時刻	日時を設定する。		
	日時スタイル	日時の表示のしかたを選択する。 **Y.M.D. : 2008.1.1 AM12:00** M.D,Y : JAN. 1, 2008 12:00AM D.M.Y : 1. JAN. 2008 12:00AM		
MAGN.ボタンロック	**無効**	EVF MAGNIFYINGボタンのロックの有効/無効を切り換える。		48、92
	有効			
SHTR ボタンロック	**無効**	SHUTTERボタンのロックの有効/無効を切り換える。		71、92
	有効			
AE D.ロック	**無効**	AEシフトダイヤルの有効／無効を切り換える。		77、92
	有効			
E.LCK B.ロック	**無効**	EXP.LOCK/PUSH AEボタンのロックの有効/無効を切り換える。		71、76、92
	有効			
ALL DISPLAY	**有**	すべての画面表示をする／しないを切り換える。		39
	無			
設定初期化	**いいえ**	すべての設定を工場出荷時に戻す。		–
	はい			
カスタマイズ				
カスタムプリセット EDIT	SELECT CP	1 PRESET_A	設定するプリセットを選択する。	108～110
		2 PRESET_B		
		3 PRESET_C		
		4 PRESET_D		
		5 PRESET_E		
		6 PRESET_F		
		7 VIDEO.C	民生用の薄型テレビ再生用	
		8 CINE.V	フィルムトーン映像再生	
		9 CINE.F	キネコを目的とした録画	
	TUNE	選択したカスタムプリセットの設定を編集する。		
	RENAME	選択したカスタムプリセットの名前を変える。		
	PROTECT	選択したカスタムプリセットの設定をプロテクトする。		
	RESET	選択したカスタムプリセットの設定と名前を初期値に戻す。		
	RETURN	カスタムプリセットメイン画面に戻る。		
	KNE（ニー）	AUTO	ニーを設定する。	115
		HIGH		
		MIDDLE		
		LOW		

カードカメラメニュー

サブメニュー項目		設定内容	意味		
カスタムプリセット	EDIT	BLK（ブラック）	STRETCH	ブラックを設定する。	115～117
			MIDDLE		
			PRESS		
		SHP（シャープネス）	−9～9	シャープネスを調整する。	
		HDF（H DTL FREQ）	HIGH	水平ディテール周波数を設定する。	
			MIDDLE		
			LOW		
		DHV（DTL HV BAL）	−9～9	ディテール周波数の水平と垂直を調整する。−9では水平だけ、+9では垂直だけになる。	
		COR（コアリング）	−9～9	コアリングを調整する。	
		CGN（カラーゲイン）	−50～50	カラーゲインを調整する。	
		CPH（色相）	−9～9	色相を調整する。	
		RGN（Rゲイン）	−50～50	Rゲインを調整する。	
		GGN（Gゲイン）	−50～50	Gゲインを調整する。	
		BGN（Bゲイン）	−50～50	Bゲインを調整する。	
		RGM（RGマトリクス）	−50～50	R-Gマトリクスを調整する。	
		RBM（RBマトリクス）	−50～50	R-Bマトリクスを調整する。	
		GRM（GRマトリクス）	−50～50	G-Rマトリクスを調整する。	
		GBM（GBマトリクス）	−50～50	G-Bマトリクスを調整する。	
		BRM（BRマトリクス）	−50～50	B-Rマトリクスを調整する。	
		BGM（BGマトリクス）	−50～50	B-Gマトリクスを調整する。	
		SELECT CP	コピーするカスタムプリセットを選択する。		111～114
		SAVE POSITION	保存するカスタムプリセットを選択する。		
		EXECUTE	実行する。		
		RETURN	カスタムプリセットメイン画面に戻る。		
		IMPORT	コピーするカスタムプリセットを選択する。		
		SELECT POSITION	保存するカスタムプリセットを選択する。		
		EXECUTE	実行する。		
		RETURN	カスタムプリセットメイン画面に戻る。		
カスタムファンクション		詳細はカメラメニューのカスタムファンクションを参照してください（ 162）。			

メニュー編

次のページへ

メニュー一覧…つづき

カードカメラメニュー

サブメニュー項目	設定内容	意味	
カスタムディスプレイ	00 REC PROGRAMS （撮影モード）	OFF、**ON**	127
	01 CAMERA DATA1 （カメラデータ1）	F NUMBER（F値）：OFF、**ON** SHUTTER SPEED（シャッタースピード）：OFF、**ON**	
	02 CAMERA DATA 2 （カメラデータ2）	EXPOSURE（露出）：OFF、**ON** WHITE BALANCE（ホワイトバランス）：OFF、**ON** GAIN（ゲイン）：OFF、**ON**	
	03 ZOOM（ズーム）	ズーム位置、ズームスピード OFF、**ON（NORMAL）**（操作時のみ表示）、 ON（ALWAYS）（常時表示）	
	04 FOCUS（フォーカス）	OFF、**ON（NORMAL）**、ON（ALWAYS）	
	05 ND（NDフィルター）	OFF、**ON**	
	06 IMAGE EFFECTS （画質効果）	SKIN DETAIL（スキンディテール）：OFF、**ON** SELECTIVE NR（セレクティブNR）：OFF、**ON** COLOR CORRECTION（カラーコレクション）：OFF、**ON**	128
	07 F.ASSIST FUNC. （フォーカスアシスト）	PEAKING（ピーキング）：OFF、**ON** MAGN.（拡大フォーカス）：OFF、**ON**	
	08 CUSTOMIZE （カスタム機能）	CUSTOM PRESET（カスタムプリセット）：OFF、**ON** CUSTOM FUNCITON（カスタムファンクション）： OFF、**ON**	
	09 RECORDING STD （録画規格）	OFF、**ON**	
	10 DV REC MODE （録画モード）	**OFF**、ON	
	11 FRAME RATE （フレームレート）	OFF、**ON**	
	12 TAPE（動画記録）	TIME CODE（タイムコード）：OFF、**ON** OPERATION MODE（動作モード）：OFF、**ON** DV CONTROL（DVコントロール）：**OFF**、ON	
	13 TAPE REMAINDER （テープ残量）	OFF、NORMAL、**WARNING（警告時のみ表示）**	
	14 TAPE/CARD （動画/静止画共通）	EXT CONTROL（外部コントロール）：**OFF**、ON BARS/FADE（カラーバー/フェード）：OFF、**ON** IMG SIZE/QUALITY（静止画サイズ/画質）：**OFF**、ON	
	15 LIGHT METERING （測光方式）	SPOT AE POINT（スポット測光枠）：OFF、**ON** LIGHT METERING（測光方式）：OFF、**ON**	
	16 CARD（静止画記録）	DRIVE MODE：OFF、**ON** FLASH（フラッシュ）：OFF、**ON**	
	17 CARD REMAINDER （カード残量）	OFF、NORMAL、**WARNING（警告時のみ表示）**	
	18 AUDIO（オーディオ）	WIND SCREEN（ウインドカット）：**OFF**、ON AUDIO MODE（オーディオモード）：**OFF**、ON OUTPUT CH（出力CH）：**OFF**、ON	
	19 WARNING/STATUS （警告）	LENS（レンズ警告）：OFF、**ON** CONDENSATION：OFF、**ON** CHARACTER：OFF、**ON** SDI（SDI警告）＊＊：OFF、**ON**	129
	20 BATTERY（バッテリー）	OFF、NORMAL、**WARNING（警告時のみ表示）**	
	21 WIRELESS REMOTE （リモコン）	OFF、NORMAL、**WARNING（警告時のみ表示）**	

カード再生メニュー

サブメニュー項目	設定内容	意味	
信号設定			
コンポーネント出力	480i	480i対応のモニターTV（D1相当）に接続するときに選択する。	97
	1080i/480i	1080i対応のモニターTV（D3相当）に接続するときに選択する。	
SDI出力＊＊	入（OSD）	HD/SD SDI端子の出力を入/切する。 「入（OSD)」にすると画面表示も出力される。	97
	入		
	切		
SDI出力映像＊＊	**オート**	HD/SD SDI端子の出力を選択する。 オートでは信号に合わせて自動切り換えになります。	97
	SD固定		
カード実行			
印刷指定全消去	**いいえ**	すべてのプリント指定を消去するかどうかを選択する。	154
	はい		
画像全消去	**いいえ**	プロテクトした以外のすべての静止画をすべて消去するかどうかを選択する。	150
	はい		
初期化	**キャンセル**	カードの初期化を中止する。	152
	初期化	カードを初期化する。	
	完全初期化	データ自体を完全に抹消して初期化する。	
カード再生中にSETボタンを押したとき			
画像消去[*1]	**キャンセル**	再生中の静止画を消去するかどうかを選択する。	150
	消去		
画像プロテクト[*1]	切	再生中の静止画をプロテクトするかどうかを選択する。	151
	入		
印刷指定		再生中の静止画に印刷指定する。	153
スライドショー	キャンセル	スライドショーを行うかどうかを選択する。	148
	スタート		
インデックス画面表示中にメニューから操作したとき			
➡ 画像プロテクト	切	選択中の静止画をプロテクトするかどうかを選択する。	151
	入		
➡ 印刷指定		選択中の静止画に印刷指定する。	153
表示設定			
EVF調整	EVFシロクロモード	入 / **切**：EVFを白黒にする/しないを切り換える。	24
	明るさ	ファインダーの明るさを調整する。 ・画面の明るさ調整は再生または撮影している画像の明るさとは関係ありません。	
	コントラスト	ファインダーのコントラストを調整する。 ・画面のコントラスト調整は再生または撮影している画像のコントラストとは関係ありません。	
	カラー	ファインダーの色の濃さを調整する。 ・画面の色の濃さ調整は再生または撮影している画像の色の濃さとは関係ありません。	
	シャープネス	ファインダーのシャープネスを調整する。 ・画面のシャープネス調整は再生または撮影している画像のシャープネスとは関係ありません。	
オンスクリーン	入	接続したモニターTVでの画面情報表示を入/切する。	92
	切		
カスタムキー	入	設定したカスタムキーの表示を入/切する。	–
	切		
言語		画面に表示する言語を選ぶ。 ドイツ語、英語、スペイン語、フランス語、イタリア語、ポーランド語、ロシア語、簡体中国語、**日本語** ・画面下の SET と MENU は切り換わらない。	34

[*1] 撮影直後の静止画確認時間内にSETボタンを押したときも出ます。

メニュー編

メニュー一覧…つづき

カード再生メニュー

サブメニュー項目	設定内容	意味	
システム設定			
カスタムキー1	**オンスクリーン**	カスタムキー1で使用する機能を選択する。 カスタムキー1を使用しないときは「未設定」を選択する。	90
	EVFシロクロモード		
	SDI出力＊＊		
	(未設定)		
カスタムキー2	オンスクリーン	カスタムキー2で使用する機能を選択する。 カスタムキー2を使用しないときは「未設定」を選択する。	90
	EVFシロクロモード		
	SDI出力＊＊		
	(未設定)		
日時設定	エリア/サマータイム	世界時計のエリアを設定する。	36
	日付/時刻	日時を設定する。	
	日時スタイル	日時の表示のしかたを選択する。 **Y.M.D. : 2008.1.1 AM12:00** M.D,Y : JAN. 1, 2008 12:00AM D.M.Y : 1. JAN. 2008 12:00AM	
設定初期化	**いいえ**	すべての設定を工場出荷時に戻す。	–
	はい		
CAM.F.VER.	本機のファームウェアのバージョン表記。		–
LENS F.VER.	装着されているレンズのファームウェアのバージョン表記。		–
カスタマイズ			
静止画記録CP	EDIT		–
	CAM→CARD		
	CARD→CAM		
カスタムファンクション	詳細はカメラメニューのカスタムファンクションを参照してください（ 162）。		

メインダイヤルを切り換えたり、STANDBYボタンを入／切しても保持している設定項目

メインダイヤルを切り換えたり、STANDBYボタンを入／切しても次の機能の設定は保持されます（内蔵リチウム電池が充電されていないと保持されません）。

● **カメラモード/カードカメラモード**

<table>
<tr><th></th><th>メインダイヤルで
電源を切る</th><th>STANDBYボタンを
入／切する</th><th>HD/SDを切り換える*</th></tr>
<tr><td>Tvモードで設定したシャッタースピード</td><td colspan="3">○</td></tr>
<tr><td>Avモードで設定した絞り値</td><td colspan="3">○</td></tr>
<tr><td>マニュアルモードで設定した
シャッタースピード、絞り値</td><td colspan="3">○</td></tr>
<tr><td>ホワイトバランスセット</td><td colspan="3">○</td></tr>
<tr><td>露出ロック</td><td>切になる</td><td colspan="2">○</td></tr>
<tr><td>露出ロックで設定した絞り値、
シャッタースピード</td><td>リセット</td><td colspan="2">○</td></tr>
<tr><td>カラーバーの設定*</td><td>リセット</td><td colspan="2">○</td></tr>
<tr><td>カラーバーの入／切*</td><td>リセット</td><td colspan="2">○</td></tr>
<tr><td>フェーダーの設定*</td><td>リセット</td><td colspan="2">○</td></tr>
<tr><td>フェーダーの入/切*</td><td colspan="2">リセット</td><td>○</td></tr>
<tr><td>カメラ（テープ／カード）
メニューの設定項目</td><td colspan="3">○</td></tr>
<tr><td>オンスクリーンの入／切</td><td colspan="3">○</td></tr>
<tr><td>画面表示の切り換え</td><td colspan="3">○</td></tr>
<tr><td>液晶表示パネル照明の入／切</td><td colspan="2">切になる</td><td>○</td></tr>
<tr><td>ゲインファインチューニング</td><td colspan="3">○</td></tr>
<tr><td>AGC LIMIT</td><td colspan="3">○</td></tr>
<tr><td>絞りリミット</td><td colspan="3">○</td></tr>
</table>

＊カメラモードのみ

次のページへ

メインダイヤルを切り換えたり、STANDBYボタンを入／切しても保持している設定項目…つづき

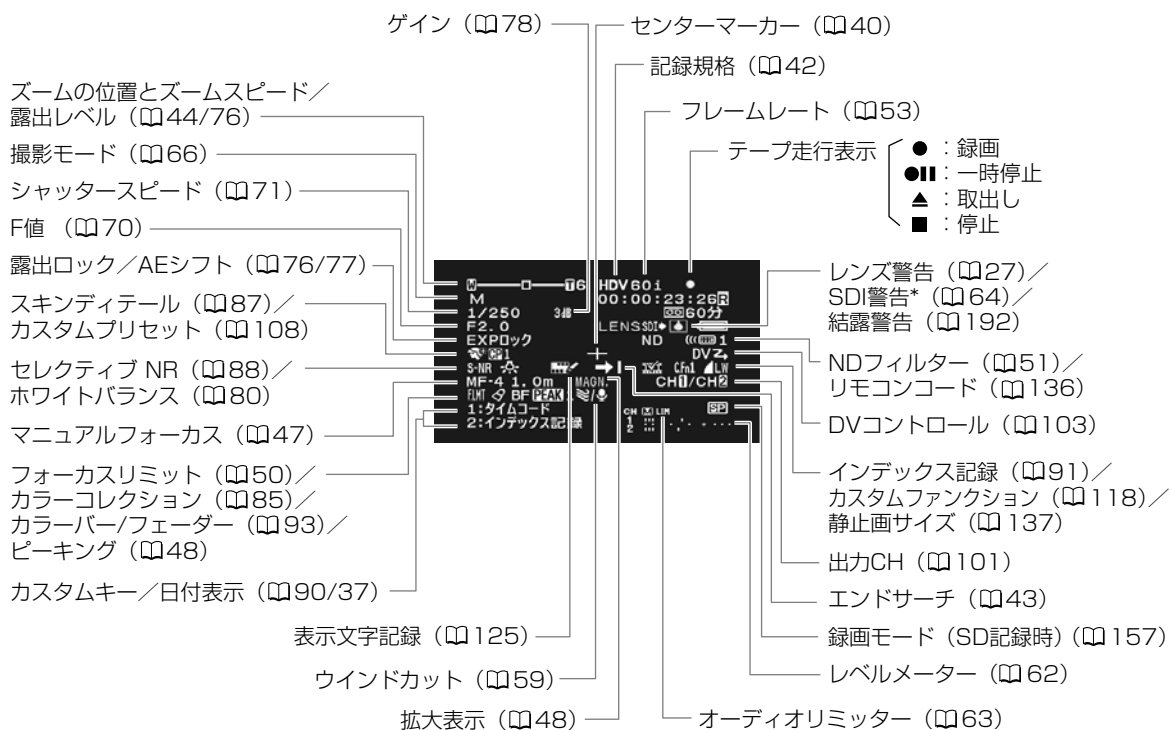
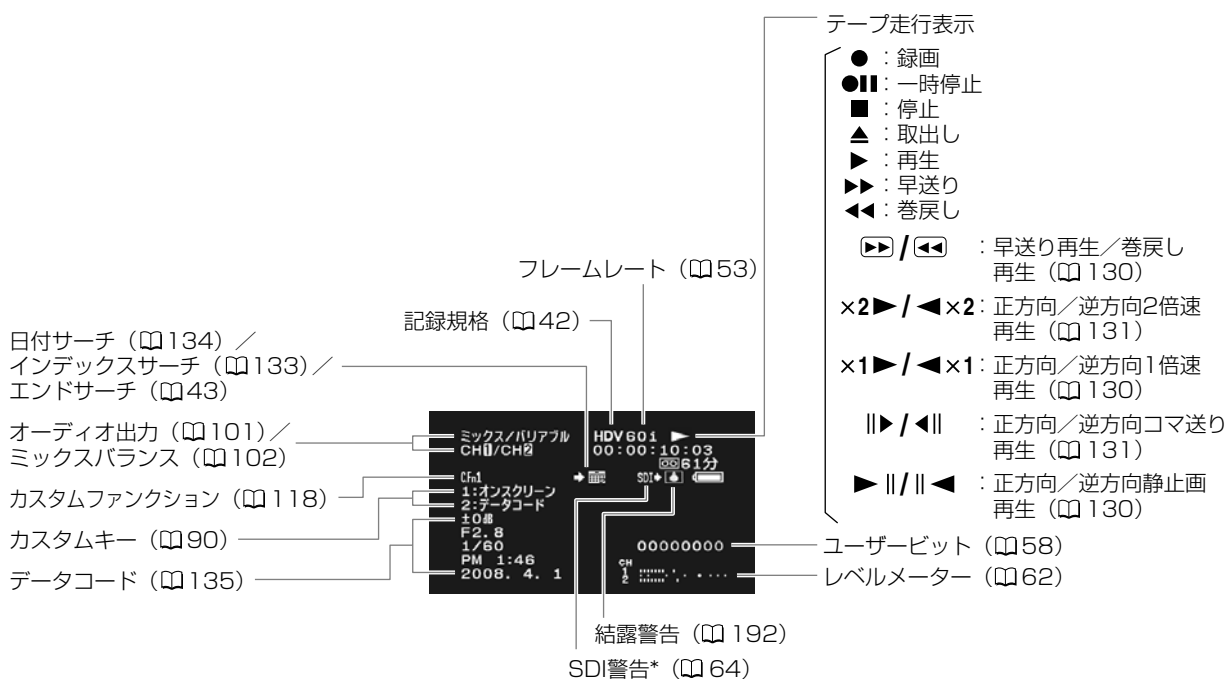
撮影モードやフレームレートを切り換えても次の機能の設定は保持されます（内蔵リチウム電池が充電されていないと保持されません）。

● カメラモード/カードカメラモード

<table>
<tr><th></th><th>□（全自動）モード以外の
撮影モードに切り換える</th><th>□（全自動）モードに
切り換える</th><th>フレームレートを
切り換える*</th></tr>
<tr><td>Tvモードで設定したシャッタースピード</td><td colspan="3">○</td></tr>
<tr><td>Avモードで設定した絞り値</td><td colspan="3">○</td></tr>
<tr><td>マニュアルモードで設定した絞り値、
シャッタースピード</td><td colspan="3">○</td></tr>
<tr><td>ホワイトバランスセット</td><td colspan="3">○</td></tr>
<tr><td>露出ロック</td><td colspan="3">切になる</td></tr>
<tr><td>露出ロックで設定した絞り値、
シャッタースピード</td><td colspan="3">リセット</td></tr>
<tr><td>カラーバーの設定*</td><td colspan="3">○</td></tr>
<tr><td>カラーバーの入／切*</td><td colspan="3">○</td></tr>
<tr><td>フェーダーの設定*</td><td>○</td><td>リセット</td><td>○</td></tr>
<tr><td>フェーダーの入/切*</td><td>○</td><td>リセット</td><td>○</td></tr>
<tr><td>カメラ（テープ／カード）
メニューの設定項目</td><td colspan="3">○</td></tr>
<tr><td>オンスクリーンの入／切</td><td colspan="3">○</td></tr>
<tr><td>画面表示の切り換え</td><td colspan="3">○</td></tr>
<tr><td>液晶表示パネル照明の入／切</td><td colspan="3">○</td></tr>
<tr><td>ゲインファインチューニング</td><td colspan="3">○</td></tr>
<tr><td>AGC LIMIT</td><td colspan="3">○</td></tr>
<tr><td>絞りリミット</td><td colspan="3">○</td></tr>
</table>

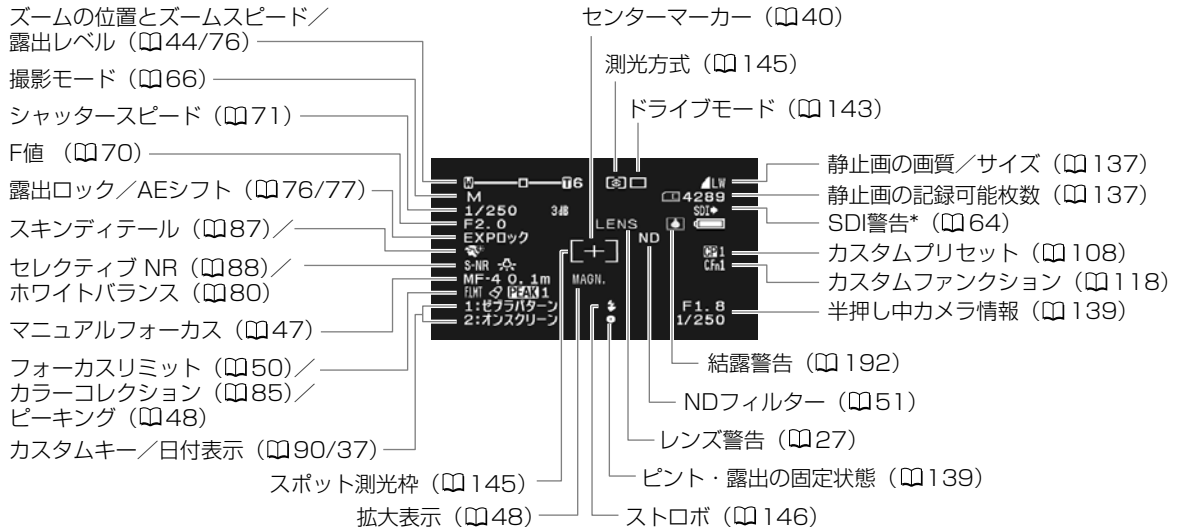
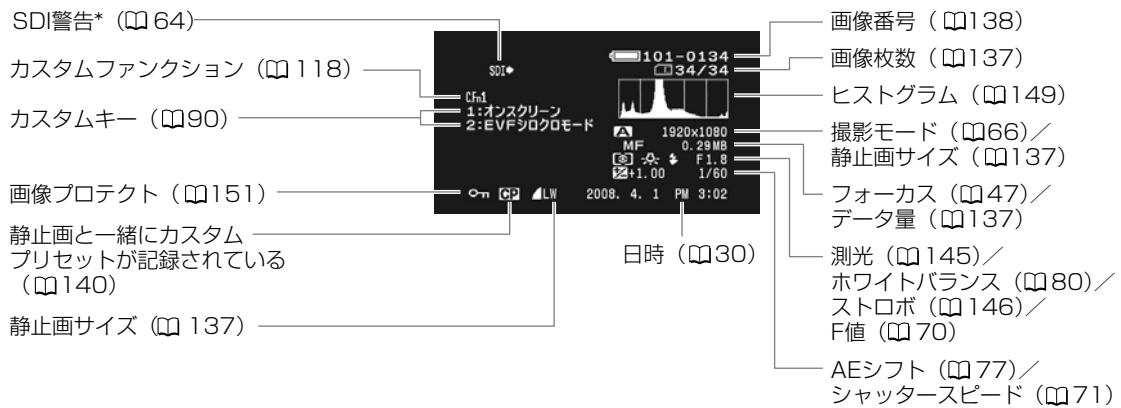
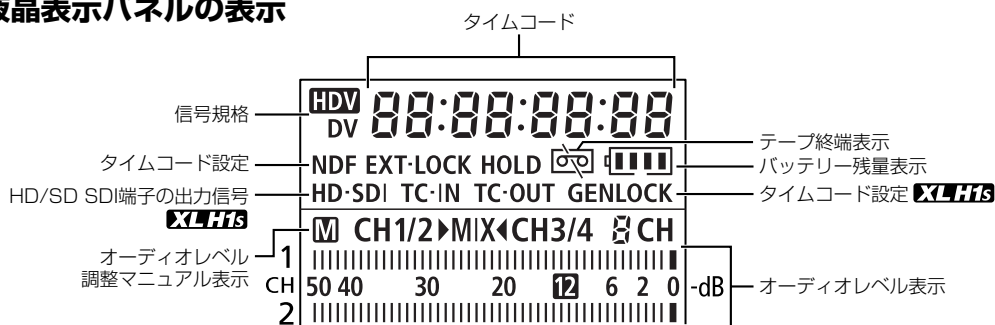
＊カメラモードのみ

画面表示について

カメラモード （38ページもご覧ください） ＊XL H1Sのみ

VCR/PLAYモード

その他

次のページへ

画面表示について…つづき

カードカメラモード （141ページもご覧ください）

カードVCR/PLAYモード

お知らせ表示（約4秒間表示されます）

エリア／日時を設定してください	世界時計のエリアまたは日時を設定していません。世界時計のエリアと日時を設定してください（□ 36)。
カードエラーです	カードにエラーがあり、記録、再生できません。一時的にカードエラーが起きる場合もあります。「カードエラーです」の表示が4秒後に消えて□が赤色で点滅するときは、電源を切り、カードを出し入れしてください。□が緑色点灯すれば、そのまま記録、再生できます。
カードがありません	カードがビデオカメラ本体に入っていません。（□ 33）
カードがいっぱいです	カードに空き容量がありません。別のカードと入れ換えるか、画像を消去してください。
カードカバーがあいています	メモリーカードカバーが開いています。カバーを閉じてください。
カードの誤消去防止ツマミを確認してください	SD/SDHCメモリーカードが記録（書き込み）ができない状態になっています。SD/SDHCメモリーカードの誤消去防止のツマミを記録できる状態に切り換えてください。
カセットの誤消去防止ツマミを確認してください	カセットが録画できない状態になっています。別のカセットと入れ換えるか、カセットの誤消去防止つまみをRECに切り換えてください（□ 32、184)。
カセットを取り出してください	テープ保護のため、本機が動作を中止しました。カセットを取り出して最初から操作をやり直してください（□ 32)。
画像がありません	カードに再生する画像がありません。（□ 139）
記録されている規格が異なります 再生できません	本機では再生できない規格で記録されたテープを再生しようとしたとき。
クリーニングカセットを使ってください [ヘッドよごれ]	録画を開始した直後、ビデオヘッドが汚れているときに表示されます。必ずビデオヘッドのクリーニングをしてください（□ 186)。
結露しています	ビデオカメラ内部に水滴がついています（□ 192)。
この画像は再生できません	再生できない画像タイプ、互換性のないJPEG画像、またはデータが破壊されている画像を再生しようとしました。
この入力信号には対応していません	本機で対応していない信号（720Pなど）が入力されています。
再生規格固定中です 再生できません	再生規格を固定しているときに、設定してる規格以外で記録されたテープを再生しているとき。
再生規格固定中です 入力できません	再生規格を固定しているときに、設定してる規格以外の信号が入力されたとき。
静止画対応のレンズではありません	静止画対応ではないレンズを取り付けると表示されます。
テープ終了です	テープが最後まで巻かれています。カセットを巻戻す、または取り出してください（□ 32、130)。
バッテリーパックを取り替えてください	バッテリーパックが消耗しています。十分に充電されたバッテリーと交換してください（□ 18)。
パワースタンバイします	STANDBYボタンを押している1秒間表示されます。（□ 39）
ファイル名が作成できません	フォルダー番号と画像番号が最大になりました。

次のページへ

レンズの接続を確認してください	レンズが正しく取り付けられていないときに表示されます。 レンズはカチッと音がするまで回して取り付けてください。（🕮 27）または、電源を切ってから、レンズを取り付け直し、もう一度電源を入れてください。
HDV対応のレンズではありません	ＨＤＶ対応ではないレンズを取り付けると表示されます。
HDV/DV入力を確認してください	ＤＶケーブルが HDV/ＤＶ端子にきちんと接続されていない、または接続されたデジタルビデオ機器の電源が切れています。 ケーブルと端子、電源を確認してください（🕮 107)。

著作権保護信号

コピー制限されています 再生できません	(本機が再生側の場合) 著作権保護信号が記録されているテープを再生した場合、青い画面上に表示されます。この表示が出るテープは再生できません。
コピー制限されています 記録できません	(本機が録画側の場合) 著作権保護信号が記録されているテープをダビング録画しようとした場合に、青い画面上に表示されます。この表示が出るテープは記録できません。また、アナログ入力時に、テレビやビデオから出力される信号が乱れている場合にも表示されることがあります（🕮 96、105)。 アナログ−デジタル変換時は、動作中、表示され続けます（🕮 106)。

取り扱い上のご注意

ビデオカメラについて

ファインダーやマイク、ケーブルをつかんで、本機を持ち上げない

高温、多湿の場所に放置しない
炎天下の密閉された車内など、高温や多湿の場所に製品を放置しないでください。

強い磁気の発生する場所で使わない
テレビの上、プラズマテレビ、携帯電話の近くやテレビ塔の近くなど、強い電波や磁気を発生する場所での撮影や操作は避けてください。映像や音声が乱れたり、ノイズが入ることがあります。

太陽や強いライトにレンズやファインダーを向けない
レンズやファインダーの接眼レンズは、絶対に太陽や強いライトに向けないでください。また輝度差の大きな被写体にカメラを向けたまま放置しないでください。

ホコリや砂の多い場所では使わない
ホコリや砂のつきやすい場所での使用、保存は避けてください。砂が本機やビデオカセット内部に入ると故障の原因となることがあります。また、レンズにホコリや砂がつくのを防止するため、使用後は必ずレンズキャップを付けてください。

水や泥、塩分に注意する
本機は防水構造になっていません。水や泥、塩分などが本機やビデオカセット内部に入ると故障の原因となることがあります。

照明器具に注意する
照明器具を使うときは、器具から発生する熱に十分注意してください。

ハンドルを持って運ぶときは振り回したりしない
ぶつけたりすると故障の原因となります。

分解しない
分解して内部に触れないでください。正常に作動しないときは、キヤノンサービスセンターにご相談ください。

振動や衝撃を与えない
強い振動や衝撃は故障の原因になります。製品はていねいに取り扱ってください。

極端な温度差にさらさない
寒い場所で使った製品を急に暖かい室内に持ち込むと、製品内部に水滴（結露）が生じることがあります。温度差のある場所へ移動するときは、事前にカセットを本体から取り出してください。万一、結露が起きたときは、「結露について」（🕮 192）の指示に従ってください。

次のページへ

取り扱い上のご注意…つづき

バッテリーパックについて

このバッテリーパックは、リチウムイオン電池を使用しておりますので、充電する前に使い切ったり、放電する必要はありません。いつでも充電できます。

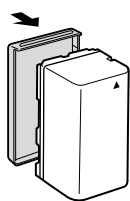
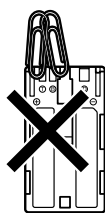
必ず充電してから使う

バッテリーパックは、出荷時に少し充電してありますので、ビデオカメラなどの動作確認ができます。長時間使用する場合や、動作確認ができない場合には、バッテリーを充電してから、お使いください。

端子はいつもきれいにしておく

バッテリーパック、充電器、ビデオカメラの⊕、⊖などの端子は常にきれいにしておいてください。使わないときは、ショート防止用端子用カバーを取り付けてください。また、接触不良、ショート、破損の原因となりますので、端子の間に物が入り込まないようにしてください。

持ち運びや保存の際は、必ず付属のショート防止用端子カバーを取り付ける（図A）

キーホルダーなどの金属で⊕と⊖の端子をショートさせると（図B）、バッテリーパックの破損の原因となることがあります。

（図A）

（図B）

充電は使用直前にする

充電しておいたバッテリーパックも内部の化学変化によって、少しずつ自然に放電してしまいます。使用する当日または前日に充電することをおすすめします。

充電完了まで充電した状態で保管するとバッテリーパックの寿命を縮めたり、性能の低下の原因となることがあります。

長い時間ビデオカメラを使用しないときは、画面に「バッテリーパックを取りかえてください」が出るまでバッテリーパックを使ってから、取りはずして保管することをおすすめします。

こまめに電源を切って使う

- 撮影中はもちろん、撮影一時停止中でもバッテリーパックは消耗します。こまめに電源を切ることが、使用時間を長くさせるコツです。
- バッテリーパックは0℃～40℃の範囲で使用できますが、性能を十分に発揮させるためには10℃～30℃で使用することをおすすめします。スキー場などでは、バッテリーパックの性能が一時的に低下し、使用時間が短くなります。ポケットなどに入れて温めてから使用すると効果的です。

使用しないときは、ビデオカメラから取りはずす

ビデオカメラにバッテリーパックを取り付けたままにしておくと、電源が切れていても少しずつバッテリーを消耗します。長い間ビデオカメラを使用しないときは、必ずバッテリーパックを取りはずして、湿度の低い、室温30℃以下の場所で保管してください。

充電したのに、バッテリーパックの使用時間が極端に短いときは

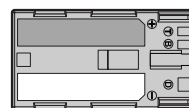
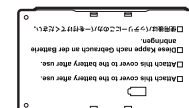
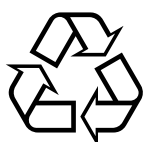
常温で使用している場合は、寿命と考えられます。新しいバッテリーパックをお求めください。

バッテリーパックを長時間使用しない場合でも、機能を維持するために、次のことをおすすめします

・湿度の低い室温で保管する。
・1年に1回程度、充電完了まで充電してから、ビデオカメラに取り付け、画面に「バッテリーを取りかえてください」が出るまでバッテリーパックを使う。複数のバッテリーパックをお持ちの場合、同時期に行う。

ショート防止用端子カバーについて

ショート防止用端子カバーには、「 」の穴があります。バッテリーパックに端子カバーを取り付けるときに「 」の位置を変えることで、充電済みのバッテリーパックを見分けるのに便利です。
例：充電したバッテリーパックの場合は、端子カバーを青い部分が見えるように取り付ける

バッテリーパックの裏面

端子カバーの取り付け後
　充電していない場合

　充電した場合

Li-ion

● 不要になった電池は、貴重な資源を守るために廃棄しないで最寄りの電池リサイクル協力店へお持ちください。詳細は、有限責任中間法人 JBRCのホームページをご参照下さい。
　ホームページ：http://www.jbrc.com
● プラス端子、マイナス端子をテープ等で絶縁して下さい。
● 被覆をはがさないで下さい。
● 分解しないで下さい。

次のページへ

取り扱い上のご注意…つづき

ビデオカセットについて

カセットは使用後、必ず巻戻す

テープがたるんで傷み、テープに記録した映像や音声が劣化する原因となります。

カセットはケースに入れて、立てて保管する

カセットを本体に入れたまま放置しない

セロハンテープなどで、テープの穴をふさがない

カセットの裏面には、テープの種類などを検出する各種の穴があります。

テープをつなぎ合わせたカセットや規格外のカセットは使用しない

故障の原因となります。

カセットを落としたり、ぶつけたりして過度な衝撃を与えない

内部のテープがたるみ故障の原因となります。

カセットを長期間保管するときは、時々巻き直す

傷のついたテープは使用しない

ヘッド汚れの原因となります。

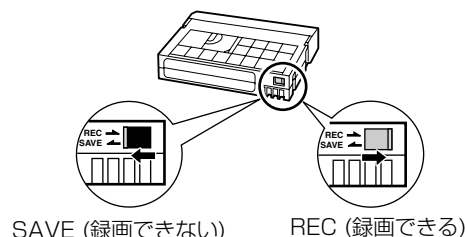
金メッキ端子付きのカセットの場合は、カセットを十数回出し入れしたら、綿棒で金メッキ端子をきれいにする

本機は、カセットメモリー付きカセットのカセットメモリー機能には対応していません。

間違って消さないために

大切な映像を録画したカセットを誤って消去しないようにするには、カセットの背にある誤消去防止つまみを左に切り換え、SAVEにしてください。誤消去防止ツマミを右に戻せば、再び録画できます。

・カメラモードのときに、録画できない状態のカセットを本体に入れると、画面に「カセットの誤消去防止ツマミを確認してください」が4秒間点灯し、その後「 」が赤く点滅します。

SAVE (録画できない)　REC (録画できる)

カードについて

- カードに記録した静止画は、USBカードリーダー、PC/PCMCIAカードアダプターなどを使ってパソコンに取り込めます。
- カード内のデータは、初期化や削除をしても、ファイル管理情報が変更されるだけで、完全には消去されません。譲渡・廃棄するときは、ご注意ください。廃棄するときは、カードを破壊するなどして個人情報の流出を防いでください。

新規にカードを購入した際には、本機で初期化を行う

パソコンなど本機以外で初期化したカードは、正常に使えないことがあります。

カードに記録した静止画などのデータは、パソコンで外部記憶機器やハードディスクを使ってバックアップを取っておく

カードの故障、静電気などにより記録したデータが破損したり、消えることがあります。その場合の記録内容の補償については、ご容赦ください。

強い磁気の発生する場所で使わない

高温、多湿の場所に放置しない

分解しない

ぬらしたり、曲げたり、落としたり、強い衝撃を与えない

極端な温度差にさらさない

温度差のある場所へ急に移動するとカードの内部、表面が結露することがあります。結露したときは、そのまま使用せず、水滴が自然に消えるまで、常温で放置してください。

カードの裏にある端子部分にごみや水などの異物を付着させたり、手で触れたりしない

ラベルをはがしたり、他のシールなどを貼ったりしない

内蔵リチウム2次電池について

本機は、リチウム2次電池を内蔵していて、日付などの設定が保持されます。この内蔵のリチウム2次電池は、本機を使っている間に充電されますが、使用時間が短いと少しずつ放電され、本機を使わない期間が3ヶ月くらい過ぎると、完全に放電してしまいます。その場合は、リチウム2次電池を充電してください。充電するときは、本機をコンパクトパワーアダプターに接続し、24時間放置してください（メインダイヤルは「OFF」）

ビデオヘッドをクリーニングする

画面に「クリーニングカセットを使ってください［ヘッドよごれ］」と出ることがあります。また、テレビ番組はきれいに写るのに、ビデオでテープを再生すると画面がおかしくなったり、映像と音声が一瞬（約0.5秒）停止したり（HDV）、画像全体が青くなったりすることがあります。これは、ビデオヘッドの汚れが原因です。きれいな画像を撮影したり見たりするために、市販の乾式のヘッドクリーニングカセットを使って、こまめにビデオヘッドをきれいにしてください。
ビデオヘッドをクリーニングしても直らない場合には故障が考えられます。キヤノンサービスセンターにご相談ください。

正常な画像

ビデオヘッドが汚れているときの画像（DV）

ヘッドクリーニングするときは

❍ 湿式のクリーニングカセットは使用しないでください。故障の原因となることがあります。
❍ ヘッドが汚れた状態で録画したテープは、ヘッドクリーニング後にも正常に再生できない場合があります。

日常のお手入れ／保管上のご注意

大切なビデオカメラやビデオカセットをより長くお使いいただくために、日常のお手入れや保管方法には十分注意してください。

お手入れ

製品の汚れは乾いたやわらかい布で軽くふいてください。化学ぞうきんやシンナーなどの使用は、製品を傷めることがあるのでおやめください。

レンズはいつもきれいに

レンズの表面にホコリや汚れが付いていると、オートフォーカスがうまく動作しないことがあります。レンズを常にきれいに保つようにしてください。最初にブロアーでレンズ表面のゴミ、ホコリを取り除き、それから汚れをふき取るようにしてください。

長期間使わないときは

製品を長期間ご使用にならない場合は、ホコリが少なく、湿度の低い、30℃以下の場所に保管してください。

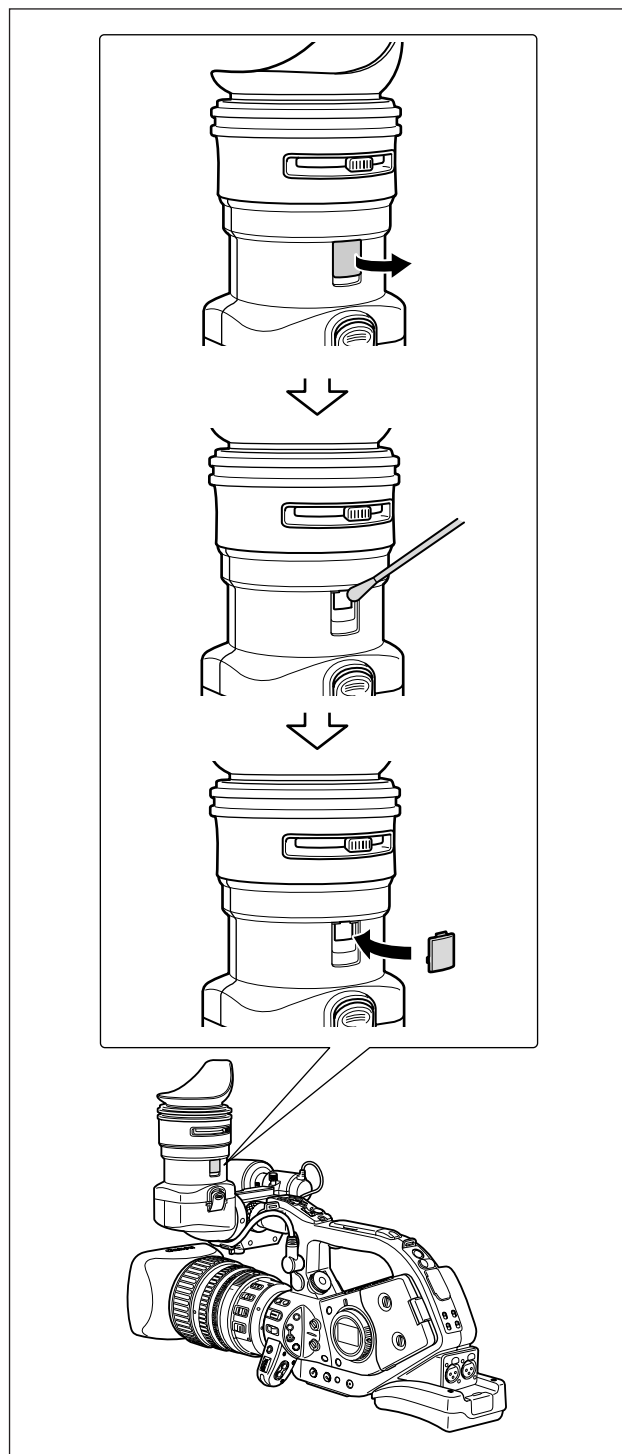
各部のチェック

長期間使わなかった後のご使用や、重要な撮影の前には、各部の動作をチェックしてください。

液晶画面について

・汚れたときは市販の眼鏡クリーナー（布製）などで拭いてください。
・温度差の激しいところでは、液晶画面に水滴がつくことがあります。柔らかい乾いた布で拭いてください。

ファインダーのお手入れ

ファインダー内部のゴミを取り除く

❶ マイナスドライバーなどで保護カバーを取りはずす

❷ 綿棒を差し込み、ゴミを取り除く

❸ 保護カバーを取り付ける

ファインダーの接眼レンズは傷つきやすいので、ご注意ください。

トラブルシューティング

故障かな？と思っても、修理に出す前にもう一度確認してください。
特にほかの機器と接続しているときは、ケーブルの接続も確認してください。点検しても直らないときは、キヤノンサービスセンター、または販売店にご相談ください。

	こんなときには	考えられる原因	どうするの？	📖
電源	**電源が入らない。**	バッテリーパックが正しく装着されていない。	バッテリーパックを正しく装着し直す。	18
	途中で電源が切れる。	撮影一時停止状態が5分以上続いた。	もう一度電源を入れる。	39
	画面がついたり消えたりをくり返す。	バッテリーパックが消耗している。	十分に充電したバッテリーパックと交換する。	18
撮影時・再生時	**操作ボタンを押しても動かない。**	カセットが入っていない。	カセットを入れる。	32
	電源ランプが点滅し画面に“”が点滅する。	ビデオカメラの内部に水滴が付いた。	結露の項目をご覧ください。	192
	電源ランプが点滅し画面に“カセットを取り出してください”が表示される。	保護機能が働いている。	カセットを一度取り出して、入れ直す。	32
	リモコンが動作しない。	本機とリモコンのリモコンコードが異なるかカスタムファンクションでリモコンセンサーを無効にしている（画面に「」が出ている）。	カスタムファンクションでリモコンコードを「1」または「2」にする。	136
		リモコンの電池が消耗した。	新しい電池と交換する。	31
撮影時	**メインダイヤルをOFF以外にしているのに電源ランプが点灯しない。**	カスタムファンクションで「LED」を「OFF」にしている。	カスタムファンクションで「LED」を「OFF」以外にする。	125
	画面に映像が映らない。	メインダイヤルがカメラモードになっていない。	メインダイヤルをカメラモードにする。	38
	「エリア／日時を設定してください」が表示される。	世界時計のエリアまたは日時が設定されていないか、内蔵リチウム2次電池が放電している。	世界時計のエリアと日時を設定するか、本機をコンパクトパワーアダプターに接続し、メインダイヤルを「OFF」にしたまま24時間放置して、内蔵リチウム2次電池を充電する。	19 36

その他

次のページへ

トラブルシューティング…つづき

	こんなときには	考えられる原因	どうするの？	📖
撮影時	**スタート／ストップボタンを押しても、録画しない。**	カセットが入っていない。	カセットを入れる。	32
		メインダイヤルがカメラモード以外になっている。	メインダイヤルをカメラモードにする。	38
		ハンドルのロックスイッチがロックになっている。	左にスライドさせ、ロックを解除する。（ロック解除するとオレンジ色の目印が見えなくなります）	38
	ピントが合わない。	ピントの自動調整が苦手な被写体である。	マニュアルでピントを合わせる。	47
		ファインダーの視度が合っていない。	視度調整レバーで画像がはっきり見えるように調整する。	24
		レンズが汚れている。	最初にブロアーでレンズ表面のゴミ、ホコリを吹き除いた後で、レンズを傷付けないように、乾いた柔らかい布で軽く拭いて、汚れを取り除く。（ティッシュペーパーで拭くのはなるべく避けてください。）	187
	タリーランプが点灯／点滅しない。	カスタムファンクションで「TALLY LAMP」を「OFF」を選んだ。	カスタムファンクションでTALLY LAMPを「ON」または「BLINK」にする。	124
	キラキラ光っていたり、極端に明るい被写体(一部に高輝度な部分がある被写体)を撮影すると、縦に白い帯が出る。	CCDのスミア現象で故障ではありません。	Avモードで、F5.6～F8.0で撮影してください。	74
	ファインダーの画像がはっきりしない。	視度調整レバーで調整していない。	視度調整レバーで調整する。	24
	音声が記録されない	INPUT SELECTスイッチが正しい位置になっていない。	正しい位置にする。	60
		XLR端子から入力しているマイクがファンタム電源で+48VスイッチがOFFになっている。	+48VスイッチをONにする。	61
	音声が極端に小さい	REC LEVELスイッチがM（マニュアル）になっていて、入力レベルをしぼっている。	レベルメーターで確認しながら適正なレベルにする。	63
		ATT.スイッチがATT.になっている。	ATT.スイッチをOFFにする。	60、61

	こんなときには	考えられる原因	どうするの？	📖
再生時	**再生ボタンを押しても再生しない。**	電源が入っていない、またはVCR/PLAY以外になっている。	メインダイヤルを「VCR/PLAY」にする。	130
		カセットが入っていない。	カセットを入れる。	32
	テープは回っているが、テレビに再生画像が出ない。	ビデオヘッドが汚れている。	市販の乾式のヘッドクリーニングカセットでビデオヘッドをクリーニングする。	186
		コピー制限されたテープを再生またはダビング録画しようとしている。	再生またはダビング録画を中止してください。	180
		出力ケーブルが正しく接続されていない。	出力ケーブルを正しく接続する。	96
	HDV再生時に、再生画が瞬間的に止まる。	ビデオヘッドが汚れている。	市販の乾式ヘッドクリーニングカセットでビデオヘッドをクリーニングする。	186
カード	**カードが入らない。**	カードの向きが違っている。	カードの向きを確認して、正しい向きで入れる。	33
	カードに記録できない。	カードが入っていない。	カードを入れる。	33
		カードの空き容量がない。	不要な静止画などを消去する。	150
		カードが初期化されていない。	本機でカードを初期化する。	152
		画像番号が最大になっていてファイル名が作成できない。	メニューで「画像番号」を「オートリセット」にし、新しいカードを入れる。	138
	カードが再生できない。	メインダイヤル、テープ/カード切換スイッチの位置が正しくない。	メインダイヤルを「VCR/PLAY」、テープ/カード切換スイッチを 🃏 にする。	147
	静止画を消去できない。	静止画がプロテクトされている。	静止画のプロテクトを解除する。	151
		誤消去防止ツマミがロック状態になっている。	ロック状態を解除する。	33
	カードアイコンが赤く点滅する。	カードエラー。	電源を切り、カードを出し入れする。それでも点滅が続くときは、カードを初期化する。	152

トラブルシューティング…つづき

	こんなときには	考えられる原因	どうするの？	📖
その他	**手ぶれ補正機能付きレンズ使用時：レンズ内部に気泡ができる。**	ごくまれに飛行機や高い山などでは、レンズ内部に気泡が発生することがありますが、故障ではありません。気泡は、通常約1週間程度で消えますが、気圧や使用状況により変わります。		–

本機はマイコンを使用した機器です。外部からの雑音や妨害ノイズ、静電気などにより、ファインダーに通常出ない文字が出たり、正常に動作しないことがあります。このような場合は、電源をいったん取り外し、先のとがったものでRESETボタンを押すと、すべての設定が解除されます。

液晶画面について

液晶画面は精密度の高い技術で作られています。99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%以下の画素欠けや常時点灯するものがあります。

低照度下での撮影について

低照度下で、スローシャッターやゲインを上げて撮影しているときに、CCDの構造上白く輝く点が見えることがあります。このような場合は、シャッタースピードを速くするか、ゲインを下げる、またはビデオライトなどの補助光を使用して撮影してください。

結露について

夏季、よく冷えたビールをコップに注ぐと、コップの表面に水滴がつくことがあります。この現象を結露といいます。ビデオカメラを結露した状態で使用すると故障の原因になりますので注意してください。

結露したときは？

電源ランプが点滅して、本機は自動的に停止します。画面に「結露しています」が約4秒間表示され、 が点滅します。カセットが入っている場合は、「結露しています カセットを取り出してください」が表示され、 が点滅します。

● カセットが入っている場合は、すぐに取り出して、カセット入れを開いたまま乾燥した所に置いてください（結露したときは、メインダイヤルでの電源の入／切とEJECTスイッチのみ働きます）。結露したときは、カセットを本体に入れようとしても入りません。

結露を防ぐためには

● 温度差のある場所へ急に移動するときは、事前にカセットを取り出し、ビデオカメラをビニール袋に入れて密閉してから移動します。ビデオカメラが移動先の温度と同じになってから袋から取り出すと、結露を防ぐことができます。

使い始めるには

水滴が消えるまでの時間は、周囲の環境によって多少異なりますが、約1時間程度です。電源を入れて、画面の や電源ランプが点滅しなくなっても、念のためさらに1時間くらい放置してください。

こんなときにはご注意

● 寒い所から急に暖かい所に移動したとき

● 寒い部屋を急に暖房したとき

● 湿度の高い部屋の中

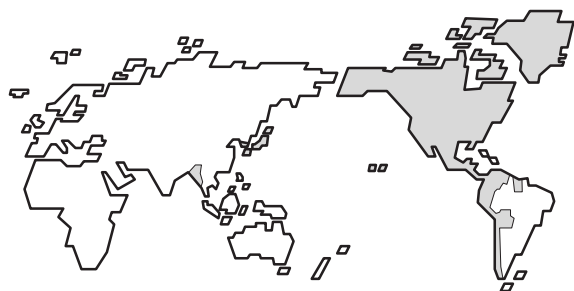
● 夏季、冷房のきいた部屋から急に温度や湿度の高い所に移動したとき

海外で使うとき

本製品は、海外でもお使いになれますが、次のことにご注意ください。

テレビでの再生

● 録画したビデオカセットを現地のテレビでご覧になる場合、日本国内で採用しているNTSC方式（カラー受信方式の1つ）で、映像／音声入力端子のついたテレビが必要になります。

NTSC方式は以下の国／地域で採用されています。
日本放送出版協会発行「世界の放送2007」による

●アメリカ合衆国
●エクアドル
●カナダ
●キューバ
●グアム
●大韓民国
●チリ
●ドミニカ
●トリニダード・トバコ
●ニカラグア
●バミューダ
●プエルトルコ
●ベネズエラ
●ペルー
●米領サモア
●ボリビア
●グァテマラ
●グリーンランド
●コスタリカ
●コロンビア
●スリナム
●セントルシア
●ハイチ
●パナマ
●バハマ
●バラバドス
●ミャンマー
●フィリピン
●ホンジュラス
●ミクロネシア
●メキシコ
●台湾

バッテリーパックの充電

コンパクトパワーアダプターCA-920は、AC100〜240V 50/60Hzまでの電源に接続できます。ただし、電源コンセントの形状が異なる国／地域では、変換プラグアダプターが必要になります（1つの国の中でも地域によってコンセントの形状が異なる場合があります）。

変換アダプターについては、旅行代理店などで確認の上、あらかじめご用意ください。

■海外の電源コンセントの種類

タイプ	A	B	BF	C	O
コンセントの形状					
変換プラグ	不要です				

主な国名と使用するプラグの種類（参考資料）

●北米

国名	種類
アメリカ合衆国	A
カナダ	A

●ヨーロッパ

国名	種類
アイスランド	C
アイルランド	C
イギリス	B. BF
イタリア	C
オーストリア	C
オランダ	C
ギリシャ	C
スイス	C
スウェーデン	C
スペイン	A. C
デンマーク	C
ドイツ	C
ノルウェー	C
ハンガリー	C
フィンランド	C
フランス	C
ベルギー	C
ポーランド	B. C
ポルトガル	B. C
ルーマニア	C

●アジア

国名	種類
インド	B. C. BF
インドネシア	C
シンガポール	B. BF
スリランカ	B. C. BF
タイ	A. BF. C
大韓民国	A. C
中華人民共和国	A. B. BF. C. O
ネパール	C
パキスタン	B. C
バングラデシュ	C
フィリピン	A. BF. O
ベトナム	A. C
香港特別行政区	B. BF
マカオ特別行政区	B. C
マレーシア	B. BF. C

●オセアニア

国名	種類
オーストラリア	O
グアム	A
タヒチ	C
トンガ	O
ニュージーランド	O
フィジー	O

●中南米

国名	種類
アルゼンチン	BF. C. O
コロンビア	A
ジャマイカ	A
チリ	B. C
ハイチ	A
パナマ	A
バハマ	A
プエルトリコ	A
ブラジル	A. C
ベネズエラ	A
ペルー	A. C
メキシコ	A

●中近東

国名	種類
イスラエル	C
イラン	C
クウェート	B. C
ヨルダン	B. BF

●アフリカ

国名	種類
アルジェリア	A. B.BF. C
エジプト	B. BF. C
カナリア諸島	C
ギニア	C
ケニア	B. C
ザンビア	B. BF
タンザニア	B. BF
南アフリカ共和国	B. C. BF
モザンビーク	C
モロッコ	C

キヤノンビデオシステム

*1 HD 20X ズームレンズ L ISⅡ/Ⅲ、HD 6X ズームレンズ L、20X L ISズームレンズ、16Xズームレンズ（ISⅡ）、16Xズームレンズ（マニュアル）に使用可（SD記録時のみ使用可）。

*2 EF-Sレンズは使用できません。

*3 本機とモノクロビューファインダーユニットFU-1000を組み合わせた場合、コンパクトパワーアダプターCA-920または別売のカーバッテリーアダプターCB-920を電源として使用できます。FU-1000に付属のバッテリーアダプターは使用しません。電源カプラーを直接本機に取り付け、コンパクトパワーアダプター/カーバッテリーアダプターと接続してください。また、FU-1000に付属のマイクプロテクターは本機では、使用しません。

*4 EFレンズを本機に装着した場合、35mmフィルム換算時の焦点距離は以下のようになります（SD記録時のみ使用可）。
4：3時　約8.8倍
16：9時　約7.2倍

*5 SD 4：3記録時のみ使用可。

ズームリモートコントローラー
ZR-2000、ZR-1000

カラービューファインダーユニットFU-2000

ショルダーストラップ
SS-1100

外部モニター接続用ケーブル ― 外部モニター

MiniDV
ビデオカセット

SDメモリーカード

スピードライト
420EX/430EX/
550EX/580EX/580EX II

WL-D5000
ワイヤレスコントローラー

電源カプラー
DC-920

カーバッテリー
アダプターCB-920

バッテリーパック
BP-930, BP-945,
BP-950G, BP-970G

コンパクトパワーアダプター
CA-920

（本体）

バッテリーパック
BP-930, BP-945,
BP-950G, BP-970G

三脚ベース

デュアルバッテリー
チャージャー/ホルダー
CH-910

D端子コンポーネント
ケーブルDTC-1000

テレビ

Sビデオケーブル

ビデオデッキ

DVケーブル
CV-250F（4ピン－6ピン）

ステレオケーブル

アクセサリーはキヤノン純正品のご使用をおすすめします。
本製品は、キヤノン純正の専用アクセサリーと組み合わせて使用した場合に最適な性能を発揮するように設計されておりますので、キヤノン純正アクセサリーのご使用をおすすめいたします。なお、純正品以外のアクセサリーの不具合（例えばバッテリーパックの液漏れ、破裂など）に起因することが明らかな、故障や発火などの事故による損害については、弊社では一切責任を負いかねます。また、この場合のキヤノン製品の修理につきましては、保証の対象外となり、有償とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

このマークは、キヤノンのビデオ関連商品の純正マークです。キヤノンのビデオ機器をお求めの際は、同じマークもしくはキヤノンビデオ関連商品をおすすめします。

その他

主な仕様（型式：XL H1S／XL H1A）

＊XL H1Sのみ

システム

録画方式：	回転ヘッドヘリカルスキャン
映像記録規格：	HDV：HDV 1080i DV：DV方式（民生用デジタルVCR　SD方式）
音声記録方式：	HDV：MPEG-1 Audio Layer2 16bit 48kHz、転送レート384kbs（2ch） DV：PCMデジタル記録 16bit (48kHz)、12bit (32kHz)
信号方式：	HDV：1080/60i方式、DV：NTSC方式準拠
使用可能ビデオカセット：	Mini DV のついたミニDVカセット
テープ速度：	HDV：約18.81mm/秒 DV：約18.81mm/秒（SPモード時） 約12.56mm/秒（LPモード時）
録画／再生時間：	HDV：60分（60分テープ使用時） DV：60分（60分テープ使用時/SPモード時） 90分（60分テープ使用時/LPモード時）
早送り／巻戻し時間：	約2分20秒（60分テープ使用時）
撮像素子：	1/3型CCD×3　（水平画素ずらし） 総画素：約167万画素 有効画素：HD　156万画素 SD16：9　156万画素 SD4：3　117万画素
ビューファインダー：	カラー液晶ファインダー （2.4型ワイド、約21.5万画素、RGBデルタ配列）
マイク：	MS方式ステレオ、エレクトレットコンデンサーマイク
レンズマウント：	XLマウントシステム準拠
焦点調整：	TTL AF方式、フォーカスリングによる手動調節可 （HD 20X L IS Ⅲ レンズ装着時）
色温度切り換え：	自動追尾型WB、セット、プリセット、色温度設定機能付き
最低被写体照度：	0.5ルクス（HD 20X L IS Ⅲ レンズ装着時、60i/30Fモード、マニュアルモード、シャッター速度1/4秒、F1.6、ゲイン18dB）
推奨被写体照度：	100ルクス以上
被写体照度範囲：	0.5−10万ルクス（60i/30Fモード）
記録カード：	マルチメディアカード、SDメモリーカード、SDHCメモリーカード
カード記録画素数：	静止画1920×1080、1440×1080、848×480、640×480
カード記録規格：	DCF準拠、Exif2.2準拠、DPOF対応
画像圧縮方法：	JPEG（スーパーファイン、ファイン、ノーマル）

※本機では、16GBまでのSD／SDHCメモリーカードの動作を確認しています。また、SDHCメモリーカードに対応しています。すべてのカードの動作を保証するものではありません。
本機は、DCFに準拠しています。DCFは、（社）電子情報技術産業協会（JEITA）で主として、デジタルカメラ等の画像ファイル等を、関連機器間で簡便に利用しあえる環境を整えることを目的に標準化された規格「Design rule for Camera File system」の略称です。
本機は、Exif 2.2（愛称「Exif Print」）に対応しています。Exif Printは、ビデオカメラとプリンターの連携を強化した規格です。Exif Print対応のプリンターと連携することで、撮影時のカメラ情報を活かし、それを最適化して、よりきれいなプリント出力が得られます。

入・出力端子（レベル／インピーダンス）

S映像入出力端子：	4ピンミニDIN 輝度信号：1Vp-p／75Ω 色信号：0.286Vp-p／75Ω
映像入出力端子：	RCAピンジャック／BNCジャック（出力のみ） 1Vp-p／75Ω　不平衡
音声出力端子：	
AUDIO OUT端子：	RCAピンジャック（L、R） −12dBV（47kΩ負荷時、出力レベル設定1Vrms、フルスケール−12dB）／3kΩ以下
音声入力端子：	
フロントマイク端子：	φ3.5mmステレオミニジャック（アンバランス） 感度：−61dBV（マニュアルボリュームセンター、感度設定ノーマル、 フルスケール−12dB）／600Ω ATT：20dB
AUDIO IN端子：	RCA端子（アンバランス） 感度：−12dBV（47kΩ負荷、フルスケール−12dB）
XLR端子（2系統）	XLR（バランス）（①シールド、②ホット、③コールド） 感度： マイク入力時：−60dBu（マニュアルボリュームセンター、フルスケール−18dB）／600Ω ライン入力時：＋4dBu（マニュアルボリュームセンター、フルスケール−18dB）／10kΩ ATT：20dB
HDV/DV端子：	6ピン（IEEE1394準拠）、入出力兼用
ヘッドホン端子：	φ3.5mmステレオミニジャック −∞〜−12dBV（16Ω負荷、ボリュームMin〜Max）／50Ω以下

LANC リモート端子：　φ2.5mmステレオミニミニジャック
GENLOCK端子（BNC型）*：　入力のみ1.0Vp－p、75Ω
TC-IN端子（BNC型）*：　入力のみ0.5V－18Vp－p、10KΩ
TC-OUT端子（BNC型）*：　出力のみ1.0Vp－p、75Ω
HD/SD-SDI端子（BNC型）*：　出力のみ0.8Vp－p、75Ω、不平衡
SDI 480/60i：SMPTE 259M準拠、SMPTE 272M準拠、SMPTE RP188（LTC）準拠
HD-SDI:SMPTE292M準拠、SMPTE 299M準拠、SMPTE RP188（LTC）準拠
コンポーネント出力端子：　D3（1080i）/D1（480i）対応
EVF端子（1/2）：　20ピン
EVF2：モノクロビューファインダー/コンポーネント出力に対応

電源／その他

電源電圧：　DC7.4V（公称）
消費電力：　XL H1S 約8.4W、XL H1A 約7.9W　（録画中・AF合焦時、HD 20X L IS Ⅲ レンズ装着時、HDモード時）
動作温度：　0℃－+40℃
外形寸法：　約226（幅）×220（高さ）×496（奥行）mm
撮影時総質量：　XL H1S 約3995g、XL H1A 約3935g　（HD 20X L IS Ⅲ レンズ、レンズフード、バッテリーパックBP-950G、ビデオカセット、メモリーカード含む）
本体質量：　XL H1S 約2560g、XL H1A 約2500g　（ファインダーユニット、マイク装着時）

レンズ

本機に装着したときに、画角などが変わります。

	XL H1S／XL H1A装着時の画角		XL H1S／XL H1A装着時の至近距離画界	
	広角端	望遠端	広角端	望遠端
HD 20X ズームレンズ L IS Ⅱ／Ⅲ	51° 36'×30° 29'（16：9時） 39° 51'×30° 29'（4：3時）	2° 46'×1° 34'（16：9時） 2° 05'×1° 34'（4：3時）	64.8×35.4mm（16：9時） 47.7×35.4mm（4：3時） [距離20mm]	70.5×39.7mm（16：9時） 52.9×39.7mm（4：3時） [距離1m]
HD 6X ズームレンズ L	75° 01'×46° 48'（16:9時） 59° 52'×46° 48'（4:3時）	14° 35'×8° 15'（16:9時） 10° 58'×8° 15'（4:3時）	86.4mm×47.5mm（16:9時） 63.8mm×47.5mm（4:3時） [距離20mm]	149.9mm×84.6mm（16:9時） 112.5mm×84.6mm（4:3時） [距離0.5m]
20Xズームレンズ L IS	51° 36'×30° 29'（16：9時） 39° 51'×30° 29'（4：3時）	2° 46'×1° 34'（16：9時） 2° 05'×1° 34'（4：3時）	64.8×35.4mm（16：9時） 47.7×35.4mm（4：3時） [距離20mm]	70.5×39.7mm（16：9時） 52.9×39.7mm（4：3時） [距離1m]
16Xズームレンズ （マニュアル）	51° 36'×30° 29'（16：9時） 39° 51'×30° 29'（4：3時）	3° 28'×1° 57'（16：9時） 2° 36'×1° 57'（4：3時）	81.9×44.6mm（16：9時） 60.1×44.6mm（4：3時） [距離50mm]	55.8×31.7mm（16：9時） 42.0×31.7mm（4：3時） [距離1m]
16Xズームレンズ （IS II）	50° 46'×29° 57'（16：9時） 39° 11'×29° 57'（4：3時）	3° 24'×1° 55'（16：9時） 2° 33'×1° 55'（4：3時）	61.7×33.7mm（16：9時） 45.3×33.7mm（4：3時） [距離20mm]	79.3×44.7mm（16：9時） 59.4×44.7mm（4：3時） [距離1m]

コンパクトパワーアダプター　CA-920

電源	AC 100-240V、50/60Hz
出力電力／消費電力	アダプターモード時　公称DC7.2V、2.0A
	35VA(AC 100V)~47VA(AC 240V)
	チャージモード時　公称DC8.4V、1.5A
	29VA(AC 100V)~40VA(AC 240V)
使用温度	0℃～+40℃
外形寸法（幅×高さ×奥行き）	約75×51×99mm
本体質量	約215g

バッテリーパック　BP-950G

使用電池	リチウムイオン蓄電池
使用温度	0℃～+40℃
公称電圧	DC7.4V
容量	5200mAh
外形寸法（幅×高さ×奥行き）	38.2×40.3×70.5mm
質量	約210g

※仕様および外観は予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

索引

＊ XL H1Sのみ

ア行

カ行

サ行

タ行

ナ行

ハ行

マ行

ヤ行

ラ行

その他

カスタムキー一覧

コピーしてお持ちになると便利です。

カメラモード
タイムコード
インデックス記録
ゼブラパターン
VCRストップ
オンスクリーン
TC HOLD
レベルメーター
EVFシロクロモード
MAGN.ボタンロック
SHTR ボタンロック

カメラモード
AE D.ロック
E.LCK B.ロック
CP マイナスキー*
FB
EVF反転モード
SDI出力 XL H1s
FOCUS LIMIT
＊カスタムキー2のみ

VCR/PLAYモード
タイムコード
オンスクリーン
データコード
レベルメーター
TC HOLD
EVFシロクロモード
SDI出力 XL H1s

カードカメラモード
ゼブラパターン
オンスクリーン
EVFシロクロモード
MAGN.ボタンロック
SHTR ボタンロック
AE D.ロック
E.LCK B.ロック
CP マイナスキー*
FB
EVF反転モード
SDI出力 XL H1s
FOCUS LIMIT
＊カスタムキー2のみ

カードVCR/PLAYモード
オンスクリーン
EVFシロクロモード
SDI出力 XL H1s

保証書とアフターサービス

● 本機の保証は日本国内を対象としています。万一海外で故障した場合の現地でのアフターサービスはご容赦ください。

保証書

本体には保証書が添付されています。必要事項が記入されていることをお確かめのうえ、大切に保存してください。

アフターサービス

製品の保証について

1 本製品が万一故障したときは、本製品と保証書をご持参のうえ、キヤノンサービスセンターまたはご購入いただいた販売店にご相談ください。

2 保証期間内でも保証の対象にならない場合もあります。詳しくは保証書に記載されている保証内容のご案内をご覧ください。
保証期間はご購入日より１年間です。

3 保証期間経過後の修理は原則として有料となります。なお、運賃等の諸経費は保証期間内でもお客様にご負担いただくことがあります。

4 本製品などの不具合により録画されなかった場合の付随的損害（録画、録音に要した諸費用および得べき利益の損失など）については、保証致しかねます。

修理を依頼されるときは

5 修理品をご持参いただくときは、不具合の見本となるビデオカセットを添付するなどしたうえ、不具合の内容／修理箇所を明確にご指示ください。

補修用性能部品について

6 ビデオカメラ補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造の打ち切り後8年です。従って期間中は原則として修理をお受けいたします。なお、故障の原因や内容によっては、期間中でも修理が困難な場合と、期間後でも修理が可能な場合がありますので、その判断につきましてはキヤノンサービスセンター、またはご購入店にお問い合わせください。

修理料金について

7 修理料金は故障した製品を正常に修復するための技術料と修理に使用する部品代との合計金額からなります。

修理見積につきましては、窓口で現品を拝見させていただいてから概算をお知らせいたします。なお、お電話での修理見積依頼につきましては、おおよその仮見積になりますので、その旨ご承知おきください。

修理のお問い合わせは

修理受付センター

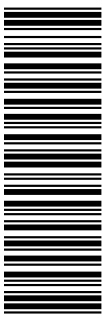
050-555-99077（全国共通）

平日・土曜日 9:00〜18:00

日曜日、祝祭日、年末年始、弊社休業日はお休みさせていただきます。

電話番号はよくご確認の上、おかけ間違いのないようにお願いいたします。

- 故障状態や動作の不具合を確認させていただき、その上で修理方法のご案内をいたします。なお、故障状態のほかに、ご購入年月日と型名「XL H1S」または「XL H1A」であることをお伝えください。
- 修理を承る窓口（サービスセンター、修理センター）をご案内いたします。
- 宅配便による修理品の発送、または、弊社によるお引き取り、お届けについてご案内いたします。

電話番号が050から始まるIP電話をご利用の場合、プロバイダーのサービスによってはつながらないことがあります。このときは、お手数ですがNTTの固定電話からおかけ直しいただくか、043-211-9790をご利用ください。

使用方法に関するご相談窓口は

キヤノンお客様相談センター

050-555-90004（全国共通）

平日 9:00〜12:00／13:00〜17:00（土日祝は休業）

※上記番号をご利用いただけない方は043-211-9790をご利用ください。
※上記番号はIP電話プロバイダーのサービスによってつながらない場合があります。

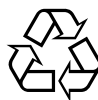
キヤノン業務用デジタルビデオカメラホームページ

キヤノンデジタルビデオカメラのホームページを開設しています。最新の情報が掲載されておりますので、インターネットをご利用の方はぜひお立ち寄りください。

デジタルビデオカメラ製品情報
http://canon.jp/prodv

キヤノン サポートページ
http://canon.jp/support

■保証書は製品の箱に添付されています
保証書は必ず「購入店・購入日」等の記入を確かめて、購入店よりお受け取りください。

■本書の記載内容は2008年3月現在のものです
製品の仕様および外観は予告なく変更することがあります。ご了承ください。

リチウムイオン電池のリサイクルにご協力ください。

Canon　キヤノン株式会社／キヤノンマーケティングジャパン株式会社

〒108-8011　東京都港区港南2-16-6

PUB. DIJ-296A